

令和 6 年度

植物防疫事業年報

京都府病虫害防除所

京都府亀岡市余部町和久成 9

TEL 0771-23-9512

目 次

病害虫防除所の概要

沿革・所管業務・体制	1
業務の概要	
I 農作物病害虫発生予察事業の実施	
(I) 発生予察事業の実施概要	2
1 調査地点及び施設	2
2 調査対象病害虫の種類	6
3 発生予察情報等の概要	9
(II) 病害虫の発生予察と発生状況	10
1 発生予察調査の結果	10
1) 巡回調査の結果	10
(1) 水稲	
(2) 麦類	
(3) 黒大豆	
(4) 小豆	
(5) ナシ	
(6) ブドウ	
(7) カキ	
(8) カンキツ	
(9) 茶樹	
(10) キュウリ	
(11) トマト	
(12) ナス	
(13) キャベツ	
(14) ダイコン	
(15) カブ	
(16) ホウレンソウ	
(17) ネギ (小株)	
(18) ネギ (大株)	
(19) エビイモ	
2) 予察灯・誘引剤トラップ・黄色水盤による調査の結果	46
(1) 予察灯の調査結果 (2) 誘引剤トラップの調査結果 (3) 黄色水盤の調査結果	
2 病害虫発生予察情報の内容	60
3 対象病害虫の発生状況	72
II 重要病害虫侵入警戒調査の実施	76
III 調査・試験の結果	79
IV 緊急防除等に係る協力・指導の実施	99
V 情報提供サービスの実施	
(I) 情報提供の概要	99
(II) 情報の内容と利用の状況	100
VI 病害虫調査協力員の活動状況	102
VII 会議・講演・研修等の実施	103
VIII 普及センター等との連携の推進	105
参考資料	
令和6年の半旬別気象表・グラフ	106

病虫害防除所の概要

I 沿革

- ◎ 昭和27年4月1日
植物防疫法第32条第1項及び京都府条例第18号に基づき、府内13か所（京都府庁及び各地方事務所）に病虫害防除所を設置し、植物防疫業務を開始した。
- ◎ 昭和50年10月1日
京都府植物防疫法施行条例の一部改正（昭和50年7月18日条例第29号）に基づく機構改革により、山城（田辺町：山城地域5防除所）、丹波（亀岡市：丹波地域5防除所）、丹後（弥栄町：丹後地域3防除所）の3病虫害防除所に統合設置された。
統合に伴い従来の防除所業務が見直され、農薬取締業務は地方事務所が、農薬安全使用指導は農業改良普及所が分担することとなり、発生予察が防除所の主業務とされた。
- ◎ 昭和61年8月1日
京都府植物防疫法施行条例の一部改正（昭和61年7月25日条例第22号）に基づく機構改革により、京都府病虫害防除所（亀岡市：農業総合研究所内（現農林水産技術センター））に統合設置され、当面の措置として北部駐在室（弥栄町：丹後農業研究所内）が設置された。
- ◎ 平成5年4月1日
北部駐在室が廃止された。
- ◎ 平成12年4月1日
京都府病虫害防除所の設置根拠条例であった京都府植物防疫法施行条例が廃止され、新たに京都府行政機関設置条例に基づき、設置されることとなった。
- ◎ 平成21年4月1日
農林水産業に係わる試験研究機関の統合・再編に伴い、農林水産技術センター農林センターの環境部植物防疫担当として再編、設置された。

II 所管業務

- 1 農作物病虫害発生予察事業に関すること。
- 2 植物防疫推進事業の実施に関すること。
- 3 緊急防除等に係る協力・指導に関すること。
- 4 情報提供サービスの実施に関すること。
- 5 農薬指導・取締に関すること。
- 6 病虫害調査協力員の活動に関すること。
- 7 病虫害の診断・指導に関すること。

III 体制

(I) 京都府における調査機関等

京都府病虫害防除所								協力機関名
職名	所長	専門幹	主任研究員	主任	技師	会計年度 任用職員	計	農林センター、丹後農業 研究所、茶業研究所、農業 大学校、農産課
人数	1人	1人	1人	1人	1人	1人	6人	

(II) 病虫害調査協力員

所属する団体等	市町村	農業協同 組合	農業共済 組合	農業者	その他	計	備考
設置人数	—	21人	—	—	—	21人	

業 務 の 概 要

I 農作物病害虫発生予察事業の実施

有害動植物の発生状況を調査し、予察情報を関係機関等に提供することにより適期に、かつ効率的な防除に役立てるとともに、農作物の被害防止と環境保全を図ることを目的とし、植物防疫法及び植物防疫事業実施要領に基づいて病害虫発生予察事業を行う。

(I) 発生予察事業の実施概要

1 調査地点及び施設

1) 予察ほの設置

区 分	対象作物	設 置 場 所	担 当
普通作物	水 稲	亀岡市余部町（農林センター）	防除所 防除所 防除所 防除所 防除所
	〃	京丹後市弥栄町黒部（丹後農業研究所）	
	〃	京田辺市薪	
	麦 類	亀岡市余部町（農林センター）	
	大 豆	亀岡市余部町（農林センター）	
果 樹	ナ シ	京丹後市弥栄町黒部（丹後農業研究所）	防除所 防除所 防除所
	ブ ド	京丹後市弥栄町黒部（丹後農業研究所）	
	カ キ	京都市西京区大枝	
茶 樹	茶 樹	宇治市白川（茶業研究所）	茶 研 防除所
	〃	京丹後市大宮町口大野	
野 菜	キ ュ ウ リ	京都市伏見区深草	防除所 防除所 防除所 防除所 防除所 防除所 防除所
	ト マ ト	久御山町東一口	
	ナ ス	京田辺市薪	
	〃	京都市西京区大原野	
	キ ャ ベ ツ	京都市南区吉祥院、亀岡市余部町（農林センター）	
	ダ イ コ ン	木津川市梅谷、京丹後市弥栄町黒部	
	ホ ウ レ ン ソ ウ	京都市西京区牛ヶ瀬	
ネ ギ	京都市伏見区淀		

2) 予察灯等の設置

(1) 設置場所及び種類

設 置 場 所	種 類	対 象 病 害 虫	担 当
京田辺市薪 （府営水道 ポンプ場）	乾式日別予察灯(60W)(BL) フェロモントラップ	別表のとおり コナガ、ハスモンヨトウ、果樹カ メムシ類、タバコガ、オオタバコ ガ、ニカメイガ、シロイチモジヨ トウ、吸実性カメムシ類	防除所 防除所

設置場所	種類	対象病虫害	担当者
宇治市白川 (茶業研究所)	フェロモントラップ	チャノホソガ、チャノコカクモンハマキ	茶 研
亀岡市余部町 (農林センター)	乾式日別予察灯(60W)(BL) フェロモントラップ	別表のとおり コナガ、ハスモンヨトウ、 果樹カメムシ類、タバコガ、オ オタバコガ、カブラヤガ、ニカ メイガ、シロイチモジヨトウ、 吸実性カメムシ類	防除所 防除所
	黄色水盤	アブラムシ類	農林セ
綾部市位田町 (農 大)	フェロモントラップ	チャノホソガ、チャノコカク モンハマキ	農 大
京丹後市弥栄町 黒部 (丹後農研)	乾式日別予察灯(60W)(BL) フェロモントラップ	別表のとおり コナガ、ハスモンヨトウ、果樹 カメムシ類、タバコガ、オオタ バコガ、ニカメイガ、シロイチ モジヨトウ、吸実性カメムシ類	防除所 防除所
京丹後市大宮町 口大野	フェロモントラップ	チャノホソガ、チャノコカクモ ンハマキ	防除所

[別表] 乾式日別予察灯の調査対象害虫

光源の種類	害虫の区分	対象害虫名
60W (白熱灯)	ウンカ・ ヨコバイ類	ヒメトビウンカ、セジロウンカ、トビイロウンカ、ツマグロ ヨコバイ
	カメムシ類	アオクサカメムシ、ツヤアオカメムシ、ミナミアオカメムシ 、チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、イチモンジカメ ムシ、イネクロカメムシ、クモヘリカメムシ、シラホシカメ ムシ、トゲシラホシカメムシ、アカヒゲホソミドリカスミカ メ、アカスジカスミカメ、ツマグロアオカスミカメ
	蛾 類	フタオビコヤガ、ニカメイガ、コナガ、シロオビノメイガ
	そ の 他	イネミズゾウムシ
ブラック ライト (蛍光灯)	コガネムシ類	ドウガネブイブイ、クロコガネ、ヒメコガネ、アカビロウド コガネ
	カメムシ類	チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシ、 ミナミアオカメムシ
	蛾 類	ゴマフボクトウ

3) 巡回調査地点

(1) 水稻 (30地区/30か所)

山城地域	南丹地域	中丹地域	丹後地域
京都市伏見区向島 京都市西京区大原野 八幡市内里 木津川市加茂町大野 久御山町外屋敷 精華町祝園	京都市右京区京北 下弓削町 亀岡市本梅町平松 亀岡市余部町 南丹市美山町島 南丹市八木町氷所 南丹市園部町黒田 京丹波町蒲生 京丹波町井脇 京丹波町安栖里	舞鶴市丸田 福知山市半田 福知山市長田 福知山市夜久野町 今西中 福知山市大江町金屋 綾部市石原町	宮津市日置 京丹後市大宮町森本 京丹後市峰山町長岡 京丹後市網野町木津 京丹後市丹後町竹野 京丹後市弥栄町黒部 京丹後市久美浜町 芦原 伊根町本庄上 与謝野町加悦

* 調査地点は、作付面積が概ね500haに1点を設置。

(2) 麦類 (7地区/14か所)

山城地域	丹波地域	丹後地域
—	(小麦) 福知山市半田、戸田、金屋 綾部市私市町 (二条) 亀岡市河原林町、馬路町 亀岡市本梅町平松	—

(3) 豆類 (大豆: 4地区/8か所、小豆: 6地区/12か所)

作物名	山城地域	丹波地域	丹後地域
黒大豆	—	京丹波町富田、安栖里 福知山市平野、末	京丹後市久美浜町新庄
小豆	—	亀岡市河原林町、馬路町 南丹市園部町若森 福知山市半田 綾部市七百万石町 舞鶴市久田美	—

* 調査地点は、作付面積が概ね50ha以上の市町村に設置。

(4) 果樹 (10地区/22か所)

作物名	か所	山城地域	丹波地域	丹後地域
カンキツ	3	—	—	宮津市石浦
ナシ	10	八幡市川口	—	京丹後市網野町俵野 京丹後市久美浜町 平田、三分、三原、浦明、大井、壱分

作物名	か所	山城地域	丹波地域	丹後地域
ブドウ	6	京都市山科区勸修寺	—	京丹後市久美浜町 壱分、三分、平田
カキ	3	京都市西京区大枝	—	—

* 調査地点は、作付面積が概ね10ha以上の市町村に設置。

(5) 茶樹 (16地区/32か所)

山城地域	丹波地域	丹後地域
宇治市白川、宇治市伊勢田、宇治市五ヶ庄 城陽市上津屋 京田辺市飯岡 木津川市加茂町例幣 宇治田原町禅定寺、宇治田原町南 和束町石寺、和束町湯船、和束町杣田	舞鶴市志高 福知山市土 綾部市小西町	京丹後市 久美浜町永留 網野町郷

(6) 野菜 (32地区/51か所)

作物名	か所	山城地域	丹波地域	丹後地域
キュウリ	8	[露地] 京都市伏見区深草 宇治田原町禅定寺 [施設] 京都市伏見区向島 久御山町相島 八幡市内里	—	—
トマト (施設)	5	京都市伏見区向島 久御山町東一口 久御山町相島	亀岡市篠町	—
ナス	7	京都市西京区大原野 八幡市野尻、内里 京田辺市薪、宮津 久御山町坊之池、森宮西	—	—
キャベツ	7	京都市南区吉祥院 京都市西京区牛ヶ瀬	—	京丹後市弥栄町、 久美浜町
ダイコン	4	木津川市梅谷	—	京丹後市弥栄町、 久美浜町
カブ	4	—	京都市右京区 京北矢代中町 亀岡市篠町	京丹後市弥栄町、 久美浜町
ホウレンソウ	3	京都市西京区牛ヶ瀬	—	—
ネギ	8	京都市西京区牛ヶ瀬、 南区吉祥院、伏見区淀 八幡市岩田、内里	—	—
エビイモ	2	京田辺市飯岡	—	京丹後市久美浜町 市場

* 調査地点は、作付面積が果菜類では概ね10ha以上、その他の野菜では概ね20ha以上の産地に設置。

2 調査対象病害虫の種類

作物		指定病害虫	指定外病害虫
普通作物	水稲	いもち病、紋枯病、ばか苗病、縞葉枯病、もみ枯細菌病、稲こうじ病、白葉枯病、苗立枯病、セジロウンカ、トビイロウンカ、ヒメトビウンカ、ツマグロヨコバイ、コブノメイガ、ニカメイガ、斑点米カメムシ類、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、フタオビコヤガ、スクミリンゴガイ*	イネクロカメムシ、イチモンジセセリ、コバネイナゴ
	麦類	赤かび病、うどんこ病	
	大豆	吸実性カメムシ類、アブラムシ類、フタスジヒメハムシ、マメシンクイガ、(ハスモンヨトウ)	べと病、葉焼病、モザイク病、ハダニ類、サヤムシガ類、食葉性鱗翅目幼虫
	小豆	(ハスモンヨトウ)、(オオタバコガ)	モザイク病、さび病、炭疽病、うどんこ病、アブラムシ類、マメノメイガ、アズキノメイガ、サヤムシガ類、ハダニ類、食葉性鱗翅目幼虫
果樹	カンキツ	そうか病、黒点病、かいよう病、アザミウマ類、アブラムシ類、ハダニ類、(カメムシ類)	カイガラムシ類、ミカンハモグリガ
	ナシ	黒斑病、黒星病、赤星病、(カメムシ類)、ハダニ類、シンクイムシ類、アブラムシ類、ハマキムシ類、カイガラムシ類	うどんこ病
	ブドウ	べと病、アザミウマ類、(カメムシ類)	うどんこ病、さび病、ハダニ類
	カキ	炭疽病、カキノヘタムシガ、(カメムシ類)、アザミウマ類、フジコナカイガラムシ、ハマキムシ類	うどんこ病、円星落葉病、角斑落葉病
茶樹	炭疽病、カンザワハダニ、チャノキイロアザミウマ、チャノミドリヒメヨコバイ、クワシロカイガラムシ、チャトゲコナジラミ、ハマキムシ類、チャノホソガ	もち病、網もち病、輪斑病、灰色かび病、新梢枯死症、ツマグロアオカスミカメ、コミカンアブラムシ	
野菜	キュウリ	べと病、うどんこ病、炭疽病、褐斑病、灰色かび病、斑点細菌病、アブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類、ハダニ類、(ハスモンヨトウ)	モザイク病、ハモグリバエ類、ワタヘリクロノメイガ
	トマト	疫病、灰色かび病、うどんこ病、葉かび病、黄化葉巻病、すすかび病、アブラムシ類、コナジラミ類、アザミウマ類、(ハスモンヨトウ)、(オオタバコガ)	モザイク病、ハモグリバエ類

菜	ナス	うどんこ病、灰色かび病、すすかび病、アブラムシ類、アザミウマ類、ハダニ類、(ハスモンヨトウ)、(オオタバコガ)	褐色腐敗病、褐色円星病、ハモグリバエ類、コナジラミ類、タバコガ類
	キャベツ	菌核病、黒腐病、アブラムシ類、モンシロチョウ、(シロイチモジヨトウ)、(ハスモンヨトウ)、(コナガ)、(ヨトウガ)、(オオタバコガ)	べと病、ウワバ類、アザミウマ類、ハイマダラノメイガ
	ダイコン	アブラムシ類、(ハスモンヨトウ)、(コナガ)	白さび病、黒斑細菌病、モザイク病、ハイマダラノメイガ、ナモグリバエ、モンシロチョウ
	カブ	(コナガ)	軟腐病、べと病、黒斑病、白斑病、白さび病、アブラムシ類、ハモグリバエ類
	ホウレンソウ	アブラムシ類、(ハスモンヨトウ)、(ヨトウガ)	べと病、シロオビノメイガ
	エビイモ	アブラムシ類	モザイク病、汚斑病、セスジスズメ、ハダニ類
	ネギ	さび病、黒斑病、べと病、アブラムシ類、ネギハモグリバエ、(ハスモンヨトウ)、ネギアザミウマ、(シロイチモジヨトウ)	えそ条斑病

*発生予察事業の対象外

参考：指定有害動植物発生予察事業の対象とする指定有害動植物（令和4年11月15日改正）

1 指定有害動物（84種類）

- (1) アスパラガスのアザミウマ類
- (2) いちごのアザミウマ類、アブラムシ類、コナジラミ類及びハダニ類
- (3) いねのイネドロオイムシ、イネミズゾウムシ、コブノメイガ、セジロウンカ、ツマグロヨコバイ、トビイロウンカ、ニカメイガ、斑点米カメムシ類、ヒメトビウンカ及びフタオビコヤガ
- (4) おうとうのハダニ類
- (5) かきのアザミウマ類、カイガラムシ類、カキノヘタムシガ及びハマキムシ類
- (6) かんきつのアザミウマ類、アブラムシ類及びハダニ類
- (7) きくのアザミウマ類、アブラムシ類及びハダニ類
- (8) キャベツのアブラムシ類及びモンシロチョウ
- (9) きゅうりのアザミウマ類、アブラムシ類、コナジラミ類及びハダニ類
- (10) さつまいものナカジロシタバ
- (11) さといものアブラムシ類
- (12) さとうきびのカンシャコバネナガカメムシ及びメイチュウ類
- (13) すいかのアブラムシ類
- (14) だいこんのアブラムシ類
- (15) だいずのアブラムシ類、吸実性カメムシ類、フタスジヒメハムシ及びマメシクイガ
- (16) たまねぎのアザミウマ類
- (17) ちやのアザミウマ類、カイガラムシ類、チャトゲコナジラミ、チャノホソガ、チャノミドリヒメヨコバイ、ハダニ類及びハマキムシ類
- (18) トマトのアザミウマ類、アブラムシ類及びコナジラミ類
- (19) ながいものアブラムシ類
- (20) なしのアブラムシ類、カイガラムシ類、シクイムシ類、ハダニ類及びハマキムシ類
- (21) なすのアザミウマ類、アブラムシ類及びハダニ類
- (22) ねぎのアザミウマ類、アブラムシ類、ネギコガ及びネギハモグリバエ
- (23) はくさいのアブラムシ類
- (24) はすのハスクビレアブラムシ
- (25) ばれいしょのアブラムシ類
- (26) ピーマンのアブラムシ類
- (27) ぶどうのアザミウマ類
- (28) ほうれんそうのアブラムシ類
- (29) もものシクイムシ類及びハダニ類
- (30) りんごのシクイムシ類、ハダニ類及びハマキムシ類
- (31) レタスのアブラムシ類
- (32) オオタバコガ、果樹カメムシ類、コナガ、シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ及びヨトウガ

2 指定有害植物（64種類）

- | | |
|---|--|
| (1) いちごのうどんこ病菌、炭疽病菌及び灰色かび病菌 | ウイルス |
| (2) いねの稲こうじ病菌、いもち病菌、ごま葉枯病菌、縞葉枯病ウイルス、白葉枯病菌、苗立枯病菌、ばか苗病菌、もみ枯細菌病菌及び紋枯病菌 | (15) トマトのうどんこ病菌、疫病菌、黄化葉巻病ウイルス、すすかび病菌、灰色かび病菌及び葉かび病菌 |
| (3) うめのかいよう病菌及び黒星病菌 | (16) なしの赤星病菌、黒星病菌及び黒斑病菌 |
| (4) おうとうの灰星病菌 | (17) なすのうどんこ病菌、すすかび病菌及び灰色かび病菌 |
| (5) かきの炭疽病菌 | (18) にんじんの黒葉枯病菌 |
| (6) かんきつのかいよう病菌、黒点病菌及びびそうか病菌 | (19) ねぎの黒斑病菌、さび病菌及びべと病菌 |
| (7) キウイフルーツのかいよう病菌 | (20) ばれいしょの疫病菌 |
| (8) きくの白さび病菌 | (21) ピーマンのうどんこ病菌 |
| (9) キャベツの菌核病菌及び黒腐病菌 | (22) ぶどうの晩腐病菌、灰色かび病菌及びべと病菌 |
| (10) きゅうりのうどんこ病菌、褐斑病菌、炭疽病菌、灰色かび病菌、斑点細菌病菌及びべと病菌 | (23) むぎの赤かび病菌、うどんこ病菌及びさび病菌類 |
| (11) だいずの紫斑病菌 | (24) もものせん孔細菌病菌 |
| (12) たまねぎの白色疫病菌及びべと病菌 | (25) りんごの黒星病菌及び斑点落葉病菌 |
| (13) ちやの炭疽病菌 | (26) レタスの菌核病及び灰色かび病菌 |
| (14) てんさいの褐斑病菌及び西部委黄病 | |

3 発生予察情報等の概要

種 類	発 表 時 期	発 表 内 容	主 な 提 供 方 法 ・ 提 供 先 （ 提 供 数 ）
予 報	4月～10月 、2月～3月 の各月1回	本誌のⅠの（Ⅱ）の2 に記載	<ul style="list-style-type: none"> ・府行政支援ネット送信（約80） 地方振興局・普及センター、研究機関 ・J P P ネット送信（－） 国・他府県関係 ・F A X 送信（約30） 市町村・農業協同組合 ・冊子送付（約130） 国出先機関、報道機関、定点農家 ・メール送信（約100） ・ホームページに掲載
注 意 報	5月 2日 7月24日 7月24日	第1号：果樹カメムシ類 第2号：水稲（斑点米カメムシ類） 第3号：果樹カメムシ類	予報と同じ
特 殊 報	2月 1日 4月24日 5月24日 9月 4日 10月 1日	第1号：キュウリ C A B Y V 第2号：キュウリ黄化病 第3号：サツマイモ基腐病 第4号：キュウリ黄化えそ病 第5号：タケ類 シナチクノメイガ	予報と同じ
技 術 情 報 (防除所 ニュース)	4月 2日 4月 9日 4月24日 7月 4日 8月26日 8月26日 9月25日 10月22日	第1号：タバココナジラミ バイオタイプQ 殺虫剤感受性情報 第2号：トマトキバガ情報 第3号：ナシ黒斑病情報 第4号：水稲 いもち病情報 第5号：水稲 トビイロウンカ情報 第6号：豆類 吸実性カメムシ類情報 第7号：チャノコカクモンハマキ情報 第8号：野菜・花き シロイチモジヨトウ情報	<ul style="list-style-type: none"> ・府行政支援ネット 送信（約80） ・J P P ネット送信（－） 国・他府県関係 ・F A X 送信（約30） ・メール送信（約100） ・ホームページに掲載
月 報	4月～11月 、2月～3月 の各月1回	[病虫害発生予察巡回調査結果等に基づ く発生病害虫全般の発生状況]	<ul style="list-style-type: none"> ・府行政支援ネット 送信 (約80) 普及センター等 ・一部、ホームページに 掲載

(II) 病害虫の発生予察と発生状況

(注：平年とは過去10年の平均である。データが10年に満たない場合(5～9年)は例年とし()で数値を囲む。)

1 発生予察調査の結果

1) 巡回調査の結果

(1) 水稻

生育概要

早植(品種：コシヒカリ 播種期：4月19日 移植期：5月9日)

普通植(品種：コシヒカリ、京の輝き 播種期：5月9日 移植期：5月24日)

ア. 生育

早植コシヒカリは、移植直後の低温(最低気温3.9℃)による活着不良と、6月下旬～7月中旬の日照時間が例年に比べ少なかった影響で、平年に比べて茎数が少なく推移した。6月下旬以降の気温が平年より高く、出穂期は7月25日(平年比早1日)、成熟期は8月29日(平年比早5日)となった。

普通植(コシヒカリ、京式部、京の輝き)は、6月下旬～7月中旬の日照時間が平年に比べ少なかったため、各品種の茎数は平年より少なく推移した。6月下旬以降の気温が平年より高く、各品種の出穂期は早まり、成熟期はコシヒカリが9月4日(平年比早7日)、京式部は9月5日(平年比早12日)、京の輝きは9月17日(平年比早5日)となった。

イ. 収量及び品質

早植コシヒカリは、 m^2 あたりの穂数、籾数が平年より少なく、登熟歩合はやや低く、千粒重はほぼ平年並で、精玄米重は48.0kg/a(平年比86%)となった。玄米整粒率は40.0%(前年比-0.6ポイント)であった。

普通植コシヒカリは、 m^2 あたり穂数が少なく、 m^2 あたり籾数も平年よりやや少なく、登熟歩合と千粒重は概ね平年並であり、精玄米重は53.1kg/a(平年比95%)となった。京の輝きは、 m^2 あたり穂数がやや多く、 m^2 あたり籾数、登熟歩合、千粒重は平年並であり、精玄米重は62.7kg/a(平年比100%)となった。

京式部の精玄米重は48.3kg/a(平年比87%)となった。

玄米整粒率は、コシヒカリで57.1%(前年比+0.2ポイント)、京式部で57.4%(前年比-4.7ポイント)、京の輝きで65.3%(前年比+8.1ポイント)であった。

玄米品質は、京の輝きを除き、コシヒカリ、京式部とも平年を少し下回った。

(京都府農林水産技術センター栽培技術開発部調べ)

病害虫の発生状況

ア 苗いもち(指定)

5月中旬に中丹地域及び丹後地域の補植用苗で発生を認めた。

イ 葉いもち(指定)

ブラスタムでは6月下旬～7月上旬にかけて府内の広い地域で感染好適条件日を記録した。巡回調査での発生量は、6月は府全体で平年比多く、7月は府全体で平年比やや少なく、8月は中丹地域及び丹後地域で平年比やや多かった。

表1 補植用苗におけるいもち病の発生状況調査(5月第3～4半旬)

年次	地域	補植用苗確認数		発病確認率(%)	
		箇所	苗ブロック	箇所	苗ブロック
6年	山城	-	-	-	-
	南丹	2	9	0.0	0.0
	中丹	3	16	33.3	31.3
	丹後	7	18	14.3	16.7
5年	山城	-	-	-	-
	南丹	4	14	0.0	0.0
	中丹	2	15	0.0	0.0
	丹後	8	5	0.0	0.0

* 巡回調査ほ場とその周辺で補植用苗ブロックを認めた際に調査した。

表2 補植用苗におけるいもち病の発生状況調査（6月第3半旬）

年次	地域	調査 箇所数	補植用苗確認数		発病苗確認数		発病確認率(%)	
			箇所	苗ブロック	箇所	苗ブロック	箇所	苗ブロック
6年	山城	6	3	7	0	0	0.0	0.0
	南丹	9	2	3	0	0	0.0	0.0
	中丹	6	3	5	1	1	16.7	20.0
	丹後	9	0	0	0	0	0.0	—
5年	山城	6	4	9	1	2	16.7	22.2
	南丹	9	4	15	2	3	22.2	20.0
	中丹	6	3	11	1	2	16.7	18.2
	丹後	9	2	2	0	0	0.0	0.0

* 巡回調査ほ場とその周辺で補植用苗ブロックを認めた際に調査した。

表3 本田における葉いもちの発生状況調査（25株見取り）

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	発病株率 (%)	発病度	発病葉率 (%)
山城	6・3～4	6年	6	33.3	4.7	1.2	—
		5年	6	16.7	8.0	8.0	—
		平年	—	1.7	0.8	0.80	—
	7・3～4	6年	6	16.7	2.7	0.7	—
		5年	6	50.0	9.3	2.3	—
		平年	—	28.8	5.3	1.90	—
	*8・3～4	6年	6	16.7	4.7	—	0.20
		5年	6	50.0	18.0	—	0.95
		平年	—	38.3	7.5	—	0.29
南丹	6・3～4	6年	9	33.3	3.6	0.9	—
		5年	9	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	2.2	0.3	0.08	—
	7・3～4	6年	9	37.5	4.0	1.0	—
		5年	9	88.9	32.9	8.2	—
		平年	—	31.1	13.2	3.6	—
	*8・3～4	6年	9	12.5	2.0	—	0.10
		5年	9	77.8	20.0	—	1.17
		平年	—	35.6	8.1	—	0.35
中丹	6・3～4	6年	6	11.1	0.4	0.1	—
		5年	6	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	0.0	0.0	0.00	—
	7・3～4	6年	6	0.0	0.0	0.0	—
		5年	6	66.7	25.3	8.0	—
		平年	—	25.0	6.5	1.9	—
	*8・3～4	6年	6	83.3	8.0	—	0.41
		5年	6	83.3	10.7	—	0.45
		平年	—	23.3	3.0	—	0.21
丹後	6・3～4	6年	9	11.1	0.4	0.1	—
		5年	9	0.0	0.0	0.0	—
		平年	—	1.1	0.2	0.04	—
	7・3～4	6年	9	0.0	0.0	0.0	—
		5年	9	11.1	1.3	0.3	—
		平年	—	10.0	2.1	0.5	—
	*8・3～4	6年	9	66.7	7.6	—	0.37
		5年	9	44.4	7.1	—	0.67
		平年	—	26.7	3.9	—	0.18

* 止葉及び第2葉の調査。

表4 本田における葉いもちの発病程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～4	29	0.0	0.0	0.0	13.8	86.2

ウ 穂いもち（指定）

8月中旬の調査株では府全体で発生を認めていない（平年比少ない）。9月中旬には府全体で平年並の発生となった。

表5 本田における穂いもちの発病程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
8・3～4	26	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
9・3～4	10	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0

表6 本田における穂いもちの発病状況調査（25株見取り）

地域	調査時期(月・半旬)	年次	調査ほ場数	発生確認ほ場率(%)	発病株率(%)	発病穂率(%)	被害籾率(%)
山城	8・3～4	6年	3	0.0	0.0	0.00	—
		5年	2	0.0	0.0	0.00	—
		平年	—	10.0	0.4	0.02	—
	9・3～4	6年	5	60.0	3.2	—	0.16
		5年	5	40.0	2.4	—	0.12
		平年	—	39.7	3.8	—	0.25
南丹	8・3～4	6年	8	0.0	0.0	0.00	—
		5年	9	0.0	0.0	0.00	—
		平年	—	23.3	3.1	0.21	—
	9・3～4	6年	3	66.7	16.0	—	1.27
		5年	4	50.0	26.0	—	6.50
		平年	—	(53.7)	(34.1)	—	(4.97)
中丹	8・3～4	6年	6	33.3	0.0	0.00	—
		5年	6	33.3	3.3	0.87	—
		平年	—	11.7	1.1	0.13	—
	9・3～4	6年	1	0.0	0.0	—	0.00
		5年	5	0.0	0.0	—	0.00
		平年	—	(39.2)	(9.8)	—	(0.72)
丹後	8・3～4	6年	9	0.0	0.0	0.00	—
		5年	9	0.0	0.4	0.11	—
		平年	—	7.8	0.4	0.04	—
	9・3～4	6年	1	0.0	0.0	—	0.00
		5年	1	0.0	0.0	—	0.00
		平年	—	(30.6)	(5.9)	—	(0.56)

()内は例年値。

エ 紋枯病（指定）

8月から府内全域で発生を認め、府全体では平年比少ない発生となった。9月には、山城地域で平年比少なく、南丹地域及び中丹地域で平年並、丹後地域で発生を認めず平年比やや少ない。府全体では平年比少ない発生となった。

表7 本田における紋枯病の発病程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～4	29	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
8・3～4	29	0.0	0.0	0.0	6.9	93.1
9・3～4	10	0.0	0.0	0.0	40.0	60.0

表8 本田における紋枯病の発生状況調査 (25株見取り)

地域	調査時期 (月・半月)	年次	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	発病株率 (%)	発病度
山城	7・3～4	6年	6	0.0	0.0	0.0
		5年	6	0.0	0.0	0.0
		平年	—	5.0	0.3	0.1
	8・3～4	6年	6	0.0	0.0	0.0
		5年	6	0.0	0.0	0.0
		平年	—	40.0	7.6	2.2
	9・3～4	6年	5	20.0	2.4	0.2
		5年	5	40.0	6.4	2.0
		平年	—	61.3	24.4	9.3
南丹	7・3～4	6年	8	0.0	0.0	0.0
		5年	9	0.0	0.0	0.0
		平年	—	2.2	0.1	0.1
	8・3～4	6年	8	12.5	2.5	1.3
		5年	9	33.3	9.3	2.8
		平年	—	45.6	7.4	2.1
	9・3～4	6年	3	66.7	13.3	3.3
		5年	4	50.0	36.0	31.5
		平年	—	(74.5)	(22.1)	(11.2)
中丹	7・3～4	6年	6	0.0	0.0	0.0
		5年	6	0.0	0.0	0.0
		平年	—	5.0	0.4	0.1
	8・3～4	6年	6	16.7	0.7	0.2
		5年	6	16.7	1.3	0.3
		平年	—	31.7	4.8	1.2
	9・3～4	6年	1	100.0	16.0	4.0
		5年	5	40.0	4.8	1.4
		平年	—	62.3	19.1	7.2
丹後	7・3～4	6年	9	0.0	0.0	0.0
		5年	9	0.0	0.0	0.0
		平年	—	1.1	0.0	0.0
	8・3～4	6年	9	0.0	0.0	0.0
		5年	9	11.1	0.4	0.1
		平年	—	20.0	2.1	0.7
	9・3～4	6年	1	0.0	0.0	0.0
		5年	1	0.0	0.0	0.0
		平年	—	(53.7)	(8.5)	(3.0)

オ 苗立枯病
発生を認めなかった。

カ 白葉枯病
発生を認めなかった。

キ 靱枯細菌病
発生を認めなかった。

ク 黄化萎縮病
発生を認めなかった。

ケ 馬鹿苗病
発生を認めなかった。

- コ 縞葉枯病
発生を認めなかった。
- サ 稲こうじ病
発生を認めなかった。
- シ ヒメトビウンカ（指定）
7～8月に府全域で発生を認めた。

表9 未耕起田等におけるヒメトビウンカの生息密度調査（4月第3～4半旬）

地域	年次	調査ほ場数	発生確認ほ場率 (%)	虫数 (頭)	成虫比率 (%)
山城	6年	6	16.7	0.2	100.0
	5年	6	0.0	0.0	—
南丹	6年	3	33.3	0.3	100.0
	5年	3	0.0	0.0	—
中丹	6年	2	0.0	0.0	—
	5年	2	0.0	0.0	—
丹後	6年	6	33.3	1.7	30.0
	5年	6	0.0	0.0	—

* 虫数は20回振りすくい取りによる1ほ場当たりの平均値。

表10 本田におけるヒメトビウンカの生息密度調査

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査ほ場数	発生確認ほ場率 (%)	虫数 (頭)	調査ほ場数	発生確認ほ場率 (%)	虫数 (頭)
山城	6・3～4	6年	6	0.0	0.0	5	0.0	0.0
		5年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		平年	—	0.0	0.00	—	0.0	0.00
	7・3～4	6年	6	33.3	3.7	6	16.7	0.2
		5年	6	33.3	0.5	6	0.0	0.0
		平年	—	40.0	2.43	—	35.0	0.7
	8・3～4	6年	6	16.7	1.0	6	33.3	3.2
		5年	6	50.0	2.7	6	33.3	0.8
		平年	—	76.7	7.25	—	51.7	6.02
南丹	6・3～4	6年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		5年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	—	1.1	0.02	—	4.4	0.06
	7・3～4	6年	8	25.0	0.3	8	12.5	0.2
		5年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	—	25.6	0.57	—	5.6	0.10
	8・3～4	6年	8	25.0	0.3	8	62.5	1.4
		5年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	—	32.2	2.23	—	50.0	11.32
中丹	6・3～4	6年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		5年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		平年	—	3.3	0.03	—	5.0	0.05
	7・3～4	6年	6	50.0	2.8	6	16.7	0.2
		5年	6	50.0	1.8	6	16.7	0.2
		平年	—	33.3	1.95	—	16.7	0.50
	8・3～4	6年	6	50.0	4.8	6	83.3	2.7
		5年	6	66.7	3.2	6	100.0	9.0
		平年	—	60.0	3.07	—	78.3	13.08
丹後	6・3～4	6年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		5年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	—	3.3	0.04	—	7.8	0.11
	7・3～4	6年	9	44.4	0.7	9	33.3	0.7
		5年	9	33.3	0.4	9	0.0	0.0
		平年	—	21.1	0.34	—	12.2	0.14
	8・3～4	6年	9	44.4	0.6	9	22.2	0.3
		5年	9	44.4	0.4	9	55.6	9.6
		平年	—	41.1	1.62	—	60.0	10.10

表11 本田におけるヒメトビウンカの発生程度別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚 (%)	多 (%)	中 (%)	少 (%)	無 (%)
6・3	29	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	20.0	80.0
8・3～4	29	0.0	0.0	3.4	41.4	55.2

ス ツマグロヨコバイ (指定)

巡回調査では南丹と中丹で平年比やや多い発生を認めたが、府全体では平年比やや少ない発生で推移した。

表12 未耕起田等におけるツマグロヨコバイの生息密度調査 (4月第3～4半旬)

地域	年次	調査ほ場数	発生確認ほ場率 (%)	虫数 (頭)	成虫比率 (%)
山城	6年	6	50.0	3.5	100.0
	5年	6	33.3	0.7	100.0
南丹	6年	3	33.3	0.3	100.0
	5年	3	66.7	0.7	100.0
中丹	6年	2	50.0	0.5	100.0
	5年	2	50.0	0.5	100.0
丹後	6年	6	16.7	0.5	66.7
	5年	6	0.0	0.0	-

* 虫数は20回振りすくい取りによる1ほ場当たりの平均値。

表13 本田におけるツマグロヨコバイの生息密度調査

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査ほ場数	発生確認ほ場率 (%)	虫数 (頭)	調査ほ場数	発生確認ほ場率 (%)	虫数 (頭)
山城	6・3～4	6年	6	0.0	0.0	5	0.0	0.0
		5年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		平年	—	3.3	2.3	—	8.5	0.4
	7・3～4	6年	6	50.0	3.2	6	50.0	2.7
		5年	6	33.3	0.8	6	16.7	0.3
		平年	—	46.7	3.8	—	33.3	2.5
	8・3～4	6年	6	33.3	0.8	6	66.7	2.8
		5年	6	16.7	3.0	6	66.7	1.2
		平年	—	66.7	15.7	—	65.0	32.2
南丹	6・3～4	6年	9	0.0	0.0	9	11.1	0.1
		5年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	—	0.0	0.0	—	0.0	0.0
	7・3～4	6年	8	12.5	0.5	8	0.0	0.0
		5年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	—	16.7	0.4	—	4.4	0.1
	8・3～4	6年	8	0.0	0.0	8	0.0	0.0
		5年	8	0.0	0.0	9	11.1	0.1
		平年	—	13.3	0.3	—	12.2	3.8
中丹	6・3～4	6年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		5年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		平年	—	3.3	0.03	—	5.0	0.1
	7・3～4	6年	6	16.7	0.5	6	16.7	1.5
		5年	6	16.7	0.2	6	16.7	0.2
		平年	—	33.3	2.1	—	18.3	0.4
	8・3～4	6年	6	33.3	0.7	6	16.7	14.5
		5年	6	16.7	0.2	6	33.3	0.3
		平年	—	25.0	0.7	—	28.3	3.8
丹後	6・3～4	6年	9	0.0	0.0	9	11.1	0.2
		5年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	—	1.1	0.1	—	5.6	0.1
	7・3～4	6年	9	22.2	0.2	9	0.0	0.0
		5年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	—	16.7	0.8	—	5.6	0.1
	8・3～4	6年	9	0.0	0.0	9	11.1	0.3
		5年	9	33.3	0.4	9	11.1	4.1
		平年	—	17.8	0.8	—	25.6	4.1

表14 本田におけるツマグロヨコバイの発生程度別ほ場割合 (20回振りすくい取り)

調査時期 (月・半旬)	調査ほ場数	甚 (%)	多 (%)	中 (%)	少 (%)	無 (%)
6・3	29	0.0	0.0	0.0	6.9	93.1
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	16.7	83.3
8・3～4	29	0.0	0.0	3.4	17.2	79.3

セ セジロウンカ（指定）

予察灯への初飛来は、京田辺（7月2日）、京丹後市（6月20日）で平年比やや早く、亀岡（7月1日）で平年比早かった。

本田では7月から府内全域で発生を認め、府全体で平年比多い発生で推移した。

表15 セジロウンカの予察灯への初飛来日

年次	月・日		
	京田辺	亀岡	京丹後
6年	7.2	7.1	6.20
5年	(9.22)	(8.13)	6.30
平年	7.5	7.11	7.1

* 8月以降の初飛来日は（ ）で記載。

平年値は7月6半旬までの飛来日より算出。

表16 本田におけるセジロウンカの生息密度調査

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)
山城	6・3～4	6年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		5年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		平年	—	5.3	0.07	—	8.0	0.2
	7・3～4	6年	6	83.3	59.0	6	83.3	7.0
		5年	6	33.3	6.0	6	0.0	0.0
		平年	—	75.0	13.3	—	45.0	1.9
	8・3～4	6年	6	50.0	16.0	6	50.0	7.3
		5年	6	66.7	18.8	6	50.0	1.7
		平年	—	73.3	31.7	—	51.7	13.9
南丹	6・3～4	6年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		5年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	—	1.1	0.01	—	4.4	0.09
	7・3～4	6年	8	87.5	7.3	8	33.3	2.4
		5年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	—	34.4	1.3	—	11.1	0.1
	8・3～4	6年	8	37.5	1.3	8	87.5	10.0
		5年	9	11.1	0.1	9	55.6	5.7
		平年	—	45.6	2.3	—	47.8	7.8
中丹	6・3～4	6年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		5年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		平年	—	0.0	0.0	—	1.7	0.02
	7・3～4	6年	6	83.3	7.5	6	50.0	2.8
		5年	6	50.0	1.8	6	33.3	1.5
		平年	—	56.7	2.2	—	26.7	0.7
	8・3～4	6年	6	50.0	1.3	6	50.0	3.3
		5年	6	33.3	0.7	6	33.3	2.0
		平年	—	70.0	3.0	—	55.0	11.0
丹後	6・3～4	6年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		5年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		平年	—	1.1	0.01	—	6.7	0.08
	7・3～4	6年	9	88.9	39.7	9	66.7	7.2
		5年	9	0.0	0.0	9	11.1	0.6
		平年	—	35.6	2.2	—	12.2	0.2
	8・3～4	6年	9	33.3	2.8	9	55.6	1.8
		5年	9	33.3	0.9	9	44.4	3.1
		平年	—	44.4	2.6	—	67.8	16.9

表17 本田におけるセジロウンカの発生程度別ほ場割合（20回振りすくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
6・3	29	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	56.7	43.3
8・3～4	29	0.0	0.0	0.0	58.6	41.4

ソ トビイロウンカ（指定）

予察灯への初飛来は京田辺で8月24日、亀岡で9月25日、京丹後で8月13日であった。

本田での発生は未確認。

表18 トビイロウンカの予察灯への初飛来日

年次	月・日		
	京田辺	亀岡	京丹後
6年	(8.24)	(9.25)	(8.13)
5年	(9.20)	(9.27)	(9.21)
平年	7.9	7.6	7.11

* 8月以降の初飛来日は（ ）で記載。
平年値は7月6半旬までの飛来日より算出。

表19 本田におけるトビイロウンカの生息密度調査

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	25株見取り			20回振りすくい取り		
			調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)
山城	7・3～4	6年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		5年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
	8・3～4	6年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		5年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
	9・3～4	6年	5	0.0	0.0	5	0.0	0.0
		5年	5	0.0	0.0	5	0.0	0.0
南丹	7・3～4	6年	8	0.0	0.0	8	0.0	0.0
		5年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
	8・3～4	6年	8	0.0	0.0	8	0.0	0.0
		5年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
	9・3～4	6年	3	0.0	0.0	3	0.0	0.0
		5年	2	0.0	0.0	2	0.0	0.0
中丹	7・3～4	6年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		5年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
	8・3～4	6年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		5年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
	9・3～4	6年	1	0.0	0.0	1	0.0	0.0
		5年	3	0.0	0.0	3	0.0	0.0
丹後	7・3～4	6年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		5年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
	8・3～4	6年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
		5年	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
	9・3～4	6年	1	0.0	0.0	1	0.0	0.0
		5年	1	0.0	0.0	1	0.0	0.0

表20 本田におけるトビイロウンカの発生程度別ほ場割合（25株見取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
8・3～4	29	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
9・3～4	10	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

表21 本田におけるトビイロウンカの発生程度別ほ場割合（20回すくい取り）

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚(%)	多(%)	中(%)	少(%)	無(%)
7・3～4	30	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
8・3～4	29	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
9・3～4	10	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

タ ニカメイガ（指定）

巡回調査では発生を認めなかった。

チ コブノメイガ（指定）

巡回調査では発生を認めなかったが、7月中旬に普及センターから被害報告があった。

ツ イネミズゾウムシ (指定)

予察灯への初飛来は京田辺 (5月11日) で平年並、亀岡 (4月20日) で平年比早く、京丹後 (5月16日) では平年比やや遅かった。

予察灯への誘殺数 (4月第1半旬～5月第2半旬) は、京田辺及び亀岡で平年並、京丹後で平年比やや少なかった。

本田での発生量は府内全体で平年並み、発生面積は平年比やや多かった。

表22 イネミズゾウムシ越冬世代成虫の予察灯への初飛来日と総誘殺数

年度	京田辺		亀岡		京丹後	
	初飛来日 (月.日)	総誘殺数 (頭)	初飛来日 (月.日)	総誘殺数 (頭)	初飛来日 (月.日)	総誘殺数 (頭)
6年	5.11	59	4.20	141	5.16	81
5年	5.21	38	4.20	499	4.13	93
平年	5.11	57.6	5.1	404.3	5.13	96.3

表23 本田におけるイネミズゾウムシの生育密度調査 (6月第3～4半旬)

地域	年次	調査ほ場数	被害確認 ほ場率 (%)	食害株率 (%)	被害度	虫数 (頭)
山城	6年	6	16.7	5.3	1.3	2.2
	5年	6	66.7	31.3	10.7	1.8
	平年	—	53.3	21.7	6.1	0.4
南丹	6年	9	88.9	55.1	14.2	1.6
	5年	9	100.0	64.0	16.8	2.8
	平年	—	86.7	62.5	16.8	1.3
中丹	6年	6	100.0	58.0	14.5	0.3
	5年	6	100.0	62.7	15.7	1.7
	平年	—	98.3	63.1	16.5	0.8
丹後	6年	9	66.7	25.8	6.4	0.0
	5年	9	77.8	32.4	7.4	0.3
	平年	—	82.2	45.4	11.5	0.6

* 虫数は25株見取りによる1ほ場当たりの平均値。

表24 本田におけるイネミズゾウムシの発生程度別ほ場割合 (25株見取り)

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚 (%)	多 (%)	中 (%)	少 (%)	無 (%)
5・3～4	15	0.0	0.0	6.7	73.3	20.0
6・3～4	30	0.0	0.0	13.3	56.7	30.0

テ 斑点米カメムシ類 (指定)

本田での発生は、6月は発生を認めず平年並、7月地域により差が大きい7～8月にやや多くなった。

畦畔雑草での発生は、6月は中丹地域でやや多くなり、7～8月は中丹地域及び丹後地域で平年比やや多い発生となった。

予察灯 (60W) へのアカスジカスミカメの誘殺数は平年比やや多くなり、アカヒゲホソミドリカスミカメの誘殺数は平年並となった。

優占種は、アカスジカスミカメ、ホソヘリカメムシ、クモヘリカメムシであった。近年はイネカメムシの発生が目立つ。

表25 本田における斑点米カメムシ類の発生程度別ほ場割合 (20回振りすくい取り)

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	甚 (%)	多 (%)	中 (%)	少 (%)	無 (%)
6・3～4	29	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
7・3～4	30	0.0	3.3	10.0	10.0	76.7
8・3～4	29	0.0	20.7	13.8	20.7	44.8
9・3～4	10	0.0	0.0	0.0	20.0	80.0

表26 畦畔における斑点米カメムシ類の虫数別ほ場割合 (20回振りすくい取り)

調査時期(月・半旬)	調査ほ場数	31頭≤ (%)	11～30頭 (%)	4～10頭 (%)	1～3頭 (%)	0頭 (%)
6・3～4	28	0.0	0.0	3.6	21.4	75.0
7・3～4	30	6.7	16.7	10.0	16.7	50.0
8・3～4	29	6.9	3.4	13.8	24.1	51.7

表27 斑点米カメムシ類の生息密度調査（20回振りすくい取り）

地域	調査時期 (月・半旬)	年次	本田			畦畔		
			調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)	調査 ほ場数	発生確認 ほ場率(%)	虫数 (頭)
山城	6・3～4	6年	6	0.0	0.0	6	0.0	0.0
		5年	6	0.0	0.0	6	100.0	8.2
		平年	—	5.7	0.1	—	61.0	4.1
	7・3～4	6年	6	0.0	0.0	6	66.7	12.2
		5年	6	16.7	0.2	6	83.3	12.5
		平年	—	23.3	0.7	—	75.0	28.6
	8・3～4	6年	6	16.7	0.3	6	50.0	6.5
		5年	6	33.3	0.5	6	83.3	2.2
		平年	—	28.3	1.2	—	70.0	13.9
	9・3～4	6年	5	0.0	0.0	—	—	—
		5年	5	80.0	1.8	—	—	—
	南丹	6・3～4	6年	9	0.0	0.0	9	0.0
5年			9	0.0	0.0	9	44.4	0.7
平年			—	2.2	0.1	—	33.3	1.2
7・3～4		6年	8	0.0	0.0	9	22.2	1.1
		5年	9	55.6	0.6	9	44.4	1.1
		平年	—	22.2	0.5	—	50.0	2.4
8・3～4		6年	8	37.5	3.1	9	37.5	1.5
		5年	9	22.2	0.7	9	11.1	0.1
		平年	—	51.1	2.5	—	26.7	1.0
9・3～4		6年	3	0.0	0.0	—	—	—
		5年	4	50.0	5.0	—	—	—
中丹		6・3～4	6年	6	0.0	0.0	6	83.3
	5年		6	0.0	0.0	6	50.0	0.5
	平年		—	6.7	0.1	—	40.0	2.2
	7・3～4	6年	6	50.0	2.8	6	66.7	5.7
		5年	6	16.7	0.2	6	33.3	0.5
		平年	—	8.3	0.1	—	56.7	2.3
	8・3～4	6年	6	83.3	5.3	6	50.0	6.3
		5年	6	50.0	4.0	6	0.0	0.0
		平年	—	53.3	2.6	—	30.0	1.2
	9・3～4	6年	1	100.0	2.0	—	—	—
		5年	5	40.0	0.8	—	—	—
	丹後	6・3～4	6年	9	0.0	0.0	9	22.2
5年			9	0.0	0.0	9	11.1	0.3
平年			—	5.6	0.1	—	41.1	2.0
7・3～4		6年	9	44.4	3.0	9	55.6	6.3
		5年	9	22.2	0.2	9	22.2	1.3
		平年	—	14.4	0.4	—	37.8	4.8
8・3～4		6年	9	77.8	6.7	9	55.6	5.1
		5年	9	77.8	4.0	9	55.6	1.2
		平年	—	55.6	1.7	—	33.3	1.7
9・3～4		6年	1	100.0	1.0	—	—	—
		5年	1	100.0	1.0	—	—	—

表28 本田と畦畔での斑点米カメムシ類の種別構成割合（8月第3～4半旬）

年次	種構成割合(%)							
	シラホカメムシ	トゲシラホ カメムシ	ホハリカメムシ	クモリカメムシ	コハネネヨウタン ナガカメムシ	アカヒゲホリトドリ カスミカメ	アカシ カスミカメ	その他
6年	3.3	3.7	14.8	13.3	0.0	3.7	35.6	25.6
5年	2.0	2.0	7.0	25.0	0.0	10.0	43.0	5.0
4年	0.9	7.0	10.5	8.8	0.0	10.5	35.1	27.2
3年	4.1	23.0	6.8	6.8	0.0	2.7	50.0	6.8
2年	2.7	2.1	9.5	24.4	0.0	28.9	19.9	12.5
元年	18.2	3.6	23.4	24.0	0.0	8.9	20.3	1.6
30年	3.6	1.0	9.6	3.6	0.0	27.9	39.6	14.7
29年	1.8	4.2	9.6	4.2	0.0	10.2	46.7	23.4
28年	8.9	14.8	19.3	7.4	0.0	5.9	34.8	8.9
27年	2.5	9.9	12.3	39.5	0.0	7.4	22.2	6.2
26年	1.2	2.9	5.0	4.1	0.0	15.9	70.5	0.3

* 種構成割合は本田と畦畔における20回振りすくい取りの平均値。

- ト イネツトムシ (イチモンジセセリ)
6月に発生を認め、7月は平年並の発生となった。
- ナ フタオビコヤガ
巡回調査では発生を認めなかった。
- ニ イネクロカメムシ
巡回調査では発生を認めなかった。
- ヌ スクミリンゴガイ
山城及び南丹地域の一部で発生を認めた。

(2)麦類 病害虫の発生状況

表1 発生量の平年比較

病名	麦の種類	4月	5月
赤かび病	二条大麦	(-)	並(-)
	小麦	-	並(-)
うどんこ病	二条大麦	(-)	-
	小麦	(-)	(-)

-:調査せず、(+):発生を認めた、(-):発生を認めず

表2 巡回調査結果

麦の種類	調査時期 (月・半月)	年次	赤かび病			うどんこ病		
			発病穂率 (%)	発病度	確認ほ率 (%)	発斑面積率 (%)	発病茎率 (%)	確認ほ率 (%)
二条大麦	4・3～4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		平年	-	-	-	-	-	-
	5・3～4	6年	0.0	0.0	0.0	-	-	-
		5年	0.0	0.0	0.0	-	-	-
		平年	0.1	0.01	1.7	-	-	-
小麦	4・3～4	6年	-	-	-	0.0	0.0	0.0
		5年	-	-	-	0.0	0.0	0.0
		平年	-	-	-	-	-	-
	5・3～4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		平年	0.3	0.06	6.7	-	-	-

注)調査場所:(二条大麦)亀岡市、(小麦)綾部市、福知山市

(3) 黒大豆

病害虫の発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	7月	8月	9月	10月(英)	全期間
モザイク病	並	—	—	—	並
べと病	—	並	並	—	並
葉焼病	並(-)	並	並	—	並
ハダニ類	やや少(-)	少(-)	並	—	やや少
アブラムシ類	並(-)	並(-)	やや少(-)	—	並
フタスジヒメハムシ	並(-)	並	並	並	並
吸実性カメムシ類	並(-)	多	やや少	—	やや多
ハスモンヨトウ	並(-)	やや少	並	—	やや少
サヤムシガ類	やや少	少	多	—	並
食葉性チャウ目幼虫	多	やや少	(+)	—	やや多
チョウ目害虫	—	—	—	やや多	—
マメシンクイガ	—	—	—	(-)	—

—：調査せず、(+):発生を認めた、(-):発生を認めず

表2 巡回調査結果

調査時期 (月・半年)	年次	モザイク病		べと病			葉焼病		
		発病株率 (%)	確認ほ率 (%)	発病株率 (%)	発病度 (指数)	確認ほ率 (%)	発病株率 (%)	発病度 (指数)	確認ほ率 (%)
7・3~4	6年	1.8	50.0	—	—	—	0.0	0.00	0.0
	5年	0.5	37.5	—	—	—	0.5	0.03	12.5
	平年	8.3	67.5	—	—	—	1.2	0.29	10.0
8・3~4	6年	—	—	9.0	2.3	37.5	10.5	2.6	75.0
	5年	—	—	1.0	0.3	12.5	1.5	0.4	12.5
	平年	—	—	13.0	3.2	31.3	13.4	3.4	41.3
9・3~4	6年	—	—	39.5	9.9	75.0	67.5	17.3	100.0
	5年	—	—	37.6	7.6	50.0	44.0	11.5	87.5
	平年	—	—	39.9	9.1	55.0	65.0	16.6	87.5

調査時期 (月・半年)	年次	ハダニ類			アブラムシ類			フタスジヒメハムシ		
		寄生株率 (%)	25小葉 当虫数 (頭)	確認ほ率 (%)	寄生株率 (%)	25小葉 当虫数 (頭)	確認ほ率 (%)	寄生株率 (%)	25株当 虫数(頭)	確認ほ率 (%)
7・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.1	12.5
	平年	0.5	0.5	12.5	0.4	0.2	10.0	0.4	0.1	7.5
8・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.3	25.0
	5年	11.5	23.5	87.5	0.5	0.1	12.5	0.0	0.0	0.0
	平年	19.6	82.1	61.3	0.2	0.05	3.8	1.2	0.3	22.5
9・3~4	6年	6.0	20.6	62.5	0.0	0.0	0.0	20.0	6.1	62.5
	5年	12.0	29.9	37.5	0.5	0.4	12.5	4.5	1.4	50.0
	平年	15.0	62.8	53.8	2.9	3.5	30.0	13.6	5.7	55.0

調査時期 (月・半年)	年次	サヤムシガ類				ハスモンヨトウ				食葉性チャウ目幼虫		
		寄生株率 (%)	被害株率 (%)	寄生株 確認ほ率 (%)	被害株 確認ほ率 (%)	200莢当 虫数(頭)	寄生株率 (%)	25株当 虫数(頭)	寄生株 確認ほ率 (%)	白変葉 箇所数 /10a	寄生株率 (%)	確認ほ率 (%)
7・3~4	6年	1.5	3.5	37.5	37.5	—	0.0	0.0	0.0	0.00	1.0	25.0
	5年	0.5	1.0	12.5	12.5	—	0.0	0.0	0.0	0.38	0.5	12.5
	平年	2.6	8.1	35.0	66.3	—	0.1	0.01	1.3	0.06	0.2	6.3
8・3~4	6年	0.0	2.0	0.0	25.0	—	0.0	0.0	0.0	2.0	1.0	25.0
	5年	1.0	6.0	12.5	50.0	—	2.5	3.9	25.0	3.9	3.0	62.5
	平年	2.5	15.3	30.0	67.5	—	1.7	2.2	26.3	2.2	2.6	35.0
9・3~4	6年	1.5	1.0	25.0	12.5	1.0	0.5	0.1	12.5	6.0	6.5	37.5
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	2.9	75.0	4.4	6.1	87.5
	平年	0.2	—	3.8	—	0.04	5.0	2.4	40.0	6.5	—	—

調査時期 (月・半年)	年次	吸実性カメムシ類		
		寄生株率 (%)	25小葉 当虫数(頭)	確認ほ率 (%)
7・3~4	6年	0.0	0.0	0.0
	5年	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	0.01	1.3
8・3~4	6年	4.0	1.4	50.0
	5年	2.0	0.5	25.0
	平年	1.2	0.5	21.3
9・3~4	6年	1.0	0.4	25.0
	5年	3.0	1.1	37.5
	平年	2.4	0.9	37.5

調査時期 (月・半年)	年次	フタスジヒメハムシ		チョウ目害虫		マメシンクイガ	
		食害莢率 (%)	確認ほ率 (%)	食害莢率 (%)	確認ほ率 (%)	食害莢率 (%)	確認ほ率 (%)
10・3~4	6年	5.4	75.0	0.9	87.5	0.0	0.0
	5年	1.9	62.5	0.9	50.0	0.0	0.0
	平年	4.6	85.0	1.1	65.0	—	—

(4) 小豆

病害虫の発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	8月	9月	10月(莢)	全期間
モザイク病	やや多	—	—	やや多
うどんこ病	—	並(-)	—	並(-)
炭そ病	並(-)	並	—	並
さび病	並(-)	少(-)	—	やや少(-)
ハダニ類	並(-)	やや多	—	やや多
アブラムシ類	やや多	並	—	やや多
ハスモンヨトウ	並	やや多	—	やや多
サヤムシガ類	並(-)	やや多	—	やや多
アズキノメイガ	—	やや多	—	やや多
マメノメイガ	—	並	—	並
オオタバコガ	—	やや多	—	やや多
食葉性チョウ目幼虫	(+)	(+)	—	(+)
吸実性カメムシ類	—	(+)	—	(+)
チョウ目害虫	—	—	多	—

—：調査せず、(+):発生を認めた、(-):発生を認めず

表2 巡回調査結果

調査時期 (月・半旬)	年次	モザイク病		うどんこ病		炭そ病		さび病	
		発病株率 (%)	確認ほ率 (%)	発病株率 (%)	確認ほ率 (%)	発病株率 (%)	確認ほ率 (%)	発病株率 (%)	確認ほ率 (%)
8・3~4	6年	2.6	60.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.4	10.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.1	32.9	—	—	0.1	2.7	0.3	3.2
9・3~4	6年	—	—	0.0	0.0	3.2	20.0	0.0	0.0
	5年	—	—	0.0	0.0	0.7	8.3	0.0	0.0
	平年	—	—	0.04	0.0	8.3	34.5	19.3	34.5

調査時期 (月・半旬)	年次	ハダニ類			アブラムシ類			ハスモンヨトウ			
		寄生 株率 (%)	25小葉 当虫数 (頭)	確認 ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	25小葉 当虫数 (頭)	確認 ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	25株当 虫数 (頭)	白変葉 箇所数 /10a	寄生株確認 ほ率 (%)
8・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	1.2	0.3	10.0	0.0	0.0	0.9	0.0
	5年	0.4	0.1	10.0	0.0	0.0	10.0	0.8	0.2	1.8	10.0
	平年	0.5	0.5	9.9	0.7	0.3	8.7	0.3	0.1	1.4	5.4
9・3~4	6年	13.2	28.7	60.0	0.4	1.0	10.0	3.6	1.1	3.8	70.0
	5年	8.3	20.3	41.7	0.3	1.4	25.0	2.3	0.8	3.0	41.7
	平年	4.7	11.3	42.3	0.5	0.4	15.1	2.2	0.8	1.9	34.8

調査時期 (月・半旬)	年次	サヤムシガ類			アズキノメイガ			マメノメイガ			
		寄生 株率 (%)	被害 株率 (%)	寄生株確 認ほ率 (%)	被害株 確認ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	被害 株率 (%)	被害株 確認ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	200花・莢 当虫数 (頭)	寄生株確認 ほ率 (%)
8・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	平年	0.2	0.4	2.7	7.7	—	—	—	—	—	—
9・3~4	6年	1.6	1.6	30.0	30.0	5.2	4.8	50.0	3.2	1.9	30.0
	5年	0.7	2.3	8.3	33.3	0.0	0.7	8.3	0.0	0.0	0.0
	平年	0.8	2.9	12.3	33.4	1.5	2.2	29.8	6.2	3.0	41.8

調査時期 (月・半旬)	年次	オオタバコガ		食葉性チョウ目幼虫		吸実性カメムシ類		
		寄生 株率 (%)	寄生株 確認ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	寄生株 確認ほ率 (%)	寄生 株率 (%)	25株当 虫数 (頭)	確認 ほ率 (%)
8・3~4	6年	—	—	2.0	40.0	—	—	—
	5年	—	—	1.6	40.0	—	—	—
	平年	—	—	—	—	—	—	—
9・3~4	6年	2.8	40.0	0.4	10.0	1.6	0.7	30.0
	5年	0.7	8.3	7.7	58.3	1.7	0.6	50.0
	平年	2.3	30.0	—	—	—	—	—

調査時期 (月・半旬)	年次	チョウ目害虫	
		食害率 (%)	確認ほ率 (%)
10・3~4	6年	22.3	100.0
	5年	0.9	100.0
	平年	1.1	100.0

(5) ナシ

病害虫の発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
黒斑病	多	並	やや多	やや多	並	並	やや多
黒星病	並	やや少	少(-)	並	並	やや多	並
赤星病	並	やや少(-)	並	並	並(-)	並(-)	並
うどんこ病	-	並(-)	並(-)	少(-)	少(-)	少	やや少
ハダニ類	並(-)	並(-)	やや少	少(-)	並	並	やや少
アブラムシ類	(-)	(-)	(-)	(-)	-	-	(-)
ハマキムシ類	(-)	(-)	(-)	(-)	-	-	(-)
カメムシ類	並(-)	並(-)	多	-	-	-	多
シンクイムシ類	-	並(-)	並(-)	並(-)	-	-	並(-)
カイガラムシ類	(-)	(-)	(-)	(-)	-	-	(-)

- : 調査せず、(+): 発生を認めた、(-): 発生を認めず

表2 巡回調査結果(ナシ、5~10月)

(%)

調査時期 (月・半月)	年次	黒斑病		黒星病		赤星病		うどんこ病	
		発病葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率
5・3~4	6年	4.6	80.0	0.3	25.0	0.1	10.0	-	-
	5年	3.6	100.0	5.6	80.0	0.0	0.0	-	-
	平年	1.3	41.5	1.0	24.0	0.6	11.1	-	-
6・3~4	6年	2.6	80.0	0.3	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	13.0	100.0	8.8	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	4.5	69.7	4.4	46.0	0.6	20.1	0.02	1.7
7・3~4	6年	10.8	100.0	0.0	0.0	0.3	10.0	0.0	0.0
	5年	15.4	100.0	13.6	60.0	0.1	9.1	0.0	0.0
	平年	7.7	80.3	5.3	52.0	0.6	14.4	0.9	9.7
8・3~4	6年	11.6	100.0	1.8	50.0	0.1	10.0	0.0	0.0
	5年	16.2	100.0	13.6	80.0	0.3	27.3	0.0	0.0
	平年	8.4	90.3	4.9	44.0	0.2	14.4	2.4	21.6
9・3~4	6年	13.8	100.0	3.8	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	24.6	100.0	12.6	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	16.4	94.0	5.9	50.0	0.1	9.1	6.6	37.7
10・3~4	6年	19.8	80.0	6.5	50.0	0.0	0.0	2.4	30.0
	5年	20.0	100.0	8.5	80.0	0.0	0.0	10.2	63.4
	平年	18.6	92.7	3.4	38.0	0.01	0.9	25.1	82.1

(%)

調査時期 (月・半月)	年次	ハダニ類		アブラムシ類		ハマキムシ類		カメムシ類		シンクイムシ類		カイガラムシ類	
		寄生葉率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率	被害果率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率	被害果率	ほ場率
5・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	-	-	-	-	0.2	5.6	-	-	-	-
6・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.0	0.0	1.3	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.8	15.9	-	-	-	-	0.3	9.0	0.0	0.0	-	-
7・3~4	6年	0.3	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
	平年	5.8	33.6	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
8・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.2	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0	-	-
	平年	8.6	52.3	-	-	-	-	-	-	0.04	1.8	-	-
9・3~4	6年	1.6	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5年	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	平年	4.6	42.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10・3~4	6年	0.7	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5年	0.1	9.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	平年	2.0	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(6) ブドウ

病害虫の発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	5月	6月	7月	8月	9月	全期間
べと病	並(-)	並(-)	やや少	並	並	並
うどんこ病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
灰色かび病	(-)	(-)	-	-	-	-
さび病	-	-	並(-)	並(-)	並	並
褐斑病	-	並(-)	並(-)	並(-)	並	並
ハダニ類	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
チャノキイロアザミウマ	-	(-)	-	-	-	-

- : 調査せず、 (+) : 発生を認めた、 (-) : 発生を認めず

表2 巡回調査結果(ブドウ)

(%)

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病		うどんこ病		灰色かび病		さび病	
		発病葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率	発病花 (果)穂率	ほ場率	発病葉率	ほ場率
5・3～4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	平年	0.02	1.8	0.0	0.0	—	—	—	—
6・3～4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	1.2	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.8	20.0	0.02	1.7	—	—	0.0	0.0
7・3～4	6年	0.3	16.7	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	5年	1.2	33.3	0.17	16.7	—	—	0.0	0.0
	平年	3.3	41.7	0.02	1.7	—	—	0.0	0.0
8・3～4	6年	2.2	50.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
	5年	3.5	50.0	0.0	0.0	—	—	2.0	66.7
	平年	4.0	58.3	0.1	3.3	—	—	1.3	23.3
9・3～4	6年	8.5	83.3	0.0	0.0	—	—	13.5	33.3
	5年	17.5	100.0	0.0	0.0	—	—	15.8	66.7
	平年	9.3	80.0	0.3	5.0	—	—	10.4	53.3

(%)

調査時期 (月・半旬)	年次	褐斑病		ハダニ類		チャノキイロ アザミウマ	
		発病葉率	ほ場率	寄生葉率	ほ場率	発病葉率	ほ場率
5・3～4	6年	—	—	0.0	0.0	—	—
	5年	—	—	0.0	0.0	—	—
	平年	—	—	0.02	1.7	—	—
6・3～4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.1	5.0	—	—
7・3～4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.3	33.3	0.0	0.0	—	—
	平年	0.07	5.0	0.1	3.3	—	—
8・3～4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	平年	1.8	18.3	0.6	1.7	—	—
9・3～4	6年	0.3	16.7	0.0	0.0	—	—
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	平年	3.1	23.3	0.1	6.7	—	—

(7)カキ

病害虫の発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
うどんこ病	少(-)	やや少	やや少	少	少	少	やや少
落葉病	—	—	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
炭疽病	並(-)※	並(-)※	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
カキクダアザミウマ	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
チャノキアザミウマ	—	—	並(-)	並	やや少(-)	やや少(-)	並
カイガラムシ類	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並	並	並
ハダニ類	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
カキノヘタムシガ	—	—	—	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
カメムシ類	—	並(-)	多	多	多	多	多
ハマキムシ類※	—	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)

—：調査せず、(+)：発生を認めた、(-)：発生を認めず

※印を付した病害虫は例年比を示す。

表2 巡回調査結果(カキ、5～10月)

(%)

調査時期 (月・半旬)	年次	うどんこ病		落葉病		炭疽病		
		発病率	ほ場率	発病率	ほ場率	発病新梢率	被害果率	ほ場率
5・3～4	6年	0.0	0.0	—	—	0.0	—	0.0
	5年	3.7	66.7	—	—	0.0	—	0.0
	平年	2.0	56.7	—	—	—	—	—
6・3～4	6年	5.0	66.7	—	—	0.0	—	0.0
	5年	5.0	66.7	—	—	0.0	—	0.0
	平年	20.1	96.7	—	—	—	—	—
7・3～4	6年	10.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	15.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	28.8	100.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0
8・3～4	6年	2.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	15.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	28.2	100.0	0.0	0.0	—	0.0	3.3
9・3～4	6年	3.3	66.7	0.0	0.0	—	0.0	0.0
	5年	17.3	66.7	0.0	0.0	—	0.0	0.0
	平年	28.3	96.7	0.3	13.3	—	0.1	10.0
10・3～4	6年	2.3	66.7	0.0	0.0	—	0.0	0.0
	5年	9.7	100.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0
	平年	37.1	96.7	0.3	16.7	—	0.6	26.7

(%)

調査時期 (月・半旬)	年次	カキクダアザミウマ			チャノキアザミウマ		カイガラムシ類		
		被害率	被害果率	ほ場率	被害率	ほ場率	寄生率	寄生果率	ほ場率
5・3～4	6年	0.0	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0
	5年	0.0	—	0.0	—	—	0.0	—	0.0
	平年	0.0	—	0.0	—	—	0.03	—	3.3
6・3～4	6年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.0	0.0
	5年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.3	33.3
	平年	0.0	0.0	0.0	—	—	—	0.1	6.7
7・3～4	6年	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0
	5年	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.7	33.3
	平年	—	0.5	10.0	0.5	23.3	—	0.5	20.0
8・3～4	6年	—	0.0	0.0	0.7	33.3	—	0.0	0.0
	5年	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0
	平年	—	0.1	3.3	2.1	36.7	—	0.8	30.0
9・3～4	6年	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	3.3	33.3
	5年	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0
	平年	—	0.1	3.3	4.9	46.7	—	1.5	36.7
10・3～4	6年	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0
	5年	—	0.0	0.0	0.0	0.0	—	0.0	33.3
	平年	—	0.1	6.7	3.8	50.0	—	1.4	30.0

(%)

調査時期 (月・半旬)	年次	ハダニ類		カキノヘタムシガ		カメムシ類		ハマキムシ類	
		寄生率	ほ場率	被害率	ほ場率	被害率	ほ場率	寄生率	ほ場率
5・3～4	6年	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	5年	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
	平年	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—
6・3～4	6年	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	3.3	—	—	0.0	0.0	—	—
7・3～4	6年	0.0	0.0	—	—	1.3	33.3	0.0	0.0
	5年	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	—	—	0.2	6.7	—	—
8・3～4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	33.3	0.0	0.0
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
9・3～4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	14.7	100.0	0.0	0.0
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.2	13.3	0.0	0.0	0.1	3.3	—	—
10・3～4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	38.0	66.7	0.0	0.0
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.3	6.7	0.3	3.3	0.5	13.3	—	—

(8)カンキツ

病害虫の発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	全期間
そうか病	多	多	多	多	多	多	多
かいよう病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
黒点病	—	—	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
ハダニ類	やや多	少(-)	やや少	やや少	やや少(-)	やや少	やや少
ヤノネカイガラムシ	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
ミカンハモグリガ	多	並(-)	多	多	やや多	やや多	多
アブラムシ類	—	(-)	(-)	(-)	(+)	(-)	—
アザミウマ類	—	—	(-)	(-)	(-)	(-)	—

—：調査せず、(+)：発生を認めた、(-)：発生を認めず

表2 巡回調査結果(カンキツ、4～9月)

(%)

調査時期 (月・半旬)	年次	そうか病			かいよう病			黒点病	
		発病度 (葉)	発病度 (果実)	ほ場率	発病度 (葉)	発病度 (果実)	ほ場率	発病度 (果実)	ほ場率
4・3～4	6年	1.2	—	33.3	0.0	—	0.0	—	—
	5年	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—
	平年	0.03	—	6.7	0.0	—	0.0	—	—
5・3～4	6年	10.3	—	100.0	0.0	—	0.0	—	—
	5年	0.0	—	0.0	0.0	—	0.0	—	—
	平年	0.01	—	3.3	0.0	—	0.0	—	—
6・3～4	6年	6.7	4.1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.3	1.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.05	0.1	11.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7・3～4	6年	2.1	2.5	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.0	1.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.2	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8・3～4	6年	1.4	0.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.0	0.1	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.03	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9・3～4	6年	10.0	20.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	0.1	13.3	0.0	0.0	0.0	0.8	3.3

調査時期 (月・半旬)	年次	ハダニ類		ヤノネカイガラムシ			ミカンハモグリガ		アブラムシ類		アザミウマ類	
		寄生葉率	ほ場率	寄生葉率	寄生果率	ほ場率	被害葉率	ほ場率	寄生新梢率	ほ場率	被害果率	ほ場率
4・3～4	6年	1.3	66.7	0.0	—	0.0	21.3	100.0	—	—	—	—
	5年	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	—	—	—	—
	平年	1.6	33.3	1.1	—	21.7	1.6	40.0	—	—	—	—
5・3～4	6年	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—
	5年	4.7	33.3	0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.3	33.3	—	—
	平年	4.6	50.0	0.4	—	13.3	0.4	13.3	—	—	—	—
6・3～4	6年	0.3	33.3	0.0	0.0	0.0	2.7	66.7	0.0	0.0	—	—
	5年	6.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.3	33.3	4.0	66.7	—	—
	平年	11.8	63.3	0.1	0.0	10.0	0.5	30.0	—	—	—	—
7・3～4	6年	0.7	33.3	0.0	0.0	0.0	2.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	1.7	33.3	0.7	0.0	33.3	0.3	33.3	0.7	33.3	0.0	0.0
	平年	16.6	60.0	0.1	0.2	10.0	0.7	33.3	—	—	—	—
8・3～4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	66.7	4.7	66.7	0.0	0.0
	5年	7.0	66.7	1.7	0.0	66.7	2.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	15.5	56.7	0.2	0.2	10.0	1.0	43.3	—	—	—	—
9・3～4	6年	2.3	33.3	0.0	0.0	0.0	10.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	4.3	33.3	0.3	0.0	33.3	6.3	100.0	1.3	33.3	0.0	0.0
	平年	8.9	66.7	0.3	0.00	16.7	3.3	70.0	—	—	—	—

(9) 茶 樹

生育状況

3月第6半旬から平均気温が平年より高く推移し、本年の自然仕立の一番茶萌芽期は、平年より2日早い4月2日となった。弧状仕立て園は、平年より2日早い4月6日に萌芽期に達した。

4月30日時点の生育は、自然仕立てでは新芽長16.3cm、新葉数4.0枚、弧状仕立てでは新芽長10.4cm、新葉数3.8枚になった。萌芽期以降の平均気温が平年より高く推移したため、新芽の生育は早く進んだ。

(宇治茶部発表の「令和6年一番茶萌芽・生育状況」一部抜粋)

病害虫の発生状況

ア 炭疽病 (指定)

表1 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	少	やや多	並	少	やや少	少	少
丹波	多	多	やや多	並	やや多	やや少	多
丹後	多	やや多	やや多	やや多	多	多	やや多

表2 発生状況

調査時期 (月・半旬)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	R6	0.0	0.0	32.0	83.3	73.3	100.0
	R5	1.0	16.7	0.5	33.3	0.0	0.0
	平年	4.9	52.0	5.4	40.0	5.0	42.5
5. 3 ~ 5. 4	R6	16.2	50.0	12.3	50.0	0.5	50.0
	R5	0.2	9.1	0.0	0.0	0.5	25.0
	平年	0.9	29.5	0.1	1.7	0.8	17.5
6. 3 ~ 6. 4	R6	2.0	38.1	12.5	100.0	6.0	66.7
	R5	0.7	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	3.7	52.3	7.4	68.3	0.9	29.2
7. 3 ~ 7. 4	R6	0.0	0.0	15.5	66.7	4.8	50.0
	R5	0.8	21.4	2.3	25.0	0.7	33.3
	平年	0.8	23.9	6.8	59.3	1.3	36.7
8. 3 ~ 8. 4	R6	0.0	0.0	15.3	83.3	55.3	100.0
	R5	0.4	25.0	2.0	66.7	0.8	50.0
	平年	0.8	14.5	11.0	59.0	5.1	55.0
9. 3 ~ 9. 4	R6	0.0	0.0	2.3	33.3	35.3	100.0
	R5	0.6	25.0	3.2	83.3	13.3	75.0
	平年	0.9	16.7	2.9	51.7	2.6	43.3
10. 3 ~ 10. 4	R6	0.1	9.5	11.0	100.0	15.5	100.0
	R5	0.2	10.0	0.8	50.0	2.0	25.0
	平年	2.8	27.4	1.8	35.0	11.6	35.0

イ 輪斑病

表3 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	やや多	やや多	並	やや少	並	やや多
丹波	多	並	並	並	やや多	多	やや多
丹後	並	並	多	並	やや多	多	やや多

表4 発生状況

調査時期 (月・半月)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	R6	0.00	0.0	0.2	16.7	0.0	0.0
	R5	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.01	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0
5. 3 ~ 5. 4	R6	0.1	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5	0.4	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 3 ~ 6. 4	R6	0.29	9.5	0.0	0.0	0.3	33.3
	R5	0.00	0.0	5.5	50.0	0.0	0.0
	平年	0.15	4.4	0.7	11.7	0.1	5.0
7. 3 ~ 7. 4	R6	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5	0.36	7.1	0.3	25.0	0.7	33.3
	平年	0.32	4.6	0.2	8.3	0.1	5.8
8. 3 ~ 8. 4	R6	0.0	0.0	0.7	33.3	0.3	25.0
	R5	0.3	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.4	6.6	0.5	18.3	0.2	10.0
9. 3 ~ 9. 4	R6	0.41	13.6	4.2	100.0	6.3	50.0
	R5	0.15	10.0	1.2	83.3	0.3	25.0
	平年	0.42	12.0	1.4	35.0	1.1	25.8
10. 3 ~ 10. 4	R6	0.10	9.5	4.3	100.0	0.3	50.0
	R5	0.65	20.0	0.5	33.3	0.3	25.0
	平年	0.51	8.9	1.7	51.3	0.4	14.2

ウ 灰色かび病

表5 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	並	並	並	並	並
丹波	並	並	並	並	並	並	並
丹後	並	並	並	並	並	並	並

表6 発生状況

調査時期 (月・半月)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	R6	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0
	R5	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0
	平年	0.2	5.5	0.04	3.3	0.0	0.0
5. 3 ~ 5. 4	R6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 3 ~ 6. 4	R6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.03	2.5
7. 3 ~ 7. 4	R6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 3 ~ 8. 4	R6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9. 3 ~ 9. 4	R6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	3.3
10. 3 ~ 10. 4	R6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.03	3.3

エ 新梢枯死症

表7 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	並	並	並	多	並
丹波	多	並	並	並	並	やや多	やや多
丹後	並	並	並	並	並	やや多	やや多

表8 発生状況

調査時期 (月・半月)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	R6	0.0	0.0	0.2	16.7	0.0	0.0
	R5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	5.5	0.0	0.0	0.0	0.0
5. 3 ~ 5. 4	R6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5	0.2	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.03	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 3 ~ 6. 4	R6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7. 3 ~ 7. 4	R6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.01	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 3 ~ 8. 4	R6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	3.7	0.1	8.3	0.0	0.0
9. 3 ~ 9. 4	R6	1.4	22.7	5.3	50.0	5.0	25.0
	R5	0.3	10.0	0.5	33.3	0.0	0.0
	平年	1.1	12.4	0.8	28.3	0.1	5.0
10. 3 ~ 10. 4	R6	1.0	9.5	2.2	66.7	3.0	25.0
	R5	1.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.5	14.1	1.1	25.0	1.0	31.7

オ もち病

表9 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	やや多	並	並	並	並
丹波	並	並	並	並	並	並	並
丹後	並	並	並	並	並	並	並

表10 発生状況

調査時期 (月・半月)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	R6	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0
	R5	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0
	平年	0.7	0.9	0.00	0.0	0.0	0.0
5. 3 ~ 5. 4	R6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.01	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 3 ~ 6. 4	R6	0.1	19.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5	0.5	30.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.7	7.0	0.03	6.7	0.0	0.0
7. 3 ~ 7. 4	R6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	33.3
	平年	1.8	5.2	0.0	0.0	0.1	3.3
8. 3 ~ 8. 4	R6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.8	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
9. 3 ~ 9. 4	R6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.5	3.2	0.0	1.7	0.03	2.5
10. 3 ~ 10. 4	R6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.9	4.5	1.7	11.7	0.0	0.0

カ ネット病

表11 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	並	並	並	並	並
丹波	並	並	並	並	並	並	並
丹後	並	並	並	並	並	並	並

表12 発生状況

調査時期 (月・半月)	年次	山城		丹波		丹後	
		病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)	病葉数 (枚/m ²)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	R6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5. 3 ~ 5. 4	R6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6. 3 ~ 6. 4	R6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7. 3 ~ 7. 4	R6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8. 3 ~ 8. 4	R6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9. 3 ~ 9. 4	R6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0
10. 3 ~ 10. 4	R6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0

キ カンザワハダニ (指定)

表13 発生量の平年比較

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	やや少	やや少	並	やや少	少	並	並	並
丹波	並	やや多	やや多	並	やや多	並	やや少	やや多	多
丹後	並	並	並	並	少	やや多	並	並	並

表14 越冬状況 令和5年 2月、3月の越冬状況

調査時期 (月・半月)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生葉率 (%)	産卵葉率 (%)	発生ほ場率 (%)	寄生葉率 (%)	産卵葉率 (%)	発生ほ場率 (%)	寄生葉率 (%)	産卵葉率 (%)	発生ほ場率 (%)
2. 5	R6	0.1	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5	0.1	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	50.0
	平年	0.3	0.1	12.5	0.2	0.02	10.0	0.4	0.0	25.0
3. 4	R6	0.1	0.0	4.5	0.7	0.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	R5	0.5	0.4	22.7	1.3	0.0	50.0	1.0	0.0	50.0
	平年	0.9	0.3	22.7	1.0	0.1	23.3	1.3	0.3	22.5

表15 発生状況

調査時期 (月・半月)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生葉率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)	寄生葉率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)	寄生葉率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	R6	0.3	0.5	4.8	0.3	0.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	R5	1.3	7.1	31.8	0.0	0.0	0.0	1.3	27.3	33.3
	平年	0.7	5.1	17.3	0.1	0.3	5.0	0.8	7.5	15.8
5. 3 ~ 5. 4	R6	1.5	3.5	18.2	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	R5	4.5	11.4	59.1	0.0	0.0	0.0	21.0	189.5	50.0
	平年	1.5	4.9	23.8	0.1	0.2	3.7	3.3	24.5	22.5
6. 3 ~ 6. 4	R6	4.3	19.0	27.3	11.7	47.0	66.7	0.0	0.0	0.0
	R5	4.0	53.3	9.1	7.0	26.3	66.7	2.0	2.5	75.0
	平年	8.9	57.0	56.2	5.8	30.5	46.7	6.1	29.1	60.0
7. 3 ~ 7. 4	R6	0.3	0.5	13.6	0.7	1.0	16.7	2.5	18.0	25.0
	R5	1.7	2.8	22.2	0.3	0.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	平年	2.2	4.3	35.7	1.2	2.8	27.3	1.3	5.4	31.7
8. 3 ~ 8. 4	R6	3.6	6.2	45.5	0.3	3.3	16.7	4.0	10.5	50.0
	R5	6.6	38.2	45.0	17.3	94.0	100.0	2.0	10.0	100.0
	平年	4.5	15.9	35.2	10.0	71.6	65.0	4.6	30.4	50.0
9. 3 ~ 9. 4	R6	0.5	0.5	22.7	1.3	5.7	50.0	2.0	2.0	50.0
	R5	1.0	1.7	20.0	4.3	14.0	33.3	30.5	150.0	75.0
	平年	1.7	7.9	26.7	2.5	10.3	30.0	5.3	23.0	50.0
10. 3 ~ 10. 4	R6	0.7	1.0	14.3	2.0	3.7	50.0	0.0	0.0	25.0
	R5	0.2	0.2	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.0	2.8	17.3	0.5	1.6	20.0	0.9	2.8	25.0

ク チャノコカクモンハマキ (指定)

表16 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	並	並	やや多	やや多	並	並	並
丹波	やや多	並	少	並	やや多	並	多
丹後	多	並	並	やや多	並	並	やや多

表17 発生状況

調査時期 (月・半月)	年次	山城			丹波			丹後		
		幼虫・蛹数 (/㎡)	総葉数 (/㎡)	発生ほ場率 (%)	幼虫・蛹数 (/㎡)	総葉数 (/㎡)	発生ほ場率 (%)	幼虫・蛹数 (/㎡)	総葉数 (/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	R6	0.00	0.21	5.3	0.17	1.83	33.3	0.50	0.75	75.0
	R5	0.00	0.00	0.0	0.00	0.00	0.0	0.00	0.00	0.0
	平年	0.08	0.51	9.5	0.04	0.21	11.7	0.00	0.00	0.0
5. 3 ~ 5. 4	R6	0.00	0.00	0.0	0.00	0.00	0.0	0.00	0.00	0.0
	R5	0.00	0.00	0.0	2.50	2.50	50.0	0.00	0.00	0.0
	平年	0.04	0.07	2.8	0.25	0.39	10.7	0.10	0.20	3.3
6. 3 ~ 6. 4	R6	0.19	0.33	14.3	0.00	0.00	0.0	0.00	0.00	0.0
	R5	0.00	0.00	0.0	0.00	0.50	50.0	0.00	0.00	0.0
	平年	0.03	0.28	6.8	1.54	8.58	44.2	0.23	0.76	18.3
7. 3 ~ 7. 4	R6	0.63	1.50	62.5	0.83	1.00	33.3	0.00	0.50	25.0
	R5	1.36	3.93	42.9	0.33	0.67	66.7	0.00	0.00	0.0
	平年	0.21	0.51	12.5	1.68	3.82	40.8	0.34	0.68	8.3
8. 3 ~ 8. 4	R6	0.24	0.67	14.3	1.67	1.83	33.3	0.00	0.00	0.0
	R5	0.10	0.85	35.0	0.00	1.83	33.3	0.00	0.00	0.0
	平年	0.49	0.83	14.0	0.69	2.57	20.0	0.00	2.34	10.0
9. 3 ~ 9. 4	R6	0.20	0.45	13.6	0.00	6.00	50.0	0.00	0.50	25.0
	R5	0.20	0.45	20.0	5.83	11.67	16.7	0.00	0.00	0.0
	平年	0.06	3.68	20.7	0.70	3.38	35.0	0.33	2.01	17.5
10. 3 ~ 10. 4	R6	0.00	0.29	19.0	2.33	9.17	100.0	0.00	0.75	25.0
	R5	0.00	0.25	20.0	0.40	6.40	60.0	0.25	0.50	50.0
	平年	0.01	0.38	13.9	0.47	2.17	42.3	0.03	0.43	10.0

ケ チャノホソガ (指定)

表18 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	(やや少)	並	多	並	やや少	やや少	少
丹波	(並)	並	(やや少)	並	並	やや少	少
丹後	(並)	やや多	(やや少)	並	並	やや少	(並)

表19 発生状況

調査時期 (月・半月)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生芽率 (%)	三角葉巻数 (/㎡)	発生ほ場率 (%)	寄生芽率 (%)	三角葉巻数 (/㎡)	発生ほ場率 (%)	寄生芽率 (%)	三角葉巻数 (/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	R6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5	0.4	0.0	11.1	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.4	0.05	5.7	0.0	0.02	1.7	1.7	0.0	2.5
5. 3 ~ 5. 4	R6	0.2	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	2.0	3.5	50.0
	R5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	25.0
	平年	0.7	0.2	10.6	0.1	0.6	22.7	1.2	0.5	30.8
6. 3 ~ 6. 4	R6	6.7	1.5	71.4	14.0	0.2	66.7	2.0	0.0	33.3
	R5	6.7	0.7	30.8	100.0	12.0	75.0	10.7	0.3	66.7
	平年	2.8	0.1	21.8	(37.1)	(1.7)	51.7	(20.1)	(0.4)	49.2
7. 3 ~ 7. 4	R6	1.3	0.0	12.5	0.3	0.0	16.7	1.0	1.5	50.0
	R5	0.0	0.1	7.1	10.7	0.0	100.0	14.7	1.3	66.7
	平年	1.5	0.4	22.1	3.7	0.3	29.4	10.0	1.8	62.5
8. 3 ~ 8. 4	R6	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	16.7	0.5	0.0	25.0
	R5	0.1	0.1	10.0	0.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	平年	0.3	0.1	14.4	2.0	0.2	16.7	6.5	3.0	35.0
9. 3 ~ 9. 4	R6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	16.7	0.5	0.0	25.0
	R5	0.3	0.1	5.0	2.7	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	平年	2.8	0.9	28.4	2.6	0.4	51.7	2.5	1.0	52.5
10. 3 ~ 10. 4	R6	0.5	0.0	9.5	0.8	0.0	16.7	1.0	1.0	75.0
	R5	3.9	0.1	10.0	0.8	0.4	40.0	0.0	0.0	25.0
	平年	4.8	3.2	37.4	11.1	1.9	70.7	(6.4)	(2.3)	53.3

コ チャノキイロアザミウマ

表20 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	(並)	やや多	並	並	やや少	やや少	並
丹波	(やや多)	並	(並)	やや少	並	やや少	やや多
丹後	(やや少)	やや多	(やや多)	やや少	やや少	やや少	(並)

表21 発生状況

調査時期 (月・半月)	年次	山城			丹波			丹後		
		被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)	被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)	被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	R6	2.1	0.0	36.8	0.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	R5	4.4	4.1	44.4	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	平年	(1.9)	(1.3)	(30.0)	(0.1)	(0.0)	(9.4)	(8.0)	(0.0)	(40.0)
5. 3 ~ 5. 4	R6	3.3	4.9	28.6	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	100.0
	R5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	25.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.8	3.0	24.2	0.6	0.4	18.3	1.3	0.5	22.5
6. 3 ~ 6. 4	R6	3.2	0.8	58.3	12.0	12.8	80.0	40.0	34.0	100.0
	R5	5.2	0.4	40.0	18.0	20.0	100.0	8.0	3.0	100.0
	平年	10.3	3.3	66.4	(11.3)	(13.8)	(81.3)	(26.6)	(10.7)	(92.9)
7. 3 ~ 7. 4	R6	15.1	17.4	93.8	1.3	0.3	50.0	16.0	0.0	75.0
	R5	20.3	25.3	100.0	1.3	0.7	33.3	8.7	0.7	100.0
	平年	26.6	51.1	93.6	6.5	2.8	56.5	17.3	24.9	80.0
8. 3 ~ 8. 4	R6	8.0	0.7	76.2	2.7	2.3	83.3	1.5	0.5	75.0
	R5	13.9	1.7	90.0	5.0	0.0	83.3	5.0	3.0	100.0
	平年	19.1	4.3	79.4	8.6	11.2	81.0	22.0	36.4	75.8
9. 3 ~ 9. 4	R6	9.6	4.5	63.6	3.3	1.0	66.7	5.0	4.0	75.0
	R5	12.2	37.5	70.0	9.7	8.0	50.0	25.0	25.5	100.0
	平年	20.1	28.3	83.0	8.0	6.2	77.5	17.6	12.6	92.5
10. 3 ~ 10. 4	R6	12.0	17.1	82.4	18.0	23.6	100.0	3.0	0.5	100.0
	R5	8.9	5.0	75.0	4.0	4.0	60.0	5.0	4.0	100.0
	平年	17.9	22.0	81.3	11.8	9.5	71.3	(14.8)	(2.8)	(88.0)

サ チャノミドリヒメヨコバイ

表22 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	(並)	多	並	やや多	並	少	並
丹波	(並)	多	(並)	並	並	やや少	やや少
丹後	(並)	並	(やや多)	多	やや多	少	(やや少)

表23 発生状況

調査時期 (月・半月)	年次	山城			丹波			丹後		
		被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)	被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)	被害芽率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	R6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5	1.3	0.4	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	(0.2)	(0.1)	(5.6)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
5. 3 ~ 5. 4	R6	2.9	1.4	40.0	0.7	0.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	R5	0.4	0.4	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.4	0.3	12.1	0.2	0.1	7.8	0.0	0.0	0.0
6. 3 ~ 6. 4	R6	3.3	3.5	33.3	6.8	9.2	80.0	4.0	6.0	100.0
	R5	2.0	3.2	85.7	2.0	2.0	100.0	1.0	1.0	50.0
	平年	2.6	6.5	50.4	7.4	27.7	83.3	1.0	13.8	48.8
7. 3 ~ 7. 4	R6	10.8	5.9	81.3	3.3	0.7	66.7	36.0	25.0	100.0
	R5	5.0	6.6	85.7	0.0	0.0	0.0	4.7	4.0	100.0
	平年	6.6	8.5	55.7	6.4	17.1	49.0	5.7	9.5	58.3
8. 3 ~ 8. 4	R6	0.3	2.9	47.6	0.3	2.0	66.7	5.5	3.0	75.0
	R5	0.8	0.8	20.0	2.3	0.0	83.3	2.0	2.0	50.0
	平年	4.9	4.4	42.1	7.0	12.8	61.5	2.6	3.0	63.3
9. 3 ~ 9. 4	R6	0.5	0.5	9.1	6.0	7.0	50.0	2.5	1.0	50.0
	R5	1.0	1.4	20.0	5.7	8.3	66.7	7.0	10.0	100.0
	平年	4.7	4.1	46.8	13.3	22.3	80.0	13.4	18.8	74.2
10. 3 ~ 10. 4	R6	6.9	8.3	58.8	8.0	17.2	80.0	2.5	2.5	75.0
	R5	1.3	1.3	40.0	28.8	118.4	80.0	4.0	4.0	75.0
	平年	7.1	6.0	50.3	16.8	32.9	87.3	(8.1)	(6.6)	(76.9)

シ コミカンアブラムシ

表24 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	(並)	やや多	やや多	やや多	並	並	やや多
丹波	(並)	並	(やや多)	並	やや多	少	やや少
丹後	(多)	多	(やや多)	やや多	並	やや少	(やや少)

表25 発生状況

調査時期 (月・半月)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生芽率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)	寄生芽率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)	寄生芽率 (%)	成幼虫数 (/100芽)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	R6	0.5	0.5	10.5	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	50.0
	R5	0.4	2.1	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	平年	(0.4)	(3.3)	(15.1)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(10.0)
5. 3 ~ 5. 4	R6	2.3	14.6	40.0	0.0	0.0	0.0	4.0	32.0	100.0
	R5	0.5	3.1	18.2	0.5	11.5	25.0	1.0	3.0	25.0
	平年	1.1	7.6	18.1	0.3	1.7	10.3	0.4	0.6	14.2
6. 3 ~ 6. 4	R6	0.5	0.7	25.0	0.8	0.8	20.0	2.0	60.0	100.0
	R5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	3.0	50.0
	平年	0.4	1.5	10.9	(0.4)	(2.0)	(20.8)	(3.5)	(22.8)	(60.7)
7. 3 ~ 7. 4	R6	0.3	0.3	12.5	0.0	0.0	0.0	1.0	4.0	50.0
	R5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	0.4	8.4	0.3	1.6	7.8	0.6	2.0	17.5
8. 3 ~ 8. 4	R6	0.6	2.2	14.3	0.7	3.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	R5	1.0	2.7	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.8	5.6	11.1	0.5	1.6	14.2	1.7	17.4	31.7
9. 3 ~ 9. 4	R6	0.7	3.0	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R5	1.5	11.3	30.0	2.3	38.3	66.7	0.5	1.5	50.0
	平年	1.4	14.0	24.4	3.3	27.7	59.2	1.6	9.2	48.3
10. 3 ~ 10. 4	R6	2.1	5.8	41.2	1.2	1.6	60.0	0.0	0.0	25.0
	R5	5.1	23.2	50.0	7.2	37.2	80.0	2.5	10.5	75.0
	平年	1.7	13.3	29.6	5.1	26.6	75.8	(3.4)	(13.0)	(57.4)

ス ツマグロアオカスミカメ

表26 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	(並)	やや多	やや多	並	並	並	やや多
丹波	(並)	やや多	(やや多)	多	やや多	やや多	多
丹後	(やや多)	並	(少)	並	並	やや多	(やや多)

表27 発生状況

調査時期 (月・半月)	年次	山城			丹波			丹後		
		被害芽率 (%)	被害葉数 (/㎡)	発生ほ場率 (%)	被害芽率 (%)	被害葉数 (/㎡)	発生ほ場率 (%)	被害芽率 (%)	被害葉数 (/㎡)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	R6	1.3	1.2	21.1	1.3	2.2	50.0	3.0	3.5	75.0
	R5	4.9	2.4	66.7	5.3	2.5	100.0	0.0	4.0	50.0
	平年	(1.6)	0.6	21.2	(1.5)	(1.5)	(42.6)	(1.6)	(0.6)	(13.9)
5. 3 ~ 5. 4	R6	2.4	3.4	45.0	0.7	8.8	100.0	8.0	8.5	100.0
	R5	2.9	2.4	31.6	0.5	0.5	66.7	4.0	1.5	75.0
	平年	2.0	2.7	30.9	1.9	5.9	60.7	9.7	15.4	86.7
6. 3 ~ 6. 4	R6	1.2	3.4	66.7	5.2	11.2	60.0	0.0	4.0	33.3
	R5	7.8	0.2	33.3	0.0	0.0	0.0	1.0	2.5	100.0
	平年	1.7	1.4	35.9	(3.1)	1.7	51.7	(9.0)	11.3	(83.3)
7. 3 ~ 7. 4	R6	0.4	1.8	43.8	7.0	16.2	100.0	5.0	8.8	100.0
	R5	0.4	0.7	28.6	14.0	1.8	33.3	8.0	1.0	66.7
	平年	2.3	3.8	38.6	6.7	4.2	50.8	12.9	13.8	66.7
8. 3 ~ 8. 4	R6	1.3	6.3	61.9	17.3	28.0	100.0	2.5	4.8	75.0
	R5	2.1	0.1	40.0	11.7	5.5	100.0	4.0	1.3	75.0
	平年	4.5	7.9	60.2	13.4	14.7	74.2	6.4	7.4	63.3
9. 3 ~ 9. 4	R6	0.2	1.1	45.5	5.7	6.5	83.3	5.0	19.8	100.0
	R5	0.0	0.0	0.0	3.3	2.7	66.7	3.0	1.5	100.0
	平年	1.7	6.5	41.7	4.1	5.2	68.3	4.8	2.6	72.5
10. 3 ~ 10. 4	R6	0.1	1.4	42.9	0.8	13.7	100.0	3.0	7.3	100.0
	R5	0.0	0.0	0.0	2.0	1.2	66.7	6.0	1.0	75.0
	平年	1.7	1.1	31.6	4.5	5.7	71.7	(4.3)	4.7	48.3

セ クワシロカイガラムシ
表28 発生量の平年比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
山城	やや多	少	多	並	並	やや少	並
丹波	並	やや少	やや少	並	並	並	少
丹後	並	並	少	少	並	やや少	やや多

表29 発生状況

調査時期 (月・半月)	年次	山城		丹波		丹後	
		寄生株率 (%)	発生ほ場率 (%)	寄生株率 (%)	発生ほ場率 (%)	寄生株率 (%)	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	R6	10.7	61.9	4.2	16.7	17.5	75.0
	R5	6.1	50.0	29.2	83.3	18.3	66.7
	平年	10.4	47.6	12.2	51.7	22.8	66.7
5. 3 ~ 5. 4	R6	0.3	14.3	0.0	0.0	7.5	50.0
	R5	7.9	47.4	3.3	50.0	18.8	75.0
	平年	10.2	43.3	4.9	29.0	12.3	65.8
6. 3 ~ 6. 4	R6	20.7	81.8	24.2	50.0	1.3	25.0
	R5	8.6	54.5	35.0	50.0	32.5	50.0
	平年	14.7	58.3	31.2	73.3	28.3	70.0
7. 3 ~ 7. 4	R6	4.8	31.8	1.7	33.3	0.0	0.0
	R5	1.1	16.7	0.0	0.0	15.0	50.0
	平年	9.0	41.2	7.9	43.3	20.7	60.0
8. 3 ~ 8. 4	R6	6.8	36.4	6.7	83.3	17.5	75.0
	R5	4.5	50.0	25.0	50.0	12.5	50.0
	平年	12.4	45.7	20.2	61.7	36.4	85.0
9. 3 ~ 9. 4	R6	6.6	27.3	10.0	33.3	1.3	25.0
	R5	6.1	40.0	7.5	16.7	13.8	50.0
	平年	9.9	45.5	9.5	55.0	20.2	65.0
10. 3 ~ 10. 4	R6	8.6	52.4	10.8	33.3	47.5	75.0
	R5	13.6	68.2	20.8	50.0	28.8	75.0
	平年	13.2	51.9	29.4	75.0	30.6	82.5

ソ チャトゲコナジラミ

表30 発生状況

調査時期 (月・半月)	年次	山城			丹波			丹後		
		寄生葉率 (%)	発生量指数	発生ほ場率 (%)	寄生葉率 (%)	発生量指数	発生ほ場率 (%)	寄生葉率 (%)	発生量指数	発生ほ場率 (%)
4. 3 ~ 4. 4	R6	0.8	0.4	14.3	3.3	1.7	50.0	20.0	12.5	100.0
	R5	6.0	3.4	45.5	4.7	2.5	50.0	44.0	30.7	100.0
	平年	(13.1)	(7.1)	65.9	(10.1)	(5.5)	61.7	(33.4)	(20.1)	92.5
5. 3 ~ 5. 4	R6	5.4	3.4	40.9	0.0	0.0	0.0	22.0	12.3	75.0
	R5	8.7	5.0	59.1	1.0	1.3	16.7	17.0	10.8	100.0
	平年	(23.2)	(12.7)	70.7	(10.2)	(5.0)	48.7	(41.8)	(27.4)	95.0
6. 3 ~ 6. 4	R6	0.9	0.5	27.3	11.3	7.3	16.7	3.0	1.5	50.0
	R5	3.1	1.6	50.0	1.7	0.8	33.3	5.5	3.5	50.0
	平年	(14.1)	(8.2)	66.3	(4.9)	(2.6)	50.0	(15.0)	(8.6)	(58.3)
7. 3 ~ 7. 4	R6	8.3	4.3	68.2	11.3	5.8	66.7	15.0	9.3	100.0
	R5	22.3	12.6	72.2	11.0	5.7	83.3	35.5	21.0	100.0
	平年	(34.2)	(20.5)	76.6	(29.0)	(18.6)	76.7	(42.4)	(28.4)	(90.0)
8. 3 ~ 8. 4	R6	4.4	2.3	50.0	3.0	1.7	33.3	23.5	13.3	100.0
	R5	5.3	3.2	60.0	2.0	1.2	50.0	4.5	2.3	75.0
	平年	(20.3)	(10.8)	69.8	(6.9)	(5.5)	55.0	(34.5)	(22.1)	(90.0)
9. 3 ~ 9. 4	R6	4.2	2.1	54.5	2.3	1.2	33.3	21.5	12.5	100.0
	R5	8.8	4.9	45.0	1.0	0.5	16.7	9.0	4.5	75.0
	平年	(20.0)	(10.8)	72.5	(15.4)	(7.2)	50.0	(39.6)	(28.0)	92.5
10. 3 ~ 10. 4	R6	5.0	2.6	47.6	4.0	2.2	66.7	33.5	17.8	100.0
	R5	5.8	3.7	36.4	0.0	0.0	0.0	33.0	19.5	75.0
	平年	(15.4)	(8.9)	59.1	(6.9)	(3.1)	55.0	(33.9)	(23.1)	85.0

(10)キュウリ 病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

病害虫名\調査月	露地栽培					施設栽培				
	5月	6月	7月	8月	全期間	9月	10月	11月	全期間	
べと病	並(-)	並	並	並(-)	並	並(-)	並(-)	やや少	やや少	
炭疽病	-	-	並	並(-)	並	並(-)	やや多	並(-)	やや多	
うどんこ病	並(-)	並(-)	並	並(-)	並	やや少(-)	やや少	やや少	やや少	
斑点細菌病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	多	やや多	
褐斑病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	
モザイク病	並(-)	並(-)	並	並(-)	並	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	
灰色かび病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	
アブラムシ類	少(-)	並	やや少(-)	並(-)	やや少	やや多	並(-)	並(-)	やや多	
ハダニ類	並(-)	少(-)	並	多	並	多	並(-)	並(-)	やや多	
ハモグリバエ類	並(-)	並(-)	並	並(-)	並	並	やや少(-)	並	やや少	
アザミウマ類	少(-)	少	少(-)	多	やや少	並	並(-)	並(-)	並	
コナジラミ類	やや多	並(-)	並(-)	多	やや多	やや多	多	多	多	
ハスモンヨトウ	並(-)	-	-	-	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	
ワタヘリクロノメイカ	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	多	並(-)	並(-)	やや多	

-: 調査せず、(+): 発生を認めた、(-): 発生を認めず

表2 巡回調査結果

(25株、2葉、4果調査)

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病			炭疽病			うどんこ病			斑点細菌病			褐斑病			モザイク病		灰色かび病			
		発病 率(%)	発病 株率(%)	発生 ほ場 率(%)	発病 率(%)	発生 ほ場 率(%)	発病 率(%)	発生 ほ場 率(%)														
5・3~4 (露地栽培)	6年	0.0	0.0	0.0	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.0	0.0	0.0	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	0.1	3.3	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.5	1.0	10.8	0.1	2.5	10.8	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0
6・3~4 (露地栽培)	6年	11.3	26.7	66.7	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	21.3	33.3	100.0	-	-	-	0.7	4.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	9.5	18.3	45.8	-	-	-	0.2	1.2	8.3	5.2	6.2	10.0	0.7	2.5	10.0	0.6	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0
7・3~4 (露地栽培)	6年	18.0	22.4	40.0	0.8	3.2	20.0	0.4	0.8	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	5.2	15.2	40.0	0.4	4.8	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	19.0	29.8	61.3	2.7	6.1	23.3	3.4	4.6	14.3	7.0	8.6	11.0	5.1	6.5	13.0	8.0	30.4	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
8・3~4 (露地栽培)	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.1	3.8	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	11.8	25.0	0.2	5.0	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
9・3~4 (施設栽培)	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	1.3	1.3	33.3	0.0	0.0	0.0	3.3	5.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	2.5	6.9	18.3	0.1	1.5	13.3	6.4	32.3	73.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	5.0	0.0	0.0	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
10・3~4 (施設栽培)	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	33.3	15.3	32.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	4.0	8.0	33.3	0.0	1.3	33.3	7.3	30.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.3	2.5	23.3	0.2	0.7	18.3	28.9	62.8	93.3	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	6.7	0.0	0.0	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
11・3~4 (施設栽培)	6年	12.0	30.0	66.7	0.0	0.0	0.0	2.7	16.7	100.0	10.7	17.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	36.7	58.7	100.0	0.0	0.0	0.0	1.3	50.7	66.7	0.0	2.7	33.3	0.0	2.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	24.3	41.2	73.3	2.4	3.6	10.0	39.7	67.5	90.0	0.1	0.7	10.0	0.3	1.3	13.3	0.1	10.0	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)

調査時期 (月・半旬)	年次	アブラムシ類			ハダニ類			ハモグリバエ類			アザミウマ類			コナジラミ類			ハスモンヨトウ		ワタヘリクロノメイカ			
		寄生 虫数 (/葉)	寄生 率(%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 率(%)	発生 ほ場 率(%)	被害 率(%)	被害 株率(%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 率(%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 率(%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 率(%)	被害 株率(%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 率(%)	発生 ほ場 率(%)	
5・3~4 (露地栽培)	6年	0.00	0.0	0.0	0.000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.000	0.0	0.0	0.013	1.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.07	4.7	66.7	0.580	16.0	66.7	0.0	0.0	0.0	1.707	50.7	100.0	0.000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.04	3.3	65.8	0.066	2.3	21.7	0.0	0.0	0.0	1.019	37.4	100.0	0.004	0.4	15.8	0.0	0.0	0.0	(0.0)	(0.0)	(0.0)
6・3~4 (露地栽培)	6年	0.01	0.7	33.3	0.000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.007	0.7	33.3	0.000	0.0	0.0	-	-	-	0.0	0.0	
	5年	0.00	0.0	0.0	0.013	1.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.000	0.0	0.0	0.000	0.0	0.0	-	-	-	0.0	0.0	
	平年	0.02	1.1	25.0	0.082	2.6	40.0	1.1	5.3	22.5	3.496	40.3	80.8	0.000	0.0	0.0	-	-	-	(0.0)	(0.0)	(0.0)
7・3~4 (露地栽培)	6年	0.00	0.0	0.0	0.020	1.2	20.0	0.4	1.6	20.0	0.000	0.0	0.0	0.000	0.0	0.0	-	-	-	0.0	0.0	
	5年	0.00	0.0	0.0	0.012	0.8	20.0	0.0	0.0	0.0	0.004	0.4	20.0	0.000	0.0	0.0	-	-	-	0.4	20.0	
	平年	1.83	3.6	23.7	0.285	5.6	33.7	3.2	6.5	36.7	0.609	13.8	51.0	0.001	0.2	4.0	-	-	-	(0.1)	(2.9)	
8・3~4 (露地栽培)	6年	0.00	0.0	0.0	1.100	3.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.010	1.0	50.0	0.040	4.0	100.0	-	-	-	0.0	0.0	
	5年	0.00	0.0	0.0	0.540	12.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.000	0.0	0.0	0.040	4.0	50.0	-	-	-	0.0	0.0	
	平年	0.00	0.0	0.0	0.084	1.5	15.0	1.4	7.6	35.0	0.001	0.1	5.0	0.013	1.1	25.0	-	-	-	(0.3)	(7.1)	
9・3~4 (施設栽培)	6年	0.07	2.0	33.3	0.107	2.7	33.3	0.7	1.3	33.3	0.020	1.3	33.3	4.087	51.7	100.0	0.0	0.0	0.0	1.3	33.3	
	5年	0.00	0.0	0.0	0.000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.000	0.0	0.0	2.473	55.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	平年	0.14	0.9	18.3	0.002	0.2	10.0	1.5	17.5	56.7	0.023	1.2	28.3	1.198	26.5	81.7	0.0	0.0	0.0	(0.2)	(4.8)	
10・3~4 (施設栽培)	6年	0.00	0.0	0.0	0.000	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.000	0.0	0.0	10.867	78.0	100.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	
	5年	0.00	0.0	0.0	0.127	2.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.000	0.0	0.0	1.587	52.0	100.0	0.00	0.0	0.0	1.3	33.3	
	平年	0.13	1.3	8.3	0.021	0.5	6.7	3.5	16.4	55.0	0.011	0.6	16.7	0.671	23.5	78.3	0.00	0.0	0.0	(0.2)	(4.8)	
11・3~4 (施設栽培)	6年	0.00	0.0	0.0	0.000	0.0	0.0	0.0	4.0	33.3	0.000	0.0	0.0	2.987	59.3	100.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	
	5年	0.00	0.0	0.0	0.020	1.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.000	0.0	0.0	2.900	44.0	100.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	
	平年	0.07	0.5	3.3	0.103	2.5	13.3	3.4	10.1	46.7	0.331	4.0	16.7	0.681	20.4	73.3	0.00	0.0	0.0	(0.0)	(0.0)	

(11) トマト
病害虫の発生状況

表1 発生量の例年比較

病害虫名\調査月	3月	4月	5月	6月	全期間
疫病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
灰色かび病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
モザイク病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
葉かび病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
すすかび病	-	-	-	-	-
うどんこ病	並(-)	並(-)	並(-)	並	並
アブラムシ類	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
アザミウマ類	(+)	やや多	並	並	やや多
コナジラミ類	並(-)	多	多	多	多
ハモグリバエ類	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
ハスモンヨトウ	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)

(+) : 発生を認めた、(-) : 発生を認めず、- : 調査せず

表2 巡回調査結果

(25株・2複葉・2花・4果調査)

調査時期 (月・半旬)	年次	疫病		灰色かび病		モザイク病		葉かび病		うどんこ病		すすかび病	
		発病程度	発生ほ場率(%)	発病程度	発生ほ場率(%)	発病株率(%)	発生ほ場率(%)	発病程度	発生ほ場率(%)	発病株率(%)	発生ほ場率(%)	発病株率(%)	発生ほ場率(%)
3・3~4	6年	0.0	0.0	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.0	0.0	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
4・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	5.0	0.2	2.5	-	-
5・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.04	4.0	0.0	0.0	2.0	4.0	0.9	2.0	-	-
6・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	40.0	0.0	0.0
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	60.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	2.0	3.0	10.0	6.1	36.0	-	-

調査時期 (月・半旬)	年次	アブラムシ類		アザミウマ類			コナジラミ類			ハモグリバエ類			ハスモンヨトウ		
		寄生株率(%)	発生ほ場率(%)	寄生花率(%)	白ぶくれ果率(%)	発生ほ場率(%)	寄生虫数(頭/株)	寄生葉率(%)	発生ほ場率(%)	寄生葉率(%)	寄生株率(%)	発生ほ場率(%)	寄生株率(%)	被害株率(%)	発生ほ場率(%)
3・3~4	6年	0.0	0.0	6.4	-	25.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	-	-	-	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.5	25.0	0.03	1.5	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.0	0.0	0.8	0.0	40.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.5	7.5	(0.4)	0.07	11.0	0.001	0.1	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5・3~4	6年	0.0	0.0	1.6	0.2	40.0	0.03	1.6	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.0	0.0	0.4	0.2	20.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.4	8.0	2.3	1.9	22.0	0.00	0.0	0.0	0.2	0.8	2.0	0.0	0.0	0.0
6・3~4	6年	0.0	0.0	9.7	2.5	50.0	0.36	12.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.8	20.0	7.4	0.0	60.0	0.00	0.0	0.0	1.2	6.4	20.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	2.0	(9.1)	3.8	60.0	0.001	0.08	4.0	3.0	8.3	18.0	0.0	0.0	0.0

(12) ナス 病害虫の発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
うどんこ病	並(-)	並(-)	少(-)	少(-)	やや少	やや少	やや少
褐色円星病	並(-)	やや多	やや少	やや少	やや少	やや少	やや少
すすかび病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並	並
灰色かび病	-	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
褐色腐敗病	-	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
アブラムシ類	少(-)	少	並(-)	多	やや多	やや少(-)	やや少
ハスモンヨトウ	-	-	-	-	並(-)	並(-)	並(-)
ハダニ類	やや少(-)	並	やや多	やや多	やや多	やや少	やや多
ハモグリバエ類	やや少(-)	並	並	やや少	少(-)	少	やや少
アザミウマ類	やや少	やや多	やや多	やや少	やや少	やや少	やや少
コナジラミ類	やや多	やや多	多	多	多	多	多

- : 調査せず、(+): 発生を認めた、(-): 発生を認めず

表2 巡回調査結果

調査時期 (月・半旬)	年次	うどんこ病			褐色円星病			すすかび病			灰色かび病			褐色腐敗病	
		発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 果率 (%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 果率 (%)	発生 ほ場 率(%)
5・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	-
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	-
	平年	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	1.7	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	-
6・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.2	1.2	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.1	0.7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.4	2.1	14.3	0.7	10.0	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	14.3
	平年	1.2	5.0	15.4	1.9	8.6	40.5	0.2	0.2	4.3	0.0	0.0	0.0	0.1	10.4
8・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	1.3	7.1	71.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.0	0.0	0.0	4.0	34.3	42.9	0.4	2.9	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	9.3	23.4	42.7	3.9	20.4	48.6	0.1	1.5	10.0	0.01	(0.1)	11.0	0.0	0.0
9・3~4	6年	1.6	22.1	42.9	0.1	5.0	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	5.0	21.4	57.1	9.9	35.0	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	17.2	40.3	68.9	12.8	33.3	63.0	0.7	0.7	10.0	0.0	0.0	0.0	0.8	4.3
10・3~4	6年	26.0	37.5	50.0	5.8	25.8	83.3	0.5	0.5	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	6.0	17.5	50.0	20.5	50.0	66.7	0.7	0.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	20.8	47.3	77.1	16.5	42.6	74.2	0.4	0.4	12.4	0.0	0.0	0.0	0.1	6.8

調査時期 (月・半旬)	年次	アブラムシ類			ハスモンヨトウ		ハダニ類			ハモグリバエ類		
		寄生 虫数 (/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)	幼虫数 (/葉)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 葉率 (%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
5・3~4	6年	0.000	0.0	0.0	-	-	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.016	1.3	71.4	-	-	1.59	11.3	28.6	0.3	0.7	14.3
	平年	0.200	9.8	75.9	-	-	0.20	1.9	25.5	1.0	4.1	28.1
6・3~4	6年	0.006	0.5	42.9	-	-	0.01	0.3	28.6	1.1	0.0	14.3
	5年	0.006	0.4	42.9	-	-	7.67	12.1	42.9	0.1	0.7	14.3
	平年	0.198	9.6	70.2	-	-	0.82	2.3	28.3	0.9	3.8	29.5
7・3~4	6年	0.000	0.0	0.0	-	-	1.29	13.6	85.7	0.1	1.4	28.6
	5年	0.000	0.0	0.0	-	-	3.28	21.4	71.4	0.0	0.0	0.0
	平年	0.001	0.1	10.7	-	-	0.99	6.1	34.6	0.2	2.1	16.6
8・3~4	6年	0.591	2.7	28.6	-	-	3.69	18.7	57.1	0.0	2.1	28.6
	5年	0.000	0.0	0.0	-	-	2.72	17.9	57.1	0.0	0.7	14.3
	平年	0.003	0.2	10.0	-	-	1.04	5.7	46.2	2.5	7.0	26.3
9・3~4	6年	0.303	4.6	71.4	0.00	0.0	1.40	10.6	42.9	0.0	0.0	0.0
	5年	0.004	0.4	42.9	0.00	0.0	0.31	8.4	57.1	1.4	5.7	28.6
	平年	0.129	2.4	43.9	0.01	1.4	0.62	5.9	41.1	3.4	13.7	46.3
10・3~4	6年	0.000	0.0	0.0	0.00	0.0	0.00	0.0	16.7	0.0	5.0	50.0
	5年	0.008	0.7	50.0	0.00	0.0	0.08	1.8	16.7	10.0	17.5	50.0
	平年	0.046	1.5	33.6	0.00	1.7	0.34	2.7	27.6	4.6	17.5	63.8

調査時期 (月・半旬)	年次	アザミウマ類(葉)			アザミウマ類(花)			コナジラミ類		
		寄生 虫数 (/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/花)	寄生 花率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/葉)	寄生 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)
5・3~4	6年	0.001	0.1	14.3	0.081	8.0	57.1	0.003	0.3	28.6
	5年	0.006	0.6	42.9	0.020	1.6	16.7	0.000	0.0	0.0
	平年	0.133	4.8	61.4	0.088	9.3	48.6	0.001	(0.0)	(1.9)
6・3~4	6年	0.053	1.7	57.1	0.369	20.2	100.0	0.004	0.4	28.6
	5年	0.074	4.3	57.1	0.587	21.2	100.0	0.001	0.1	14.3
	平年	0.137	5.3	75.9	0.228	13.5	98.6	0.002	(0.1)	(8.2)
7・3~4	6年	0.047	3.3	85.7	0.239	16.5	100.0	0.017	1.7	71.4
	5年	0.046	2.0	28.6	0.346	14.6	100.0	0.003	0.3	28.6
	平年	0.036	2.3	46.8	0.476	21.8	97.1	0.005	0.4	20.7
8・3~4	6年	0.023	1.1	42.9	0.444	20.5	100.0	0.349	16.3	100.0
	5年	0.000	0.0	0.0	0.694	24.4	85.7	0.001	0.7	14.3
	平年	0.026	1.4	36.1	(0.831)	(33.5)	(96.8)	0.058	3.2	33.9
9・3~4	6年	0.001	0.1	14.3	0.541	23.0	85.7	7.601	59.6	100.0
	5年	0.004	2.1	14.3	0.984	32.2	100.0	0.284	9.1	85.7
	平年	0.065	3.0	35.4	0.412	21.9	81.4	0.125	6.8	60.7
10・3~4	6年	0.000	0.0	0.0	0.138	10.4	83.3	11.030	77.8	100.0
	5年	0.000	0.0	0.0	0.248	11.9	100.0	1.628	29.0	100.0
	平年	0.012	0.7	30.4	0.207	11.0	82.1	0.290	8.8	76.9

(13)キャベツ 病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

病害虫名\調査月	春キャベツ				秋冬キャベツ			
	3月	4月	5月	全期間	9月	10月	11月	全期間
べと病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
黒腐病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
菌核病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
アブラムシ類	やや少(-)	やや多	少	やや少	少(-)	少(-)	少(-)	少(-)
モンシロチョウ	並(-)	多	やや少(-)	やや多	やや多	やや少(-)	並(-)	並
コナガ	並(-)	やや多	やや少(-)	並	並	やや多	やや多	やや多
ハスモンヨトウ	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	多	やや多	多	多
ヨトウガ	並(-)	並(-)	やや少(-)	並(-)	やや多	並(-)	並(-)	やや多
ウラボ類	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	多	やや多
アザミウマ類	並(-)	やや少	少	やや少	並	やや少	並(-)	やや少

- : 調査せず、(+): 発生を認めた、(-): 発生を認めず

表2 巡回調査結果

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病		黒腐病		菌核病		アブラムシ類			モンシロチョウ			コナガ		
		発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	幼虫数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	幼虫・ 蛹数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
3・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	4.7	33.3	0.00	0.0	0.0	0.07	0.7	16.7
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	(2.4)	29.0	0.00	0.0	0.0	0.03	0.3	8.3
4・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	26.7	100.0	0.93	6.7	66.7	0.67	4.0	33.3
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	3.0	25.0	0.00	0.0	0.0	0.40	2.0	25.0
	平年	0.1	3.3	0.1	1.7	0.1	3.7	5.5	11.1	72.5	0.02	0.2	7.3	0.67	4.9	30.7
5・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.8	20.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	5.0	75.0	0.10	1.0	25.0	0.10	1.0	25.0
	平年	0.2	2.0	0.7	9.8	1.0	11.3	3.1	13.2	70.0	0.71	5.5	25.8	1.54	11.3	65.8
9・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.20	0.7	16.7	0.07	0.7	16.7
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.6	14.3	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.5	3.4	0.0	0.0	0.8	4.3	45.6	0.08	0.8	10.0	0.15	1.3	10.1
10・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.24	1.6	40.0
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.8	20.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	4.5	21.2	0.0	3.3	4.1	3.8	38.3	0.20	1.7	26.4	0.09	0.9	10.7
11・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.30	2.0	25.0
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.32	3.2	20.0	0.00	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	4.7	16.4	0.0	4.2	5.8	4.3	46.7	0.40	3.2	14.3	0.07	0.7	5.8

調査時期 (月・半旬)	年次	ハスモンヨトウ			ヨトウガ			ウラボ類			アザミウマ類		
		卵塊・幼 虫数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	卵塊・幼 虫数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	幼虫数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
3・3~4	6年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	6.7	4.7	66.7
	平年	(0.00)	(0.0)	(0.0)	(0.00)	(0.0)	(0.0)	0.00	0.0	0.0	2.2	(2.7)	24.2
4・3~4	6年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	2.7	4.0	33.3
	5年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	17.0	16.0	25.0
	平年	(0.00)	(0.0)	(0.0)	(0.10)	(0.8)	(11.7)	0.02	0.1	3.3	20.0	(25.5)	68.5
5・3~4	6年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	1.6	20.0
	5年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	10.0	8.0	100.0
	平年	(0.00)	(0.0)	0.0	1.18	2.2	22.7	0.13	1.0	18.7	37.8	(26.6)	91.8
9・3~4	6年	0.27	2.0	50.0	0.13	0.7	16.7	0.00	0.0	0.0	11.3	15.3	50.0
	5年	0.91	1.1	14.3	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	3.4	10.9	57.1
	平年	0.13	0.4	7.0	0.02	0.2	2.9	0.10	1.0	16.7	20.5	(16.6)	58.1
10・3~4	6年	0.16	1.6	20.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.8	20.0
	5年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.8	0.0	42.9
	平年	0.19	0.3	4.9	0.85	1.1	9.5	0.07	0.7	9.3	26.0	(17.8)	65.9
11・3~4	6年	3.90	6.0	25.0	0.00	0.0	0.0	0.30	3.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.01	0.1	2.5	0.02	0.2	1.4	0.03	0.3	4.2	19.4	(0.8)	45.0

(14)ダイコン 病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

病害虫名\調査月	9月	10月	11月	全期間
黒斑細菌病	多	並(-)	並(-)	やや多
白さび病	並(-)	多	並(-)	やや多
モザイク病	—	並(-)	—	並(-)
アブラムシ類	並	並	並	並
コナガ	多	並(-)	やや少	並
ハスモンヨトウ	多	並(-)	並(-)	やや多
ハイマダラノメイガ	やや多	並(-)	やや多	やや多

—：調査せず、(+):発生を認めた、(-):発生を認めず

表2 巡回調査結果

調査時期 (月・半旬)	年次	黒斑細菌病		白さび病		モザイク病		アブラムシ類		
		発病株率(%)	発生ほ場率(%)	発病株率(%)	発生ほ場率(%)	発病株率(%)	発生ほ場率(%)	寄生病数(/10葉)	寄生株率(%)	発生ほ場率(%)
9・3～4	6年	2.7	33.3	0.0	0.0	—	—	0.3	2.7	33.3
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.7	2.2	25.8
10・3～4	6年	0.0	0.0	4.0	25.0	0.0	0.0	0.2	2.0	25.0
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	4.0	50.0
	平年	2.4	9.0	0.2	3.7	0.0	6.7	3.0	3.5	32.3
11・3～4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.1	1.3	66.7
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0	0.0
	平年	7.9	21.5	5.3	20.8	—	—	7.9	7.7	41.3

調査時期 (月・半旬)	年次	コナガ			ハスモンヨトウ			ハイマダラノメイガ		
		幼虫・蛹数(/10葉)	寄生株率(%)	発生ほ場率(%)	幼虫数(/10葉)	寄生株率(%)	発生ほ場率(%)	幼虫数(/10葉)	寄生株率(%)	発生ほ場率(%)
9・3～4	6年	0.3	2.7	33.3	0.8	6.7	33.3	0.9	6.7	33.3
	5年	0.3	2.7	33.3	0.1	1.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	0.5	5.8	0.0	0.3	7.8	0.2	2.1	20.3
10・3～4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.7	6.0	50.0	0.2	2.0	25.0	0.4	3.0	50.0
	平年	0.3	1.9	15.9	1.1	1.1	14.6	0.2	2.0	23.4
11・3～4	6年	0.1	1.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.3	2.7	33.3
	5年	0.0	0.0	0.0	0.4	4.0	50.0	0.2	2.0	50.0
	平年	0.7	4.4	36.0	0.1	0.8	14.0	0.1	1.2	16.3

(15)カブ
病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

病害虫名\調査月	9月	10月	11月	全期間
べと病	並(-)	並	並	並
軟腐病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
黒斑病	並(-)	やや多	並(-)	やや多
白斑病	並(-)	やや多	やや少(-)	並
白さび病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
アブラムシ類	やや多	やや少	並	並
コナガ	多	並(-)	やや少(-)	やや多
ハモグリバエ類	並(-)	やや少(-)	やや少	やや少

- : 調査せず、(+): 発生を認めた、(-): 発生を認めず

表2 巡回調査結果

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病		軟腐病		黒斑病		白斑病		白さび病	
		発病株率(%)	発生ほ場率(%)								
9・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0
10・3~4	6年	26.4	40.0	0.0	0.0	1.6	20.0	0.8	20.0	0.0	0.0
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	23.8	31.2	0.0	0.0	0.9	3.3	4.4	7.7	5.1	10.3
11・3~4	6年	41.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	66.7	0.0	0.0
	平年	38.2	48.5	0.0	0.0	3.2	12.8	20.8	46.3	3.6	12.8

調査時期 (月・半旬)	年次	アブラムシ類			コナガ			ハモグリバエ類	
		寄生虫数(/10株)	寄生株率(%)	発生ほ場率(%)	幼虫・蛹数(/10株)	寄生株率(%)	発生ほ場率(%)	被害株率(%)	発生ほ場率(%)
9・3~4	6年	16.67	4.0	66.7	0.80	8.0	100.0	0.0	0.0
	5年	0.13	1.3	33.3	0.00	0.0	0.0	1.3	33.3
	平年	0.55	2.9	35.8	0.05	0.5	8.3	0.5	10.0
10・3~4	6年	0.08	0.8	20.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	1.66	3.3	29.4	0.11	1.0	6.0	1.5	24.3
11・3~4	6年	0.27	2.7	66.7	0.00	0.0	0.0	2.7	33.3
	5年	8.00	10.7	100.0	0.13	1.3	33.3	1.3	33.3
	平年	4.92	7.0	44.8	0.79	5.7	27.8	10.6	64.7

(16)ホウレンソウ

病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

病害虫名\調査月	秋どり		
	10月	11月	全期間
べと病	並(-)	並(-)	並(-)
アブラムシ類	並(-)	やや多	やや多
ヨトウガ	並(-)	並(-)	並(-)
ハダニ類	並(-)	並(-)	並(-)
シロオビノメイガ	並(-)	並(-)	並(-)

—：調査せず、(+)：発生を認めた、(-)：発生を認めず

表2 巡回調査結果

〈25株調査(%)〉

調査時期 (月・半旬)	年次	べと病		アブラムシ類		ヨトウガ		ハダニ類		シロオビノメイガ	
		発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
10・3～4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	20.0
	平年	0.0	0.0	1.2	17.8	0.0	0.0	(0.2)	(4.8)	1.5	18.5
11・3～4	6年	0.0	0.0	2.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.7	2.5	0.9	15.8	0.0	0.0	(0.1)	(3.6)	0.0	0.0

(17)ネギ(小株…葉長が40cm未満の株)

病害虫の発生状況

表1 月別平年比較

病害虫名\調査月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	全期間
さび病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
黒斑病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
えそ条斑病	並(-)	並	並	やや少	並	並(-)	並(-)	並(-)	並
アブラムシ類	多	やや少(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	やや多	並(-)	やや多
シロイチモジヨトウ	並(-)	並(-)	並(-)	やや多	並	多	並	並(-)	やや多
ネギハモグリバエ	並(-)	少(-)	やや少(-)	並	並	やや少	少(-)	並	やや少
ネギアザミウマ	並	並	並	やや少	やや少	やや少	少	やや多	やや少

- : 調査せず、(+): 発生を認めた、(-): 発生を認めず

表2 巡回調査結果

(25株調査(%))

調査時期 (月・半旬)	年次	さび病		黒斑病		えそ条斑病		アブラムシ類		シロイチモジヨトウ		ネギハモグリバエ		ネギアザミウマ	
		発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
4・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	32.7	83.3
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	33.3	30.7	100.0
	平年	0.4	2.0	0.0	0.0	(0.3)	(5.6)	1.3	15.2	0.0	0.0	2.5	19.3	42.3	88.5
5・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	88.0	100.0
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	28.6	2.3	28.6	0.0	0.0	1.7	14.3	92.6	100.0
	平年	4.6	17.8	0.0	0.0	(5.5)	(30.7)	1.7	20.5	0.0	0.0	16.8	54.2	81.2	100.0
6・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	14.9	71.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	94.3	100.0
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	5.1	28.6	0.6	14.3	0.0	0.0	1.7	28.6	88.6	100.0
	平年	0.3	4.5	0.0	0.0	(27.7)	(71.7)	0.4	7.7	0.0	0.0	11.1	47.9	89.3	100.0
7・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	16.7	0.0	0.0	2.7	16.7	1.3	33.3	48.7	100.0
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	33.3	0.0	0.0	2.7	33.3	1.3	16.7	60.3	100.0
	平年	0.1	1.7	3.4	7.5	(9.1)	(47.4)	0.0	0.0	1.5	18.2	11.0	30.8	69.5	96.1
8・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	20.0	0.0	0.0	1.6	20.0	2.4	20.0	32.8	80.0
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	25.0	36.5	87.5
	平年	0.0	0.0	0.1	1.7	(2.9)	(29.3)	0.0	0.0	1.6	20.6	12.5	44.2	46.9	89.4
9・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0	100.0	5.3	66.7	6.7	66.7
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	26.9	71.4
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	(0.6)	(8.2)	0.5	7.3	2.4	19.6	28.3	65.6	24.6	71.8
10・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	16.7	0.7	16.7	0.0	0.0	12.7	66.7
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	14.3	0.6	14.3	53.1	85.7
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	(0.3)	(4.4)	0.3	6.0	2.2	11.4	27.6	62.8	43.8	85.1
11・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	66.7	54.7	100.0
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	14.3	0.6	14.3	53.1	85.7
	平年	0.0	0.0	0.0	0.0	(0.0)	(0.0)	0.1	2.0	0.2	4.8	11.2	41.9	41.2	84.2

(18)ネギ(大株…葉長が40cm以上の株)

病害虫の発生状況

表1 月別発生状況

病害虫名\調査月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	全期間
さび病	並(-)	やや多	やや少	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並
黒斑病	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
べと病	やや多	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並
えそ条斑病	並(-)	並	並	やや少	少	並(-)	並(-)	並(-)	やや少
シロイチモジヨトウ	並(-)	並(-)	多	やや多	多	やや多	多	やや多	やや多
ハスモンヨトウ	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)	並(-)
ネギハモグリバエ	並(-)	少(-)	やや少	並	やや少(-)	やや少	少	やや少	やや少
ネギアザミウマ	やや少	やや少	並	少	少	やや少	やや少	やや多	やや少

-: 調査せず、(+): 発生を認めた、(-): 発生を認めず

表2 巡回調査結果

(25株調査)

調査時期 (月・半月)	年次	さび病		黒斑病		べと病		えそ条斑病	
		発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	発病 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
4・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	10.7	33.3	0.0	0.0
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	2.2	6.0	0.1	2.5	2.4	9.9	(0.8)	(7.5)
5・3~4	6年	10.4	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	40.0
	5年	0.7	16.7	0.0	0.0	1.6	33.3	1.3	16.7
	平年	5.5	18.6	0.2	3.7	2.2	22.2	(4.5)	(43.4)
6・3~4	6年	1.7	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	38.9	85.7
	5年	5.7	85.7	1.1	14.3	0.0	0.0	49.1	85.7
	平年	11.3	38.4	5.3	11.4	2.0	2.0	37.9	84.5
7・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.4	60.0
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	16.7	6.7	66.7
	平年	1.3	10.0	10.8	31.0	2.9	7.4	(25.7)	(75.1)
8・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	25.0
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	12.5
	平年	1.2	10.0	9.7	31.0	2.6	5.7	(23.6)	(75.1)
9・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	1.4	14.8	0.0	0.0	(1.1)	(16.8)
10・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.0	0.0	0.4	7.5	3.5	7.5	(1.9)	(24.7)
11・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	0.0	0.0	1.1	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年	0.1	1.7	1.2	9.8	0.0	0.0	(0.4)	(5.6)

調査時期 (月・半月)	年次	シロイチモジヨトウ		ハスモンヨトウ		ネギハモグリバエ		ネギアザミウマ	
		寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	被害 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
4・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.3	100.0
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	33.3	45.3	100.0
	平均	(0.0)	(0.0)	0.0	0.0	(0.5)	(10.7)	(49.7)	(85.1)
5・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	78.4	100.0
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	16.7	81.6	100.0
	平均	(0.0)	(0.0)	0.0	0.0	(6.3)	(40.2)	(90.7)	(100.0)
6・3~4	6年	1.1	14.3	0.0	0.0	0.6	14.3	99.4	100.0
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	14.3	74.3	100.0
	平均	(0.0)	(0.0)	0.0	0.0	(5.4)	(20.5)	(89.6)	(100.0)
7・3~4	6年	0.8	40.0	0.0	0.0	0.8	20.0	48.0	80.0
	5年	3.3	33.3	0.0	0.0	2.0	16.7	54.0	83.3
	平均	(1.1)	(16.7)	0.0	0.0	(9.3)	(39.5)	(78.5)	(98.1)
8・3~4	6年	6.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.0	100.0
	5年	3.3	33.3	0.0	0.0	2.0	16.7	54.0	83.3
	平均	(1.4)	(19.0)	0.0	0.0	(8.5)	(37.0)	(75.8)	(98.1)
9・3~4	6年	5.3	33.3	0.0	0.0	2.7	33.3	21.3	100.0
	5年	1.3	28.6	0.0	0.0	6.7	28.6	38.7	85.7
	平均	(2.7)	(31.6)	0.0	0.0	(22.1)	(66.3)	(41.8)	(87.8)
10・3~4	6年	5.6	40.0	0.0	0.0	1.6	40.0	30.4	60.0
	5年	0.0	0.0	0.0	0.0	10.3	28.6	62.9	100.0
	平均	(2.2)	(31.6)	(1.0)	(2.5)	(32.0)	(67.4)	(45.5)	(86.1)
11・3~4	6年	1.6	40.0	0.0	0.0	0.8	20.0	53.6	100.0
	5年	3.4	42.9	0.0	0.0	2.3	28.6	55.4	100.0
	平均	(0.5)	(13.3)	0.0	0.0	(13.2)	(46.9)	(41.9)	(83.5)

(19) エビイモ 病害虫の発生状況

表1 発生量の平年比較

病害虫名\調査月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	全期間
汚斑病	(-)	(-)	(-)	(+)	(+)	(+)	(+)
モザイク病	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
アブラムシ類	(-)	(-)	(-)	(+)	(+)	(+)	(+)
ハスモンヨトウ	(-)	(-)	(-)	(+)	(+)	(+)	(+)
ハダニ類	(-)	(+)	(-)	(+)	(+)	(+)	(+)

- : 調査せず、(+): 発生を認めた、(-): 発生を認めず

表2 巡回調査結果

調査時期 (月・半 旬)	年次	汚斑病			モザイク病		アブラムシ類			ハスモンヨトウ			ハダニ類		
		発病 株率 (%)	発病度	発生 ほ場 率(%)	発病 葉率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	幼虫数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)	寄生 虫数 (/10株)	寄生 株率 (%)	発生 ほ場 率(%)
5・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	2.0	0.4	50.0	4.0	50.0	1.4	12.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.6	2.0	50.0
	平年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	2.0	50.0
	5年	0.0	0.0	0.0	6.0	100.0	18.2	42.0	100.0	0.0	0.0	0.0	34.8	18.0	50.0
	平年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7・3~4	6年	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年	2.0	0.4	50.0	16.0	100.0	33.6	12.0	50.0	0.0	0.0	0.0	151.8	14.0	50.0
	平年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8・3~4	6年	28.0	4.7	50.0	0.0	0.0	1.4	2.0	50.0	2.2	2.0	50.0	206.4	28.0	100.0
	5年	2.0	0.4	50.0	4.0	50.0	0.4	4.0	50.0	19.0	24.0	100.0	97.6	36.0	50.0
	平年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9・3~4	6年	54.0	9.0	50.0	0.0	0.0	4.0	2.0	50.0	20.8	4.0	50.0	24.2	8.0	50.0
	5年	50.0	9.4	50.0	2.0	50.0	0.8	8.0	50.0	22.2	14.0	50.0	8.0	4.0	50.0
	平年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10・3~4	6年	100.0	21.3	100.0	0.0	0.0	6.6	12.0	50.0	22.8	30.0	100.0	14.4	8.0	50.0
	5年	100.0	38.0	100.0	0.0	0.0	7.4	10.0	50.0	0.0	0.0	0.0	4.6	8.0	50.0
	平年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

2) 予察灯・誘引剤トラップ・黄色水盤による調査の結果

(1) 予察灯(60W・ブラックライト：BL)の調査結果

対象害虫	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R6	平年値等	R6	平年値等	R6	平年値等
ヒメトビウンカ (60W)	49	2.7	6	1.6	20	29.9
セジロウンカ (60W)	41	15.5	29	9.1	46	84.1
トビイロウンカ (60W)	2	15.0	7	3.3	29	17.4
ツマグロヨコバイ (60W)	101	62.1	10	7.6	27	19.1
イネミズゾウムシ (60W)	59	57.7	141	404.3	81	96.3
アオクサカメムシ (60W)	0	0.8	11	3.3	2	0.3
チャバネアオカメムシ (60W)	1,730	78.3	1,123	24.5	3,482	38.0
チャバネアオカメムシ (BL)	1,294	229.5	2,585	114.6	3,301	439.5
クサギカメムシ (60W)	81	8.5	224	8.6	2,057	25.7
クサギカメムシ (BL)	47	13.2	142	15.2	1,964	118.1
イチモンジカメムシ (60W)	10	1.8	11	6.1	35	1.9
イネクロカメムシ (60W)	155	78.2	61	2.3	6	0.5
クモヘリカメムシ (60W)	0	0.7	10	6.8	30	6.3
シラホシカメムシ (60W)	1	0.5	9	1.4	2	0.9
アカヒゲホソミドリカスミカメ (60W)	10	30.9	81	43.6	28	57.1
アカスジカスミカメ (60W)	28	17.3	371	130.4	153	167.1
ツマグロアオカスミカメ (60W)	146	48.1	183	28.5	45	10.6
フタオビコヤガ (60W)	2	10.5	3	21.2	18	38.6
ニカメイガ (60W)	0	3.3	1	1.4	0	1.2
コナガ (60W)	14	18.4	17	39.3	12	24.6
シロオビノメイガ (60W)	3	2.6	61	6.0	39	5.8
ドウガネブイブイ (BL)	241	363.5	105	164.6	211	325.9
クロコガネ (BL)	65	62.7	16	16.1	5	47.4
ヒメコガネ (BL)	1,271	3145.1	60	73.4	974	1091.0
アカビロウドコガネ(BL)	31	84.1	13	27.6	13	63.2

注：数字は調査期間内（4～10月）の総誘殺数（頭）

ヒメトウモロコシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R6	平年	R6	平年	R6	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	6.7
6	0	0.0	0	0.0	0	11.8
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.2
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	11.8
7・1	2	0.0	0	0.4	0	1.5
2	1	0.0	0	0.0	0	0.3
3	0	0.0	0	0.1	0	0.2
4	2	0.0	0	0.0	0	0.0
5	1	0.1	1	0.0	0	0.0
6	0	0.2	0	0.0	0	0.0
8・1	6	0.0	1	0.2	0	0.1
2	1	0.2	0	0.0	1	0.4
3	26	0.2	0	0.0	0	2.6
4	2	1.1	0	0.1	0	1.6
5	2	0.3	2	0.1	5	0.2
6	1	0.2	0	0.0	11	0.3
9・1	1	0.2	2	0.0	1	0.9
2	0	0.0	0	0.0	0	0.7
3	0	0.0	0	0.2	0	1.1
4	2	0.0	0	0.0	2	0.4
5	0	0.1	0	0.1	0	0.3
6	2	0.0	0	0.1	0	0.2
10・1	0	0.1	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.3
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	49	2.7	6	1.6	20	29.9

セジロウモロコシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R6	平年	R6	平年	R6	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0	1	0.1
5	0	0.0	0	0.0	7	0.1
6	0	0.3	0	0.0	0	0.1
7・1	4	0.0	13	0.3	2	1.4
2	1	0.5	2	0.4	0	1.4
3	2	0.4	1	0.1	0	2.9
4	7	0.4	0	0.3	1	0.4
5	1	0.1	1	0.2	0	0.2
6	1	0.2	0	0.2	1	0.1
8・1	5	1.4	1	0.1	2	0.7
2	0	0.4	0	0.2	2	1.5
3	8	0.2	1	0.6	2	5.0
4	6	1.8	2	0.8	4	8.7
5	1	1.7	3	0.9	4	5.1
6	0	2.2	1	0.4	7	9.0
9・1	2	2.2	2	0.7	6	4.1
2	0	0.9	1	0.0	1	17.6
3	0	0.2	0	0.1	0	4.5
4	2	0.8	0	0.7	0	10.8
5	0	0.8	0	1.8	0	6.5
6	1	0.5	0	0.4	0	2.2
10・1	0	0.3	1	0.3	5	0.3
2	0	0.1	0	0.3	1	0.6
3	0	0.0	0	0.1	0	0.1
4	0	0.0	0	0.1	0	0.2
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.0
計	41	15.5	29	9.1	46	84.1

トビイロウモロコシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R6	平年	R6	平年	R6	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.2
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8・1	0	0.2	0	0.0	0	0.1
2	0	0.1	0	0.1	0	0.2
3	0	0.2	0	0.0	1	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.0
5	1	0.0	0	0.0	0	0.1
6	1	1.8	0	0.2	0	0.8
9・1	0	2.8	0	0.0	0	1.7
2	0	2.4	0	0.0	1	1.8
3	0	0.4	0	0.5	0	1.1
4	0	1.5	0	0.5	0	5.8
5	0	0.8	1	0.4	1	2.0
6	0	0.8	1	0.1	0	2.2
10・1	0	2.2	5	1.2	17	1.2
2	0	0.3	0	0.2	6	0.1
3	0	0.6	0	0.1	3	0.0
4	0	0.5	0	0.0	0	0.1
5	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.2	0	0.0	0	0.0
計	2	15.0	7	3.3	29	17.4

ツマゴロボコバイ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R6	平年	R6	平年	R6	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.2	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6	0	0.3	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.1	0	0.0	0	0.0
2	1	1.2	0	0.0	0	0.0
3	2	0.7	0	0.1	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0	0	0.6
6	0	0.1	0	0.1	1	0.6
7・1	3	0.1	1	0.3	0	0.1
2	8	0.5	1	0.5	0	0.3
3	3	2.1	0	0.6	1	0.1
4	30	3.7	3	0.6	2	3.0
5	22	3.8	1	2.1	0	3.3
6	5	2.6	0	1.5	0	2.9
8・1	2	2.0	0	0.3	0	1.2
2	4	1.7	1	0.2	0	0.6
3	5	2.9	1	0.1	0	0.9
4	7	4.8	1	0.1	0	0.1
5	4	4.6	0	0.0	2	0.0
6	2	3.3	1	0.4	17	0.3
9・1	3	6.8	0	0.2	1	1.1
2	0	10.6	0	0.1	3	1.6
3	0	4.6	0	0.0	0	1.9
4	0	3.5	0	0.0	0	0.2
5	0	1.3	0	0.1	0	0.0
6	0	0.6	0	0.0	0	0.1
10・1	0	0.1	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	101	62.1	10	7.6	27	19.1

イネミズソウムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R6	平年	R6	平年	R6	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.0	4	0.0	0	0.1
5	0	0.0	1	2.4	0	0.2
6	0	0.0	8	2.3	0	0.6
5・1	0	0.7	0	25.7	0	2.5
2	0	0.0	0	52.7	0	11.0
3	1	0.2	5	34.5	0	8.0
4	0	0.2	5	21.5	11	3.5
5	0	0.7	7	14.3	3	3.8
6	1	0.3	18	6.5	0	3.1
6・1	0	0.3	0	5.3	0	4.5
2	0	1.2	1	1.6	0	2.0
3	1	0.2	0	2.3	0	1.2
4	0	0.2	0	0.7	0	0.9
5	0	0.3	0	0.5	0	1.7
6	0	0.6	0	0.7	0	0.6
7・1	0	0.0	0	0.3	0	1.2
2	0	0.0	0	2.3	0	0.8
3	0	0.9	2	7.5	1	3.5
4	5	1.5	23	24.5	18	8.4
5	15	8.6	16	52.2	34	10.7
6	15	12.1	30	61.5	4	9.5
8・1	4	10.1	8	36.8	3	4.5
2	5	6.9	6	24.2	2	8.6
3	6	4.0	3	13.4	4	2.6
4	1	5.5	1	6.3	1	1.5
5	1	2.3	3	2.4	0	0.7
6	2	0.5	0	1.3	0	0.3
9・1	0	0.3	0	0.5	0	0.2
2	0	0.1	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0
4	1	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	1	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	59	57.7	141	404.3	81	96.3

アオクサカメムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R6	平年	R6	平年	R6	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.2	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
7・1	0	0.1	1	0.0	0	0.0
2	0	0.0	1	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	1	0.0
5	0	0.1	3	0.4	0	0.0
6	0	0.0	1	0.1	0	0.0
8・1	0	0.0	0	0.3	0	0.0
2	0	0.1	0	0.2	0	0.1
3	0	0.2	0	0.1	0	0.1
4	0	0.0	0	0.3	0	0.0
5	0	0.1	3	0.1	1	0.1
6	0	0.0	1	0.2	0	0.0
9・1	0	0.0	0	0.2	0	0.0
2	0	0.0	0	0.2	0	0.0
3	0	0.0	0	0.3	0	0.0
4	0	0.0	0	0.4	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	1	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.2	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	0	0.8	11	3.3	2	0.3

クサギカメムシ(予察灯60W・BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市 (60W)		京田辺市 (BL)		亀岡市 (60W)		亀岡市 (BL)		京丹後市 (60W)		京丹後市 (BL)	
	R6	平年	R6	例年	R6	平年	R6	平年	R6	平年	R6	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4・2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4・3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4・4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4・5	4	0.4	2	0.1	0	0.0	0	0.0	2	0.0	2	0.5
4・6	14	0.8	8	1.2	1	0.0	0	0.0	0	0.0	5	0.3
5・1	27	0.5	5	0.2	1	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.3
5・2	7	0.5	8	0.4	0	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.2
5・3	57	0.5	57	1.5	5	0.0	3	0.7	20	1.2	89	5.0
5・4	38	0.6	37	3.5	6	0.7	5	1.8	3	1.2	33	4.6
5・5	11	0.2	17	3.0	1	0.7	7	3.8	20	2.4	83	3.8
5・6	7	0.4	39	4.2	17	0.1	19	0.9	31	0.4	61	3.4
6・1	2	0.4	3	2.7	2	0.0	2	0.9	6	0.6	1	3.7
6・2	3	0.4	6	1.2	7	0.2	0	0.2	14	0.1	30	1.5
6・3	26	0.1	32	1.4	13	0.0	4	0.5	45	0.3	57	2.4
6・4	12	1.1	7	3.8	1	0.2	4	1.2	38	0.3	37	1.3
6・5	86	6.1	58	27.6	15	1.7	4	2.2	80	0.9	48	12.9
6・6	102	11.1	53	40.4	11	2.2	8	2.5	96	3.8	240	21.8
7・1	313	9.3	228	18.7	43	0.4	60	2.0	576	3.2	343	11.5
7・2	165	5.6	134	16.2	39	1.6	121	2.9	551	2.8	264	16.5
7・3	38	4.4	29	10.2	50	0.2	7	1.0	127	1.6	92	6.2
7・4	119	5.9	57	15.9	234	1.0	19	5.6	340	1.3	231	15.7
7・5	103	4.1	70	11.0	223	1.4	53	3.9	317	1.7	191	15.0
7・6	130	6.6	62	23.6	150	1.0	147	4.9	389	1.6	461	26.8
8・1	115	5.1	128	16.7	82	1.4	189	5.9	144	0.7	173	15.1
8・2	143	2.6	48	5.2	16	1.1	212	15.0	78	0.4	59	16.5
8・3	104	2.9	93	5.1	13	2.0	467	13.2	162	0.9	59	17.5
8・4	22	1.5	35	3.1	11	0.9	160	7.4	56	1.5	55	26.8
8・5	48	0.8	52	1.2	24	1.4	423	6.0	61	2.4	109	46.8
8・6	9	0.8	15	1.2	26	1.1	51	7.4	45	1.5	101	33.7
9・1	7	1.1	5	1.7	18	0.3	118	4.4	21	1.2	39	35.7
9・2	9	2.2	3	4.2	35	0.4	174	4.4	62	1.1	166	18.9
9・3	5	1.1	1	1.0	24	1.0	178	2.2	93	2.1	79	17.6
9・4	0	0.6	1	0.5	23	0.3	68	1.3	26	0.4	35	14.8
9・5	1	0.4	0	0.5	6	0.3	5	2.3	6	0.2	9	11.2
9・6	0	0.2	0	1.2	14	1.2	42	2.8	38	0.9	29	12.1
10・1	0	0.1	0	0.7	4	0.5	9	0.9	16	0.4	13	11.0
10・2	1	0.2	0	0.2	5	0.5	8	3.3	3	0.2	7	5.2
10・3	0	0.0	0	0.1	0	0.1	0	1.8	6	0.1	46	0.8
10・4	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	3	0.0	8	0.3
10・5	1	0.1	0	0.0	1	0.0	1	0.0	4	0.0	16	0.1
10・6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.0	3	0.1
計	1,730	78.3	1,294	229.5	1,123	24.5	2,585	114.6	3,482	38.0	3,301	439.5

チャハネアオカメムシ(予察灯60W・BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市 (60W)		京田辺市 (BL)		亀岡市 (60W)		亀岡市 (BL)		京丹後市 (60W)		京丹後市 (BL)	
	R6	平年	R6	平年	R6	平年	R6	平年	R6	平年	R6	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4・2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4・3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4・4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4・5	4	0.4	2	0.1	0	0.1	2	0.0	0	0.0	3	0.1
4・6	14	0.8	8	1.2	3	0.1	13	0.1	1	0.0	3	0.7
5・1	27	0.5	5	0.2	1	0.0	1	0.3	0	0.1	3	1.1
5・2	7	0.5	8	0.4	0	0.3	0	0.9	3	0.5	25	1.2
5・3	57	0.5	57	1.5	5	0.0	3	0.7	20	1.2	89	5.0
5・4	38	0.6	37	3.5	6	0.7	5	1.8	3	1.2	33	4.6
5・5	11	0.2	17	3.0	1	0.7	7	3.8	20	2.4	83	3.8
5・6	7	0.4	39	4.2	17	0.1	19	0.9	31	0.4	61	3.4
6・1	2	0.4	3	2.7	2	0.0	2	0.9	6	0.6	1	3.7
6・2	3	0.4	6	1.2	7	0.2	0	0.2	14	0.1	30	1.5
6・3	26	0.1	32	1.4	13	0.0	4	0.5	45	0.3	57	2.4
6・4	12	1.1	7	3.8	1	0.2	4	1.2	38	0.3	37	1.3
6・5	86	6.1	58	27.6	15	1.7	4	2.2	80	0.9	48	12.9
6・6	102	11.1	53	40.4	11	2.2	8	2.5	96	3.8	240	21.8
7・1	313	9.3	228	18.7	43	0.4	60	2.0	576	3.2	343	11.5
7・2	165	5.6	134	16.2	39	1.6	121	2.9	551	2.8	264	16.5
7・3	38	4.4	29	10.2	50	0.2	7	1.0	127	1.6	92	6.2
7・4	119	5.9	57	15.9	234	1.0	19	5.6	340	1.3	231	15.7
7・5	103	4.1	70	11.0	223	1.4	53	3.9	317	1.7	191	15.0
7・6	130	6.6	62	23.6	150	1.0	147	4.9	389	1.6	461	26.8
8・1	115	5.1	128	16.7	82	1.4	189	5.9	144	0.7	173	15.1
8・2	143	2.6	48	5.2	16	1.1	212	15.0	78	0.4	59	16.5
8・3	104	2.9	93	5.1	13	2.0	467	13.2	162	0.9	59	17.5
8・4	22	1.5	35	3.1	11	0.9	160	7.4	56	1.5	55	26.8
8・5	48	0.8	52	1.2	24	1.4	423	6.0	61	2.4	109	46.8
8・6	9	0.8	15	1.2	26	1.1	51	7.4	45	1.5	101	33.7
9・1	7	1.1	5	1.7	18	0.3	118	4.4	21	1.2	39	35.7
9・2	9	2.2	3	4.2	35	0.4	174	4.4	62	1.1	166	18.9
9・3	5	1.1	1	1.0	24	1.0	178	2.2	93	2.1	79	17.6
9・4	0	0.6	1	0.5	23	0.3	68	1.3	26	0.4	35	14.8
9・5	1	0.4	0	0.5	6	0.3	5	2.3	6	0.2	9	11.2
9・6	0	0.2	0	1.2	14	1.2	42	2.8	38	0.9	29	12.1
10・1	0	0.1	0	0.7	4	0.5	9	0.9	16	0.4	13	11.0
10・2	1	0.2	0	0.2	5	0.5	8	3.3	3	0.2	7	5.2
10・3	0	0.0	0	0.1	0	0.1	0	1.8	6	0.1	46	0.8
10・4	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	3	0.0	8	0.3
10・5	1	0.1	0	0.0	1	0.0	1	0.0	4	0.0	16	0.1
10・6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.0	3	0.1
計	1,730	78.3	1,294	229.5	1,123	24.5	2,585	114.6	3,482	38.0	3,301	439.5

イチョモンジカメムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R6	平年	R6	平年	R6	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.2	0	0.2	0	0.0
5	0	0.0	1	0.1	4	0.1
6	0	0.3	0	0.7	2	0.1
7・1	2	0.0	0	0.3	2	0.1
2	0	0.1	0	0.2	4	0.1
3	0	0.0	1	0.5	1	0.0
4	1	0.1	0	0.3	3	0.1
5	0	0.1	0	0.5	6	0.0
6	0	0.1	1	0.4	0	0.1
8・1	2	0.2	1	0.3	2	0.1
2	1	0.0	1	0.2	3	0.2
3	0	0.2	3	0.2	1	0.0
4	1	0.2	0	0.7	2	0.2
5	1	0.0	2	0.4	1	0.0
6	1	0.0	0	0.1	1	0.1
9・1	0	0.0	0	0.1	2	0.3
2	0	0.0	1	0.0	1	0.2
3	0	0.0	0	0.1	0	0.1
4	0	0.2	0	0.1	0	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.1
6	1	0.0	0	0.1	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.3	0	0.0
2	0	0.1	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	10	1.8	11	6.1	35	1.9

イネクロカメムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R6	平年	R6	平年	R6	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.4	0	0.0	0	0.0
5	0	1.6	0	0.0	0	0.0
6	6	2.2	0	0.0	0	0.1
6・1	1	4.8	0	0.0	0	0.0
2	4	6.5	0	0.1	1	0.1
3	4	3.4	4	0.0	0	0.0
4	6	2.8	1	0.4	0	0.0
5	6	2.6	3	0.2	0	0.0
6	12	4.1	0	0.2	0	0.1
7・1	19	6.0	0	0.1	0	0.1
2	8	1.3	0	0.0	0	0.0
3	2	0.9	0	0.0	0	0.0
4	5	0.9	2	0.0	0	0.0
5	3	2.8	0	0.0	0	0.0
6	10	3.7	0	0.0	0	0.0
8・1	14	3.4	0	0.0	0	0.0
2	13	1.6	0	0.0	0	0.0
3	8	2.2	0	0.0	1	0.0
4	0	1.1	0	0.0	0	0.0
5	0	0.4	0	0.0	0	0.0
6	0	1.6	0	0.1	1	0.0
9・1	0	2.8	0	0.0	0	0.0
2	0	4.6	2	0.0	0	0.0
3	17	5.8	10	0.9	0	0.1
4	10	4.8	39	0.2	3	0.0
5	5	2.6	0	0.1	0	0.0
6	1	1.7	0	0.0	0	0.0
10・1	1	0.5	0	0.0	0	0.0
2	0	1.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	155	78.2	61	2.3	6	0.5

クモヘリカメムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R6	平年	R6	平年	R6	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.2	0	1.0	2	0.3
6	0	0.0	1	0.6	0	0.2
8・1	0	0.1	0	0.4	5	0.4
2	0	0.1	2	0.1	3	0.6
3	0	0.0	4	1.0	1	0.2
4	0	0.0	0	0.3	5	0.5
5	0	0.0	1	0.3	5	0.4
6	0	0.2	1	0.1	2	0.4
9・1	0	0.0	0	0.2	0	0.5
2	0	0.0	0	0.0	2	0.3
3	0	0.0	0	0.1	0	0.4
4	0	0.0	1	0.0	4	0.0
5	0	0.0	0	0.0	5	0.0
6	0	0.0	0	0.0	1	0.2
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	0	0.7	10	6.8	30	6.3

シラホシカメムシ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R6	平年	R6	平年	R6	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
7・1	0	0.1	0	0.2	0	0.0
2	0	0.0	1	0.1	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.2	1	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.1
8・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.1
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	2	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.1
9・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	1	0.3
4	0	0.0	2	0.2	0	0.1
5	0	0.1	1	0.0	0	0.0
6	0	0.0	1	0.1	0	0.0
10・1	0	0.0	1	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	1	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	1	0.5	9	1.4	2	0.9

アカヒゲホソミドリカスミカメ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R6	平年	R6	平年	R6	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.2	1	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.2	0	0.1
3	0	0.2	0	0.2	0	0.1
4	0	0.1	0	0.4	1	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.2
6	1	0.4	1	0.2	0	0.0
6・1	0	0.6	0	1.2	0	0.8
2	0	3.1	0	3.5	0	2.4
3	2	1.7	0	6.0	1	6.6
4	0	2.8	3	4.4	2	6.2
5	0	2.0	5	4.1	3	4.8
6	0	1.6	4	5.8	1	4.7
7・1	1	2.6	13	4.6	0	3.8
2	2	2.4	12	3.2	0	4.2
3	0	3.8	2	1.0	1	3.4
4	2	1.1	3	2.7	2	3.8
5	0	1.3	0	1.3	0	4.1
6	0	1.8	2	0.9	0	2.4
8・1	1	1.9	3	0.8	0	1.2
2	1	0.5	0	0.1	0	1.7
3	0	0.2	0	0.4	0	1.5
4	0	0.5	9	0.1	2	0.9
5	0	0.2	2	0.4	6	0.6
6	0	0.4	1	0.6	6	0.5
9・1	0	0.3	1	0.2	0	0.6
2	0	0.5	1	0.0	0	0.5
3	0	0.0	1	0.3	1	0.4
4	0	0.2	5	0.0	0	0.6
5	0	0.3	5	0.4	0	0.5
6	0	0.1	4	0.1	0	0.3
10・1	0	0.1	2	0.0	1	0.0
2	0	0.1	2	0.1	0	0.1
3	0	0.0	0	0.1	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.1
6	0	0.1	0	0.0	0	0.0
計	10	30.9	81	43.6	28	57.1

アカスジカスミカメ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R6	平年	R6	平年	R6	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.2	2	0.5
4	0	0.0	0	1.0	4	0.0
5	2	0.4	0	1.3	4	0.7
6	0	0.0	0	1.9	11	2.0
6・1	0	0.2	0	1.4	4	4.2
2	0	0.1	0	1.6	4	4.5
3	0	0.0	3	4.4	0	2.8
4	0	0.3	17	4.0	2	3.3
5	1	1.1	27	8.7	16	5.1
6	0	1.5	13	23.7	3	17.4
7・1	0	1.0	21	13.1	3	20.5
2	1	0.7	39	8.2	4	17.6
3	0	1.2	18	5.8	1	7.9
4	2	1.3	12	9.1	0	14.3
5	7	1.1	28	2.7	2	14.1
6	8	2.0	13	6.0	3	9.6
8・1	4	1.8	8	5.8	1	7.6
2	0	0.6	7	3.6	2	4.9
3	0	0.5	2	3.5	6	2.8
4	0	0.2	5	2.5	23	1.8
5	1	0.2	8	2.7	6	2.8
6	0	0.2	7	2.6	17	3.1
9・1	0	0.1	2	2.0	0	2.6
2	1	0.1	24	0.8	2	1.4
3	0	0.4	12	2.3	5	6.2
4	1	0.6	69	3.4	14	3.9
5	0	0.5	6	1.6	7	2.3
6	0	0.8	19	3.2	1	1.8
10・1	0	0.1	2	1.7	0	0.5
2	0	0.1	3	1.1	0	0.7
3	0	0.0	0	0.0	4	0.1
4	0	0.0	4	0.3	0	0.1
5	0	0.1	1	0.2	2	0.0
6	0	0.0	1	0.0	0	0.0
計	28	17.3	371	130.4	153	167.1

ツマプロアオカスミカメラ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R6	平年	R6	平年	R6	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.2	0	0.0
2	0	0.1	0	0.1	0	0.0
3	1	0.0	0	0.1	0	0.0
4	0	0.1	0	0.3	1	0.2
5	0	0.2	0	0.2	0	0.2
6	0	0.4	1	0.1	5	0.8
6・1	0	0.1	0	0.3	0	0.5
2	0	0.0	0	0.3	1	0.9
3	0	0.2	0	0.6	0	0.6
4	0	0.2	1	0.9	3	0.1
5	1	0.2	5	0.3	1	0.1
6	0	0.9	1	1.0	0	0.7
7・1	0	0.3	5	1.5	5	0.7
2	2	0.4	8	0.4	0	0.1
3	0	0.7	2	0.3	0	0.3
4	0	0.4	1	0.6	1	0.4
5	0	0.5	2	1.1	0	0.3
6	2	0.0	1	0.3	0	0.4
8・1	1	0.3	0	0.9	1	0.0
2	2	0.3	1	0.5	1	0.0
3	1	0.3	2	0.1	1	0.1
4	1	0.5	1	0.4	0	0.0
5	4	1.1	1	0.0	3	0.1
6	11	1.0	2	0.6	2	0.4
9・1	6	2.9	0	1.5	1	0.6
2	7	6.9	20	0.9	0	0.5
3	13	2.4	15	2.0	4	0.2
4	30	4.2	55	1.7	5	0.4
5	24	3.7	23	1.7	2	0.4
6	15	2.1	7	3.2	0	0.3
10・1	13	2.4	10	1.5	2	0.2
2	0	1.3	4	0.9	0	0.4
3	0	4.9	1	1.4	2	0.4
4	4	4.0	6	0.4	0	0.1
5	5	2.6	1	0.9	2	0.2
6	3	2.5	7	1.3	2	0.0
計	146	48.1	183	28.5	45	10.6

フタオビコヤガ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R6	平年	R6	平年	R6	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.2	0	0.0
3	0	0.0	0	0.1	0	0.2
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.4	0	0.0	0	0.0
3	0	0.6	0	0.0	0	0.2
4	0	0.3	0	0.1	0	0.1
5	0	0.6	0	0.1	0	0.4
6	0	0.5	0	0.2	0	0.3
7・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.3	0	0.1	0	0.2
3	1	0.0	0	0.3	0	0.6
4	0	0.1	0	1.0	0	2.4
5	0	0.4	0	0.7	0	1.0
6	0	0.0	0	1.3	1	0.9
8・1	0	0.5	0	1.5	0	0.6
2	0	0.5	2	2.5	4	1.8
3	0	0.2	0	3.9	0	4.5
4	0	1.1	0	3.7	0	5.5
5	0	2.0	1	2.2	0	6.7
6	0	1.8	0	1.9	5	9.1
9・1	0	0.5	0	0.7	4	2.3
2	0	0.2	0	0.1	2	0.9
3	0	0.3	0	0.2	1	0.4
4	1	0.0	0	0.0	1	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.3
6	0	0.2	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	2	10.5	3	21.2	18	38.6

ニカメイガ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R6	平年	R6	平年	R6	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	1	0.0	0	0.0
5・1	0	0.1	0	0.0	0	0.0
2	0	0.1	0	0.0	0	0.0
3	0	0.7	0	0.3	0	0.0
4	0	0.2	0	0.2	0	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.1
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.2
2	0	0.1	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.0
4	0	0.2	0	0.0	0	0.0
5	0	0.1	0	0.0	0	0.3
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.1	0	0.0	0	0.2
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.1	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8・1	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.3	0	0.1	0	0.0
5	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9・1	0	0.4	0	0.0	0	0.0
2	0	0.1	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.0
5	0	0.2	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	0	3.3	1	1.4	0	1.2

コナガ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R6	平年	R6	平年	R6	平年
4・1	0	0.6	1	0.1	1	0.2
2	0	0.0	1	0.2	5	0.1
3	1	0.4	2	0.2	1	0.2
4	1	0.6	0	0.8	1	0.2
5	0	0.2	2	0.6	1	0.4
6	1	0.4	0	0.3	0	0.5
5・1	3	0.3	0	1.0	0	0.1
2	1	1.0	0	0.8	1	0.2
3	2	0.9	0	1.3	0	0.6
4	1	1.3	1	1.3	0	0.2
5	1	1.3	1	0.3	0	1.2
6	0	1.6	0	0.2	0	0.9
6・1	1	0.9	0	0.4	0	1.4
2	1	1.1	0	1.2	0	1.0
3	1	1.4	0	1.3	0	1.0
4	1	0.8	1	1.7	0	1.4
5	0	0.7	1	3.0	1	1.8
6	0	0.4	2	4.5	1	1.7
7・1	0	0.7	0	3.6	0	1.6
2	0	0.4	1	4.6	0	0.9
3	0	0.3	0	3.1	0	1.0
4	0	0.1	0	1.6	0	0.7
5	0	0.0	0	1.4	0	0.4
6	0	0.2	0	0.8	0	0.4
8・1	0	0.0	0	0.7	0	0.3
2	0	0.4	0	0.4	0	0.3
3	0	0.3	0	0.2	0	0.2
4	0	1.0	3	0.3	0	0.2
5	0	0.5	1	0.1	0	0.0
6	0	0.1	0	0.3	0	0.1
9・1	0	0.1	0	0.2	0	0.4
2	0	0.1	0	0.2	0	0.0
3	0	0.1	0	0.2	0	0.5
4	0	0.0	0	0.4	0	0.2
5	0	0.0	0	0.2	0	0.8
6	0	0.0	0	0.1	0	0.8
10・1	0	0.0	0	0.4	0	1.6
2	0	0.0	0	0.3	0	0.2
3	0	0.0	0	0.2	0	0.0
4	0	0.0	0	0.2	0	0.2
5	0	0.0	0	0.4	0	0.6
6	0	0.1	0	0.4	0	0.1
計	14	18.4	17	39.3	12	24.6

シロオビノメイガ(予察灯60W)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R6	平年	R6	平年	R6	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	1	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.1	0	0.0
5	0	0.0	0	0.1	0	0.1
6	0	0.1	0	0.2	0	0.0
8・1	0	0.0	0	0.1	0	0.2
2	0	0.0	0	0.2	0	0.2
3	0	0.0	3	0.4	1	0.5
4	0	0.1	4	0.1	0	0.2
5	0	0.3	1	0.1	0	0.1
6	0	0.4	3	0.6	1	0.2
9・1	0	0.3	4	0.1	3	0.5
2	0	0.5	0	0.4	2	0.4
3	0	0.0	0	0.7	2	0.3
4	0	0.4	5	0.3	0	0.5
5	1	0.3	6	0.5	4	1.1
6	1	0.0	5	0.5	14	0.2
10・1	1	0.1	3	0.4	4	0.7
2	0	0.0	4	0.5	4	0.1
3	0	0.0	0	0.2	2	0.0
4	0	0.0	1	0.4	0	0.5
5	0	0.0	8	0.0	0	0.0
6	0	0.1	13	0.0	2	0.0
計	3	2.6	61	6.0	39	5.8

ドウガネブイブイ(予察灯BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R6	平年	R6	平年	R6	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.1	0	0.0	0	0.1
4	1	0.1	0	0.0	0	0.0
5	0	1.1	0	0.0	0	0.0
6	2	3.4	1	0.0	0	0.8
6・1	4	4.8	0	0.5	1	1.3
2	7	9.0	0	0.8	0	2.5
3	19	10.0	0	1.4	1	4.2
4	15	12.8	4	2.7	6	7.2
5	22	22.4	3	6.4	5	13.0
6	11	24.1	7	8.6	6	19.5
7・1	28	27.8	6	9.4	10	21.0
2	28	31.5	13	8.9	25	25.6
3	12	31.0	4	11.0	14	26.7
4	15	34.9	15	17.1	24	29.3
5	26	24.2	9	12.2	28	31.8
6	21	29.5	17	18.3	28	40.0
8・1	7	23.2	8	10.6	13	21.8
2	5	18.7	3	8.9	3	22.2
3	10	11.6	1	7.8	11	17.9
4	1	15.9	2	11.8	9	15.6
5	6	10.0	5	10.2	9	9.2
6	0	7.0	1	8.8	9	9.9
9・1	0	4.6	2	3.6	6	3.8
2	0	3.4	1	3.1	1	1.7
3	0	1.1	2	1.8	2	0.6
4	0	0.8	1	0.5	0	0.1
5	1	0.3	0	0.1	0	0.0
6	0	0.1	0	0.1	0	0.1
10・1	0	0.1	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	241	363.5	105	164.6	211	325.9

クワコガネ(予察灯BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R6	平年	R6	平年	R6	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.3	0	0.0	0	0.5
2	2	0.5	1	0.0	0	0.4
3	0	0.4	1	0.3	0	2.8
4	1	0.5	2	1.8	0	2.9
5	1	0.6	1	1.3	0	2.1
6	2	1.2	1	1.7	0	1.8
6・1	0	0.6	0	0.5	0	1.4
2	1	1.8	0	0.5	0	1.0
3	3	0.9	1	0.6	0	2.2
4	9	2.7	0	0.2	0	1.2
5	5	3.7	0	0.7	0	2.4
6	13	5.6	0	0.5	0	3.6
7・1	3	4.5	5	0.3	2	4.5
2	6	4.9	1	0.9	1	4.2
3	11	4.1	0	0.9	0	1.7
4	1	5.6	0	1.5	1	2.8
5	1	1.1	1	1.2	0	2.3
6	1	2.0	0	1.2	0	5.2
8・1	0	5.2	1	0.4	0	2.6
2	0	3.7	0	0.6	0	0.6
3	0	4.7	0	0.2	0	0.0
4	0	4.0	0	0.1	0	0.5
5	0	0.8	0	0.1	0	0.2
6	1	1.6	1	0.4	0	0.0
9・1	3	0.6	0	0.0	1	0.1
2	1	0.4	0	0.1	0	0.1
3	0	0.2	0	0.1	0	0.0
4	0	0.4	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0	0	0.0
10・1	0	0.0	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	65	62.7	16	16.1	5	47.4

ヒメコガネ(予察灯BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R6	平年	R6	平年	R6	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.1	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.1
3	0	0.0	0	0.0	0	0.2
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	1	0.3	0	0.0	0	0.0
6	1	0.1	0	0.0	0	0.0
6・1	0	1.1	0	0.4	0	0.5
2	2	3.6	0	0.1	0	1.9
3	8	3.8	0	0.4	2	0.9
4	27	11.7	2	0.8	1	4.3
5	25	34.6	1	2.5	6	9.3
6	26	45.8	4	2.4	21	23.0
7・1	38	70.8	6	3.7	35	42.6
2	56	106.9	4	4.5	37	64.9
3	40	128.9	3	8.1	89	90.2
4	67	172.3	10	10.1	161	142.1
5	102	230.9	7	8.7	178	182.6
6	121	382.3	9	12.9	179	252.9
8・1	194	396.1	5	7.0	112	120.2
2	188	368.8	6	3.9	84	64.2
3	140	355.8	0	2.3	39	47.4
4	122	321.2	1	2.2	12	32.8
5	44	214.5	2	1.7	11	8.3
6	39	156.9	0	0.7	5	2.1
9・1	17	71.6	0	0.3	2	0.3
2	9	32.5	0	0.4	0	0.2
3	3	21.3	0	0.2	0	0.0
4	1	7.4	0	0.0	0	0.0
5	0	4.4	0	0.0	0	0.0
6	0	0.8	0	0.1	0	0.0
10・1	0	0.3	0	0.0	0	0.0
2	0	0.4	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	1,271	3,145.1	60	73.4	974	1091.0

アカビロウドコガネ(予察灯BL)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R6	平年	R6	平年	R6	平年
4・1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.1	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.1
4	0	0.1	0	0.2	0	0.2
5	0	0.1	0	0.0	0	0.1
6	0	0.1	0	0.0	0	0.2
5・1	0	0.1	0	0.0	0	0.0
2	0	0.2	0	0.2	0	0.2
3	0	0.1	0	0.6	0	0.4
4	0	0.0	0	0.1	0	1.0
5	0	0.1	0	0.5	0	0.3
6	0	0.0	0	0.4	0	0.9
6・1	0	0.2	0	1.0	0	0.9
2	0	1.4	0	1.0	2	0.8
3	0	2.1	1	0.3	0	1.4
4	1	2.3	0	0.5	1	6.1
5	3	4.9	2	2.0	0	4.6
6	0	6.8	2	2.6	0	9.4
7・1	3	5.8	4	3.9	1	6.5
2	3	11.0	2	2.5	1	9.5
3	9	8.1	0	2.8	1	7.2
4	4	9.6	0	2.0	0	4.5
5	0	5.9	0	2.0	4	3.6
6	0	5.1	0	0.4	1	1.9
8・1	0	2.5	1	0.2	1	0.7
2	0	1.4	1	0.1	0	0.6
3	0	1.6	0	0.3	0	0.2
4	1	2.0	0	0.4	0	0.5
5	0	2.3	0	1.1	0	0.4
6	2	1.0	0	0.5	0	0.3
9・1	1	1.1	0	0.5	0	0.1
2	0	0.9	0	0.3	0	0.2
3	0	2.5	0	0.5	0	0.3
4	1	0.9	0	0.0	0	0.0
5	0	2.2	0	0.4	1	0.1
6	1	0.7	0	0.2	0	0.0
10・1	1	0.4	0	0.0	0	0.0
2	1	0.5	0	0.0	0	0.0
3	0	0.2	0	0.0	0	0.0
4	0	0.1	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	31	84.1	13	27.6	13	63.2

(2) 誘引剤トラップの調査結果

対象害虫	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R 6	平年	R 6	平年	R 6	平年
チャバネアオカメムシ	1184.0	93.0	6805.0	385.0	259.0	38.7
イチモンジカメムシ	—	—	191.3	117.5	—	—
ホソヘリカメムシ	268.0	232.0	218.0	70.9	460.0	144.7
コナガ	3.7	5.7	22.9	138.4	37.7	138.7
ハスモンヨトウ	1012.7	1143.1	733.0	2027.9	521.3	1024.6
シロイチモジヨトウ	405.3	305.8	250.8	351.0	732.8	741.3
カブラヤガ	—	—	1063.6	750.5	—	—
タバコガ	69.3	32.1	27.0	69.4	43.0	8.2
オオタバコガ	50.0	42.4	636.3	428.1	453.0	167.2

* 4～10月の総誘殺数（カブラヤガは1～12月、チャバネアオカメムシは5～10月、ホソヘリカメムシとイチモンジカメムシは4～11月）。

対象害虫	宇治市		綾部市		京丹後市	
	R 6	平年	R 6	平年	R 6	平年
チャノコカクモンハマキ	576.4	2367.3	1469.9	3064.8	736.6	1338.2
チャノホソガ	2440.7	4835.9	2395.1	7581.2	3533.2	4807.5

* 4月～10月の総誘殺数

チャバネアオカメムシ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R6	平年	R6	平年	R6	平年
5・1	2.9	0.0	22.9	4.1	0.0	0.4
5・2	5.0	0.5	11.3	4.5	0.4	0.5
5・3	11.6	0.4	12.9	6.2	1.6	0.8
5・4	32.5	0.3	50.0	9.0	5.0	0.8
5・5	5.0	0.1	53.1	11.0	5.6	0.8
5・6	6.4	0.9	53.1	9.8	6.9	0.5
6・1	5.6	1.0	26.0	6.1	5.4	0.4
6・2	5.0	0.5	41.4	4.3	4.3	0.3
6・3	36.4	0.4	33.4	2.9	8.9	0.4
6・4	35.7	1.7	46.9	4.0	11.1	0.5
6・5	22.9	3.2	70.0	9.8	12.9	1.7
6・6	54.3	7.0	90.7	15.5	3.6	2.9
7・1	85.6	8.2	244.1	19.0	9.1	2.4
7・2	88.1	6.1	314.9	16.3	11.9	2.5
7・3	15.0	7.4	188.6	19.5	7.9	2.1
7・4	147.0	9.0	425.1	21.1	10.7	2.5
7・5	131.1	7.7	551.4	30.8	7.1	2.9
7・6	93.3	9.6	816.3	57.8	6.9	2.5
8・1	152.4	8.8	767.6	24.9	34.1	1.3
8・2	49.7	5.3	507.7	13.8	33.2	0.8
8・3	43.6	4.9	438.6	13.8	13.6	0.7
8・4	67.5	3.8	394.2	17.0	9.2	0.8
8・5	44.4	2.5	359.4	15.8	4.1	1.2
8・6	27.4	1.1	265.7	7.4	2.6	1.1
9・1	6.7	0.7	121.4	5.1	1.9	0.9
9・2	5.0	0.6	238.6	5.5	3.6	1.0
9・3	1.0	0.6	163.0	5.5	4.0	0.7
9・4	0.9	0.3	120.2	5.5	2.5	0.8
9・5	1.1	0.1	107.6	4.6	2.3	0.5
9・6	0.0	0.1	120.7	5.3	5.7	0.9
10・1	0.0	0.0	48.1	5.6	2.9	1.7
10・2	0.3	0.0	28.6	0.8	3.3	0.4
10・3	0.7	0.1	26.4	0.7	5.0	0.5
10・4	0.0	0.1	21.4	0.6	5.0	0.3
10・5	0.0	0.0	15.0	0.6	3.3	0.1
10・6	0.0	0.0	8.6	0.8	3.7	0.1
5～10月計	1184.0	93.0	6805.0	385.0	259.0	38.7

イチモンジカメムシ
(フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R6	例年	R6	例年	R6	例年
4・1	2.1	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
4・2	3.3	0.7	1.4	2.1	1.4	2.1
4・3	2.1	1.0	2.9	4.4	3.3	1.6
4・4	0.4	0.5	0.6	0.4	1.1	0.3
4・5	0.0	0.5	0.0	0.5	0.3	0.5
4・6	0.0	0.6	0.0	0.1	0.7	0.1
5・1	0.0	0.3	0.0	0.5	0.7	0.2
5・2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.7	0.1
5・3	0.0	0.0	0.0	0.2	0.7	0.2
5・4	0.0	0.1	0.0	0.3	0.7	0.0
5・5	0.1	0.0	0.1	0.0	0.2	0.7
5・6	0.0	0.2	0.0	0.1	0.4	0.1
6・1	0.0	0.0	0.3	0.0	0.4	0.0
6・2	0.0	0.9	1.4	0.0	2.1	0.1
6・3	1.2	1.4	2.0	0.0	3.3	0.3
6・4	2.3	1.0	2.0	0.2	4.4	0.4
6・5	1.4	2.1	2.9	0.5	5.7	0.4
6・6	2.9	2.6	2.9	1.0	14.3	0.9
7・1	7.1	5.3	8.4	2.2	47.7	3.1
7・2	8.3	6.9	16.1	4.2	70.7	8.9
7・3	1.4	6.2	32.1	5.3	73.6	15.0
7・4	6.0	5.0	30.4	5.3	39.3	11.0
7・5	5.0	5.5	19.4	3.4	20.1	8.0
7・6	3.3	7.6	4.4	3.0	4.5	2.9
8・1	0.3	8.4	5.2	1.5	0.8	0.8
8・2	2.5	9.6	9.1	1.9	2.6	0.8
8・3	7.3	7.9	2.3	6.4	1.4	1.4
8・4	0.8	5.6	9.2	2.7	10.0	2.6
8・5	6.5	6.8	12.1	3.6	6.6	3.1
8・6	13.3	13.4	18.9	6.5	12.9	3.8
9・1	13.6	14.8	15.6	4.0	17.3	3.0
9・2	10.7	16.0	3.6	3.2	23.6	9.6
9・3	20.1	14.8	2.0	3.7	13.4	12.8
9・4	37.7	11.2	1.1	2.4	7.3	11.7
9・5	40.6	13.3	1.0	2.3	6.4	10.7
9・6	11.4	13.4	2.1	3.5	12.1	11.1
10・1	20.0	10.7	0.4	1.2	10.4	8.9
10・2	17.0	9.9	0.9	1.0	10.3	2.8
10・3	9.3	6.4	2.1	0.2	10.7	2.0
10・4	5.0	5.4	0.7	0.4	2.1	1.3
10・5	3.3	4.6	0.3	0.4	2.1	0.8
10・6	1.0	2.4	0.0	0.5	2.0	2.7
11・1	0.0	2.4	0.0	0.1	0.7	0.4
11・2	0.0	1.6	0.0	0.0	0.5	0.0
11・3	0.0	0.8	0.0	0.2	0.0	0.5
11・4	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0	0.1
11・5	0.0	0.4	0.0	0.1	0.0	0.1
11・6	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1
4～11月計	268.0	232.0	218.0	70.9	460.0	144.7

ホソヘリカメムシ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R6	例年	R6	平年	R6	例年
4・1	2.1	0.5	0.0	0.0	1.3	0.3
4・2	3.3	0.7	0.6	0.3	2.9	0.3
4・3	2.1	1.0	2.9	0.4	5.7	0.2
4・4	0.4	0.5	0.6	0.4	1.1	0.3
4・5	0.0	0.5	0.0	0.5	0.3	0.5
4・6	0.0	0.6	0.0	0.1	0.7	0.1
5・1	0.0	0.3	0.0	0.5	0.7	0.2
5・2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.7	0.1
5・3	0.0	0.0	0.0	0.2	0.7	0.2
5・4	0.0	0.1	0.0	0.3	0.7	0.0
5・5	0.1	0.0	0.1	0.0	0.2	0.7
5・6	0.0	0.2	0.0	0.1	0.4	0.1
6・1	0.0	0.0	0.3	0.0	0.4	0.0
6・2	0.0	0.9	1.4	0.0	2.1	0.1
6・3	1.2	1.4	2.0	0.0	3.3	0.3
6・4	2.3	1.0	2.0	0.2	4.4	0.4
6・5	1.4	2.1	2.9	0.5	5.7	0.4
6・6	2.9	2.6	2.9	1.0	14.3	0.9
7・1	7.1	5.3	8.4	2.2	47.7	3.1
7・2	8.3	6.9	16.1	4.2	70.7	8.9
7・3	1.4	6.2	32.1	5.3	73.6	15.0
7・4	6.0	5.0	30.4	5.3	39.3	11.0
7・5	5.0	5.5	19.4	3.4	20.1	8.0
7・6	3.3	7.6	4.4	3.0	4.5	2.9
8・1	0.3	8.4	5.2	1.5	0.8	0.8
8・2	2.5	9.6	9.1	1.9	2.6	0.8
8・3	7.3	7.9	2.3	6.4	1.4	1.4
8・4	0.8	5.6	9.2	2.7	10.0	2.6
8・5	6.5	6.8	12.1	3.6	6.6	3.1
8・6	13.3	13.4	18.9	6.5	12.9	3.8
9・1	13.6	14.8	15.6	4.0	17.3	3.0
9・2	10.7	16.0	3.6	3.2	23.6	9.6
9・3	20.1	14.8	2.0	3.7	13.4	12.8
9・4	37.7	11.2	1.1	2.4	7.3	11.7
9・5	40.6	13.3	1.0	2.3	6.4	10.7
9・6	11.4	13.4	2.1	3.5	12.1	11.1
10・1	20.0	10.7	0.4	1.2	10.4	8.9
10・2	17.0	9.9	0.9	1.0	10.3	2.8
10・3	9.3	6.4	2.1	0.2	10.7	2.0
10・4	5.0	5.4	0.7	0.4	2.1	1.3
10・5	3.3	4.6	0.3	0.4	2.1	0.8
10・6	1.0	2.4	0.0	0.5	2.0	2.7
11・1	0.0	2.4	0.0	0.1	0.7	0.4
11・2	0.0	1.6	0.0	0.0	0.5	0.0
11・3	0.0	0.8	0.0	0.2	0.0	0.5
11・4	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0	0.1
11・5	0.0	0.4	0.0	0.1	0.0	0.1
11・6	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1
4～11月計	268.0	232.0	218.0	70.9	460.0	144.7

コナガ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R6	例年	R6	平年	R6	例年
4・1	1.5	1.1	3.0	1.0	8.7	6.6
4・2	1.1	0.6	2.9	1.8	8.4	5.9
4・3	0.0	0.4	0.0	1.9	2.1	6.5
4・4	0.0	0.5	1.1	2.5	0.4	5.0
4・5	0.0	0.4	0.9	2.4	0.0	3.8
4・6	0.0	0.1	0.0	1.7	0.0	3.2
5・1	0.0	0.2	2.1	1.6	0.0	4.4
5・2	0.0	0.0	0.9	1.6	0.0	6.6
5・3	0.0	0.2	0.0	1.7	0.0	7.6
5・4	0.0	0.3	0.0	2.4	0.0	8.4
5・5	0.0	0.1	0.6	2.8	0.0	5.3
5・6	0.0	0.0	0.4	4.2	0.9	5.2
6・1	0.0	0.1	0.1	6.5	1.6	4.9
6・2	0.0	0.0	0.7	8.6	2.1	6.7
6・3	0.0	0.0	1.9	11.6	5.6	7.5
6・4	0.0	0.2	1.9	11.2	3.9	5.1
6・5	0.0	0.1	1.4	9.1	0.0	7.2
6・6	0.0	0.0	2.9	9.4	2.1	6.2
7・1	0.0	0.0	1.6	13.8	0.9	3.2
7・2	0.0	0.1	0.6	11.1	0.0	1.2
7・3	0.0	0.0	0.0	7.3	0.0	1.3
7・4	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.6
7・5	0.0	0.1	0.0	1.9	0.0	0.3
7・6	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.4
8・1	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.7
8・2	0.0	0.1	0.0	0.8	0.0	0.6
8・3	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.3
8・4	0.0	0.2	0.0	0.5	0.0	0.6
8・5	0.0	0.1	0.0	0.5	0.0	0.6
8・6	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	1.0
9・1	0.0	0.1	0.0	0.3	0.0	0.5
9・2	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	1.4
9・3	0.7	0.0	0.0	0.5	0.0	1.4
9・4	0.3	0.1	0.0	1.1	0.0	0.9
9・5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	1.8
9・6	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	1.4
10・1	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.8
10・2	0.0	0.1	0.0	1.1	0.0	1.6
10・3	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	2.1
10・4	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	2.7
10・5	0.0	0.1	0.0	1.9	0.4	4.5
10・6	0.0	0.2	0.0	1.9	0.6	2.8
4～10月計	3.7	5.7	22.9	138.4	37.7	138.7

*京丹後市は平成30年から設置場所変更

ハスモンヨトウ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R6	平年	R6	平年	R6	平年
4・1	0.9	0.3	0.4	0.2	0.0	0.0
2	1.3	0.1	0.9	0.5	0.3	0.0
3	0.7	0.4	1.4	0.6	1.4	0.0
4	0.1	0.8	0.9	1.4	0.3	0.3
5	0.9	1.0	1.0	2.7	0.3	0.9
6	2.1	0.9	1.4	3.3	0.7	1.2
5・1	4.3	2.2	0.0	2.6	0.0	2.7
2	3.4	4.1	0.4	3.7	0.4	3.5
3	3.3	4.7	1.1	5.2	0.9	4.5
4	5.0	6.5	2.9	8.9	1.4	10.3
5	3.1	8.6	4.0	11.5	4.3	10.2
6	7.4	12.4	4.7	16.1	4.7	12.5
6・1	9.0	6.4	4.1	9.2	2.3	5.8
2	7.9	10.0	6.4	12.6	0.0	12.4
3	5.0	14.2	9.9	19.1	2.9	15.9
4	10.9	17.9	17.6	18.2	6.4	14.0
5	20.7	16.3	27.9	20.1	10.7	21.0
6	16.4	16.2	14.3	23.7	10.0	32.5
7・1	8.7	28.4	8.7	33.9	8.3	37.8
2	5.7	27.0	5.4	37.5	8.7	36.2
3	14.3	15.5	7.1	35.7	15.0	34.5
4	10.9	13.9	7.7	34.0	9.9	29.1
5	10.9	15.6	7.3	32.6	6.3	20.1
6	15.3	24.0	7.4	47.6	4.7	23.2
8・1	15.8	20.3	6.3	51.6	8.5	22.3
2	12.4	32.5	9.9	76.1	7.5	37.1
3	8.6	25.2	7.9	68.2	9.3	27.6
4	13.3	22.0	5.8	52.5	0.8	24.5
5	22.7	18.2	12.0	45.4	3.6	26.8
6	30.0	31.1	23.6	71.8	8.6	36.0
9・1	22.1	38.3	23.6	102.8	9.0	44.9
2	10.7	43.7	15.0	133.5	5.0	48.7
3	14.1	38.4	13.0	102.4	5.7	46.6
4	60.4	43.5	60.7	103.4	18.2	52.4
5	81.6	43.0	84.0	95.6	24.9	35.9
6	45.0	44.4	48.6	89.1	18.6	50.6
10・1	53.6	61.6	66.3	94.9	47.1	72.8
2	59.1	75.1	58.7	125.2	50.0	64.2
3	64.3	97.7	40.7	124.8	43.6	39.0
4	74.3	81.2	11.4	103.6	7.1	22.3
5	82.4	75.7	35.0	92.5	52.6	19.4
6	174.0	104.3	67.6	113.9	101.6	24.9
4～10月計	1012.7	1143.1	733.0	2027.9	521.3	1024.6

シロイチモジヨトウ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R6	例年	R6	例年	R6	例年
4・1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
3	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.1
4	0.0	0.7	0.6	0.0	0.0	0.1
5	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0
6	0.0	0.9	0.0	0.3	0.0	0.0
5・1	0.0	0.3	1.4	0.5	0.0	0.0
2	0.0	0.5	1.0	0.6	0.4	0.3
3	1.0	1.1	0.9	0.9	0.8	0.8
4	0.0	3.3	2.9	1.8	1.4	9.7
5	0.6	3.8	3.4	2.5	1.4	13.4
6	2.4	2.6	2.6	1.3	0.9	5.9
6・1	0.1	2.5	0.6	6.3	0.0	2.6
2	0.7	3.2	0.0	6.8	0.0	3.6
3	4.1	4.3	1.7	4.1	2.3	4.2
4	7.0	3.7	1.9	3.3	2.6	4.5
5	10.0	4.1	1.4	4.9	2.1	4.1
6	2.1	4.8	2.9	8.0	2.9	4.9
7・1	4.3	4.8	3.7	12.5	5.9	7.2
2	6.0	5.2	3.9	7.0	7.0	7.5
3	7.1	7.2	6.1	8.3	3.6	10.8
4	3.1	6.6	6.1	5.5	5.9	7.6
5	1.9	7.6	5.4	9.8	6.1	9.7
6	4.8	7.7	3.3	10.4	6.9	8.2
8・1	6.4	8.8	2.4	9.9	5.8	12.0
2	7.1	12.9	2.5	10.6	4.4	14.5
3	12.9	12.3	0.7	12.0	3.6	17.5
4	22.5	13.1	3.3	9.8	6.7	28.0
5	20.5	13.4	3.0	10.6	25.9	33.5
6	24.0	16.5	6.0	11.8	40.2	40.2
9・1	17.4	12.5	6.0	7.6	55.6	34.4
2	7.1	13.3	1.4	9.6	40.7	66.3
3	4.8	12.8	2.3	13.8	78.8	79.4
4	13.7	15.7	5.3	24.9	108.2	67.4
5	17.3	17.0	5.7	32.6	102.4	54.6
6	6.4	14.1	0.0	34.0	26.4	46.0
10・1	32.7	11.1	3.4	29.8	48.7	41.0
2	29.6	7.8	2.9	9.9	39.7	36.5
3	15.0	8.6	0.7	6.4	17.9	18.1
4	35.0	6.7	46.0	4.4	23.6	9.7
5	20.0	4.6	48.6	2.7	19.7	6.5
6	10.3	4.8	24.4	3.3	14.0	10.1
11・1	6.7	4.7	7.3	2.8	1.1	5.9
2	10.0	4.7	7.3	2.0	2.2	5.0
3	8.3	4.1	5.9	1.7	1.6	2.1
4	5.6	4.2	5.5	2.1	0.6	3.3
5	10.1	3.2	6.8	2.0	0.5	2.8
6	11.3	3.1	7.1	2.0	0.4	1.3
4～11月計	405.3	305.8	250.8	351.0	732.8	741.3

*京丹後市は平成30年から設置場所変更

カブラヤガ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	亀岡市		亀岡市	
	R6	平年*	R6	平年*
1・1	2.6	0.1	15.0	22.2
2	0.0	0.2	19.3	18.5
3	0.0	0.4	19.3	14.1
4	6.9	0.2	26.7	12.6
5	7.1	0.2	21.7	12.4
6	1.0	0.1	11.6	11.2
2・1	0.0	0.1	1.1	9.5
2	0.5	0.2	4.5	10.0
3	0.5	0.2	9.3	8.2
4	1.0	0.2	5.0	9.8
5	1.6	0.1	6.7	13.2
6	1.0	1.8	8.1	15.4
3・1	1.6	1.9	8.4	13.6
2	1.6	1.8	16.4	17.6
3	1.6	1.6	36.0	17.2
4	1.6	3.3	40.8	17.6
5	1.6	4.7	34.9	20.4
6	1.9	8.9	11.4	20.3
4・1	13.5	14.3	20.0	16.1
2	25.1	17.1	19.9	12.7
3	40.0	21.4	16.4	14.4
4	41.7	20.9	16.4	13.4
5	36.4	22.6	15.1	12.2
6	27.9	27.4	17.4	10.9
5・1	47.9	26.6	20.9	7.4
2	45.7	31.3	20.9	7.7
3	44.0	28.3	12.2	6.1
4	42.9	22.2	10.0	5.1
5	34.9	16.9	6.7	4.5
6	30.0	15.6	5.8	4.8
6・1	18.6	9.4	4.4	3.4
2	24.3	7.7	2.1	4.1
3	19.7	6.6	0.7	5.0
4	20.3	6.5	0.7	2.3
5	22.9	12.7	0.7	1.9
6	8.6	19.8	1.0	1.1
1～12月計	1063.6	750.5		

※1～3月及び12月は例年、他の月は平年

タバコガ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		京丹後市	
	R6	平年	R6	平年	R6	例年
4・1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0
5・1	0.7	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
2	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0
4	0.8	0.0	0.7	0.2	0.0	0.0
5	0.0	0.2	0.1	0.6	0.0	0.0
6	0.0	0.1	0.9	0.3	0.0	0.1
6・1	0.0	0.0	1.1	0.7	0.1	0.1
2	0.0	0.0	1.0	1.0	0.7	0.0
3	0.0	0.1	1.1	0.9	0.7	0.0
4	0.6	0.3	1.1	0.8	0.7	0.0
5	1.4	0.4	0.7	1.2	0.7	0.0
6	0.0	0.4	1.4	1.4	4.3	0.1
7・1	0.0	0.2	2.3	1.1	2.6	0.2
2	0.3	0.5	2.6	0.8	1.3	0.2
3	1.4	0.6	1.4	1.1	0.7	0.0
4	1.4	0.6	0.3	1.4	0.1	0.0
5	0.9	0.7	0.3	1.2	0.3	0.1
6	0.2	0.7	0.9	2.6	1.3	0.2
8・1	1.3	0.8	0.8	2.7	2.9	0.6
2	1.8	1.0	0.6	3.0	1.5	0.7
3	0.7	1.2	1.4	3.6	0.0	0.1
4	4.2	1.1	0.0	2.7	0.0	0.1
5	5.4	0.9	0.6	3.9	0.0	0.3
6	3.9	3.0	1.3	4.7	1.7	0.7
9・1	0.9	3.2	1.3	4.0	3.1	0.3
2	1.4	2.3	0.7	4.8	4.3	0.3
3	1.6	2.2	0.1	3.9	2.9	0.1
4	1.5	1.5	1.3	2.7	3.1	0.1
5	3.3	2.3	1.7	3.5	3.3	0.4
6	10.7	2.3	0.0	5.0	2.1	0.9
10・1	6.1	2.2	0.6	4.9	1.0	0.6
2	5.0	1.0	0.4	1.8	0.4	0.5
3	5.0	0.8	0.0	1.2	0.0	0.4
4	5.0	0.4	0.0	0.8	0.0	0.4
5	2.4	0.2	0.4	0.5	1.3	0.2
6	0.9	0.2	0.6	0.1	1.7	0.3
4～10月計	69.3	32.1	27.0	69.4	43.0	8.2

オオタバコガ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	京田辺市		亀岡市		宇治市		鞍部市		京丹後市	
	R6	平年	R6	平年	R6	平年	R6	平年	R6	例年
4・1	0.0	0.0	1.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2	0.0	0.1	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	0.0	0.1	0.7	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	0.0	0.1	0.7	0.7	0.0	0.1	34.5	30.3	13.1	16.7
5	0.0	0.3	2.7	0.8	0.3	0.2	82.5	183.4	80.7	20.0
6	0.0	0.2	5.7	0.9	0.7	0.3	74.2	184.7	50.0	3.0
5・1	0.0	0.5	15.0	1.7	1.4	0.7	65.8	281.7	60.9	118.3
2	1.7	0.4	15.0	3.9	4.4	0.5	42.8	326.1	43.1	140.2
3	2.3	0.5	14.9	3.3	6.3	0.6	28.8	308.8	12.5	117.9
4	0.0	0.8	14.3	4.0	5.7	0.8	6.0	103.1	5.2	64.0
5	0.0	0.1	16.6	2.6	2.9	0.4	0.5	33.8	3.9	33.9
6	0.0	0.1	15.4	2.5	1.3	0.5	1.0	10.3	3.4	71.7
6・1	0.0	1.2	6.9	1.7	0.1	0.1	0.0	1.7	0.0	33.9
2	0.0	0.7	0.0	1.2	0.7	0.3	3.0	5.5	8.6	53.0
3	0.0	0.1	2.9	0.7	0.1	0.3	6.5	33.4	27.0	112.7
4	0.0	0.1	7.9	1.1	0.3	0.3	12.5	48.3	51.9	100.0
5	0.0	0.2	14.3	3.6	2.9	3.7	51.0	53.3	102.1	99.2
6	0.7	0.2	57.9	9.2	22.9	9.9	48.0	63.1	26.7	156.9
7・1	0.3	0.0	39.0	12.8	12.1	11.4	21.2	63.8	16.1	144.6
2	0.0	0.0	22.1	9.3	4.4	7.4	5.5	30.7	28.6	131.3
3	0.0	0.0	5.0	3.1	2.1	2.4	4.3	14.1	2.1	112.9
4	0.0	0.0	3.3	1.9	9.6	2.1	1.0	6.5	9.0	95.0
5	0.0	0.0	3.4	2.4	13.4	1.8	1.3	10.2	12.7	35.9
6	0.0	0.0	6.1	8.3	18.8	6.6	9.7	23.2	11.1	60.8
8・1	0.0	0.0	7.2	10.9	11.6	2.2	3.0	27.3	5.0	53.8
2	0.0	0.0	0.6	11.5	7.1	0.7	2.0	23.3	3.0	38.8
3	0.0	0.0	1.4	7.2	2.9	0.5	1.0	14.0	0.1	23.8
4	0.0	0.1	2.5	5.7	2.5	0.9	1.0	5.4	0.7	17.7
5	0.0	0.0	2.2	12.1	4.5	0.7	1.0	3.2	8.1	15.3
6	0.0	0.1	1.3	23.2	12.0	4.1	0.5	4.9	21.4	44.2
9・1	0.0	0.2	0.0	17.5	12.7	9.7	0.5	10.6	25.3	52.0
2	0.0	0.2	0.0	12.9	3.6	5.5	0.0	13.8	23.6	81.9
3	0.0	0.2	0.0	10.3	3.4	2.9	3.2	26.1	29.9	87.3
4	0.0	0.4	0.9	13.3	9.5	2.0	2.8	58.6	28.0	114.1
5	0.1	0.4	1.1	16.2	15.6	1.6	4.5	60.0	22.9	139.5
6	0.7	1.6	0.0	27.5	23.6	4.6	3.5	47.9	17.1	115.1
10・1	0.1	3.7	0.0	32.2	36.1	11.4	6.5	43.9	10.3	118.3
2	0.3	5.3	0.0	30.3	32.1	13.1	4.5	28.6	11.1	83.2
3	0.7	5.9	0.0	36.8	21.4	14.0	0.0	27.5	32.9	61.6
4	16.4	4.5	54.0	34.2	27.9	14.7	7.4	11.7	150.0	32.1
5	13.9	5.6	184.8	28.4	48.9	13.5	12.6	9.3	216.7	12.7
6	12.7	8.5	108.2	22.4	66.3	14.6	7.0	10.0	286.7	14.0
4～10月計	50.0	42.4	636.3	428.1	453.0	167.2	576.4	2367.3	1469.9	3064.8

*京丹後市は平成30年から設置場所変更

チャノコカクモンハマキ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	宇治市		鞍部市		京丹後市	
	R6	平年	R6	平年	R6	例年
4・1	0.3	8.9	2.1	17.5	0.0	10.1
2	1.0	16.8	2.1	16.6	0.0	4.3
3	14.0	49.4	15.0	22.6	2.9	9.2
4	34.5	80.6	30.3	43.6	13.1	16.7
5	82.5	183.4	52.7	80.7	20.0	6.2
6	74.2	184.7	50.0	96.4	20.0	3.0
5・1	65.8	281.7	60.9	118.3	35.4	4.2
2	42.8	326.1	43.1	140.2	27.6	4.5
3	28.8	308.8	12.5	117.9	10.0	3.1
4	6.0	103.1	5.2	64.0	4.3	1.2
5	0.5	33.8	3.9	33.9	1.7	25.6
6	1.0	10.3	3.4	71.7	0.0	88.0
6・1	0.0	1.7	0.0	33.9	0.0	126.4
2	3.0	5.5	8.6	53.0	1.4	208.6
3	6.5	33.4	27.0	112.7	6.1	106.8
4	12.5	48.3	51.9	100.0	15.9	69.4
5	51.0	53.3	102.1	99.2	42.1	31.5
6	48.0	63.1	26.7	156.9	19.9	48.9
7・1	21.2	63.8	16.1	144.6	9.7	86.9
2	5.5	30.7	28.6	131.3	2.9	124.3
3	4.3	14.1	2.1	112.9	2.1	126.0
4	1.0	6.5	9.0	95.0	1.7	111.9
5	1.3	10.2	12.7	35.9	2.0	48.2
6	9.7	23.2	11.1	60.8	5.1	16.3
8・1	3.0	27.3	5.0	53.8	17.0	5.2
2	2.0	23.3	3.0	38.8	6.0	4.0
3	1.0	14.0	0.1	23.8	5.0	1.8
4	1.0	5.4	0.7	17.7	1.0	0.9
5	1.0	3.2	8.1	15.3	3.0	0.2
6	0.5	4.9	21.4	44.2	10.9	2.0
9・1	0.5	10.6	25.3	52.0	17.1	1.8
2	0.0	13.8	23.6	81.9	25.0	2.9
3	3.2	26.1	29.9	87.3	54.5	5.3
4	2.8	58.6	28.0	114.1	69.9	7.0
5	4.5	60.0	22.9	139.5	63.6	6.8
6	3.5	47.9	17.1	115.1	33.6	5.4
10・1	6.5	43.9	10.3	118.3	28.0	3.6
2	4.5	28.6	11.1	83.2	20.1	4.5
3	0.0	27.5	32.9	61.6	3.6	3.4
4	7.4	11.7	150.0	32.1	19.6	1.4
5	12.6	9.3	216.7	12.7	41.0	0.5
6	7.0	10.0	286.7	14.0	73.8	0.6
4～10月計	576.4	2367.3	1469.9	3064.8	736.6	1388.2

チャノホソガ (フェロモントラップ)

調査時期 (月・半旬)	宇治市		鞍部市		京丹後市	
	R6	平年	R6	平年	R6	例年
4・1	42.5	157.7	11.3	53.5	13.4	65.3
2	59.5	151.6	22.9	209.7	28.6	57.7
3	47.5	82.9	4.4	417.8	11.4	109.2
4	59.3	89.5	11.3	444.3	5.0	81.7
5	41.8	48.3	18.8	214.2	0.7	78.1
6	15.0	31.0	7.1	84.7	0.7	37.8
5・1	3.0	25.4	3.7	47.9	0.1	13.0
2	1.0	11.8	1.7	41.2	0.0	7.4
3	1.0	5.8	0.0	50.2	0.0	1.4
4	2.0	8.8	0.0	17.2	0.0	1.3
5	106.5	65.3	25.3	74.5	13.7	27.0
6	313.5	241.2	79.4	336.6	107.7	114.4
6・1	350.0	378.8	114.3	349.9	223.6	230.1
2	337.0	307.0	345.0	399.0	480.0	488.8
3	125.5	201.8	249.0	455.4	322.3	467.3
4	107.5	108.1	179.3	526.2	179.7	337.8
5	73.0	75.2	156.4	410.2	30.0	185.1
6	46.5	92.4	47.9	305.9	22.0	137.6
7・1	67.3	214.8	48.4	239.5	87.1	133.5
2	72.5	231.7	90.0	410.8	187.9	210.5
3	44.4	320.6	87.9	398.8	259.3	294.7
4	121.7	304.3	88.7	428.4	206.1	369.6
5	104.6	181.1	85.0	263.0	145.4	231.7
6	120.0	132.8	81.4	166.0	53.1	151.8
8・1	14.0	146.8	47.5	105.5	40.0	70.3
2	6.8	124.4	57.2	95.2	18.9	98.4
3	9.3	105.3	78.3	55.8	59.3	96.5
4	19.5	64.9	105.0	72.4	143.2	93.2
5	20.0	43.1	53.6	79.1	135.5	95.9
6	26.0	47.3	25.3	62.0	145.4	49.0
9・1	12.8	65.2	8.1	50.7	130.7	25.3
2	6.7	105.5	35.0	42.9	60.7	38.9
3	3.6	109.3	39.6	53.2	40.3	55.7
4	5.2	125.1	30.4	114.5	23.1	60.7
5	6.2	80.5	15.0	140.1	17.9	85.4
6	20.0	67.1	17.1	116.5	23.6	77.3
10・1	6.0	57.8	12.9	76.2	45.4	51.2
2	9.0	64.5	13.1	52.7	64.9	26.3
3	0.0	61.8	25.7	43.1	84.3	19.2
4	1.6	35.4	24.6	33.3	46.0	13.5
5	11.4	38.8	22.9	23.0	37.0	9.6
6	0.0	25.5	24.6	20.2	39.2	8.4
4～10月計	2440.7	4835.9	2395.1	7581.2	3533.2	4807.5

(3)黄色水盤の調査結果

アブラムシ類誘殺数(黄色水盤)
調査場所: 亀岡市(農林センター)

半旬別推定値

月・半旬	R6	平年	R5	R4	R3	R2	H31/R元	H30	H29	H28	H27	H26	
4 ・ 1	12.5	2.5	5.0	1.0	3.0	1.0	1.0	2.0	1.0	8.0	1.0	2.0	
	2	15.5	4.1	5.0	9.0	6.3	0.0	4.2	0.0	10.0	4.0	1.0	
	3	45.0	4.8	12.0	4.0	12.7	1.0	7.8	1.3	0.0	5.0	4.0	0.0
	4	58.7	6.3	9.0	14.0	8.0	1.0	14.2	1.7	0.6	9.0	3.0	2.0
	5	32.3	6.4	1.0	4.2	4.0	2.0	25.2	1.3	3.0	13.0	7.3	3.0
	6	13.0	5.6	1.0	1.5	2.5	2.0	15.2	7.4	2.9	15.3	5.7	2.0
5 ・ 1	4.0	5.6	4.3	5.3	2.5	3.3	9.1	8.7	10.3	5.0	6.8	1.0	
	2	2.7	11.8	2.7	5.0	2.0	10.7	31.3	4.6	31.3	7.8	7.3	15.0
	3	6.3	13.6	5.0	5.0	6.7	5.0	17.5	11.5	46.0	11.0	9.0	19.0
	4	1.0	11.1	7.3	7.7	12.3	2.0	9.9	15.2	27.0	0.0	2.0	28.0
	5	8.0	12.0	5.7	5.3	4.0	12.0	12.7	8.3	28.0	11.0	25.0	8.0
	6	3.7	11.9	14.0	11.0	2.0	5.0	6.6	28.0	27.2	5.0	4.0	16.5
6 ・ 1	3.3	9.2	9.0	1.0	12.7	4.0	8.6	17.3	14.1	1.0	1.0	23.5	
	2	2.0	7.1	6.7	0.3	3.3	4.0	12.7	19.4	8.8	5.0	7.0	4.0
	3	3.7	5.8	12.3	2.7	1.0	5.0	5.0	11.3	10.3	0.0	4.0	6.0
	4	2.3	4.8	13.0	3.0	0.0	3.5	3.7	4.0	14.6	2.0	3.3	1.0
	5	4.0	4.7	15.0	2.7	3.3	2.5	3.3	5.0	14.4	0.0	0.7	0.0
	6	6.0	5.8	12.0	0.3	4.7	0.0	5.5	14.3	17.8	0.8	3.0	0.0
7 ・ 1	4.3	4.3	10.0	0.0	3.0	6.0	4.5	1.7	13.5	2.3	2.0	0.0	
	2	0.7	2.6	4.0	1.0	2.8	2.0	3.3	0.0	7.5	2.0	2.0	1.0
	3	2.0	1.1	1.5	0.3	0.3	3.0	2.7	0.0	1.0	1.7	0.0	0.7
	4	0.7	1.5	0.5	1.8	3.0	1.0	4.2	0.0	0.0	3.3	0.0	1.3
	5	4.3	6.1	3.5	3.0	0.0	14.2	23.9	0.3	3.2	13.0	0.0	0.0
	6	7.0	13.7	23.5	8.0	6.7	36.8	30.7	1.2	19.6	10.0	0.0	0.0
8 ・ 1	27.7	27.2	11.8	65.7	8.3	125.0	9.2	2.8	20.2	3.0	23.0	3.0	
	2	25.8	31.6	13.8	122.3	29.0	42.0	9.5	19.7	13.0	0.0	67.0	0.0
	3	17.5	25.0	26.5	100.0	10.0	34.3	2.5	56.0	4.0	0.0	15.7	0.6
	4	13.0	7.4	0.0	8.7	11.0	4.7	5.0	25.0	12.0	1.0	6.3	0.4
	5	11.0	11.4	3.7	41.3	40.0	0.0	6.6	5.0	9.0	4.0	1.5	3.3
	6	11.7	14.0	3.3	44.0	49.0	3.4	12.8	4.0	6.7	0.0	0.5	16.7
9 ・ 1	26.3	18.3	14.0	6.0	99.0	2.6	9.8	3.5	23.3	0.0	0.3	24.0	
	2	10.0	17.7	45.0	22.7	76.5	6.0	5.1	2.5	7.3	1.0	4.7	6.0
	3	6.0	15.6	16.3	7.3	94.5	3.0	4.2	21.3	7.7	1.0	1.0	0.0
	4	6.2	9.2	33.8	6.0	26.0	8.0	6.2	8.1	4.0	0.0	0.0	0.0
	5	9.8	9.2	19.0	5.0	25.7	9.0	9.8	19.7	3.0	0.0	0.0	1.0
	6	13.0	6.1	9.7	16.3	6.3	5.0	3.8	10.7	0.3	1.0	1.0	7.0
10 ・ 1	13.3	4.9	7.3	7.7	9.0	6.0	3.4	11.3	2.8	0.0	0.0	1.0	
	2	5.7	2.6	4.0	4.0	7.0	2.7	4.3	1.0	2.0	0.0	1.2	0.0
	3	6.0	2.6	8.0	1.0	2.7	3.3	1.0	5.0	1.0	2.0	0.8	1.0
	4	6.0	3.2	10.7	1.0	5.8	3.0	1.3	2.7	2.0	1.0	4.0	0.0
	5	5.0	2.8	8.3	1.0	1.5	2.0	1.1	6.6	1.3	0.0	5.0	1.0
	6	7.0	5.2	5.0	2.0	8.0	2.5	0.6	22.3	3.7	2.0	5.0	1.0
11 ・ 1	0.0	2.5	5.0	2.5	7.0	1.5	2.0	4.5	0.8	1.0	1.0	0.0	
	2	1.0	4.8	7.0	9.5	7.0	0.0	1.6	16.8	4.3	0.0	0.0	2.0
	3	4.0	4.9	0.0	10.0	22.0	4.0	2.4	7.7	1.5	0.0	1.0	0.0
	4	4.0	9.2	0.0	6.0	66.7	6.0	1.7	7.7	0.5	0.0	2.0	1.0
	5	1.0	10.1	11.3	14.7	65.3	4.0	1.3	3.4	1.2	0.0	0.0	0.0
	6	2.3	3.5	2.7	9.3	12.0	1.0	1.0	5.4	1.8	1.0	0.0	1.0
4～11月計	476.3	411.2	449.2	611.1	796.1	406.0	369.0	437.2	436.5	159.2	243.1	205.0	

2 病害虫発生予察情報の内容

(1) 水稲

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根拠	備考
葉いもち	5月22日(4号)	発生量 多(並)	(1)5月中旬現在、補植用苗での発生量は平年比多い(+) (2)前年の穂いもちの発生量は平年並 (3)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並で太平洋側では平年並か多く、日照時間は平年並か少ないと予想されている(+)	
	6月25日(5号)	発生量 多(並)	(1)山城、南丹及び丹後地域の一部の本田で発生を認めている(平年比多い(+)) (2)中丹地域で、補植用苗に発生を確認している(+) (3)長期持続型箱施用剤の普及率が高まっている(-) (4)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並か多く太平洋側では平年並で、日照時間は平年並と予想されている(+)	
穂いもち (中晩生水稲)	7月24日(6号)	発生量 やや少(やや少)	(1)(1)7月中旬現在、葉いもちの発生量は山城では平年並、南丹、中丹及び丹後は平年比やや少なく、全体では平年比やや少ない(-) (2)いもち病発生予察システム(BLASTAM)では、6月下旬から広範囲で感染好適条件あるいは感染準好適条件を記録した。最近では、7月15日には美山と園部で、7月16日には間人、宮津及び舞鶴で感染好適条件を記録した(+) (3)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量及び日照時間は平年並と予想されている(+)	
	8月26日(7号)	発生量 やや少(やや少)	(1)8月中旬現在、巡回調査での葉いもちの発生は平年並 (2)8月中旬現在、巡回調査での穂いもちの発生は平年比少ない(-) (3)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で多い。日照時間は平年並と予想されている(+)	
紋枯病 (中晩生水稲)	6月25日(5号)	発生量 やや少(やや少)	(1)6月中旬現在、発生を認めていない (2)昨年8月の発生量は少ない(-) (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側では平年並か多く太平洋側では平年並で、日照時間は平年並と予想されている(+)	
	7月24日(6号)	発生量 並(やや多)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量及び日照時間はほぼ平年並と予想されている(+)	
	8月26日(7号)	発生量 やや少(やや少)	(1)8月中旬現在、巡回調査での発生量は平年比少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で多い。日照時間は平年並と予想されている(+)	
ヒメビウンカ と縞葉枯病	4月24日(3号)	[ヒメビウンカ] 発生量 多(多) [縞葉枯病] 発生量 並	(1)4月中旬現在、ヒメビウンカの発生は平年比多い(+)	
	5月22日(4号)	[ヒメビウンカ] 発生量 多(多) [縞葉枯病] 発生量 並(並)	(1)ヒメビウンカの越冬虫数は平年比多く、確認は場率は平年比やや多い(+) (2)前年は、イネ縞葉枯病の発生を認めていない	
セジロウンカ	6月25日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月第3半旬現在、予察灯への誘殺を認めていない (2)6月中旬現在、本田での発生を認めていない(平年並)	
	7月24日(6号)	発生量 多(多)	(1)7月中旬現在、本田見取り調査での発生量は平年比多く、本田すくい取り調査でも平年比多い発生(+)	
トビロウンカ (中晩生水稲) (晩生水稲)	7月24日(6号)	発生量 やや多(やや多)	(1)7月17日現在、予察灯(60W)への誘殺を認めていない(平年並) (2)7月中旬の巡回調査では、発生を認めていない(平年並) (3)日本植物防疫協会の海外飛来性害虫飛来予測システム※によると、本年は本府への飛来に適した気象条件が6月以降10回出現している(+)	
	8月26日(7号)	発生量 やや多(やや多)	(1)8月中旬の巡回調査で発生を認めていない(平年並) (2)予察灯(60W)では、8月13日に京丹後市で誘殺を認めている (3)向こう1か月の気温は高い(+と)予想されている(+)	
	9月25日(8号)	発生量 並	(1)9月中旬現在、発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年比高い(+と)予想されている(+)	
ツマグロヨコバイ	5月22日(4号)	発生量 やや多(やや多)	(1)ツマグロヨコバイの越冬虫数は平年比やや多く、確認は場率は山城、南丹及び丹後で多く(+、)府全体でも多い	
	6月25日(5号)	発生量 並(多)	(1)6月中旬現在、本田で発生を認めていない(平年並)	
	7月24日(6号)	発生量 やや多(多)	(1)7月中旬現在の発生量は、本田見取り調査では平年並、本田すくい取り調査では平年比やや多い発生(+)	
ニカメイチュウ (第1世代)	5月22日(4号)	発生量 やや多(やや多)	(1)前年8月に第2世代幼虫が発生し、平年比多かった(+) (2)5月第2半旬現在、越冬世代成虫のフェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で発生を認めず(例年比少)、京丹後市で発生を認めず(例年並)、亀岡市で例年比多い	
コブノメイガ (晩生水稲)	7月24日(6号)	発生量 やや多(やや多)	(1)7月中旬現在、巡回調査では発生を認めていない(平年並) (2)7月中旬に地域の一部で発生を認めていると普及センターから報告があった(+)	
	8月26日(7号)	発生量 やや多(やや多)	(1)8月中旬現在、本田での発生量は平年比やや多い(+)	
イネミズゾウムシ	4月24日(3号)	発生量 やや多(やや多)	(1)前年の新成虫の予察灯への誘殺数は、京田辺市及び京丹後市では平年並、亀岡市では平年比多かった(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は太平洋側で平年比多く、日本海側で平年並、日照時間は太平洋側で平年比少なく、日本海側で平年並か少ないと予想されている(+)	
	5月22日(4号)	発生量 やや多(並)	(1)前年の新成虫の予察灯への誘殺数は、京田辺市及び京丹後市で平年並、亀岡市で平年比多かった(+)	
斑点米カメムシ類	6月25日(5号)	発生量 並(やや少)	(1)6月中旬現在、本田で発生を認めず(平年比やや少ない(-))、畦畔雑草での発生量は平年比少ない(-) (2)アカヒゲホソドリカスミカメの予察灯(60W)への誘殺数は、京田辺で平年並、亀岡及び京丹後で平年比やや少ない(-) (3)アカスジカスミカメの予察灯(60W)への誘殺数は、京田辺及び京丹後で平年比やや多く(+)、亀岡で平年比少ない(-) (4)向こう1か月の気温は平年比高いと予想されている(+)	

(中晩生水稲)	7月24日(6号)	発生量 多(多)	(1)7月中旬現在、本田での発生量は平年比やや多く(+)、畦畔雑草では平年並。 (2)アカスジカスミカメの予察灯(60W)への誘殺数は、京田辺市で平年並、亀岡市で平年比やや多く(+)、京丹後市で平年比やや少ない(-)。全体では、平年並。 (3)アカヒゲホソドリカスミカメの予察灯(60W)への誘殺数は、京田辺市で平年比少なく(-)、亀岡市で平年比やや多く(+)、京丹後市で平年比少ない(-)。 (4)ミナミアオカメシの予察灯(60W)への誘殺数は、京田辺市で平年比多く(+)、亀岡市で平年比やや多く(+)、京丹後市では誘殺を認めていない(平年並)。予察灯(BL)への誘殺数は、京田辺市で平年比やや多く(+)、亀岡市で平年比多く(+)、京丹後市で誘殺を認めていない(平年並)。 (5)イネカメシの予察灯(60W)への誘殺数は、京田辺市及び京丹後市で平年比多く、亀岡市で平年比やや多い(+) (6)向こう1か月の気温は平年比高い(+と)予想されている。
	8月26日(7号)	発生量 やや多	(1)8月中旬現在、本田での発生量は山城及び南丹で平年並。 (2)8月中旬現在、畦畔雑草での発生量は山城で平年並、南丹で平年比やや多い(+) (3)アカスジカスミカメの予察灯(60W)への誘殺数は、京田辺市及び亀岡市で平年比多い(+) (4)アカヒゲホソドリカスミカメの予察灯(60W)への誘殺数は、京田辺市で平年並、亀岡市で平年比やや多い(+) (5)イネカメシの予察灯(60W)への誘殺数は、京田辺市及び亀岡市で平年比多い(+)
その他 (注意事項)			

(2) 麦類

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根拠	備考
その他 (注意事項)				

(3) 黒大豆

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根拠	備考
アブラムシ類と ウイルス病	6月25日(5号)	発生量 やや少(やや少)	(1)6月第3半旬現在、アブラムシ類の黄色水盤での誘殺数は平年比少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並か多く太平洋側では平年並で、日照時間は平年並と予想されている。	
吸実性カメシ 類	7月24日(6号)	発生量 やや多(並)	(1)7月中旬現在、巡回調査において発生を認めていない(平年並)。 (2)7月第3半旬現在、予察灯(60W)への誘殺数は、アオクサカメシは、京田辺市及び京丹後市で誘殺を認めず(平年並)、亀岡市で平年比多い(+)。イチモンジカメシは、京田辺市で平年比やや多く、亀岡市で平年並、京丹後市で平年比多い(+)。ミナミアオカメシは、京田辺市で平年比多く、亀岡市で平年比やや多く(+)、京丹後市で誘殺を認めていない(平年並)。 (3)7月第3半旬現在、予察灯(BL)への誘殺数は、イチモンジカメシは、京田辺市で平年並、亀岡市で平年比やや多く(+)、京丹後市で誘殺を認めていない(平年並)。ミナミアオカメシは、京田辺市でやや多く、亀岡市で平年比多く(+)、京丹後市で誘殺を認めていない(平年並)。 (4)7月第3半旬現在、イチモンジカメシのフェロモントラップへの誘殺数は亀岡市で例年比多い(+) (5)7月第3半旬現在、ホソヘリカメシのフェロモントラップへの誘殺数は、京田辺市で例年並、亀岡市で平年比多く、京丹後市で例年比多い(+) (6)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
	8月26日(7号)	発生量 多い(並)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比多い(+) (2)8月第3半旬現在、予察灯(60W)へのアオクサカメシの誘殺数は、京田辺市で誘殺を認めず(平年並)、亀岡市で平年比多く、京丹後市で平年比やや多い(+)。イチモンジカメシの誘殺数は京田辺市、亀岡市及び京丹後市で平年比多い(+)。ミナミアオカメシの誘殺数は京田辺市で多く、亀岡市で平年比やや多く(+)、京丹後市で誘殺を認めていない(平年並)。 (3)8月第3半旬現在、イチモンジカメシの予察灯(BL)への誘殺数は、京田辺市及び京丹後市で平年並、亀岡市で平年比多い(+)。ミナミアオカメシの誘殺数は京田辺市及び亀岡市で平年比多く(+)、京丹後市で誘殺を認めていない(平年並)。 (4)8月第3半旬現在、イチモンジカメシのフェロモントラップへの誘殺数は亀岡市で例年比多い(+) (5)8月第3半旬現在、ホソヘリカメシのフェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で例年並、亀岡市で平年比多く(+)、京丹後市で例年比多い(+) (6)向こう1か月の気温は平年比高い(+)。降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で多い。日照時間は平年並と予想されている。	

	9月25日(8号)	発生量 やや多	(1)9月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-)。 (2)9月第3半旬現在、予察灯(60W)への誘殺数は、アオクサカメシは京田辺市で誘殺を認めず(平年並)、亀岡市で平年比やや多く、京丹後市で多い(+)。イチモンジカメシは京田辺市で平年比多く、亀岡市で平年比やや多く(+)、京丹後市で誘殺を認めていない(平年並)。ミナミアオカメシは京田辺市で平年比やや多く(+)、亀岡市で平年比多く(+)、京丹後市で誘殺を認めていない(平年並)。 (3)9月第3半旬現在、予察灯(BL)への誘殺数は、イチモンジカメシは京田辺市で平年比多く(+)、亀岡市で平年比やや少なく(-)、京丹後市で誘殺を認めていない(平年並)。ミナミアオカメシは京田辺市で平年並、亀岡市で平年比多く(+)、京丹後市で誘殺を認めていない(平年並)。 (4)9月第3半旬現在、イチモンジカメシのフェロモントラップへの誘殺数は亀岡市で例年比多い(+) (5)9月第3半旬現在、ホソヘリカメシのフェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で例年比やや少なく(-)、亀岡市で平年比多く、京丹後市で例年比多い(+) (6)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年比多く、日照時間は平年比少ないと予想されている。
サヤムシガ類	7月24日(6号)	発生量 並(やや多)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平均比高く(+)、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。
ハスモンヨトウ	7月24日(6号)	発生量 並(やや少)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)7月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市、亀岡市及び京丹後市で平年比やや少ない(-)。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。
	8月26日(7号)	発生量 やや少(少)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-)。 (2)8月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は、京田辺市で平年比やや少なく、亀岡市及び京丹後市で平年比少ない(-)。 (3)向こう1か月の気温は平年比高い(+)。降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で多い(-)。日照時間は平年並と予想されている。
	9月25日(8号)	発生量 やや多	(1)9月中旬現在、発生量は黒大豆で平年並、アズキで平年比やや多い(+) (2)9月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で平年比やや少なく、亀岡市及び京丹後市で平年比少ない(-)。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年比多く(-)、日照時間は平年比少ないと予想されている。
ハダニ類	7月24日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年比やや少(-))。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。
	8月26日(7号)	発生量 やや少(やや多)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年比少(-))。 (2)向こう1か月の気温は平年比高い(+)。降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で多い(-)。日照時間は平年並と予想されている。
	9月25日(8号)	発生量 並	(1)9月中旬現在、発生量は黒大豆で平年並、アズキで平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年比多く(-)、日照時間は平年比少ないと予想されている。
その他 (注意事項)			

(4) 小豆

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根拠	備考
アブラムシ類 とウイルス病	6月25日(5号)	発生量 やや少(やや少)	(1)6月第3半旬現在、アブラムシ類の黄色水盤での誘殺数は平年比少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並か多く太平洋側では平年並で、日照時間は平年並と予想されている。	
ハスモンヨトウ	7月24日(6号)	発生量 並(やや少)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)7月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市、亀岡市及び京丹後市で平年比やや少ない(-)。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
	8月26日(7号)	発生量 並(やや少)	(1)8月中旬現在、発生量は平年並。 (2)8月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は、京田辺市で平年比やや少なく、亀岡市及び京丹後市で平年比少ない(-)。 (3)向こう1か月の気温は平年比高い(+)。降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で多い(-)。日照時間は平年並と予想されている。	
	9月25日(8号)	発生量 やや多	(1)9月中旬現在、発生量は黒大豆で平年並、アズキで平年比やや多い(+) (2)9月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で平年比やや少なく、亀岡市及び京丹後市で平年比少ない(-)。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年比多く(-)、日照時間は平年比少ないと予想されている。	
ハダニ類	7月24日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年比やや少(-))。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
	8月26日(7号)	発生量 並(やや少)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高い(+)。降水量は日本海側で平年並または多く太平洋側で多い(-)。日照時間は平年並と予想されている。	
	9月25日(8号)	発生量 やや多	(1)9月中旬現在、発生量は黒大豆で平年並、アズキで平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年比多く(-)、日照時間は平年比少ないと予想されている。	
オオタバコガ	8月26日(7号)	発生量 やや多(多)	(1)8月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は、京田辺市で誘殺を認めず(平年並)、亀岡市で平年並、京丹後市で例年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高い(+)。降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で多い。日照時間は平年並と予想されている。	
その他 (注意事項)				

(5) 果樹

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容		根拠	備考
		発生量	平年比(前年比)		
黒斑病(ナシ)	3月27日(2号)	発生量	多	(1)越冬量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年比多く、日照時間は平年比少ないと予想されている(+)	
	4月24日(3号)	発生量	多(並)	(1)冬季に剪定した徒長枝での発生は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は太平洋側で平年比多く、日本海側で平年並、日照時間は太平洋側で平年比少なく、日本海側で平年並か少ないと予想されている(+)	
	5月22日(4号)	発生量	多(やや多)	(1)5月中旬現在の発生量は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並で太平洋側では平年並か多く、日照時間は平年並と予想されている(+)	
	6月25日(5号)	発生量	並(やや少)	(1)6月中旬現在、発生量は平年並 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並か多く(+) 太平洋側では平年並で、日照時間は平年並と予想されている(+)	
	7月24日(6号)	発生量	やや多(並)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量及び日照時間は平年並と予想されている(+)	
	8月26日(7号)	発生量	やや多(並)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高い。降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で多い(+)、日照時間は平年並と予想されている(+)	
黒星病(ナシ)	4月24日(3号)	発生量	やや多(やや少)	(1)前年10月の発生は平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は太平洋側で平年比多く、日本海側で平年並、日照時間は太平洋側で平年比少なく、日本海側で平年並か少ないと予想されている(+)	
	5月22日(4号)	発生量	並(やや少)	(1)5月中旬現在、発生量は平年並 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並で太平洋側では平年並か多く、日照時間は平年並か少ないと予想されている(+)	
	6月25日(5号)	発生量	やや少(少)	(1)6月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は日本海側では平年並か多く(+) 太平洋側では平年並で、日照時間は平年並と予想されている(+)	
	8月26日(7号)	発生量	並(並)	(1)8月中旬現在、発生量は平年並 (2)向こう1か月の気温は平年比高い(-)。降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で多い(+)、日照時間は平年並と予想されている(+)	
べと病(ブドウ)	5月22日(4号)	発生量	並(やや少)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並で太平洋側では平年並か多く(+)、日照時間は平年並か少ないと予想されている(+)	
	6月25日(5号)	発生量	並(並)	(1)6月中旬現在、発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並か多く(+) 太平洋側では平年並で、日照時間は平年並と予想されている(+)	
	7月24日(6号)	発生量	やや少(やや少)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量及び日照時間は平年並と予想されている(+)	
	8月26日(7号)	発生量	並(やや少)	(1)8月中旬現在、発生量は平年並 (2)向こう1か月の気温は平年比高い(-)。降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で多い(+)、日照時間は平年並と予想されている(+)	
カキクダアザミウマ(カキ)	3月27日(2号)	発生量	並	(1)前年10月には被害の発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年比多く、日照時間は平年比少ないと予想されている(+)	
炭そ病(カキ)	4月24日(3号)	発生量	並(並)	(1)前年10月は発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は太平洋側で平年比多く、日本海側で平年並、日照時間は太平洋側で平年比少なく、日本海側で平年並か少ないと予想されている(+)	
	7月24日(6号)	発生量	並(並)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量及び日照時間は平年並と予想されている(+)	
	8月26日(7号)	発生量	並(並)	(1)8月中旬現在、果実での発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年比高い。降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で多い(+)、日照時間は平年並と予想されている(+)	
落葉病(カキ)	5月22日(4号)	発生量	やや多	(1)前年10月の調査では、発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並で太平洋側では平年並か多く(+)、日照時間は平年並か少ないと予想されている(+)	
うどんこ病(カキ)	5月22日(4号)	発生量	やや少(やや多)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年比少(-)) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並で太平洋側では平年並か多く(+)、日照時間は平年並か少ないと予想されている(+)	
	6月25日(5号)	発生量	やや少(並)	(1)6月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は日本海側では平年並か多く太平洋側では平年並で、日照時間は平年並と予想されている(+)	
	7月24日(6号)	発生量	やや少(並)	(1)7月中旬現在、発生量は平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量及び日照時間は平年並と予想されている(+)	
	8月26日(7号)	発生量	やや少(並)	(1)8月中旬現在、発生量は平年比少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年比高い(-)。降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で多い(+)、日照時間は平年並と予想されている(+)	
ハダニ類(ナシ、カンキツ)	5月22日(4号)	発生量	ナシ:並(並) カンキツ:やや少(やや少)	(1)5月中旬現在、ナシでは発生を認めず(平年並)、カンキツでは発生を認めず(平年比少(-)) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側では平年並で太平洋側では平年並か多く、日照時間は平年並か少ないと予想されている(+)	
	6月25日(5号)	発生量	ナシ:並(多) カンキツ:やや少(並)	(1)6月中旬現在、発生量はナシでは発生を認めず(平年並)、カンキツでは平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側では平年並か多く(-) 太平洋側では平年並で、日照時間は平年並と予想されている(+)	

	7月24日(6号)	発生量	ナシ:並(やや多) カンキツ:並(前年並)	(1)7月中旬現在、発生量はナシ及びカンキツで平年比やや少ない(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。
	8月26日(7号)	発生量	ナシ:並(やや多) カンキツ:並(並)	(1)8月中旬現在、発生量はナシで発生を認めず(平年比少(-))、カンキツで発生を認めていない(平年比やや少(-)) (2)向こう1か月の気温は平年比高い(+)。降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で多い(-)。日照時間は平年並と予想されている。
カメムシ類(果樹全般)	5月22日(4号)	発生量	多(多)	(1)チャバネアオカメムシの越冬量は、山城及び丹後地域で平年並、丹波地域で平年比多い(+) (2)5月中旬現在、ナシで被害果を認めていない(平年並) (3)5月第2半旬現在、チャバネアオカメムシの予察灯(BL)への誘殺は京田辺市及び亀岡市、京丹後市で平年比多い(+) (4)5月第2半旬現在、チャバネアオカメムシのフェロモントラップへの誘殺は京田辺市及び亀岡市、京丹後市で平年比多い(+) (5)5月第2半旬現在、ツヤアオカメムシの予察灯(BL)への誘殺は京田辺市で平年比多く(+)、亀岡市及び京丹後市で認めていない(平年並) (6)5月第3半旬現在、クサギカメムシの予察灯(BL)への誘殺は京田辺市で認めず(平年並)、亀岡市及び京丹後市で平年比多い(+)
	6月25日(5号)	発生量	多(多)	(1)6月中旬現在、ナシで発生を認めていない(平年並) (2)チャバネアオカメムシの予察灯(BL)での誘殺数は、京田辺市及び亀岡市、京丹後市で平年比多い(+) (3)チャバネアオカメムシのフェロモントラップでの誘殺数は、京田辺市及び亀岡市、京丹後市で平年比多い(+) (4)クサギカメムシの予察灯(BL)への誘殺数は、京田辺市及び亀岡市、京丹後市で平年比多い(+) (5)ツヤアオカメムシの予察灯(BL)への誘殺数は、京田辺市及び京丹後市で平年比やや多く、亀岡市で平年比多い(+)
	7月24日(6号)	発生量	多(多)	(1)7月中旬現在、ナシ及びカキで被害果率は平年比多い(+) (2)7月第3旬現在、予察灯(BL)へのチャバネアオカメムシの誘殺数は京田辺市、亀岡市及び京丹後市で平年比多い(+) (3)7月第3旬現在、フェロモントラップへのチャバネアオカメムシの誘殺数は京田辺市、亀岡市及び京丹後市で平年比多い(+) (4)7月第3半旬現在、予察灯(BL)へのクサギカメムシの誘殺数は京田辺市、亀岡市及び京丹後市で平年比多い(+) (5)7月第3半旬現在、予察灯(BL)へのツヤアオカメムシの誘殺数は京田辺市、亀岡市及び京丹後市で平年比多い(+) (6)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。
	8月26日(7号)	発生量	多(多)	(1)8月第3半旬現在、チャバネアオカメムシの予察灯(BL)への誘殺数は京田辺市、亀岡市及び京丹後市で平年比多い(+) (2)8月第3半旬現在、チャバネアオカメムシのフェロモントラップへの誘殺数は京田辺市、亀岡市及び京丹後市で平年比多い(+) (3)8月第3半旬現在、クサギカメムシの予察灯(BL)への誘殺数は、京田辺市、亀岡市及び京丹後市で平年比多い(+) (4)8月第3半旬現在、ツヤアオカメムシの予察灯(BL)への誘殺数は、京田辺市、亀岡市及び京丹後市で平年比多い(+) (5)向こう1か月の気温は平年比高い(+)。降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で多い。日照時間は平年並と予想されている。
その他(注意事項)				

(6) 茶樹

病害虫名	発表月日(発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根拠	備考
もち病	3月27日(2号)	発生量 山城 平年並(前年並) 丹波 平年並(前年並) 丹後 平年並(前年並)	(1)令和5年10月の発生量は、山城、丹波および丹後で発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年比多く、日照時間は平年比少ないと予想されている(+)	
	4月24日(3号)	発生量 山城 平年並(前年並) 丹波 平年並(前年並) 丹後 平年並(前年並)	(1)令和5年10月は、山城、丹波及び丹後で発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は太平洋側で平年比多く(+)、日本海側で平年並、日照時間は太平洋側で平年比少なく(+)、日本海側で平年並か少ない(+と)予想されている。	
	5月22日(4号)	発生量 山城 平年並(前年並) 丹波 平年並(前年並) 丹後 平年並(前年並)	(1)5月中旬現在、山城、丹波及び丹後で発生を認めていない(平年並) (2)前年10月は、山城、丹波及び丹後で発生を認めなかった(平年並) (3)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は日本海側では平年並で太平洋側では平年並か多く(+)、日照時間は平年並か少ない(+と)予想されている。	
	7月24日(6号)	発生量 山城 平年並(前年並) 丹波 平年並(前年並) 丹後 平年並(前年並)	(1)7月中旬現在、山城、丹波及び丹後で発生を認めておらず(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
	8月26日(7号)	発生量 山城 平年並(前年並) 丹波 平年並(前年並) 丹後 平年並(前年並)	(1)8月中旬現在、山城、丹波及び丹後で発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年比高い(-)。降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で多い。日照時間は平年並と予想されている。	
炭疽病	4月24日(3号)	発生量 山城 平年並(前年比やや多) 丹波 平年比多(前年比多) 丹後 平年比多(前年比多)	(1)4月中旬現在の発生量は山城では発生を認めず(平年比少なく(-))、丹波及び丹後では平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は太平洋側で平年比多く(+)、日本海側で平年並、日照時間は太平洋側で平年比少なく、日本海側で平年並か少ないと予想されている。	
	5月22日(4号)	発生量 山城 平年比多(前年比多) 丹波 平年比多(前年比多) 丹後 平年比やや多(前年比やや多)	(1)5月中旬現在、山城及び丹後で平年比やや多く(+)、丹波で平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側では平年並で太平洋側では平年並か多く(+)、日照時間は平年並か少ないと予想されている。	

	6月25日(5号)	発生量 山城 平年並(前年比やや多) 丹波 平年比多(前年比多) 丹後 平年比多(前年比多)	(1)6月中旬現在の発生量は山城で平年並、丹波及び丹後で平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並か多く(+) 太平洋側ではほぼ平年並で、日照時間はほぼ平年並と予想されている。
	7月24日(6号)	発生量 山城 平年比少(前年比少) 丹波 平年並(前年比やや多) 丹後 平年比やや多(前年比多)	(1)7月中旬現在の発生量は、山城で発生を認めておらず(平年比少ない(-))、丹波で平年並、丹後では平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。
	8月26日(7号)	発生量 山城 平年並(前年並) 丹波 平年比多(前年比やや多) 丹後 平年比多(前年並)	(1)8月中旬現在の発生量は、山城では発生を認めず(やや少ない(-))、丹波で平年比やや多く(+)、丹後で平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高い、降水量は日本海側で平年並または多く(+)、太平洋側で多い(+) 日照時間は平年並と予想されている。
カンザワハダニ	2月27日(1号)	発生量 山城 平年並(前年並) 丹波 平年並(前年比やや少) 丹後 平年並(前年比やや少) 防除時期 3月上旬以降	(1)2月第5半旬現在、発生量は山城で平年並、丹波及び丹後では発生を認めなかった(平年並) (2)産卵は山城、丹波、丹後のいずれの地域でも認めず、産卵率は山城、丹波及び丹後で平年並 (3)発生場所は山城で平年比やや少なく、丹波及び丹後で平年並 (4)向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並と予想されている。
	3月27日(2号)	発生量 山城 平年比やや少(前年比少) 丹波 平年比やや多(前年比やや多) 丹後 平年並(前年比少)	(1)3月下旬の調査では、発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波で平年比やや多く(+) 丹後で発生を認めなかった(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+) 降水量は平年比多く、日照時間は平年比少ない(-)と予想されている。
	4月24日(3号)	発生量 山城 平年並(前年比少) 丹波 平年比やや多(前年比やや多) 丹後 平年並(前年比少)	(1)4月中旬現在、発生量は山城で平年比やや少なく(-)、丹波で平年比やや多く(+) 丹後で発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+) 降水量は太平洋側で平年比多く(-) 日本海側で平年並、日照時間は太平洋側で平年比少なく、日本海側で平年並か少ないと予想されている。
	5月22日(4号)	発生量 山城 平年並(前年比やや多) 丹波 平年比やや多(前年比やや多) 丹後 平年並(前年比やや多)	(1)5月中旬現在、発生量は山城及び丹波で平年並、丹後で発生を認めていない(平年並) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+) 降水量は日本海側では平年並で太平洋側では平年並か多く(-) 日照時間は平年並か少ないと予想されている。
	6月25日(5号)	発生量 山城 平年並(前年比やや多) 丹波 平年比やや多(前年比やや多) 丹後 平年比少(前年並)	(1)6月中旬現在の発生量は山城で平年比やや少なく(-) 丹波で平年比やや多く(+) 丹後で発生を認めていない(平年比少ない(-)) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+) 降水量は日本海側では平年並か多く(-) 太平洋側ではほぼ平年並で、日照時間はほぼ平年並と予想されている。
	7月24日(6号)	発生量 山城 平年比やや少(前年比やや少) 丹波 平年並(前年比やや少) 丹後 平年比やや多(前年比やや多)	(1)7月中旬現在、発生量は山城で平年比少なく(-) 丹波で平年並、丹後では平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。
	8月26日(7号)	発生量 山城 平年並(前年並) 丹波 平年比やや少(前年比少) 丹後 平年並(前年比少)	(1)8月中旬現在の発生量は、山城及び丹後で平年並、丹波で平年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年比高い(+) 降水量は日本海側で平年並または多く(-) 太平洋側で多い(-) 日照時間は平年並と予想されている。
	9月25日(8号)	発生量 山城 平年並(前年並) 丹波 平年比やや多(前年比多) 丹後 平年並(前年並)	(1)9月中旬現在、発生量は山城及び丹後で平年並、丹波で平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は高く(+) 降水量は平年比多く(-) 日照時間は平年比少ないと予想されている。
	10月22日(9号)	発生量 山城 平年並 丹波 平年比多 丹後 平年並	(1)10月中旬現在、発生量は山城及び丹後で平年並、丹波で平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高い(+) 降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い(-) 日照時間は平年並か少ないと予想されている。
	チャノホソガ	3月27日(2号)	発生量 山城 平年比やや少(前年比少) 丹波 平年比少(前年比少) 丹後 例年比やや少(前年比やや少)
4月24日(3号)		発生量 山城 平年並(前年並) 丹波 平年並(前年並) 丹後 平年比やや少(前年比やや少)	(1)前年10月の発生量は山城で平年比やや少なく(-) 丹波では少なく(-) 丹後では例年比やや少ない(-) (2)4月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は宇治市では平年比やや少なく(-) 綾部市では平年比少なくて(-) 京丹後市では例年比やや少ない(-) (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+) 降水量は太平洋側で平年比多く(-) 日本海側で平年並、日照時間は太平洋側で平年比少なく、日本海側で平年並か少ないと予想されている。
5月22日(4号)		発生量 山城 平年比やや少(前年比少) 丹波 平年比やや少(前年比少) 丹後 平年並(前年並) 第2世代幼虫ふ化時期 山城 6月第2半旬～6月第3半旬(平年比やや遅) 丹波 6月第2半旬～6月第3半旬(平年比やや早) 丹後 6月第3半旬～6月第4半旬(平年比やや早)	(1)5月中旬現在、山城で平年並、丹波で発生を認めず(平年並)、丹後で平年比やや多い(+) (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市で平年比やや少なく(-) 綾部市及び京丹後市で平年比少ない(-) (3)フェロモントラップへの誘殺盛期は宇治市で平年比やや遅い、綾部市及び京丹後市では平年比やや早い (4)向こう1か月の気温は平年比高く(+) 降水量は日本海側では平年並で太平洋側では平年並か多く(-) 日照時間は平年並か少ないと予想されている。
6月25日(5号)		発生量 山城 平年比多(前年比多) 丹波 例年比やや少(前年比少) 丹後 例年比やや少(前年比少) 第3世代幼虫ふ化時期 山城 7月第3半旬～7月第4半旬(平年並) 丹波 7月第2半旬～7月第3半旬(平年並) 丹後 7月第3半旬～7月第4半旬(平年比早)	(1)6月中旬現在の発生量は山城で平年比多く(+) 丹波及び丹後で例年比やや少ない(-) (2)フェロモントラップへの誘殺数は、宇治市及び京丹後市は平年並、綾部市は例年並 (3)フェロモントラップへの誘殺盛期は、京丹後市は平年比早い (4)向こう1か月の気温は平年比高く(+) 降水量は日本海側では平年並か多く(-) 太平洋側ではほぼ平年並で、日照時間はほぼ平年並と予想されている。
7月24日(6号)		発生量 山城 平年比やや少(前年比やや少) 丹波 平年比やや少(前年比少) 丹後 平年並(前年並)	(1)7月中旬現在、幼虫の発生量は山城、丹波及び丹後で平年並 (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市及び綾部市で平年比少なく(-) 京丹後市では平年並 (3)フェロモントラップへの誘殺盛期は宇治市で平年比やや早く、綾部市で平年比遅く、京丹後市では平年並。

	8月26日(7号)	発生量 山城 平年比やや少(前年比少) 丹波 平年比やや少(前年比やや多) 丹後 例年並(前年並)	第4世代幼虫ふ化期 山城 8月第6半旬～9月第1半旬(平年比遅) 丹波 8月第6半旬～9月第1半旬(平年比遅) 丹後 9月第1半旬～9月第2半旬(平年並)	(1)8月中旬現在、発生量は山城では発生を認めず(平年比やや少ない(-))、丹波及び丹後で平年並。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市及び綾部市で平年比やや少なく(-)、京丹後市で平年並。 (3)成虫の発生時期は、宇治市及び綾部市で平年比遅く、京丹後市では平年並。 (4)向こう1か月の気温は平年比高い(+)。降水量は日本海側で平年並または多く(-)、太平洋側で多い(-)。日照時間は平年並と予想されている。
	9月25日(8号)	発生量 山城 平年比やや少(前年並) 丹波 平年比やや少(前年比やや多) 丹後 平年並(前年比やや多)		(1)9月中旬現在、発生量は山城で発生を認めず(平年比やや少ない(-))、丹波及び丹後で平年比やや少ない(-)。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市で平年比やや少なく(-)、綾部市で平年並、京丹後市で平年比やや多い(+) (3)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は平年比多く(-)、日照時間は平年比少ないと予想されている。
	10月22日(9号)	発生量 山城 平年比少 丹波 平年比やや少 丹後 例年並		(1)10月中旬現在、発生量は山城で平年比少なく(-)、丹波で平年比やや少なく(-)、丹後で例年並。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市で平年比少なく(-)、綾部市で平年比やや少なく(-)、京丹後市で平年並。
チャノココクモンハマギ	3月27日(2号)	発生量 山城 平年並(前年並) 丹波 平年比やや多(前年比やや多) 丹後 平年比多(前年比多)		(1)令和5年10月の発生量は、山城で平年並、丹波で平年比やや多く(+)、丹後で平年比多かった(+)
	4月24日(3号)	発生量 山城 平年並(前年並) 丹波 平年比多(前年比やや多) 丹後 平年比多(前年比多)		(1)4月中旬現在、発生量は山城で平年並、丹波では平年比やや多く(+) (2)4月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は宇治市及び綾部市で平年並、京丹後市で例年比やや多い(+) (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は太平洋側で平年比多く(-)、日本海側で平年並、日照時間は太平洋側で平年比少なく、日本海側で平年並か少ないと予想されている。
	5月22日(4号)	発生量 山城 平年並(前年並) 丹波 平年並(前年比多) 丹後 平年比やや多(前年比やや多)	第1世代幼虫ふ化時期 山城:6月第4半旬～6月第6半旬(平年比早) 丹波:6月第6半旬～7月第2半旬(平年並) 丹後:6月第6半旬～7月第2半旬(平年並)	(1)5月中旬現在、山城、丹波及び丹後で発生を認めていない(平年並)。 (2)前年10月の発生は山城で平年並、丹波で平年比やや多く(+)、丹後で平年並。 (3)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市及び綾部市で平年比少なく(-)京丹後市では平年比多い(+) (4)フェロモントラップへの誘殺盛期は宇治市で平年比早い、綾部市及び京丹後市で平年並。 (5)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並で太平洋側では平年並か多く、日照時間は平年並か少ないと予想されている。
	6月25日(5号)	発生量 山城 平年並(前年比少) 丹波 平年比少(前年比少) 丹後 平年比やや多(前年比やや多)	第2世代幼虫ふ化期 山城 7月第6半旬～8月第1半旬(平年比早) 丹波 7月第6半旬～8月第1半旬(平年比早) 丹後 7月第5半旬～7月第6半旬(平年比早)	(1)6月中旬現在、発生量は山城でやや多く(+)、丹波で発生を認めず(平年比少(-))、丹後で発生を認めていない(平年並)。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市及び綾部市で平年比少なく(-)、京丹後市では平年比やや多い(+) (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側では平年並か多く(-)太平洋側ではほぼ平年並で、日照時間はほぼ平年並と予想されている。
	7月24日(6号)	発生量 山城 平年比やや多(前年並) 丹波 平年並(前年比やや少) 丹後 平年比やや多(前年比やや多)	第3世代幼虫ふ化期 山城 8月第1半旬～8月3半旬(平年比やや早) 丹波 8月第2半旬～8月4半旬(平年並) 丹後 8月第1半旬～8月3半旬(平年並)	(1)7月中旬現在、発生量は山城及び丹後で平年比やや多く(+)、丹波では平年並。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市及び綾部市で平年比やや少なく(-)、京丹後市では平年比やや多い(+) (3)フェロモントラップへの誘殺盛期は宇治市で平年比やや早く、綾部市及び京丹後市で平年並。
	8月26日(7号)	発生量 山城 平年比やや少(前年比やや少) 丹波 平年並(前年比やや少) 丹後 平年比やや少(前年比やや少)	第4世代幼虫ふ化期 山城 9月第5半旬～10月第1半旬(平年比やや早) 丹波 9月第3半旬～9月第4半旬(平年比早) 丹後 10月第1半旬～10月第2半旬(平年並)	(1)8月中旬現在の発生量は、山城で平年並、丹波で平年比やや多く(+)、丹後では発生を認めていない(平年並)。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市及び綾部市で平年比少なく(-)、京丹後市で例年比やや多い(+) (3)成虫の発生時期は宇治市では平年比やや早く、綾部市で平年比早く、京丹後市で平年並。 (4)向こう1か月の気温は平年比高い(+)。降水量は日本海側で平年並または多く(-)、太平洋側で多い(-)。日照時間は平年並と予想されている。
	9月25日(8号)	発生量 山城 平年比やや少(前年比やや少) 丹波 平年比やや少(前年比少) 丹後 平年比多(前年並)		(1)9月中旬現在、発生量は山城、丹波及び丹後で平年並。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は宇治市及び綾部市で平年比少なく(-)、京丹後市で平年比多い(+) (3)向こう1か月の気温は高く(+)、降水量は平年比多く(-)、日照時間は平年比少ないと予想されている。
	クワシロカイガラムシ	4月24日(3号)	発生量 山城 平年比やや多(前年比やや多) 丹波 平年比やや多(前年並) 丹後 平年比やや多(前年並)	
5月22日(4号)		発生量 山城 平年比やや少(前年並) 丹波 平年比やや少(前年比やや少) 丹後 平年比やや多(前年比やや多)		(1)5月中旬現在、発生量は山城で平年比少なく(-)、丹波で発生を認めず(平年比やや少ない(-))、丹後で平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側では平年並で太平洋側では平年並か多く、日照時間は平年並か少ないと予想されている。
6月25日(5号)		発生量 山城 平年比多(前年比多) 丹波 平年比やや少(前年比やや多) 丹後 平年比少(前年比やや少)		(1)6月中旬現在の発生量は山城で平年比多く(+)、丹波で平年比やや少なく(-)、丹後で平年比少ない(-)。
8月26日(7号)		発生量 山城 平年並(前年並) 丹波 平年並(前年比やや多) 丹後 平年並(前年並)		(1)8月中旬現在の発生量は、山城、丹波及び丹後で平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高い。降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で多い。日照時間は平年並と予想されている。

チャノキイロ アザミウマ	5月22日(4号)	発生量	山城 平年比やや多(前年比多) 丹波 平年比やや多(前年並) 丹後 平年比やや多(前年比やや多)	(1)5月中旬現在、山城及び丹後でやや多く(+)、丹波で発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側では平年並で太平洋側では平年並か多く(-)、日照時間は平年並か少ないと予想されている。
	6月25日(5号)	発生量	山城 平年比やや多(前年並) 丹波 例年並(前年比やや多) 丹後 例年比やや多(前年比やや多)	(1)6月中旬現在の発生量は、山城で平年並、丹波で例年並、丹後で例年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側では平年並か多く(-)太平洋側ではほぼ平年並で、日照時間はほぼ平年並と予想されている。
	7月24日(6号)	発生量	山城 平年並(前年比やや多) 丹波 平年比やや少(前年並) 丹後 平年比やや少(前年比やや少)	(1)7月中旬現在、発生量は山城で平年並、丹波及び丹後では平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。
	8月26日(7号)	発生量	山城 平年比やや少(前年比やや少) 丹波 平年並(前年比やや少) 丹後 平年比やや少(前年比少)	(1)8月中旬現在の発生量は、山城及び丹後で平年比やや少なく(-)、丹波で平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高い(+)、降水量は日本海側で平年並または多く(-)、太平洋側で多い(-)。日照時間は平年並と予想されている。
チャノミドリヒメ ヨコバイ	5月22日(4号)	発生量	山城 平年比多(前年比やや多) 丹波 平年比多(前年比多) 丹後 平年並(前年並)	(1)5月中旬現在、発生量は山城及び丹波で平年比多く(+)、丹後で発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側では平年並で太平洋側では平年並か多く(-)、日照時間は平年並か少ないと予想されている。
	6月25日(5号)	発生量	山城 平年比やや多(前年並) 丹波 例年並(前年比やや多) 丹後 例年比やや多(前年比多)	(1)6月中旬現在の発生量は、山城で平年並、丹波で例年並、丹後で例年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側では平年並か多く(-)太平洋側ではほぼ平年並で、日照時間はほぼ平年並と予想されている。
	7月24日(6号)	発生量	山城 平年比やや多(前年比多) 丹波 平年並(前年比やや多) 丹後 平年比やや多(前年比やや多)	(1)7月中旬現在、発生量は山城及び丹後で平年比やや多く(+)、丹波では平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。
	8月26日(7号)	発生量	山城 平年並(前年比やや多) 丹波 平年並(前年比やや多) 丹後 平年比やや多(前年比やや多)	(1)8月中旬現在の発生量は、山城及び丹波で平年並、丹後で平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高い。降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で多い。日照時間は平年並と予想されている。
その他 (注意事項)				

(7) 野菜

病害虫名	発表月日 (発表号数)	予報内容 平年比(前年比)	根 拠	備考
疫病・褐色腐敗病(果菜類)	5月22日(4号)	発生量 並(並)	(1)5月中旬現在、トマト及びナスで発生を認めていない。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並で太平洋側では平年並か多く、日照時間は平年並か少ないと予想されている(+)	
	6月25日(5号)	発生量 並(並)	(1)6月中旬現在、ナスで褐色腐敗病の発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並か多く太平洋側では平年並で、日照時間は平年並と予想されている。	
	8月26日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、ナスで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で多い(+)。日照時間は平年並と予想されている。	
うどんこ病(果菜類)	5月22日(4号)	発生量 並(やや少)	(1)5月中旬現在、ナス及びキュウリで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並で太平洋側では平年並か多く、日照時間は平年並か少ないと予想されている。	
	6月25日(5号)	発生量 並(やや多)	(1)6月中旬現在の発生量は、トマトで平年並、キュウリ及びナスで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並か多く太平洋側では平年並で、日照時間は平年並と予想されている。	
	7月24日(6号)	発生量 やや少(並)	(1)7月中旬現在の発生量は、キュウリでは平年並、ナスでは発生を認めていない(平年比少(-))。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
	8月26日(7号)	発生量 少(やや少)	(1)8月中旬現在、キュウリで発生を認めず(平年並)、ナスでも発生を認めていない(平年比少(-))。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で多い。日照時間は平年並と予想されている。	
べと病(キュウリ)	5月22日(4号)	発生量 やや多(並)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並で太平洋側では平年並か多く、日照時間は平年並か少ないと予想されている(+)	
(ウリ類)	6月25日(5号)	発生量 並(やや多)	(1)6月中旬現在、キュウリでの発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並か多く太平洋側では平年並で、日照時間は平年並と予想されている。	
(キュウリ)	7月24日(6号)	発生量 やや少(やや少)	(1)7月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
(アブラナ科)	9月25日(8号)	発生量 並(並)	(1)9月中旬現在、キャベツ、カブで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は平年比多く(+)、日照時間は平年比少ないと予想されている。	
(アブラナ科)	10月22日(9号)	発生量 並(並)	(1)10月中旬現在の発生量は、キャベツで発生を認めず(平年並)、カブで平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高い。降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い。日照時間は平年並か少ないと予想されている。	
炭疽病(ウリ類)	6月25日(5号)	発生量 やや多(やや多)	(1)6月中旬現在、キュウリで発生を認めている(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並か多く太平洋側では平年並で、日照時間は平年並と予想されている(+)	
(キュウリ)	7月24日(6号)	発生量 やや少(やや少)	(1)7月中旬現在、発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	

(キュウリ)	8月26日(7号)	発生量 並(並)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で多い(+)。日照時間は平年並と予想されている。
褐斑病 (キュウリ)	7月24日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。
	8月26日(7号)	発生量 やや多(やや多)	(1)8月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で多い(+)。日照時間は平年並と予想されている。
斑点細菌病 (キュウリ)	5月22日(4号)	発生量 やや多(やや多)	(1)5月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並で太平洋側では平年並か多く、日照時間は平年並か少ないと予想されている(+)
	6月25日(5号)	発生量 やや多(やや多)	(1)6月中旬現在、キュウリで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並か多く太平洋側では平年並で、日照時間は平年並と予想されている(+)
	7月24日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。
白斑病 (アブラナ科野菜)	9月25日(8号)	発生量 並(並)	(1)9月中旬現在、カブで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は平年比多く(+)、日照時間は平年比少ないと予想されている。
	10月18日(9号)	発生量 やや多(やや多)	(1)10月中旬現在の発生量は、カブで平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高い。降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い。日照時間は平年並か少ないと予想されている。
菌核病 (キャベツ)	3月27日(2号)	発生量 やや多(やや多)	(1)令和5年11月に発生を認めていない(平年並)。 (2)3月中旬の調査では、発生を認めていない(平年並)。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年比多く(+)、日照時間は平年比少ないと予想されている。
	4月24日(3号)	発生量 並(並)	(1)4月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は太平洋側で平年比多く、日本海側で平年並、日照時間は太平洋側で平年比少なく、日本海側で平年並か少ないと予想されている。
	9月25日(8号)	発生量 並(並)	(1)本年4月に発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(-)、降水量は平年比多く(+)、日照時間は平年比少ないと予想されている。
	10月18日(9号)	発生量 並(並)	(1)本年4月に発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高い。降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い。日照時間は平年並か少ないと予想されている。
白さび病(アブラナ科野菜)	10月18日(9号)	発生量 やや多(やや多)	(1)10月中旬現在の発生量は、ダイコンで平年比多く(+)、カブで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高い。降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い。日照時間は平年並か少ないと予想されている。
黒腐病・黒斑細菌病 (アブラナ科野菜)	9月25日(8号)	発生量 やや多(やや多)	(1)9月中旬現在の発生量は、キャベツでは黒腐病の発生を認めず(平年並)、ダイコンの黒斑細菌病では平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年比多く(+)、日照時間は平年比少ないと予想されている。
黒腐病 (キャベツ)	10月18日(9号)	発生量 並(並)	(1)10月中旬現在、発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高い。降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い。日照時間は平年並か少ないと予想されている。
さび病(ネギ)	4月24日(3号)	発生量 並(並)	(1)4月中旬現在、小株及び大株で発生を認めていない(平年並)。 (2)前年の秋季に発生を認めていない(平年並)。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は太平洋側で平年比多く、日本海側で平年並、日照時間は太平洋側で平年比少なく、日本海側で平年並か少ないと予想されている。
	5月22日(4号)	発生量 やや多(並)	(1)5月中旬現在、小株で発生を認めず(平年並)、大株での発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並で太平洋側では平年並か多く、日照時間は平年並か少ないと予想されている。
アブラムシ類 (アブラナ科野菜、野菜類)	3月27日(2号)	発生量 並(やや多)	(1)3月中旬現在、キャベツでの発生を認めていない(平年比やや少ない)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年比多く、日照時間は平年比少ないと予想されている。
	4月24日(3号)	発生量 多(多)	(1)4月中旬現在の発生量は、トマト(施設)では発生を認めず(平年並)、キャベツでは平年比やや多く(+)、ネギでは平年比多い(+) (2)4月第3半旬現在、黄色水盤への誘殺数は平年比多い(+) (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は太平洋側で平年比多く(-)、日本海側で平年並、日照時間は太平洋側で平年比少なく、日本海側で平年並か少ないと予想されている。
アブラムシ類とモザイク病	5月22日(4号)	発生量 やや少(やや少)	(1)5月中旬現在、アブラムシ類の発生量はキュウリ及びナスで発生を認めず(平年比少)、キャベツで平年比少なく、ネギで発生を認めていない(平年比やや少(-))。 (2)5月第3半旬現在、黄色水盤への誘殺数は平年比多い(+) (3)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並で太平洋側では平年並か多く、日照時間は平年並か少ないと予想されている。
	6月25日(5号)	発生量 やや少(やや少)	(1)6月中旬現在、アブラムシ類の発生量は、トマトで発生を認めず(平年並)、キュウリで平年並、ナスでは平年比少ない(-)。 (2)6月中旬現在、キュウリでモザイク病の発生を認めていない(平年並)。 (3)6月第3半旬現在、アブラムシ類の黄色水盤での誘殺数は平年比少ない(-)。 (4)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並か多く太平洋側では平年並で、日照時間は平年並と予想されている。
アブラムシ類 (野菜全般)	8月26日(7号)	発生量 やや多(多)	(1)8月中旬現在、キュウリ及びナスで発生を認めていない(平年並)。 (2)8月第4半旬現在、黄色水盤への飛来数は平年並。 (3)向こう1か月の気温は平年比高い(+)。降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で多い(-)。日照時間は平年並と予想されている。

ハダニ類 (チャノホコリダニを含む) (果菜類)	5月22日(4号)	発生量 やや少(少)	(1)5月中旬現在の発生量は、キュウリで発生を認めず(平年並)、ナスで発生を認めていない(平年比やや少(-))。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並で太平洋側では平年並か多く、日照時間は平年並か少ないと予想されている。	
(野菜全般)	6月25日(5号)	発生量 並(やや多)	(1)6月中旬現在の発生量は、キュウリで発生を認めず(平年比少(-))、ナスで平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は日本海側では平年並か多く(-)太平洋側では平年並で、日照時間は平年並と予想されている。	
(野菜全般)	7月24日(6号)	発生量 やや多(並)	(1)7月中旬現在の発生量は、キュウリでは平年並、ナスでは平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量及び日照時間はほぼ平年並と予想されている。	
(野菜全般)	8月26日(7号)	発生量 やや多(並)	(1)8月中旬現在の発生量は、キュウリで平年比多く(+)、ナスで平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高い(+)。降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で多い(-)。日照時間は平年並と予想されている。	
アザミウマ類 (果菜類)	5月22日(4号)	発生量 やや少(やや少)	(1)5月中旬現在、発生量はキュウリで発生を認めず(平年比少)、ナスで平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並で太平洋側では平年並か多く、日照時間は平年並か少ないと予想されている。	
	6月25日(5号)	発生量 並(やや多)	(1)6月中旬現在の発生量は、トマトの寄生花率は例年並で白ぶくれ症果率は平年並、キュウリでは平年比少なく(-)、ナスでは平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並か多く太平洋側では平年並で、日照時間は平年並と予想されている。	
	7月24日(6号)	発生量 並(やや多)	(1)7月中旬現在の発生量は、キュウリでは発生を認めず(平年比やや少(-))、ナスの葉では平年比やや多く(+)、花では平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。	
	8月26日(7号)	発生量 やや多(やや多)	(1)8月中旬現在、キュウリでは発生を認めず(平年並)、ナスでも発生を認めていない(平年比やや少ない(-))。 (2)向こう1か月の気温は平年比高い(+)。降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で多い(-)。日照時間は平年並と予想されている。	
ハモグリバエ類(果菜類)	6月25日(5号)	発生量 並(やや多)	(1)6月中旬現在の発生量は、トマト及びキュウリで発生を認めず(平年並)、ナスで平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並か多く太平洋側では平年並で、日照時間は平年並と予想されている。	
	(果菜類)	7月24日(6号)	発生量 並(やや多)	(1)7月中旬現在、キュウリ及びナスでの発生量は平年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。
	(果菜類等)	8月26日(7号)	発生量 やや少(並)	(1)8月中旬現在の発生量は、キュウリで発生を認めず(平年並)、ナスで平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高い(+)。降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で多い(-)。日照時間は平年並と予想されている。
	(野菜類全般)	9月25日(8号)	発生量 やや少(並)	(1)9月中旬現在の発生量は、キュウリで平年並、ナスで発生を認めず(平年比少(-))、カブで発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年比多く(-)、日照時間は平年比少ないと予想されている。
コナガ (アブラナ科野菜)	3月27日(2号)	発生量 並(やや少)	(1)3月中旬現在、キャベツでの発生を認めていない(平年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は平年比多く、日照時間は平年比少ないと予想されている。	
	4月24日(3号)	発生量 多(多)	(1)4月中旬現在、キャベツでの発生量は平年比やや多い(+) (2)4月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で例年比やや多く、亀岡市で平年並、京丹後市で例年並(+) (3)4月第3半旬現在、予察灯60Wへの誘殺数は京田辺市で平年並、亀岡市及び京丹後市で平年比多い(+) (4)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は太平洋側で平年比多く(-)、日本海側で平年並、日照時間は太平洋側で平年比少なく、日本海側で平年並か少ないと予想されている。	
	5月22日(4号)	発生量 並	(1)5月中旬現在、キャベツで発生を認めていない(平年比やや少(-))。 (2)フェロモントラップへの誘殺数は、京田辺市で例年比やや少なく(-)、亀岡市で平年並、京丹後市で例年比少ない(-)。 (3)予察灯60Wへの誘殺数は、京田辺市で平年比多く(+)、亀岡市で平年並、京丹後市で平年比やや多い(+) (4)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並で太平洋側では平年並か多く、日照時間は平年並か少ないと予想されている。	
	8月26日(7号)	発生量 やや少(並)	(1)8月第3半旬現在、予察灯(60W)への誘殺数は、京田辺市で平年比やや少なく(-)、亀岡市で平年比少なく(-)、京丹後市で平年比やや少ない(-)。 (2)8月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は、京田辺市で例年並、亀岡市で平年比やや少なく(-)、京丹後市で例年比少ない(-)。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量及び日照時間はほぼ平年並と予想されている。	
	9月25日(8号)	発生量 やや多(やや多)	(1)9月中旬現在の発生量は、キャベツで平年並、ダイコン及びカブで平年比多い(+) (2)9月第3半旬現在、予察灯(60W)への誘殺数は京田辺市及び亀岡市で平年比やや少なく(-)、京丹後市で平年並。 (3)9月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で例年比やや多く(+)、亀岡市で平年比少なく(-)、京丹後市で例年比やや少ない(-)。	

	10月18日(9号)	発生量 並(やや多)	(1)10月中旬現在の発生量は、キャベツで平年比やや多く(+)、ダイコン及びカブで発生を認めていない(平年並)。 (2)10月第3半旬現在の予察灯(60W)への誘殺数は、京田辺市で平年並、亀岡市及び京丹後市で平年比やや少ない(-)。 (3)10月第3半旬現在のフェロモントラップへの誘殺数は、京田辺市で平年並、亀岡市で平年比少なく、京丹後市で例年比少ない(-)。 (4)向こう1か月の気温は平年比高い(+)、降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い。日照時間は平年並か少ないと予想されている。
ハスモンヨトウ (野菜全般)	7月24日(6号)	発生量 並(並)	(1)7月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市、亀岡市及び、京丹後市で平年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。
	8月26日(7号)	発生量 やや少(やや少)	(1)8月中旬現在、黒大豆での発生量は平年比やや少ない(-)。 (2)8月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は、京田辺市で平年比やや少なく、亀岡市及び京丹後市で平年比少ない(-)。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量及び日照時間はほぼ平年並と予想されている。
	9月25日(8号)	発生量 やや多(やや多)	(1)9月中旬現在の野菜での発生量は、キュウリ及びナスでは発生を認めず(平年並)、キャベツ及びダイコンでは平年比多い(+) (2)9月中旬現在、豆類での発生量は黒大豆で平年並、アズキで平年比やや多い(+)
タバコガ類[オオタバコガ、タバコガ]	9月25日(8号)	発生量 やや多	(1)9月中旬現在、アズキでのオオタバコガの発生は平年比やや多い(+) (2)9月第3半旬現在、オオタバコガのフェロモントラップへの誘殺数は、京田辺市で平年並、亀岡市で平年比やや少なく(-)、京丹後市で例年比やや多い(+) (3)9月第3半旬現在、タバコガのフェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で平年比やや多く(+)、亀岡市で平年比少なく(-)、京丹後市で例年比多い(+) (4)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年比多く(-)、日照時間は平年比少ないと予想されている。
ハイマダラメイガ[ダイコンシンクイムシ] (アブラナ科野菜)	9月25日(8号)	発生量 やや多(やや多)	(1)9月中旬現在、ダイコンでの発生量は平年比やや多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年比多く(-)、日照時間は平年比少ないと予想されている。
シロオビノメイガ (ホウレンソウ)	8月26日(7号)	発生量 やや多	(1)8月第3半旬現在、予察灯(60W)への誘殺数は、京田辺市で平年並、亀岡市及び京丹後市で平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量及び日照時間はほぼ平年並と予想されている。
	9月25日(8号)	発生量 多(やや多)	(1)9月第3半旬現在の予察灯(60W)への誘殺数は、京田辺市で平年並、亀岡市及び京丹後市で平年比多い(+) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年比多く(-)、日照時間は平年比少ないと予想されている。
ネギアザミウマ (ネギ)	4月24日(3号)	発生量 やや多(やや多)	(1)4月中旬現在の発生量は、小株で平年並、大株で例年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は太平洋側で平年比多く(-)、日本海側で平年並、日照時間は太平洋側で平年比少なく、日本海側で平年並か少ないと予想されている。
	5月22日(4号)	発生量 並(やや多)	(1)5月中旬現在、発生量は小株で平年並、大株で例年比やや少ない(-) (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並で太平洋側では平年並か多く、日照時間は平年並か少ないと予想されている。
ネギアザミウマ えそ条斑病 (ネギ)	6月25日(5号)	発生量 並(多)	(1)6月中旬現在、ネギアザミウマの発生量は小株で平年並、大株で例年並。 (2)6月中旬現在、えそ条斑病の発生量は小株及び大株で例年並。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並か多く太平洋側では平年並で、日照時間は平年並と予想されている。
ネギアザミウマ (ネギ)	7月24日(6号)	発生量 やや少(並)	(1)7月中旬現在の発生量は小株で平年比やや少なく、大株で例年比少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。
	8月26日(7号)	発生量 やや少(やや多い)	(1)8月中旬現在の発生量は、小株では平年並、大株で例年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高い(+)、降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で多い(-)。日照時間は平年並と予想されている。
	9月25日(8号)	発生量 やや少(少)	(1)9月中旬現在の発生量は、小株で平年比やや少なく、大株で例年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年比多く(-)、日照時間は平年比少ないと予想されている。
	10月18日(9号)	発生量 並(やや少)	(1)10月中旬現在の発生量は、小株で平年比少なく、大株で例年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高い(+)。降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い。日照時間は平年並か少ないと予想されている。
ネギハモグリバエ (ネギ)	4月24日(3号)	発生量 並(やや多)	(1)4月中旬現在、小株及び大株で発生を認めていない(平年並、例年並)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は太平洋側で平年比多く(-)、日本海側で平年並、日照時間は太平洋側で平年比少なく、日本海側で平年並か少ないと予想されている。
	5月22日(4号)	発生量 やや少(並)	(1)5月中旬現在、発生量は小株で発生を認めず(平年比少)、大株で発生を認めていない(例年比少(-))。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並で太平洋側では平年並か多く、日照時間は平年並か少ないと予想されている。
	6月25日(5号)	発生量 やや少(やや多)	(1)6月中旬現在の発生量は、小株で発生を認めず(平年比やや少)、大株で例年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量は日本海側では平年並か多く太平洋側では平年並で、日照時間は平年並と予想されている。
	7月24日(6号)	発生量 並(やや多)	(1)7月中旬現在、発生量は小株では平年並、大株で例年並。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。

	8月26日(7号)	発生量 やや少(並)	(1)8月中旬現在の発生量は、小株で平年並、大株では例年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高い(+)。降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で多い(-)。日照時間は平年並と予想されている。
	9月25日(8号)	発生量 やや少(並)	(1)9月中旬現在の発生量は、小株で平年比やや少なく、大株で例年比やや少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年比多く(-)、日照時間は平年比少ないと予想されている。
	10月18日(9号)	発生量 やや少(並)	(1)10月中旬現在の発生量は、小株で平年比少なく、大株で例年比少ない(-)。 (2)向こう1か月の気温は平年比高い(+)。降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い。日照時間は平年並か少ないと予想されている。
シロイチモジトウ(ネギ)	7月24日(6号)	発生量 やや多(やや多)	(1)7月中旬現在の発生量は、小株で平年比やや多く、大株で例年比やや多い(+) (2)7月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で例年並、亀岡市及び京丹後市で例年比少ない(-)。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量及び日照時間は平年並と予想されている。
	8月26日(7号)	発生量 やや多(やや多)	(1)8月中旬現在の発生量は、小株で認めず(平年並)、大株では例年比やや多い(+) (2)8月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市で例年並、亀岡市で例年比やや少なく(-)、京丹後市で例年並。 (3)向こう1か月の気温は平年比高い(+)。降水量は日本海側で平年並または多く、太平洋側で多い(-)。日照時間は平年並と予想されている。
	9月25日(8号)	発生量 やや多(多)	(1)9月中旬現在の発生量は、ネギの小株では平年比多く、大株で例年比やや多い(+) (2)9月第3半旬現在、フェロモントラップへの誘殺数は京田辺市及び京丹後市で例年並、亀岡市で例年比やや少ない(-)。 (3)向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量は平年比多く(-)、日照時間は平年比少ないと予想されている。
	10月18日(9号)	発生量 多(多)	(1)10月中旬現在の発生量は、ネギの小株で平年並、大株で例年比多い(+) (2)10月中旬現在のフェロモントラップへの誘殺数は、京田辺市で例年比多く、亀岡市例年並、京丹後市で例年比やや多い(+) (3)向こう1か月の気温は平年比高い(+)。降水量は日本海側で平年並、太平洋側で平年並または多い。日照時間は平年並か少ないと予想されている。
その他(注意事項)			

留意事項

病害虫発生予報内容の根拠とした今後1か月間の気象予想の概要

発行号	予報月	発行日	気象予報日	気温降水量日照時間
第1号	3月	2月27日	2月22日	平年並平年並平年並
第2号	4月	3月27日	3月21日	平年比高い平年比多い平年比少ない
第3号	5月	4月23日	4月18日	平年比高い平年並または多い平年並または少ない
第4号	6月	5月22日	5月16日	平年比高い平年並または多い平年並または少ない
第5号	7月	6月20日	6月20日	平年比高い平年並または多い平年並
第6号	8月	7月25日	7月18日	平年比高い平年並平年並
第7号	9月	8月22日	8月22日	平年比高い平年並または多い平年並
第8号	10月	9月27日	9月19日	平年比高い平年比多い平年比少ない
第9号	11月	10月23日	10月17日	平年比高い平年並または多い平年並または少ない

・根拠欄に気象要因の記載がないのは、病害虫発生への気象の影響が少ない場合である。

3. 対象病害虫の発生状況

農作物名	作付面積	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
イネ	13769ha	葉いもち	平年：早 前年：早	平年：やや多 前年：やや少	8779ha	BLASTAMでは5月前半、6月を中心に府内の広い地域で罹患発症条件日を記録した。5～6月の発生量は平年多かったが、7月はやや少、8月は平年並となった。	BLASTAMで5～6月上旬に各地で好適条件が断続的に出現したことで、多かったと考えられ、7月中旬以降は、高温少雨で多発していた葉いもちも収まりやすくなったと考えられる。	長期持続型防除剤による予防防除を行っている地域が多い。
		穂いもち	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	2471ha	8月は府全体で平年比少ない発生で、9月は平年並の発生となった。	7月以降は、高温少雨で葉いもちから穂いもちへの移行は少なかったと考えられる。	出穂後の防除を行っている。
		紋枯病	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	1893ha	8月から府内の一部地域で発生を認めたが、府全体では平年比少ない発生となった。	一部ほ場では、後半に過繁茂傾向となり、発生したと考えられる。	育苗防除剤により葉いもちと同防除を行っている。
		白葉枯病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	0ha	発生を認めなかった。		実施せず。
		稲こじ病	平年：一 前年：一	平年：並 前年：並	0ha	発生を認めなかった。		実施せず。
		イネミズノムシ	平年：並 前年：やや遅	平年：並 前年：やや少	9381ha	予察灯への初飛来は京田辺(5月11日)で平年並、亀岡(4月20日)は早く、京丹後(5月16日)では平年比やや遅かった。4月第1半分から5月第2半期の予察灯への誘殺数は京田辺、亀岡で平年並、京丹後でやや遅かった。 本田での発生量は南丹及び丹後で平年並であったが、中丹では平年比やや多くなった。	育苗防除剤ができていないほ場での発生が目立った。	育苗防除剤による防除を行っている地域が多い。
		ツマグロコバイ	平年：やや遅 前年：遅	平年：少 前年：並	3695ha	越冬世代幼虫の発生時期は平年比遅かったが、虫数は平年比やや多かった。本田では、7月には山城及び南丹で虫数が多かったが、全体では並の発生。8月は平年比少ない発生で推移した。	7月は高温少雨で山城及び南丹地域では発生に適した条件が揃っていたと考えられる。このため、局所的に虫数が多くなったと考えられる。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。
		ヒメトビウカ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	8332ha	5月の未耕起田での発生は平年比やや多かった。6月には発生を認めなかった。7～8月に府内全域で発生を確認したが、発生量は少なかった。	越冬密度は平年比やや多かった。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。
		セジロウソカ	平年：やや早 前年：やや早	平年：多 前年：多	12030ha	予察灯への初飛来は、京田辺(7月2日)と京丹後(6月20日)で平年日や早く、亀岡(7月1日)では平年比早かった。本田では7月に府内全域で発生を認め、全体的に平年比多い発生で推移した。	6月の平均気温が高温で、セジロウソカの移動・飛来を促進したと考えられる。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。
		トビウソカ	平年：一 前年：一	平年：並 前年：並	0ha	予察灯への初飛来は、京田辺(8月24日)、亀岡(9月25日)及び京丹後(8月13日)で、平年比やや遅かった。 本田での発生は未確認。	8月中旬までの予察灯への誘殺はなかった(平年比やや遅い)。	田植え時及び出穂期前後に他病害虫との同時防除を行っている。
		ニカメイガ	平年：一 前年：一	平年：並 前年：並	1607ha	8月に一部地域で発生を認めた。	近年発生ほ場が増加傾向にあり、出穂後に農薬散布を行わない飼料米では発生することがある。	常発地では本田防除を実施。
		イチモンジセセリ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	408ha	7月に丹後で幼虫の発生を認め、平年並の発生となった。		常発地では本田防除を実施。
コブノメイガ	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：並	2070ha	8月の巡回調査で発生を認めて、平年比やや多い発生。	7月中旬以降に飛来があったと考えられる。	出穂期前後にカメムシ類との同時防除を行っている。		
斑点米カメムシ類	平年：並 前年：早	平年：やや多 前年：やや多	8179ha	本田での発生は、6月は平年比やや少なかった。7～8月は平年比やや多い発生で推移した。 畦畔雑草での発生は、6月は平年比やや少なかった。7月は平年並、8月は平年比やや多い発生となった。 予察灯(60W)へのアサジカミカメの誘殺数は京田辺及び亀岡市で平年比多く、京丹後で平年並、アカヒゲホソドリカメミカメは京田辺で平年比やや少なかった。亀岡市で平年比やや多く、京丹後で平年並の発生であった。 優占種は、トゲシラホシカメムシ、クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、アサジカミカメ、アカヒゲホソドリカメミカメ、ミナミアオカメムシ及びイネカメムシであった。近年はイネカメムシの発生が目立つ。	カメムシ類増加の要因として、温暖化、水田内外の雑草管理の不足、休耕田や耕作放棄田(イネ科雑草)の増加、地域一斉防除の減少等が考えられる。	出穂期前後に水田周辺の草刈り及び薬剤防除(種捕り期と傾熟期の2回)を行っている。		
麦	296ha	うどんこ病	平年：一 前年：一	平年：並 前年：並	0ha	4月の二条大麦及び小麦の調査で発生を認めず、5月の小麦の調査でも発生を認めなかった(例年並)。	薬剤防除が行き届いている。	赤かび病と同時防除を実施している。
		赤かび病	平年：一 前年：一	平年：並 前年：やや少	0ha	4月の二条大麦及び小麦の調査で発生を認めず、5月の小麦の調査でも発生を認めなかった(平年並)。	薬剤防除が行き届いている。	薬剤散布は、二条大麦では蒔種抽出期およびその週間後の2回、小麦では開花期およびその1週間後の2回実施。
大豆(黒)	325ha	葉焼病	平年：一 前年：一	平年：並 前年：並	325ha	7月の巡回調査では発生を認めず(平年並)、8～9月の巡回調査では平年並であった。	薬剤防除が行き届いている。	定期的な薬剤散布。
		アブラムシ類	平年：一 前年：一	平年：並 前年：並	0ha	7～9月の巡回調査では、発生を認めなかった(平年並～やや少で推移)。 当所の黄色水盤での本年の誘殺数は、平年比やや多～並で推移した。	高温、小雨の時期は増殖するが、薬剤防除で抑えられたと考えられる。	播種時の殺虫剤浸漬処理及び定植時薬剤施用。 ほ場では、ハスモンヨトウ、吸蜜性カメムシ類との同時防除に対応。
		ハスモンヨトウ	平年：一 前年：一	平年：並 前年：やや少	285ha	7月の巡回調査では、発生を認めなかった(平年並)。8～9月の巡回調査では、平年並～やや少で推移した。 フェロモントラップでの誘殺数は、平年比やや少～少で推移した。	薬剤防除が行き届いている。	開花期以降の薬剤散布(3回)。
		ハダニ類	平年：一 前年：一	平年：やや少 前年：やや少	203ha	7、8月の巡回調査では、発生を認めなかった(平年比やや少～少で推移)。9月の巡回調査では平年並であった。	薬剤防除が行き届いている。	定期的な薬剤散布。
		吸蜜性カメムシ類	平年：一 前年：一	平年：並 前年：やや少	163ha	7月の巡回調査で発生を認めなかった(平年並)。8月の巡回調査では平年比多い発生であり、9月の巡回調査では平年比やや少ない発生であった。	夏季の高温・少雨。	開花期以降の薬剤散布(3回)。 アブラムシ類、ハスモンヨトウとの同時防除に対応。
		マメシロウ	平年：一 前年：一	平年：一 前年：一	0ha	9～10月の巡回調査では被害葉を認めない。	薬剤防除が行き届いている。	定期的な薬剤散布。
カンキツ	41ha	そうか病	平年：一 前年：一	平年：多 前年：並	41ha	4～9月の巡回調査では、平年比多い発生であった。	昨年も発生を認めており、感染源があったことと多雨により発生したと考えられる。	定期的な薬剤散布。
		黒点病	平年：一 前年：一	平年：並 前年：やや少	0ha	6～9月の巡回調査では、発生を認めなかった。	薬剤防除が行き届いている。	定期的な薬剤散布。
		かいよう病	平年：一 前年：一	平年：並 前年：並	0ha	4～9月の巡回調査では、発生を認めなかった。 過去10年間、発生を認めない。	例年発生しておらず、病原菌の密度が低い。	定期的な薬剤散布。
		ミカンハダニ	平年：一 前年：一	平年：やや少 前年：やや少	14ha	4～9月の巡回調査のうち、4月は平年比やや多い発生であり、5～9月ではやや少～少で推移した。	薬剤防除が行き届いている。	定期的な薬剤散布。

農作物名	作付面積	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
		アブラムシ類	平年:- 前年:-	例年:並 前年:並	27ha	5~7月は発生を認めず(例年並)、8月は例年比多い発生であり、9月は発生を認めなかった(平年比やや少)。	夏季の高温・少雨。	定期的な薬剤散布。
		アザミウマ類	平年:- 前年:-	例年:- 前年:-	0ha	6~9月の巡回調査で発生を認めなかった。	薬剤防除が行き届いている。	定期的な薬剤散布。
ナン	60ha	黒斑病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:やや少	60ha	丹後地域の「二十世紀」栽培ほ場では、5月に平年比多い発生となり、6、9、10月は平年並、7、8月は平年比やや多い発生であった。判定枝の調査では罹病枝率が62.4%と平年比高くなり、4月24日付けで防除所ニュースを発表した。	越冬量は多かったが、薬剤防除により、発生が抑制されたと考えられる。	定期的な薬剤散布。
		黒星病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	60ha	丹後、山城地域の「赤ナン系統」栽培ほ場では、5、8、9月に平年並、6、7月は平年比やや少~少で推移し、10月はやや多い発生を認めた。	10月は多雨で発生が多くなったと考えられる。	定期的な薬剤散布。
		ハマキムシ類	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	5~8月の巡回調査では、発生を認めなかった(例年並)。	薬剤防除が行き届いている。	定期的な薬剤散布。
		ハダニ類	平年:- 前年:-	平年:やや少 前年:少	36ha	5、6、8月は発生を認めず(平年並~平年比少)、7、9、10月は平年並~やや少で推移した。	薬剤防除が行き届いている。	薬剤のローテーション防除。
		カメムシ類	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	6ha	チャバネアオカメムシの越冬量は丹後及び山城地域で平年並、丹波地域で平年比多かった。 チャバネアオカメムシの予察灯(BL)への誘殺数は、9月中旬までは、平年比多かった。9月下旬以降に京田辺市で平年並、京丹後市及び亀岡市で平年比多かった。これら誘殺状況から、5月2日付けで防除所ニュースを発表した。	9月以降に予察灯(BL)、フェロモントラップへの飛来が増加したのは、スキ、ヒノキの産果が餌として不適となり、餌を求めて果樹園でのカメムシ被害見取り調査では、6月発生を認めず(平年並)、7月は平年比多かった。	薬剤散布。袋掛け。
		アブラムシ類	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	5~8月の巡回調査では、発生を認めなかった(平年並~少で推移)。	薬剤防除が行き届いている。	薬剤散布。
		シンクイムシ類	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	6~8月の巡回調査では、発生を認めなかった(平年並)。	強化袋を用いた袋掛けにより、果実への被害が抑えられている。	薬剤散布。袋掛け。
		カイガラムシ類	平年:- 前年:-	平年:- 前年:-	0ha	5~8月の巡回調査では、発生を認めなかった。	薬剤防除が行き届いている。	薬剤散布。袋掛け。
ブドウ	83ha	アザミウマ類	平年:- 前年:-	平年:- 前年:-	0ha	7月の巡回調査では、発生を認めなかった。	薬剤防除が行き届いている。	薬剤散布。
		べと病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:やや少	69ha	5、6月の巡回調査では、発生を認めなかった(平年並)。7月に平年比やや少ない発生を認め、8、9月は平年並の発生であった。	薬剤防除が行き届いている。	薬剤散布。雨除け。
		灰色かび病	平年:- 前年:-	例年:並 前年:並	0ha	5、6月の巡回調査で発生を認めなかった。	薬剤防除が行き届いている。	薬剤散布。雨除け。
カキ	204ha	炭そ病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	5~10月の巡回調査では、発生を認めなかった(平年並)。	薬剤防除が行き届いている。	薬剤散布。
		カキノヘタムシガ	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	8~10月の巡回調査では、発生を認めなかった(平年並)。	薬剤防除が行き届いている。	薬剤散布。
		カイガラムシ類	平年:- 前年:-	平年:並 前年:やや少	68ha	5~8、10月の巡回調査では、発生を認めなかった(平年並)。9月は平年並の発生であった。	薬剤防除が行き届いている。	薬剤散布。
		カメムシ類	平年:- 前年:-	平年:多 前年:並	204ha	6月の巡回調査では発生を認めなかった(平年並)、7~10月の巡回調査では、平年比多い発生を認めた。 越冬量調査、予察灯の誘殺数の状況は、ナンのカメムシ類の項参照。	7月以降の餌の不足、および高い夜温によりカメムシの活動が活発になったため。	薬剤散布。
		チャノキイロアザミウマ	平年:- 前年:-	平年:やや少 前年:やや少	68ha	8月の巡回調査では、平年並の発生であった。9~10月の巡回調査では発生を認めなかった(平年比やや少)。	薬剤防除が行き届いている。	薬剤散布。
		カキクダアザミウマ	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	5~10月の巡回調査では発生を認めなかった(平年並)。	薬剤防除が行き届いている。	薬剤散布。
茶	1405ha	炭疽病	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:やや多	930ha	4月の巡回調査では発生を認めず(平年比少)、5月の巡回調査では平年比やや多い発生であった。6月の巡回調査では平年並の発生で、7月の巡回調査では発生を認めず(平年比少)、8月の巡回調査では発生を認めず(平年比やや少)、9月~10月の巡回調査では平年比少ない発生であった。	降水量が多く、温かくなってきた5月から発病適温に達し炭疽病が増加した可能性がある。 6月以降は薬剤防除が行き届き発病が抑えられた。	薬剤散布。
		もち病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	59ha	4月~5月及び8月~10月の巡回調査では発生を認めず(平年並)、6月は平年比やや多い発生であった。	薬剤散布時期にずれが生じている可能性がある。	薬剤散布。
		灰色かび病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	4月~10月の巡回調査では、発生を認めず(平年並)。	薬剤防除が行き届いている。	薬剤散布。
		チャノコカクモンハマキ	平年:やや遅 前年:遅	平年:やや多 前年:やや少	574ha	4月及び8月~10月の巡回調査では平年並みの発生で、5月の巡回調査では発生を認めず(平年並)。6月~7月は平年比やや多い発生であった。	平年に比べて発生が遅れたため、薬剤散布時期にずれが生じている可能性がある。	薬剤散布。
		チャノホソガ	平年:早 前年:早	平年:並 前年:並	644ha	4月~5月及び7月~9月の巡回調査では平年並か平年比やや少ない発生であった。6月の巡回調査では平年比多い発生であった。10月の巡回調査では平年比少ない発生であった。	平年に比べて発生時期が早かったため、薬剤散布時期にずれが生じている可能性がある。	薬剤散布。
		カンザワハダニ	平年:- 前年:-	平年:並 前年:少	1217ha	4月の巡回調査では平年比やや少ない発生、5月の巡回調査では平年並の発生であった。6月の巡回調査では平年比やや少ない発生、7月の巡回調査では平年比少ない発生であった。8月~10月の巡回調査では平年並の発生であった。	薬剤防除が行き届いている。	薬剤散布。
		チャノミドリヒメヨコバイ	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:並	1346ha	4月の巡回調査では発生を認めず(例年並)、5月の巡回調査では平年比多い発生であった。6月の巡回調査では平年並の発生、7月の巡回調査では平年比やや多い発生であった。8月及び10月の巡回調査では平年並の発生、9月の巡回調査では平年比少ない発生であった。	気温が高く推移したため発生が助長された可能性がある。	薬剤散布。
		チャノキイロアザミウマ	平年:- 前年:-	平年:並 前年:やや多	1406ha	4月の巡回調査では例年比多い発生、5月の巡回調査では平年比やや多い発生であった。6月~10月の巡回調査では平年並か平年比やや少ない発生であった。		薬剤散布。
		クワシロカイガラムシ	平年:- 前年:-	平年:並 前年:多	1277ha	4月の巡回調査では平年比やや多い発生、5月の巡回調査では平年比少ない発生であった。6月の巡回調査では平年比多い発生、7月~10月の巡回調査では平年並か平年比やや少ない発生であった。		薬剤散布。

農作物名	作付面積	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
冬春 トマト	28ha	疫病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	発生を認めなかった(平年並)。	ハウス内湿度が適正に管理されている。	発生を認めた時に薬剤散布。
		灰色かび病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	発生を認めなかった(平年並)。	ハウス内湿度が適正に管理されている。	発生を認めた時に薬剤散布。
		葉かび病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	発生を認めなかった(平年並)。	薬剤防除が行き届いている。 抵抗性品種の作付け。	発生を認めた時に薬剤散布。
		うどんこ病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	11ha	6月に発生を認めた。 (発生ほ場率6月40.0%)。	5月以降ハウス内が乾燥し、発生が増加したと考えられる。	発生を認めた時に薬剤散布。
		アザミウマ類	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:やや多	14ha	4~6月に寄生花及び白ぶくれ果の発生を認めた(やや多い)。 (発生ほ場率:4月25.0%、5月40.0%、6月50.0%)。	暖冬傾向で発生が増加したと考えられる。 殺虫剤感受性の低下。	定植時の粒剤施用。 発生を認めた時に薬剤散布。
		コナジラミ類	平年:- 前年:-	平年:多 前年:多	22ha	平年より早く4月に発生を認め、6月まで多発が続いた。虫種はタバココナジラミが大半で、オンツツコナジラミも混発した。 (発生ほ場率:4月50.0%、5月60.0%、6月80.0%)。	暖冬傾向で越冬量が多く、発生が増加したと考えられる。 殺虫剤感受性の低下が著しい。	定植時の粒剤施用。 発生を認めた時に薬剤散布。
		アブラムシ類	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	発生を認めなかった(平年並)。	適正な防除により発生が抑制されたと考えられる。	定植時の粒剤施用。 発生を認めた時に薬剤散布。
		ハスモントウ	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	ほ場調査では、発生を認めなかった。 フェロモントラップでの4~6月の誘殺数は、やや少なく推移した。	例年、3~6月の発生は少ない。	発生を認めた時に薬剤散布。
ナス (夏秋)	166ha	うどんこ病	平年:- 前年:-	平年:やや少 前年:並	83ha	9、10月に発生を認めた。 (発生ほ場率:9月42.9%、10月50.0%)。	夏季の高温で発生が抑制されたと考えられる。	薬剤に対する感受性低下を防ぐため、ローテーション防除。
		灰色かび病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	発生を認めなかった(平年並)。	露地での発生は少ない。	
		アブラムシ類	平年:- 前年:-	平年:やや少 前年:並	119ha	6、8、9月に発生を認めた。 (発生ほ場率:6月42.9%、8月28.6%、9月71.4%)。	適正な防除により発生が抑制されたと考えられる。	定植時の粒剤施用。 薬剤散布。 ソルゴー障壁の導入。
		ハダニ類	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:並	142ha	6月以降発生を認めた。 (発生ほ場率:6月28.6%、7月85.7%、8月57.1%、9月42.9%、10月16.7%)。	7~9月の少雨で発生が増加したと考えられる。	効果の高い薬剤による初期防除。 感受性低下を防ぐため、ローテーション防除。
		アザミウマ類	平年:- 前年:-	平年:並 前年:やや多	166ha	5~9月に発生を認めた。 (発生ほ場率:5月57.1%、6月100%、7月85.7%、8月42.9%、9月14.3%)。	暖冬傾向で発生が増加し、夏季の高温で発生が抑制されたと考えられる。 殺虫剤感受性の低下。	定植時における粒剤施用。 薬剤散布。
		ハスモントウ	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	発生を認めなかった。 フェロモントラップでの4~10月の誘殺数は、平年比やや少なく推移した。	適正な防除により発生が抑制されたと考えられる。	効果の高い薬剤による初期防除。
		コナジラミ類	平年:- 前年:-	平年:多 前年:やや多	166ha	平年より早く5月に発生を認め、10月まで多発が続いた。虫種はタバココナジラミが大半で、オンツツコナジラミも混発した。 (発生ほ場率:5月28.6%、6月28.6%、7月71.4%、8-9-10月100%)。	暖冬及び栽培期間中の高温、7~9月の少雨で発生が増加したと考えられる。 殺虫剤感受性の低下。	発生初期からの薬剤散布。
キュウリ (夏秋)	112ha	べと病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	75ha	6、7月に発生を認めた。 (発生ほ場率:6月66.7%、7月40.0%)。	梅雨期の降雨で発生したと考えられる。	発生初期からの薬剤散布。
		炭そ病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	22ha	7月に発生を認めた。 (発生ほ場率:7月20.0%)。	梅雨期の降雨で発生したと考えられる。	発生初期からの薬剤散布。
		うどんこ病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:やや少	22ha	7月に発生を認めた。 (発生ほ場率:7月20.0%)。		発生初期からの薬剤散布。 抵抗性品種の利用
		褐斑病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	発生を認めなかった(平年並)。	梅雨期の降雨で発生したと考えられる。	発生初期からの薬剤散布。
		斑点細菌病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	発生を認めなかった(平年並)。		
		モザイク病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:やや多	22ha	7月に発生を認めた。 (発生ほ場率:7月20.0%)。	アブラムシ類が発生し、発病を助長したと考えられる。	定植時の粒剤施用。 一部ほ場では弱毒ウイルス接種苗を利用。
		灰色かび病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	発生を認めなかった(平年並)。	例年発生を認めない。	定植時の粒剤施用。
		アブラムシ類	平年:- 前年:-	平年:やや少 前年:やや多	37ha	6月に発生を認めた。 (発生ほ場率:6月33.3%)。		発生初期からの薬剤散布。
		ハダニ類	平年:- 前年:-	平年:並 前年:やや少	56ha	7月と8月に発生を認めた。 (発生ほ場率:7月20.0%、8月50.0%)。	7月後半以降の少雨が発生を助長したと考えられる。	定植時の粒剤施用。 他の害虫との同時防除。
		アザミウマ類	平年:- 前年:-	平年:やや少 前年:並	56ha	6月と8月に発生を認めた。 (発生ほ場率:6月33.3%、8月50.0%)。	暖冬に経過したが、防除が行き届いていた。	定植時の粒剤施用。 他の害虫との同時防除。
		コナジラミ類	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:やや多	112ha	5月と8月に発生を認めた。 (発生ほ場率:9月33.3%、8月100%)。	暖冬に経過し、越冬量が多かった。 殺虫剤感受性の低下。	定植時の粒剤施用 他の害虫との同時防除
ダイコン	250ha	アブラムシ類	平年:- 前年:-	平年:並 前年:やや多	167ha	9~11月に発生を認めた。 (発生ほ場率:9月33.3%、10月25.0%、11月66.7%)。	9月の少雨と秋季の高温。	は種時の粒剤使用 他の害虫との同時防除
		ハスモントウ	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:やや少	83ha	9月に発生を認めた。 (発生ほ場率:9月33.3%)。 フェロモントラップでの誘殺数は平年比やや少なく推移した。	8~9月の少雨により発生が多くなった	発生初期の薬剤防除。
		コナガ	平年:- 前年:-	平年:並 前年:やや少	83ha	9、11月に発生を認めた。 (発生ほ場率:9月33.3%、11月33.3%)。 9~10月のフェロモントラップ及び予察灯の誘殺数は、平年比やや少なく推移した。	夏季の高温で発生が抑制され、秋季の高温・少雨で発生が多くなったと考えられる。	発生初期の薬剤防除。
		ハイマダラメイガ	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:並	83ha	9、11月に発生を認めた。 (発生ほ場率:9月33.3%、11月33.3%)。	秋季の高温・少雨で発生が多くなったと考えられる。	発生初期の薬剤防除。
キャベツ (春)	137ha	菌核病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	発生を認めなかった(平年並)。	前年秋に発生を認めない。	発生初期の薬剤防除。
		黒腐病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	発生を認めなかった(平年並)。		発生初期の薬剤防除。
		モンシロチョウ	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:やや多	91ha	4月に発生を認めた。 (発生ほ場率:4月66.7%)。	暖冬と4月の高温で発生が多くなった。	他害虫との同時防除。
		アブラムシ類	平年:- 前年:-	平年:やや少 前年:並	103ha	平年比やや少ない発生であった(発生ほ場率:4月25.0%、5月75.0%)。	薬剤防除が行き届いている。	定植時の粒剤施用。 他害虫との同時防除。
		コナガ	平年:- 前年:-	平年:やや多 前年:並	34ha	4月にやや多発し、5月はやや少発となった。 (発生ほ場率:4月25.0%、5月25.0%)。 4~5月の誘殺数は、フェロモントラップでは平年比やや少なく、予察灯では平年並に推移した。	3、4月の高温により発生が増加したと考えられる。	定植時の粒剤施用。 他害虫との同時防除。
キャベツ (冬)	95ha	ヨトウガ	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	発生を認めなかった(平年並)。	薬剤防除が行き届いている。	発生初期の薬剤散布。 他の害虫との同時防除。
		菌核病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	9~11月の調査では発生を認めなかった(平年並)。	春に発生を認めない。	発生初期の薬剤防除。
		黒腐病	平年:- 前年:-	平年:並 前年:並	0ha	9~11月の調査では発生を認めなかった(平年並)。		発生初期の薬剤防除。
		モンシロチョウ	平年:- 前年:-	平年:並 前年:やや多	16ha	9月の調査で発生を認めた(平年並、発生ほ場率:9月16.7%)。	8、9月の高温・少雨で発生が多くなったと考えられる。	他害虫との同時防除。
アブラムシ類	平年:- 前年:-	平年:少 前年:やや少	0ha	発生を認めなかった(平年比少)。	8、9月の高温で発生が抑制されたと考えられる	定植時の粒剤施用。 他害虫との同時防除。		

農作物名	作付面積	病害虫名	発生時期	発生量	発生面積	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
		コナガ	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	38ha	9～11月の調査で発生を認めた。 (発生ほ場率：9月16.7%、10月40.0%、11月25.0%)。 9～10月のフェロモントラップ及び予察灯の誘殺数は、平年比やや少く推移した。	8、9月の少雨で発生が助長されたと考えられる。	定植時の粒剤施用。 他害虫との同時防除。
		ヨトウガ	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	16ha	9月の調査で発生を認めた。(発生ほ場率：9月16.7%)。	8、9月の少雨で発生が助長されたと考えられる。	発生初期の薬剤散布。 他の害虫との同時防除。
		ハスモンヨトウ	平年：－ 前年：－	平年：多 前年：やや多	48ha	9～11月の調査で発生を認めた。 (発生ほ場率：9月50.0%、10月20.0%、11月25.0%)。 9～10月のフェロモントラップの誘殺数は、平年比やや少く推移した。	8、9月の少雨及び11月までの高温で発生が増加した。。	発生初期の薬剤散布。 他の害虫との同時防除。
ネギ(夏)	65ha	さび病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや多	20ha	5、6月に大株で発生を認めた。 (発生ほ場率：5月大株60.0%、6月大株28.6%)。 ※ 小株：葉長40cm未満のネギ 大株：葉長40cm以上のネギ	5月の適温・多雨で発生したと考えられる。	発生初期の薬剤防除。
		黒斑病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	0ha	発生を認めなかった(平年並)。	8、9月の少雨で発生が抑制されたと考えられる。	発生初期の薬剤防除。
		べと病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	22ha	4月に大株で発生を認めた。 (発生ほ場率：4月大株33.3%)。	2～4月の多雨で発生を助長したと考えられる。	発生初期の薬剤防除。
		えそ条斑病	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	51ha	5～8月の調査で発生を認めた。 (発生ほ場率：5月小株20.0%、大株40.0%、6月小株11.4%、大株85.7%、7月小株16.7%、大株60.0%、8月小株20.0%、大株25.0%)。	本病を媒介するネギアザミウマの発生がやや少なかった。	媒介虫であるネギアザミウマの防除。 春期の伝染源と考えられるタマネギでのネギアザミウマの防除の徹底。
		アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	43ha	4月に小株で発生を認めた。 (発生ほ場率：4月66.7%)。		発生初期の薬剤防除。
		シロイチモジヨトウ	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	49ha	平年より早く6月から発生を認め、やや多発した (発生ほ場率：6月大株14.3%、7月小株33.3%、大株40.0%、8月小株0.0%、大株50.0%、9月小株100%、大株33.3%)。 フェロモントラップへの誘殺数は例年並に推移した。	8、9月の少雨、8～10月高温が発生を助長した。 殺虫剤感受性の低下。	発生初期の薬剤防除。
		ネギハモグリバエ	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	33ha	やや少発に推移した。 (発生ほ場率：4月小株14.3%、7月小株33.3%、大株20.0%、8月小株20.0%、9月小株66.7%、大株33.3%)。	効果の高い薬剤が使用されていると考えられる。	発生初期の薬剤防除。
		ネギアザミウマ	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	65ha	やや少発に推移した。 (発生ほ場率：4月小株33.3%、大株100%、5～6月小株100%、大株100%、7月小株100%、大株80.0%、8月小株80.0%、大株100%、9月小株66.7%、大株100%)。	夏季の高温でやや少なくなった。 効果の高い薬剤が使用されている。	発生初期の薬剤防除。
		ネギ(秋冬)	185ha	さび病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	10～11月に発生を認めなかった(平年並)。
黒斑病	平年：－ 前年：－			平年：並 前年：やや少	0ha	10～11月に発生を認めなかった(平年並)。	11月の少雨で発生が抑制されたと考えられる。	
べと病	平年：－ 前年：－			平年：並 前年：並	0ha	10～11月に発生を認めなかった(平年並)。		薬剤防除。
えそ条斑病	平年：－ 前年：－			平年：並 前年：並	0ha	10～11月に発生を認めなかった(平年並)。		媒介虫であるネギアザミウマの防除。
アブラムシ類	平年：－ 前年：－			平年：並 前年：並	0ha	10～11月に発生を認めなかった(平年並)。		発生初期の薬剤防除。
シロイチモジヨトウ	平年：－ 前年：－			平年：やや多 前年：並	52ha	やや多発に推移した。 (発生ほ場率：10月小株16.7%、大株40.0%、11月大株40.0%)	10、11月の高温。 夏作の多発傾向が継続した。 殺虫剤感受性の低下。	発生初期の薬剤防除。
ネギハモグリバエ	平年：－ 前年：－			平年：やや少 前年：並	80ha	やや少発に推移した。 (発生ほ場率：10月大株40.0%、11月小株66.7%、大株20.0%)	秋季の高温で発生が助長されたと考えられる。	発生初期の薬剤防除。
ネギアザミウマ	平年：－ 前年：－			平年：やや多 前年：並	185ha	やや多発に推移した。 (発生ほ場率：8月小株66.7%、大株100%、11月小株100%、大株100%)	秋季の高温で発生が助長されたと考えられる。	発生初期の薬剤防除。
サトイモ	140ha	汚斑病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：並	140ha	(発生ほ場率：8月50.0%、9月50.0%、10月100%)		
		モザイク病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：少	0ha	発生を認めなかった。		
		ハダニ類	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：やや少	140ha	(発生ほ場率：6、9、10月50.0%、8月100%)	8、9月の少雨で発生が助長されたと感られる。	
		ハスモンヨトウ	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：並	140ha	(発生ほ場率：8、9月50.0%、10月100%)	秋季の高温で発生が助長されたと考えられる。	他害虫との同時防除。
ハウレンソウ	340ha	アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：多	113ha	11月に発生を認めた。 (発生ほ場率：11月33.3%)	秋季の高温で発生が助長されたと考えられる。	他害虫との同時防除。
		ヨトウガ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	0ha	発生を認めなかった(平年並)。	薬剤防除が行き届いている。	他害虫との同時防除。

II 重要病害虫侵入警戒調査等の実施

(I) ミバエ類等侵入警戒調査

ミバエ類等の侵入の危険性が高い地域において、早期発見体制の整備及び侵入警戒調査を実施する事業で、本府ではミカンコミバエ種群、ウリミバエ、クインスランドミバエ、チチュウカイミバエ、トマトキバガ、Tomato leaf curl New Delhi virus (ToLCNDV)、ナシの火傷病、イネミイラ穂病菌等その他国内未発生 of イネの病害虫、テンサイシストセンチュウを対象に実施。

1 事業実施地区の概況

調査対象 病 害 虫	市 町 村	主 要 寄 生 植 物 の 栽 培 状 況 (ha)							
		カンキ ツ	ナ シ	ブドウ	カ キ	ナ ス	トマト	キュウ リ	計
ミカンコミバエ 種群									
ウリミバエ	亀岡市					5	9	4	18
クインスランド ミバエ	宮津市	8				6	6	6	26
チチュウカイミ バエ	京丹後市		70	22		15	24	13	145
トマトキバガ	京田辺市					17	8		25
	亀岡市					5	9		14
	京丹後市					4	24		4
	綾部市								
	京都市								
	八幡市								
	久御山町								
ToLCNDV	京都市					79			79
	久御山町					4			4
	亀岡市					5	9		14
火 傷 病	京丹後市		70						70

調査対象 病 害 虫	市 町 村	主 要 寄 生 植 物 の 栽 培 状 況 (ha)						計
		水 稻						
イネミイラ穂病菌等 その他国内未 発生 of イネの 病害虫	亀岡市	1,500						1,500
	京丹後市	2,560						2,560

調査対象 病 害 虫	市 町 村	主 要 寄 生 植 物 の 栽 培 状 況 (ha)						
		キャベツ	ホウレンソウ					計
テンサイシス トセンチュウ	京都市	34						34
	久御山町		38					38

2 実施状況及び結果

項目	調査概要	調査結果
ミカンコミバエ種群 ウリミバエ クインスラン ドミバエ チチュウカイ ミバエ	亀岡市余部町・宮津市石浦・京丹後市弥栄町の3か所に誘引剤トラップを設置し、4月～10月（日最高気温の月別平均値が15℃以上の月）に調査を行なった。調査間隔は、日最高気温の月別平均値が15℃以上20℃未満の4月は15日頃、20℃以上の5月～10月は各月15日・30日頃の2回調査を実施した。	侵入を認めず。
トマトキバガ	京田辺市・亀岡市・京丹後市・綾部市・京都市・八幡市久御山町の8か所に誘引剤トラップを設置し、4月～10月に調査を行なった。調査間隔は、約1週間間隔で各月4回調査を実施した。	4月3日に侵入を認めた。
Tomato leaf curl New Delhi virus (ToLCNDV)	京都市・久御山町・亀岡市の巡回調査トマトほ場6か所で、5月～6月の各月1回の見取り調査を実施した。	侵入を認めず。
火傷病	京丹後市網野町・久美浜町の巡回調査ナシ園4か所で、5月～10月の各月1回の見取り調査を実施した。	侵入を認めず。
籾仔穂病菌等 その他国内未発生 のイネの 病害虫	亀岡市・京丹後市の巡回調査水稻ほ場2か所で、9月に1回の見取り調査を実施した。	侵入を認めず。
テンサイシス トセンチュウ	京都市の巡回調査キャベツ・ホウレンソウほ場2か所で、10月に1回の見取り調査を実施した。	侵入を認めず。

(II) プラムポックスウイルス発生状況調査

平成21年4月、東京都青梅市のウメにおいて、国内で初めてプラムポックスウイルス(PPV)によるウメ輪紋病の発生が確認された。本ウイルスはアブラムシ類が媒介し、サクラ属のウメ、モモ、スモモ等の果樹が感染、発病する。発病樹は葉や花卉、外果皮に斑紋が現れるとともに、早期落果により収穫量が減少する。

このため、本病の全国的な発生状況を把握するため、全国調査が実施された。

平成21年以降も毎年、全国的な調査が行われており、本府においてもウメ及びモモの主要な生産園地を中心に発生状況調査を実施した。

1 全国調査

- 1) 調査対象植物 ウメ、モモ
- 2) 調査日時・地域 令和6年6月6日：綾部市、舞鶴市、京丹後市
令和6年6月7日：城陽市
- 3) 調査及び検定体制 調査実施機関：京都府、検定実施機関：神戸植物防疫所
- 4) 調査方法 ①調査園及び周辺園を見取り調査。
②調査園から5樹を選定し、1樹当たり5葉を採取して、検定実施機関で検定。
- 5) 調査結果 ①発病を認めなかった。
②LAMP法による検定で、全て陰性であった。

種 類	調査地域数	調査園数	検定試料数	LAMP陽性試料数
ウ メ	4	7	155	0
モ モ	1	1	25	0
合 計	5	8	180	0

(Ⅲ) キウイフルーツかいよう病発生状況調査

平成26年5月に、国内の複数のキウイフルーツ生産県において、かいよう症状を呈した発病樹から国内で発生報告がなかったキウイフルーツかいよう病菌の新系統（Psa3）が確認された。本系統の発病樹は、花蕾の褐変、腐敗や枝幹の枯死等の収穫量の減少に直結する被害をもたらし、国内のキウイフルーツ産業への影響が危惧されている。

このため、本病の全国的な発生状況を把握するために緊急全国調査が実施され、本府においても調査を行った。

1 全国調査

- 1) 調査対象植物 キウイフルーツ
- 2) 調査日時・地域 令和6年、6月7日、6月19日
- 3) 調査及び検定体制 調査実施機関：京都府
- 4) 調査方法 調査園を見取り調査。
- 5) 調査結果 発病を認めなかった。

Ⅲ 調査・試験の結果

単年度試験研究成績 (2025年3月作成)

課題名：(8) 農作物の病害虫に関する現地対策調査

① コナジラミ類の発生状況と薬剤感受性の調査および実証試験

(ア) タバココナジラミバイオタイプQ幼虫の薬剤感受性

担当部署名：京都府農林水産技術センター・農林センター環境部

担当者名：矢谷一真

協力分担：

予算(期間)：グリーンな栽培体系への転換サポート事業(2022-2024年度)

1 目的

京都府の施設野菜では、コナジラミ類(オンシツコナジラミおよびタバココナジラミ)が多発し、すす病の発生およびトマトの黄化葉巻病やキュウリの退緑黄化病の媒介が問題となっている。京都府におけるタバココナジラミバイオタイプQの幼虫の薬剤感受性は施設トウガラシから採集された個体群で2006年に調べられた(徳丸・林田, 2010)のみであり、最近の薬剤感受性は不明である。そこで、京都府におけるタバココナジラミバイオタイプQの幼虫の薬剤感受性を明らかにする。

2 方法

(1) 供試虫：タバココナジラミバイオタイプQ

ア 採集日：2022年10月27日

イ 採集地：京都府長岡京市の施設トマトほ場

ウ バイオタイプ検定：三浦(2007)のマルチプレックスPCR法により検定

エ 累代飼育：キャベツ(品種:おきな)を寄主植物とし、25°C・長日条件(15L9D)に設定した人工気象器内で飼育

(2) 供試薬剤

ジノテフラン水溶剤、ミルベメクチン乳剤、スピネトラム水和剤、レピメクチン乳剤、スピノサド水和剤、ピリダベン水和剤、フルキサメタミド乳剤

(3) 試験方法

25°C・長日条件(15L9D)に設定した人工気象器内で徳丸・林田(2010)に準じて実施した。

キャベツ苗(品種:おきな)から直径7cm程度の葉を切り取り、試験管に水挿しした。タバココナジラミバイオタイプQ成虫を100匹程度放飼した飼育ケージに葉を入れ、24時間産卵させた。その後、葉から成虫を除去して新たな飼育ケースで14日間飼育し、各葉に寄生した3齢幼虫数を実体顕微鏡下で計数した。薬剤ごとに常用濃度を基準として、5~8段階の濃度を設定し、展着剤を加用した薬剤液に10秒間浸漬処理した。葉を風乾させた後に飼育を継続し、10日後に実体顕微鏡下で脱皮殻と生存幼虫数を計数し、プロビット法によりLC₅₀値を算出した。

3 結果の概要

(1) ジノテフラン水溶剤、ミルベメクチン乳剤、スピネトラム水和剤、レピメクチン乳剤、スピノサド水和剤、ピリダベン水和剤およびフルキサメタミド乳剤のLC₅₀値を求めた結果、それぞれ50.01ppm、0.98ppm、0.71ppm、0.45ppm、6.01ppm、4.85ppmおよび1.65ppmであり薬剤の種類により感受性は異なった(表1)。

(2) 本試験と徳丸・林田(2010)は供試虫の採集地域および寄主作物が異なるが、本試験で調べたLC₅₀値は徳丸・林田(2010)で調べられた値と比べて、ジノテフラン水溶剤では下回り、ミルベメクチン乳剤では同等、スピネトラム水和剤、スピノサド水和剤、ミルベメクチン乳剤、レピメクチン乳剤およびピリダベン水和剤では上回った(表1)。

Ⅲ 調査・試験の結果

表1 タバココナジラミバイオタイプQ3齢幼虫の7種薬剤のLC₅₀値

IRAC コード	一般名	常用濃度 (ppm)	本試験(トマト)			徳丸・林田(2010)(トウガラシ)		
			LC ₅₀ 値 (ppm)	95%信頼区間 (ppm)	回帰直線の傾斜	LC ₅₀ 値 (ppm)	95%信頼区間 (ppm)	回帰直線の傾斜
4A	ジノテフラン水溶剤	100.00	50.01	15.49-86.73	0.95	102.57	83.60-137.25	1.88
5	スピノサド水和剤	50.00	6.01	4.74-7.63	1.70	0.91	0.69-1.13	1.05
	スピネトラム水和剤	46.80	0.71	0.50-0.95	1.62	0.04	0.02-0.07	0.80
6	ミルベメクチン乳剤	6.67	0.98	0.84-1.12	1.89	0.98	0.87-1.08	1.99
	レピメクチン乳剤	10.00	0.45	0.37-0.53	1.58	0.08	0.06-0.09	1.70
21A	ピリダベン水和剤	200.00	4.85	3.79-6.06	1.69	1.59	1.25-1.93	1.36
30	フルキサメタミド乳剤	50.00	1.65	1.16-2.18	1.07	-	-	-

4 結果の要約

タバココナジラミバイオタイプQの3齢幼虫の薬剤感受性は、薬剤の種類により感受性は異なり、LC₅₀値は常用濃度の約1/2から1/66の範囲であった。本試験で調べたLC₅₀値は徳丸・林田(2010)で調べられた値と比べて、ジノテフラン水溶剤では下回り、ミルベメクチン乳剤では同等、スピネトラム水和剤、スピノサド水和剤、ミルベメクチン乳剤、レピメクチン乳剤およびピリダベン水和剤では上回った

[キーワード] タバココナジラミ、IRAC、バイオタイプQ、薬剤感受性、LC₅₀値

5 今後の問題点と次年度以降の計画

特になし

6 結果の発表、活用等 (予定を含む)

(1) 令和6年度近畿中国四国問題別研究会虫害分科会 口頭発表 矢谷一真・徳丸晋虫

(2) 第69回日本応用動物昆虫学会大会千葉大会 口頭発表 矢谷一真・徳丸晋虫

課題名：(8) 農作物の病害虫に関する現地対策調査

① コナジラミ類の発生状況と薬剤感受性の調査および実証試験

(イ) タバココナジラミバイオタイプQの成虫および3齢幼虫に対する薬剤殺虫効果

担当部署名：京都府農林水産技術センター・農林センター環境部

担当者名：矢谷一真

協力分担：

予算(期間)：グリーンな栽培体系への転換サポート事業(2022-2024年度)

1 目的

京都府の施設野菜では、コナジラミ類(オンシツコナジラミおよびタバココナジラミ)が多発し、すす病の発生およびトマトの黄化葉巻病やキュウリの退緑黄化病の媒介が問題となっている。京都府におけるタバココナジラミバイオタイプQの薬剤殺虫効果は施設トウガラシから採集された個体群で2006年に調べられた(徳丸・林田, 2010)のみであり、最近の薬剤殺虫効果は不明である。そこで、京都府におけるタバココナジラミバイオタイプQに対する薬剤殺虫効果を明らかにする。

2 方法

(1) 供試虫：タバココナジラミバイオタイプQ

ア 採集日：2022年10月27日

イ 採集地：京都府長岡京市の施設トマトほ場

ウ バイオタイプ検定：三浦(2007)のマルチプレックスPCR法により検定

エ 累代飼育：寄主植物 キャベツ(品種:おきな) 25°C・長日条件(15L9D)

(2) 供試薬剤

ア 雌成虫：IRACコード10種類16剤

イ 3齢幼虫：IRACコード2種類3剤、気門封鎖剤1剤

(3) 試験方法

25°C・長日条件(15L9D)に設定した人工気象器内で徳丸・林田(2010)に準じて実施した。

ア 成虫

キャベツ(品種:おきな)の葉を1.5cm×3cmに切り取り、常用濃度に希釈した薬剤に展着剤を加用した薬剤液に10秒間浸漬処理した。葉を風乾後、試験管に葉と羽化後1~3日の雌成虫を5匹入れた。実体顕微鏡下で、24時間後、48時間後に生存虫数を計数した。展着剤のみを希釈して処理した葉を無処理の対照として、Abbott(1925)の補正式により補正死虫率を算出した。

イ 幼虫

キャベツ苗(品種:おきな)から直径7cm程度の葉を切り取り、試験管に水挿しした。タバココナジラミバイオタイプQ成虫を100匹程度放飼した飼育ケージに葉を入れ、24時間産卵させた。その後、葉から成虫を除去して新たな飼育ケースで14日間飼育した。各葉に寄生した3齢幼虫数を実体顕微鏡下で計数し、常用濃度に希釈した薬剤に展着剤を加用して10秒間浸漬処理した。葉を風乾させた後に飼育を継続し、10日後に実体顕微鏡下で脱皮殻と生存幼虫数を計数した。展着剤のみを希釈して処理した葉を無処理の対照として、Abbott(1925)の補正式により補正死虫率を算出した。

3 結果の概要

(1) タバココナジラミバイオタイプQの雌成虫に対して処理後24時間後に70.0%以上の補正死虫率を示した薬剤はなかった。処理後48時間後に90.0%以上の補正死虫率を示した薬剤はアバメクチン乳剤であった。処理後72時間後に90.0%以上の補正死虫率を示した薬剤はピリフルキナゾン水和剤及びシアントラニリプロール水和剤であった。(表1)

(2) 本年度の試験において、タバココナジラミバイオタイプQの3齢幼虫に対して補正死虫率が90%以上となった薬剤は、ピリダベン水和剤であった(表2)。

表1 タバココナジラミバイオタイプQの雌成虫に対する各種薬剤の薬剤殺虫効果

IRAC コード	一般名	処理濃度 (倍)	成虫	
			補正死虫率(%)	
			24時間後	48時間後(72時間後)
4A	ニテンピラム水溶剤	1000	24.1	50.0
	ジノテフラン水溶剤	2000	21.5	76.7
	アセタミプリド水溶剤	2000	10.0	41.5
4C	スルホキサフロル水和剤	1000	22.2	51.0
5	スピネトラム水和剤	2500	17.4	82.2
	スピノサド水和剤	5000	33.0	57.0
6	アバメクチン乳剤	500	58.1	95.8
	レピメクチン乳剤	1000	17.8	44.9
	エマメクチン安息香酸塩乳剤	2000	24.8	43.0
	ミルベメクチン乳剤	1500	10.4	14.2
9B	ピリフルキナゾン水和剤	2000	20.4	71.1(95.2)
21A	ピリダベン水和剤	1000	58.1	70.8
28	シアントラニリプロール水和剤	2000	26.7	71.4(95.8)
29	フロニカミド顆粒水和剤	2000	10.0	10.0
30	フルキサメタミド乳剤	2000	26.7	53.0
34	フロメトキン水和剤	1000	24.8	48.5
-	展着剤処理(対照)	-	-	-

表2 タバココナジラミバイオタイプQの3齢幼虫に対する4種薬剤の薬剤殺虫効果

IRAC コード	一般名	処理濃度 (倍)	幼虫	
			供試個体数 (匹)	補正死虫率 (%)
21A	ピリダベン水和剤	1000	63	96.8
	トルフェンピラド乳剤	1000	116	40.6
29	フロニカミド顆粒水和剤	2000	165	9.5
-	調合油乳剤	1000	138	85.0

4 結果の要約

タバココナジラミバイオタイプQの雌成虫に対して90.0%以上の補正死虫率を示した薬剤は、処理48時間後ではアバメクチン乳剤、処理72時間後ではピリフルキナゾン水和剤およびシアントラニリプロール水和剤であった。タバココナジラミバイオタイプQの3齢幼虫に対して90.0%以上の補正死虫率を示した薬剤はピリダベン水和剤であった。

[キーワード] タバココナジラミ、IRAC、バイオタイプQ、薬剤殺虫効果

5 今後の問題点と次年度以降の計画

特になし

6 結果の発表、活用等(予定を含む)

- (1) 令和6年度農林センター成績報告会ポスター発表
- (2) マニュアル「施設トマトにおけるタバココナジラミ防除マニュアル」
- (3) 令和6年度近畿中国四国問題別研究会虫害分科会 口頭発表 矢谷一真・徳丸晋虫
- (4) 第69回日本応用動物昆虫学会大会千葉大会 口頭発表 矢谷一真・徳丸晋虫
- (5) 関西病害虫研究会第107回大会(奈良大会) 口頭発表 矢谷一真・徳丸晋虫

課題名：(8)農作物の病害虫に関する現地対策調査

①コナジラミ類の発生状況と薬剤感受性の調査および実証試験

(ウ) 殺虫効果の高い薬剤と黄色粘着フィルムを組み合わせた防除体系の実証

担当部署名：京都府農林水産技術センター・農林センター環境部

担当者名：矢谷一真、浅井信一

協力分担：

予算(期間)：グリーンな栽培体系への転換サポート事業(2022-2024年度)

1 目的

京都府の施設トマトではコナジラミ類が多発し、吸汁による生育の抑制、すす病の発生、トマト黄化葉巻病及びトマト黄化病の媒介が問題となっている。生産現場におけるコナジラミ類への防除対策は化学農薬の散布が中心となっている。

一方で、国はみどりの食料システム戦略を策定し、2050年までに化学農薬の使用量(リスク換算)を50%低減することを目指している(2030年までに10%低減)。

本課題で調査したタバココナジラミバイオタイプQに対して殺虫効果の高い薬剤と黄色粘着フィルムを組み合わせた防除体系を実証し、化学農薬の散布回数を11回から8回に削減する。

2 試験方法

(1)試験場所：農林センター内ハウス2棟(各5m×10m)

(2)供試作物：トマト(桃太郎エイト)

(3)試験区(散布薬剤および時期は表1のとおり)

ア 慣行区

黄色粘着板(10cm×25cm)をハウス入口付近に鉄パイプから吊り下げて設置(地上1.5m)

薬剤11回散布(約2週間間隔)

イ 実証区

黄色粘着板()をハウス入口付近に鉄パイプから吊り下げて設置(地上1.5m)、

黄色粘着フィルム(幅20cm×9m)を生長点付近の高さに展張、薬剤8回散布(約3週間間隔)

(4)調査方法

ア 調査時期：5月下旬(定植後)～10月中旬(栽培終了)(約7日間隔)

イ 調査株数：25株/区

ウ 調査項目

(ア) 上、中、下位2小葉3複葉/株：コナジラミ類の成虫および終齢幼虫の寄生虫数

(イ) 黄色粘着板：コナジラミ類の誘殺虫数

(ウ) 黄色粘着フィルム(20cm×50cm/調査)：コナジラミ類の誘殺虫数

(5)耕種概要

栽植距離：畝幅100cm×株間50cm

その他一般管理はトマトの雨よけ栽培(野菜栽培基準(京都府農林水産部))に準じた。

3 結果の概要

(1)コナジラミ類の成虫の発生は、両試験区共に7月12日以降に認めた。9月13日まで同等の発生個体数であったが、9月13日から栽培終了まで、実証区における発生個体数は慣行区と比較して少なく推移した(図1)。

(2)コナジラミ類の幼虫の発生は、両試験区共に8月9日に発生を認めた。試験期間を通して、実証区における発生個体数は慣行区と比較して少なく推移した(図1)。

(3)コナジラミ類の黄色粘着板の誘殺は、実証区では8月9日、慣行区では8月14日以降に認めた。試験期間を通して、実証区における誘殺個体数は慣行区と比較して同等以下であった(図1)。

(4)実証区におけるコナジラミ類の黄色粘着フィルムへの誘殺は8月9日以降に認めた(表2)。

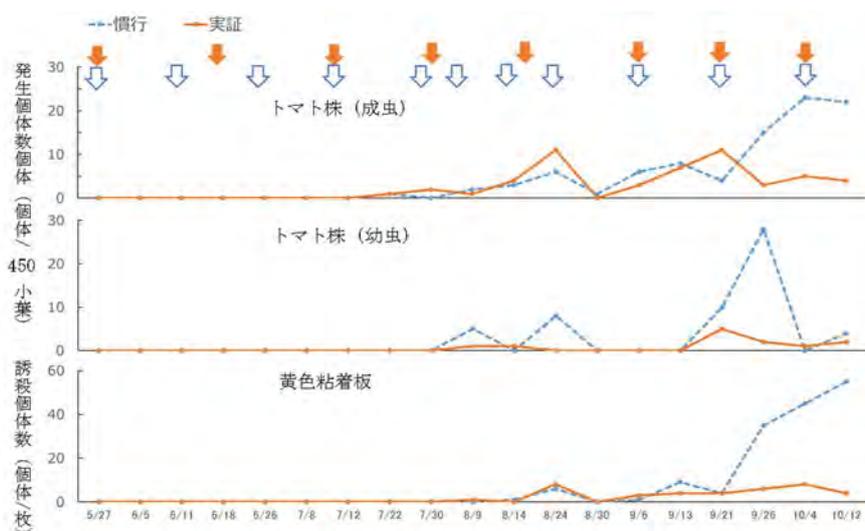


図1 両試験区におけるコナジラミ類の成虫および終齢幼虫数ならびに黄色粘着板への誘殺成虫数の推移
 ↓:薬剤散布(慣行区) ↓:薬剤散布(実証区)

表1 実証試験に供試した薬剤および使用日

散布日	回数	慣行区	回数	実証区	処理方法	処理量
5月27日	1	アセタミプリド粒剤	1	アセタミプリド粒剤	株元散布	1g/株
6月11日	2	スピネトラム水和剤			散布	100L/10a
6月18日			2	レビメクチン乳剤	散布	100L/10a
6月26日	3	エマメクチン安息 香酸塩乳剤			散布	100L/10a
7月10日	4	スルホキサフロル水和剤	3	スピネトラム水和剤	散布	100L/10a
7月25日	5	フルキサメタミド乳剤			散布	100L/10a
7月30日			4	フルキサメタミド乳剤	散布	100L/10a
8月2日	6	ピリフルキナゾン水和剤			散布	100L/10a
8月14日	7	レビメクチン乳剤			散布	100L/10a
8月17日			5	ピリフルキナゾン水和剤	散布	100L/10a
8月24日	8	フロメトキン水和剤			散布	100L/10a
9月6日	9	スピロメシフェン水和剤	6	アバメクチン乳剤	散布	100L/10a
9月21日	10	スピネトラム水和剤	7	シアントラニ リブロール水和剤	散布	100L/10a
10月4日	11	エマメクチン安息 香酸塩乳剤	8	脂肪酸グリセリド ・スピノサド水和剤	散布	100L/10a

表2 黄色粘着フィルムに誘殺されたコナジラミ類成虫数の推移

調査日	誘殺成虫数 ¹⁾
5/27	0
6/5	0
6/11	0
6/18	0
6/26	0
7/8	0
7/12	0
7/22	0
7/30	0
8/9	1
8/14	0
8/24	1
8/30	0
9/6	2
9/13	1
9/21	2
9/26	3
10/4	2
10/12	2

1) 単位面積 (20 cm × 50 cm) あたりの誘殺成虫数

4 結果の要約

殺虫効果の高い薬剤と黄色粘着フィルムによる物理的防除を組み合わせた防除体系により、殺虫剤の使用回数を11回から8回へ削減してもコナジラミ類の発生を慣行と同等以下に抑えられた。
 [キーワード] タバココナジラミ、オンシツコナジラミ、物理的防除、黄色粘着フィルム

5 今後の問題点と次年度以降の計画

なし

6 結果の発表、活用等(予定を含む)

(1) マニュアル「施設トマトにおけるタバココナジラミ防除マニュアル」

課題名：農作物の病害虫に関する現地対策調査

(4) シロイチモジヨトウ殺虫剤感受性検定

①シロイチモジヨトウ殺虫剤感受性調査

担当部署名：京都府農林水産技術センター・農林センター環境部

担当者名：浅井信一

協力分担：

予算(期間)：グリーンな栽培体系への転換サポート事業(交付金)(2022~2024年度)

1 目的

京都府では近年、シロイチモジヨトウが野菜類で多発し、特にネギでの被害は大きな問題となっており、殺虫剤の感受性の低下が懸念されている。そこで、2022年に引き続き幼虫の殺虫剤感受性を調査し、有効な殺虫剤を明らかにして効率的な防除方法を示す。

2 方法

(1) 供試虫：2024年8月から10月に府内の3地域(京都市伏見区、八幡市、亀岡市)のネギ栽培ほ場から採集した幼虫を、25℃長日条件(15L9D)下で人工飼料(商品名：インセクタLFS)を供与して飼育し、その1~3世代目の3齢幼虫を用いた。

(2) 供試殺虫剤：IRACコード13種類の16剤を供試し、処理濃度は常用濃度とした(表1)。なお、展着剤としてグラミンS3,000倍液を加用し、無処理区として展着剤の加用のみの区を設定した。

(3) 試験方法

感受性検定は葉片浸漬法(広瀬,1997)に準じて行った。すなわち、正方形(6cm×6cm)のキャベツ葉片2枚を各供試殺虫剤液に約20秒間浸漬処理し、風乾後に濾紙を敷いたプラシャーレ(内径9cm、深さ2cm)に入れ、幼虫を10匹ずつ放飼し、25℃長日条件(15L9D)に静置した。なお、処理2日後の調査以降に餌を補うため薬剤無処理の葉片を適宜供与した。試験は3反復で実施した。

調査内容は、処理1、2、5、8日後に生存虫を数え、苦悶虫は死虫として扱った。無処理区の生存虫数を対照としてAbbott(1925)の方法により補正死虫率を求めた。なお、共食いが生じた区では減少した個体を除外して計算した。また、処理1、2日後の供試葉片の食害面積を観察により百分率で区分した(表1)。

3 結果の概要

(1) 処理2日後の補正死虫率が、いずれの採集地でも90%以上となった殺虫剤は、スピネトラム水和剤、スピノサド水和剤、レピメクチン乳剤、クロルフェナピル水和剤、フルキサメタミド乳剤及びプロフラニド水和剤であった。次いでシペルメトリン乳剤が70.0~96.7%であった(表1)。

(2) 処理8日後の補正死虫率が、いずれの採集地でも90%以上となった殺虫剤は、(1)で挙げた殺虫剤以外にはなかった(表1)。

(3) 処理2日後の食害面積がいずれの採集地でも1.0%未満となったのは、(1)で挙げた殺虫剤以外では、シアントラニプロール水和剤及びテトラニプロール水和剤で(表1)、両剤は処理8日後の食害もほとんど認められなかった。

(4) 以上のことから、葉片浸漬法によりシロイチモジヨトウ3齢幼虫への殺虫効果が速やかに高く発現したのは、スピネトラム水和剤、スピノサド水和剤、レピメクチン乳剤、クロルフェナピル水和剤、フルキサメタミド乳剤及びプロフラニド水和剤で、次いでシペルメトリン乳剤であった。また、シアントラニプロール水和剤とテトラニプロール水和剤は、殺虫効果は緩やかであるものの、食害を強く抑制するため防除効果は高いと言える。なお、これら9剤はIRACコードが6系統に分かれ、殺虫剤をローテーション散布することで感受性低下の回避が可能と考えられた。

表1 シロイチモジヨトウ3齢幼虫に各殺虫剤を浸漬処理したキャベツ葉片を与えた時の補正死虫率と食害面積
採集地:京都市伏見区

IRACコード	一般名	処理濃度(倍)	補正死虫率(%)				食害面積(%)	
			1日後	2日後	5日後	8日後	1日後	2日後
1A	メソミル水和剤	1,000	0.0	0.0	0.0	27.6	3.7	9.0
3A	シベルメトリン乳剤	2,000	66.7	76.7	76.7	74.9	0.3	1.7
5	スピネトラム水和剤	2,500	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
5	スピノサド水和剤	2,500	100.0	100.0	100.0	100.0	0.3	0.7
5	スピノサド水和剤	5,000	90.0	96.7	96.7	96.7	0.3	0.7
6	レピメクチン乳剤	1,000	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
11A	BT水和剤	1,000	14.3	21.4	37.0	65.5	2.3	3.7
13	クロルフェナピル水和剤	2,000	83.3	96.7	96.7	96.7	0.0	0.7
15	ルフェスロン乳剤	2,000	36.7	56.7	76.7	76.7	3.7	6.0
18	メキシフェナジド水和剤	4,000	6.7	56.7	83.3	83.3	3.0	3.0
22A	インドキサカルブ水和剤	1,000	46.7	63.3	90.0	96.7	1.3	2.0
22B	メタフルミゾン水和剤	1,000	0.0	0.0	3.3	6.7	5.7	10.3
28	シアントラニプロール水和剤	2,000	30.0	50.0	63.3	73.3	0.0	0.0
28	テトラニプロール水和剤	2,500	66.7	63.6	86.7	90.0	0.0	0.0
30	フルキサメタミド乳剤	2,000	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
30	プロフラニリド水和剤	2,000	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
UN	ピリダリル水和剤	1,000	50.0	60.0	93.3	96.7	0.3	0.3
	無処理						8.4	15.4

採集地:八幡市

IRACコード	一般名	希釈倍数	補正死虫率(%)				食害面積(%)	
			1日後	2日後	5日後	8日後	1日後	2日後
1A	メソミル水和剤	1,000	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	7.7
3A	シベルメトリン乳剤	2,000	82.8	96.7	96.7	96.5	0.2	0.5
5	スピネトラム水和剤	2,500	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
5	スピノサド水和剤	2,500	96.7	96.7	100.0	100.0	0.2	0.2
5	スピノサド水和剤	5,000	93.3	100.0	100.0	100.0	0.3	0.3
6	レピメクチン乳剤	1,000	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
11A	BT水和剤	1,000	0.0	0.0	3.8	4.1	2.7	7.0
13	クロルフェナピル水和剤	2,000	90.0	100.0	100.0	100.0	0.7	1.3
15	ルフェスロン乳剤	2,000	10.0	26.7	93.3	93.3	6.7	16.7
18	メキシフェナジド水和剤	4,000	6.7	63.3	100.0	100.0	4.3	5.7
22A	インドキサカルブ水和剤	1,000	26.7	43.3	70.0	80.0	1.0	1.3
22B	メタフルミゾン水和剤	1,000	23.3	36.7	44.8	51.7	6.0	6.7
28	シアントラニプロール水和剤	2,000	63.3	80.0	83.3	90.0	0.7	0.7
28	テトラニプロール水和剤	2,500	63.3	93.3	96.7	96.7	0.7	0.7
30	フルキサメタミド乳剤	2,000	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
30	プロフラニリド水和剤	2,000	96.7	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
UN	ピリダリル水和剤	1,000	10.7	23.3	43.3	43.3	2.3	3.7
	無処理						11.3	19.2

採集地:亀岡市

IRACコード	一般名	希釈倍数	補正死虫率(%)				食害面積(%)	
			1日後	2日後	5日後	8日後	1日後	2日後
1A	メソミル水和剤	1,000	0.0	0.0	0.0	10.3	5.7	8.0
3A	シベルメトリン乳剤	2,000	70.0	70.0	75.0	80.6	0.8	2.8
5	スピネトラム水和剤	2,500	100.0	100.0	100.0	100.0	0.3	0.3
5	スピノサド水和剤	2,500	100.0	100.0	100.0	100.0	0.3	0.3
5	スピノサド水和剤	5,000	100.0	100.0	100.0	100.0	0.3	0.3
6	レピメクチン乳剤	1,000	100.0	100.0	100.0	100.0	0.5	0.5
11A	BT水和剤	1,000	3.3	20.0	50.0	61.1	1.7	2.7
13	クロルフェナピル水和剤	2,000	93.3	100.0	100.0	100.0	0.2	1.0
15	ルフェスロン乳剤	2,000	40.0	55.6	93.1	93.1	7.7	10.0
18	メキシフェナジド水和剤	4,000	0.0	82.1	100.0	100.0	6.7	6.7
22A	インドキサカルブ水和剤	1,000	40.0	66.7	72.4	72.4	1.7	2.7
22B	メタフルミゾン水和剤	1,000	6.7	30.0	32.2	32.2	11.7	18.3
28	シアントラニプロール水和剤	2,000	46.7	80.0	86.7	86.7	0.0	0.0
28	テトラニプロール水和剤	2,500	20.0	60.0	80.0	85.0	0.0	0.5
30	フルキサメタミド乳剤	2,000	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
30	プロフラニリド水和剤	2,000	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
UN	ピリダリル水和剤	1,000	3.3	9.5	43.3	69.0	1.0	2.3
	無処理						11.3	21.3

注) 試験処理は10頭供試の3反復で行った。

4 結果の要約

シロイチモジヨトウへの殺虫効果が高かったのは、スピネトラム水和剤、スピノサド水和剤、レピメクチン乳剤、クロルフェナピル水和剤、フルキサメタミド乳剤及びプロフラニリド水和剤で、次いでシベルメトリン乳剤、シアントラニプロール水和剤、テトラニプロール水和剤であった。

[キーワード] シロイチモジヨトウ、殺虫剤、感受性検定、葉片浸漬法、ネギ

5 今後の問題点と次年度以降の計画

なし

6 結果の発表、活用等

令和6年度農林センター試験研究報告会でポスター発表 (2025. 1)

防除マニュアル「シロイチモジヨトウ防除における化学農薬使用回数の削減」 (2025. 2)

令和6年度農作物病害虫セミナーで動画配信により発表 (2025. 3)

課 題 名： 農作物の病害虫に関する現地対策調査

（4）シロイチモジヨトウ殺虫剤感受性検定

②殺虫剤散布回数削減栽培の実証

担当部署名：京都府農林水産技術センター・農林センター環境部

担当者名：浅井信一

協力分担：

予算(期間)：グリーンな栽培体系への転換サポート事業（交付金）（2022～2024年度）

1 目的

京都府では近年、シロイチモジヨトウが野菜類で多発し、特にネギでの被害は大きな問題となっており、殺虫剤の感受性の低下が懸念されている。

そこで、シロイチモジヨトウの被害が問題となりやすい夏植えのネギ栽培において、有効な殺虫剤を害虫の発生状況に基づき効率的に散布することにより、1作当たりの殺虫剤処理を慣行の11回から7回に削減する栽培を実証する。

2 方法

(1) 試験場所：農林センター内ほ場

(2) 試験区：慣行区、実証区

注) 慣行区では殺虫剤を1週間に1回スケジュール散布し、1作あたり11回の散布を行う。実証区では害虫被害を認めたとき及び害虫被害が収束しないときに殺虫剤を散布し、1作あたり7回に削減する事を目標とする。

(3) 耕種概要

- ・試験面積：畝間1.5m×畝長3.6m (5.4 m²) の3反復。栽植密度 株間15cm×4条植え
- ・作物及び品種：ネギ ‘緑秀’ 育苗：200穴セルトレイに約10粒/セル播種。
- ・栽培日程：播種5月21日、定植7月25日、収穫10月7日
- ・施肥：野菜栽培基準（京都府農林水産部、1994）に基づき施用。基肥7月21日、追肥8月30日。
- ・殺虫剤散布：表1のとおり。両区とも1回目は定植前灌注とし、2回目以降は散布処理を行った。なお、処理濃度は常用濃度とした。

(4) 調査項目

- ・生育期虫害調査（1～2週間毎に実施、25株調査、防除所の巡回調査の方法）
- ・収穫調査（10月7日）：10株の葉高、本数、重量（調製前後）、虫害調査

3 結果の概要

(1) 散布した殺虫剤は、シロイチモジヨトウだけでなくネギアザミウマ及びネギハモグリバエの防除も考慮して選定した。散布回数は、慣行区では予定どおり11回の処理となった。実証区では8月の害虫被害が少なく1回のみ散布、9月以降は害虫被害に応じて4回の散布となり、予定より1剤少ない計6回の処理となった（表1）。

(2) 栽培期間中の虫害発生状況は、シロイチモジヨトウでは両区とも9月6日以降被害が発生し、幼虫は10月4日に慣行区で認め、実証区では認められなかった。発生程度は慣行区で少、実証区では無となった。ネギハモグリバエは実証区では9月6日以降、慣行区では9月20日以降被害が認められ、両区とも発生程度は少となった。ネギアザミウマは両区とも9月6日以降被害が認められ、両区とも発生程度は少となった（表2、表3）。

(3) 収穫時のネギの生育及び収量は、本数では慣行区が多かったが、葉高、収穫重及び調製後重では、両区で有意差は認められなかった（表4）。

(4) 以上のことから、7月下旬定植のネギ栽培において、虫害発生状況に基づき効率的に殺虫剤散布を行うことで、害虫被害を抑制でき、収量に影響を及ぼすことなく、1作当たりの散布回数を慣行の11回から6回に削減できた。したがって、当初の目標である1作あたり散布回数を7回に削減することは可能である。

表1 散布した日付と殺虫剤

慣行区			実証区			
散布日	IRACコード	殺虫剤	散布日	IRACコード	殺虫剤	殺虫剤散布の根拠
7/25	28	シアントラニプロール水和剤 (定植前灌注)	7/25	28	シアントラニプロール水和剤 (定植前灌注)	周辺圃場でネギアザミウマの被害確認 ネギアザミウマ及びネギハモグリハエの被害確認 ネギハモグリハエの被害拡大 ネギアザミウマ及びネギハモグリハエの被害継続 シロイチモジヨトウ被害確認
8/2	4A	クロチアニジン水溶剤	8/5	4A	クロチアニジン水溶剤	
8/9	UN	ピリダリル水和剤				
8/16	30	フルキサメタミド乳剤				
8/23	14	チオシクラム水和剤				
8/30	28	シアントラニプロール水和剤				
9/6	21A	トルフェンピラド乳剤	9/6	5	スピネトラム水和剤	
9/13	3A	シペルメリン乳剤	9/13	28	シアントラニプロール水和剤	
9/20	28	テトラニプロール水和剤	9/27	6	アバメクテン乳剤	
9/27	6	アバメクテン乳剤				
10/4	30	プロフラニリド水和剤				10/4

表2 栽培期間中の虫害発生状況の推移

害虫名	項目	試験区	8/5	8/16	8/23	9/6	9/20	9/27	10/4	10/7
シロイチモジヨトウ	被害株率 (%)	慣行	0.0	0.0	0.0	6.7	1.3	4.0	6.7	2.7
		実証	0.0	0.0	0.0	2.7	4.0	6.7	9.3	2.7
	寄生株率 (%)	慣行	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0
		実証	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	幼虫数 (ノ株)	慣行	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04	0.00
		実証	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ネギハモグリバエ	被害株率 (%)	慣行	0.0	0.0	0.0	0.0	10.7	10.7	14.7	16.0
		実証	0.0	0.0	0.0	2.7	14.7	10.7	13.3	14.7
	被害度	慣行	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	2.7	4.0	4.0
		実証	0.0	0.0	0.0	0.7	3.7	2.7	3.3	3.7
ネギアザミウマ	被害株率 (%)	慣行	0.0	0.0	0.0	17.3	13.3	10.7	17.3	10.7
		実証	0.0	0.0	0.0	25.3	13.3	12.0	16.0	10.7
	被害度	慣行	0.0	0.0	0.0	4.3	3.3	2.7	4.3	2.7
		実証	0.0	0.0	0.0	6.3	3.3	3.0	4.0	2.7

表3 発生程度別基準

シロイチモジヨトウ						ネギハモグリバエ及びネギアザミウマ					
程度	無	少	中	多	甚	程度	無	少	中	多	甚
寄生株率(%)	0	1~10	11~20	21~40	41以上	被害度	0	1~10	11~20	21~30	31以上

注) 発生予察事業の調査実施基準より(農林水産省植物防疫課、最終改正2015)

表4 収穫時のネギの生育と収量

試験区	葉高(cm)	本数(本/株)	収穫重(g/株)	調製後重(g/株)
慣行	79.1±2.7	7.3±0.3	253.1± 7.6	207.0± 6.9
実証	76.2±2.3	6.2±0.2	243.2±17.4	201.9±15.9
t検定	N.S.	*	N.S.	N.S.

注) 値は「平均値±標準誤差」 t検定で、*は5%水準で有意差あり、N.S.は有意差を認めず

4 結果の要約

7月下旬定植のネギ栽培において、虫害発生状況に基づき効率的に殺虫剤散布を行うことで、1作あたりの散布回数を慣行の11回から7回に削減することは可能である。

[キーワード] シロイチモジヨトウ、殺虫剤、散布、害虫発生状況、ネギ

5 今後の問題点と次年度以降の計画

なし

6 結果の発表、活用等

防除マニュアル「シロイチモジヨトウ防除における化学農薬使用回数の削減」(2025.2)

令和6年度農作物病害虫セミナーで動画配信により発表(2025.3)

課 題 名： 農作物の病害虫に関する現地対策調査

(5) トマトキバガのフェロモントラップにおける発生消長

担当部署名： 京都府農林水産技術センター・農林センター環境部

担当者名： 浅井信一、大八木秀一、藤井祥嵩、矢谷一真

協力分担：

予算(期間)： 消費安全対策交付金 (2024年度)

1 目的

トマトキバガは、国内では令和3年に九州で初めて発生が確認され、京都府では令和5年にフェロモントラップでの誘殺を確認し、現在では全都道府県で誘殺が確認されている。

トマト等の農産物被害は九州地方、東北地方、北海道等で確認されており、今後府内での被害発生及び拡大が懸念される。そこで、府内のトマト栽培ハウス等にフェロモントラップを設置し、府内での雄成虫の発生消長を探るとともに、トマト等での本虫の発生及び被害状況を調査する。

2 方法

- (1) フェロモントラップ：SEトラップにフェロモンルアーを中心に置いた粘着板を装着し、高さ約1mに設置した。フェロモンルアーは約1か月毎に交換した。
- (2) 調査地点と設置期間：表1及び図1のとおり。2024年に実施。
- (3) 調査方法：粘着板に捕獲された雄成虫を計数した。調査頻度は番号①、③、⑧の地点では週に1回程度実施し、②、④～⑦地点では1～5週間に1回の調査とした。計数した値は前回調査日からの日数で割り、平均値をそれぞれの日に割り当てて半旬毎の誘殺推定値を算出した。

3 結果の概要

- (1) 府北中部における誘殺推定値の推移は、綾部市で3月6半旬～4月1半旬に1頭誘殺を認め、他の3地点は6月以降に誘殺を認めた。以後、すべての地点で9月5半旬以降10月6半旬にかけて誘殺数が増加し、京丹後市及び亀岡市2では1半旬に25頭近く誘殺を認める時期もあった(図2)。
- (2) 府南部における誘殺推定値の推移は、久御山町で3月6半旬～4月1半旬に1頭誘殺を認め、他の3地点は5月6半旬以降に誘殺を認めた。以後、すべての地点で9月6半旬以降10月6半旬にかけて、調査を終了した京都市伏見区以外で誘殺数が増えた(図3)。
- (3) 調査地点の中で、6～10月の誘殺数が最も多かったのは、京丹後市弥栄町、次いで亀岡市2で、府の南部よりも北中部の誘殺数が多い傾向となった。なお、2023年に府内3か所で行った調査結果でも同様の傾向であった(表1)。
- (4) トマトハウスの外側にトラップ設置の2地点ではどちらもまとまった誘殺が認められ、内側設置の1地点もわずかに誘殺を認めた(表1)。トマトでのトマトキバガの発生及び被害調査は3～6月まで毎月中旬に行い、いずれの地点でも発生及び被害は認められなかった。また、八幡市の露地ナスでは5～10月まで調査を実施したが、発生及び被害は認められなかった(データ省略)。
- (5) 以上のことから、トマトキバガ雄成虫の発生消長を府内8か所に設置したフェロモントラップで調査したところ、すべての地点で誘殺を認め、初発は早い地域では3月下旬から4月上旬で、9月下旬から10月下旬までが誘殺のピークである。誘殺数は、昨年に引き続き府の北中部が南部より多い傾向である。トマトでの本虫の発生及び被害は6月までの調査では認めなかったが、フェロモントラップへの誘殺数が増加するのは2024年では9月以降であったことから、今後は抑制裁培のトマト等での被害発生が懸念される。



表1 調査地点の詳細と設置期間、誘殺推定値

番号	地点	地目	設置期間	6～10月の誘殺推定値計	
				2024年	2023年
①	京丹後市弥栄町	水田地帯	3/28～12/4	172	72
②	綾部市	畑地地帯(茶園)	3/13～11/7	64	-
③	亀岡市1	水田地帯	3/27～12/4	117	30
④	亀岡市2	トマトハウス外*	4/10～11/5	160	-
⑤	京都市伏見区	トマトハウス内*	3/18～8/29	5**	-
⑥	久御山町	トマトハウス外*	3/18～11/5	55	-
⑦	八幡市	露地ナスほ場	3/18～11/5	27	-
⑧	京田辺市	水田地帯	3/28～12/4	46	17

*7～8月までの半促成栽培 **⑤は8月5半旬までの値

図1 調査地点位置図

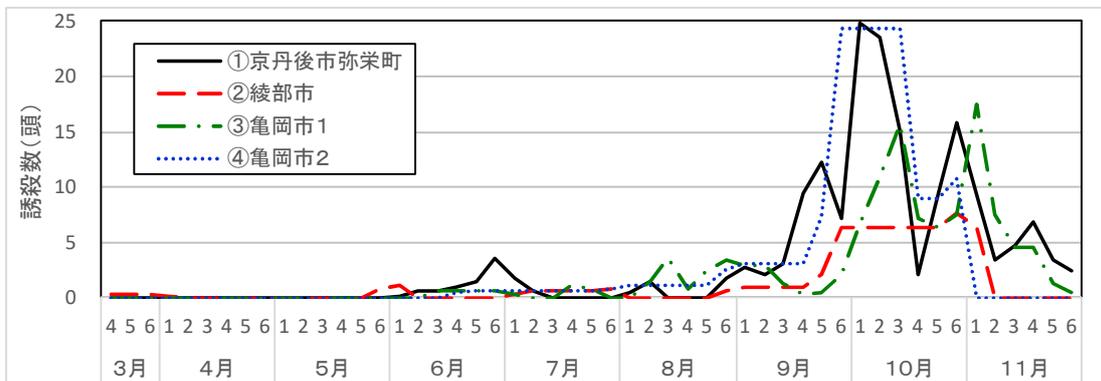


図2 半旬毎の誘殺推定値の推移(府北中部の地点①～④)

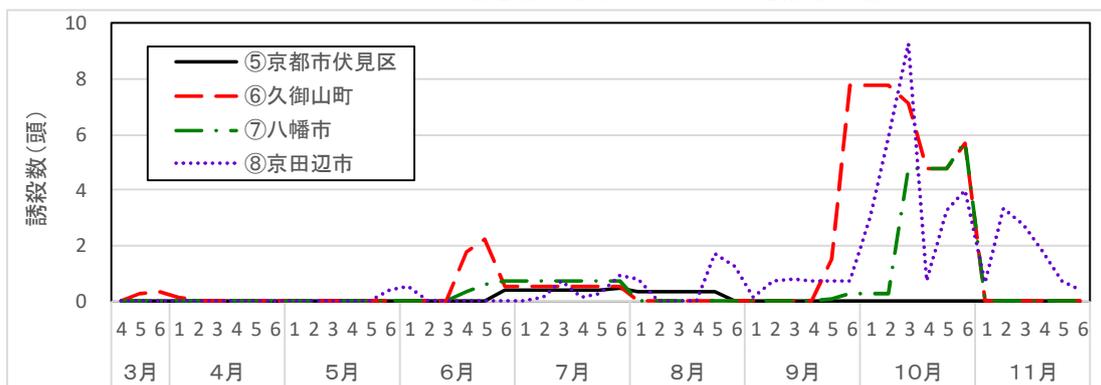


図3 半旬毎の誘殺推定値の推移(府南部の地点⑤～⑧)

4 結果の要約

府内8か所で調査したトマトキバガ雄成虫の発消長は、すべての地点で誘殺を認め、初発は早い地域では3月下旬から4月上旬で、9月下旬から10月下旬までが誘殺のピークである。誘殺数は府の北中部が南部より多い傾向である。トマトでの被害は抑制栽培で懸念される。

[キーワード] トマトキバガ、フェロモントラップ、トマト、半促成、抑制

5 今後の問題点と次年度以降の計画

なし

6 結果の発表、活用等

なし

課 題 名：普通作物及び野菜有害動植物発生予察調査

（1）スマート害虫モニタリングシステムによる大型カメムシ類の識別精度の検討

① スマート害虫モニタリングシステムと既存予察灯の大型カメムシ類の誘殺数比較

担当部署名：京都府農林水産技術センター・農林センター環境部

担当者名：浅井信一

協力分担：

予算(期間)：消費・安全対策交付金（2024年）

1 目的

害虫の自動判別機能などを持つスマート害虫モニタリングシステムを用いて、大型カメムシ類の誘殺数及び誘殺ピークを既存の予察灯と比較・検証する。

2 方法

（1）使用装置

ア RYNAN 社製スマート害虫モニタリングシステム（以下、スマート）

設置場所：農林センター内ほ場

装置の概要：夜間（当日 18 時～明朝 6 時）に LED 灯で虫を誘引し、ファンにより 10cm 径の捕獲用円盤に虫を吸引して内部カメラで撮影する。撮影画像はクラウドサーバーに送信し、AI により虫種の識別を行う。捕獲用円盤は撮影後にブラシで虫を除去し、30 分間隔で撮影を繰り返す。なお、虫が重なる程捕獲数が多い場合は、自動で数分間隔の撮影間隔となる。

LED 光源（緑、青、白、UV）：うち、緑、青、UV を点灯して稼働した。

イ 比較した既存予察灯：光源：60W 白熱灯（以下、60W）、20W ブラックライト（以下、BL）

*スマートからの距離：60W は約 120m、BL は約 250m

（2）調査方法

ア 調査虫種：チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシ、ミナミアオカメムシ、アオクサカメムシ、イチモンジカメムシ、イネカメムシ、ホソヘリカメムシ、クモヘリカメムシ（以下の表記はアオカメムシまたはカメムシ部分を省略）

*ホソヘリとクモヘリは BL の調査なし

イ 調査方法

（ア）スマート：月半旬毎のデータとするため、月半旬最終日の翌日（6 日、11 日等）に誘殺虫を回収して対象虫種を計数した。回収できない日はその前後の日に回収し計数し、前後の日に割り振って補正した。なお、1 日の対象虫種誘殺数が数十頭と多いときは 1～4 日間隔で回収した。

（イ）60W 及び BL：誘殺虫を 1 日毎に捕獲箱へ格納する仕組みで、対象虫種を計数し、月半旬別のデータに計数した。

エ 調査期間

2024 年 4 月 1 日～11 月 1 日（最終調査日は 10 月 31 日の夜間となる）

3 結果の概要

（1）調査期間中の誘殺数は、スマートはアオクサ及びイネでは 60W 及び BL と同等で、他の虫種は 60W 及び BL より有意に多く、特にツヤアオでは 60W の 10.4 倍、BL の 25.2 倍、イチモンジでは 60W の 17.0 倍、BL の 15.6 倍、ホソヘリでは 60W の 54.0 倍と、顕著に多くなった（表 1）。

（2）半旬毎誘殺数は、クサギとイネではスマートは 60W 及び BL とともに同様に推移する傾向があった。しかし他の虫種では、同様に推移する時期としない時期があった（図 1）。

（3）以上のことから、スマート害虫モニタリングシステムの 9 種の大型カメムシ類の誘殺数の総計は、既存の予察灯と比較して、チャバネ、クサギ、ツヤアオ、ミナミアオ、イチモンジ、ホソヘリ、クモヘリが多く、アオクサとイネは同等である。半旬毎誘殺数は、クサギとイネではスマートと既存の予察灯と同意に推移するが、他の虫種では必ずしも同様とは言えない。

表1 スマート害虫モニタリングと予察灯の誘殺数の比較

虫種	誘殺数			誘殺数比較		
	スマート (A)	予察灯 (60W) (B)	予察灯 (BL) (C)	A/B	A/C	B/C
チャバネアオカメムシ	5,269	1,123	2,577	4.7 **	2.0 **	0.4
クサギカメムシ	960	224	141	4.3 **	6.8 **	1.6
ツヤアオカメムシ	1,461	140	58	10.4 **	25.2 **	2.4 *
ミナミアオカメムシ	1,079	379	219	2.8 **	4.9 **	1.7
アオクサカメムシ	11	11	15	1.0	0.7	0.7
イチモンジカメムシ	187	11	12	17.0 **	15.6 **	0.9
イネカメムシ	248	240	305	1.0	0.8	0.8
ホソヘリカメムシ	54	1	—	54.0 **	—	—
クモヘリカメムシ	61	10	—	6.1 **	—	—

注) 誘殺数は4月1日～10月31日の計。

誘殺数比較は、半月毎誘殺数の対数変換値 $\log(X+0.5)$ 変換後に1元配置の分散分析(対応あり)を行い、

Bonferroni検定により、**は $P<0.01$ 、*は $P<0.05$ で有意差あり。

ホソヘリカメムシとクモヘリカメムシはBLのデータがなく、対応のあるt検定を行った。

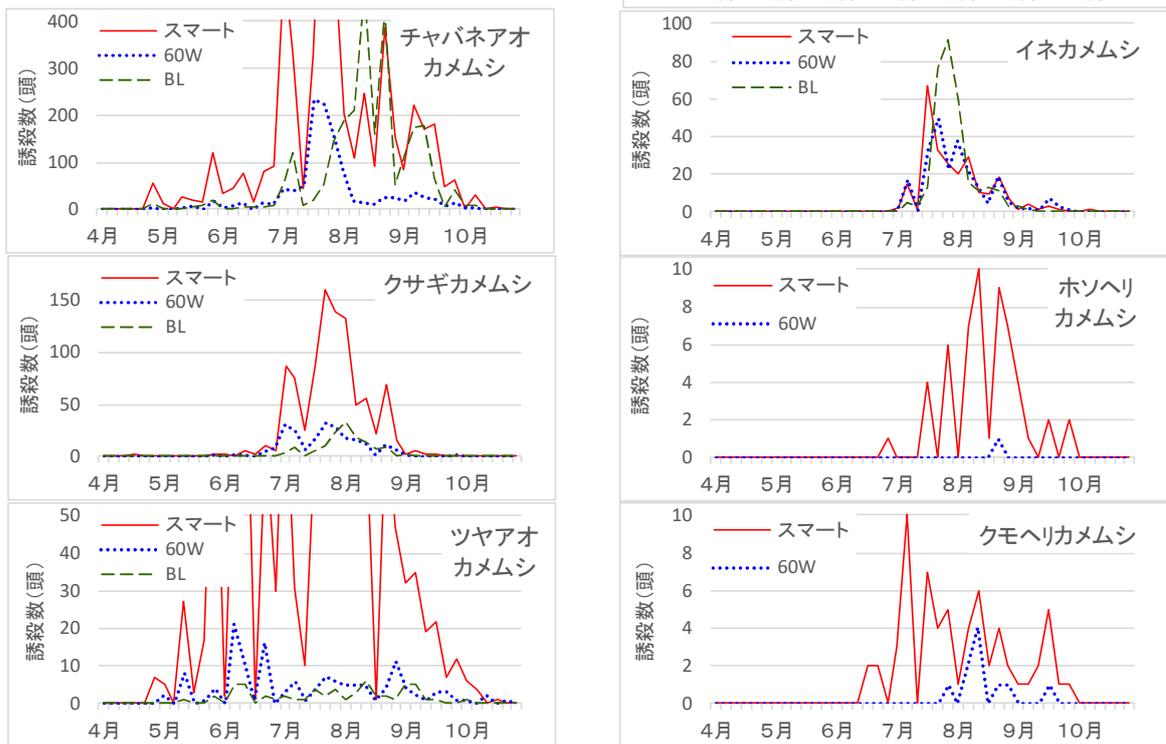


図1 スマート害虫モニタリングシステムと予察灯(60W 及び BL)の半月毎誘殺数の推移

4 結果の要約

スマート害虫モニタリングシステムの9種の大型カメムシ類の誘殺数総計は、既存の予察灯と比較して、7種で多く、2種は同等である。半月毎誘殺数では、既存の予察灯と同様の推移が認められた虫種は2種である。

[キーワード] スマート害虫モニタリングシステム、カメムシ、誘殺、連動

5 今後の問題点と次年度以降の計画

なし

6 結果の発表、活用等

なし

課 題 名：普通作物及び野菜有害動植物発生予察調査

(1) スマート害虫モニタリングシステムによる大型カメムシ類の識別精度の検討

(2) スマート害虫モニタリングシステムにおける自動判別精度 (AI) の検討

担当部署名：京都府農林水産技術センター・農林センター環境部

担当者名：浅井信一

協力分担：

予算(期間)：消費・安全対策交付金 (2024年)

1 目的

害虫の自動判別機能などを持つスマート害虫モニタリングシステムを用いて、大型カメムシ類の撮影画像の自動判別機能 (AI) による判別精度を検証する。

2 方法

(1) 使用装置

ア RYNAN 社製スマート害虫モニタリングシステム (以下、スマート)

設置場所：農林センター内ほ場

装置の概要：夜間 (当日 18 時～明朝 6 時) に LED 灯で虫を誘引し、ファンにより 10cm 径の捕獲用円盤に虫を吸引して内部カメラで撮影する (図 1)。撮影画像はクラウドサーバーに送信し、AI により虫種の識別を行う。捕獲用円盤は撮影後にブラシで虫を除去し、30 分間隔で撮影を繰り返す。なお、虫が重なる程捕獲数が多い場合は、自動で数分間隔の撮影間隔となる。

LED 光源 (緑、青、白、UV)：うち、緑、青、UV を点灯して稼働した。

(2) 調査方法

ア 調査虫種：AI 自動判別対象 5 虫種 (チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ミナミアオカメムシ、ホソヘリカメムシ、クモヘリカメムシ) (図 2)

*以下の表記はアオカメムシまたはカメムシ部分を省略

イ 調査方法

(ア) 実数：月半旬毎のデータとするため、月半旬最終日の翌日 (6 日、11 日等) に誘殺虫を回収して、対象虫種を計数した。回収できない日はその前後の日に回収し、月半旬前後の割振りを推定し値を補正した。なお、1 日の誘殺数が数十頭以上と多いときは 1～4 日間隔で回収した。

(イ) AI 判別値：システムアプリにより、AI が撮影画像 (1 日に 50 枚以上) を対象虫種毎に判別して日毎に積算した値をダウンロードした。

エ 調査期間

2024 年 4 月 1 日～11 月 1 日 (最終調査日は 10 月 31 日の夜間となる)

3 結果の概要

(1) AI は、円盤部分に吸引された虫体を判別し、銀色の円筒部分にいる虫体も判別できる場合は行う。しかし、撮影後の除去操作で円筒部分の虫体は除去されず、同じ虫体を毎回計数してしまう。一方で、円筒部分の虫は姿勢が横向きとなり画像の焦点も合わないため、状況によって判別したりしなかったりする。このように、円筒部分にいる虫体は過大にも過小にも計数される場合があり、AI の判別精度向上の大きな障害となっている (図 1)。

(2) AI 判別値と実数との回帰式において、決定係数が 0.9 を超えたのは、チャバネ、クサギ、ホソヘリで、これらの虫種は体形及び体色が特徴的で判別しやすいためと考えられる。なお、チャバネでは仰向け個体がミナミアオと誤判別され、値がやや低くなった。半旬毎誘殺数では、これら 3 虫種はいずれも実数とほぼ連動して推移した。しかし、いずれも回帰式の傾きが 1 より小さく実数より過大に計数しており、円筒部分の虫体を複数回計数した影響と考えられた (図 2、図 3)。

(3) クモヘリは特徴的な外観であるが、仰向けや横向き等の体位で判別されなかった虫体があり、回帰式の傾きが 1 を超え、半旬毎誘殺数では連動しない時期があった (図 2、3)。

(4) ミナミアオは AI 判別値の決定係数が 0.28、回帰式の傾きが 0.23 と非常に小さく、背面のツヤアオ、仰向けのツヤアオ、チャバネ、アオクサ、イチモンジを誤判別する傾向があり、AI が緑色単色の大型カメムシをミナミアオと判別していると考えられる (図 2、図 3)。

(5) 以上のことから、スマート害虫モニタリングシステムの 5 種の大型カメムシ類の AI による自動判別では、チャバネ、クサギ、ホソヘリでは比較的精度が高い。しかし、円筒部分にいる虫体が判別精度向上の妨げとなっているため、改善策が必要である。また、ミナミアオは誤判別が多く、AI 判別精度の向上が必要である。



図1 捕獲用円盤に吸引された昆虫



図2 AI 判別対象カメムシ(枠内)及び判別対象外カメムシ

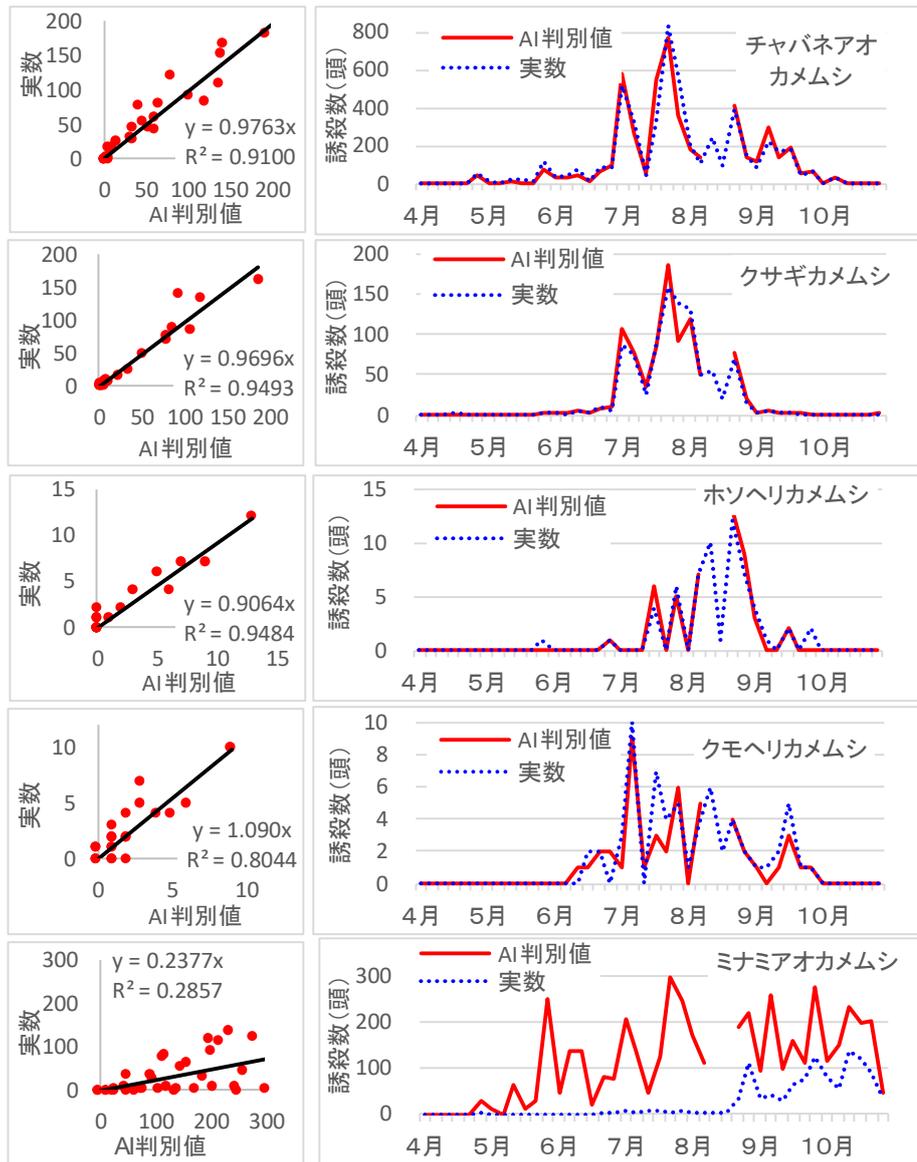


図3 AI 判別値と実数との関係及び半月毎誘殺数の推移

4 結果の要約

スマート害虫モニタリングシステムによる5種の大型カメムシ類のAIによる自動判別では、チャバネ、クサギ、ホソヘリでは比較的精度が高いが、円筒部分にいる虫体が判別精度向上の妨げとなっている。

[キーワード] スマート害虫モニタリングシステム、カメムシ、判別、AI

5 今後の問題点と次年度以降の計画

なし

6 結果の発表、活用等

なし

課 題 名：普通作物及び野菜有害動植物発生予察調査

（1）スマート害虫モニタリングシステムによる大型カメムシ類の識別精度の検討

③ スマート害虫モニタリングシステムにおけるカメムシ類の目視による判別精度の検討

担当部署名：京都府農林水産技術センター・農林センター環境部

担当者名：浅井信一

協力分担：

予算(期間)：消費・安全対策交付金（2024年）

1 目的

害虫の自動判別機能などを持つスマート害虫モニタリングシステムを用いて、大型カメムシ類の撮影画像の目視による判別精度を検証する。

2 方法

（1）使用装置

ア RYNAN 社製スマート害虫モニタリングシステム（以下、スマート）

設置場所：農林センター内ほ場

装置の概要：夜間（当日 18 時～明朝 6 時）に LED 灯で虫を誘引し、ファンにより 10cm 径の捕獲用円盤に虫を吸引して内部カメラで撮影する（図 1）。撮影画像はクラウドサーバーに送信し、AI により虫種の識別を行う。捕獲用円盤は撮影後にブラシで虫を除去し、30 分間隔で撮影を繰り返す。なお、虫が重なる程捕獲虫数が多い場合は、自動で数分間隔の撮影間隔となる。

LED 光源（緑、青、白、UV）：うち、緑、青、UV を点灯して稼働した。

なお、8 月 3 及び 4 半旬は装置の虫除去機能に問題があり、AI は欠測となった。

（2）調査方法

ア 調査虫種：目視判別対象 8 虫種（チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシ、ミナミアオカメムシ、アオクサカメムシ、ホソヘリカメムシ、クモヘリカメムシ、イネカメムシ）（図 2） *以下の表記はアオカメムシまたはカメムシ部分を省略

イ 調査方法

（ア）実数：月半旬毎のデータとするため、月半旬最終日の翌日（6 日、11 日等）に誘殺虫を回収して、対象虫種を計数した。回収できない日はその前後の日に回収し、月半旬前後の割振りを推定し値を補正した。なお、1 日の誘殺数が数十頭以上と多いときは 1～4 日間隔で回収した。

（イ）目視判別値：撮影画像（1 日に 50 枚以上）を液晶ディスプレイに投影し、職員の目視により対象虫種を判別し、虫数を日毎に積算した。

エ 調査期間

2024 年 4 月 1 日～11 月 1 日（最終調査日は 10 月 31 日の夜間となる）

3 結果の概要

（1）目視では、円盤部分及び銀色の円筒部分にいる虫体を判別した。しかし、撮影後の除去操作で円筒部分の虫体は除去されず、同じ虫体を何度も計数する場合がある。一方で、円筒部分の虫は威勢が横向きで画像の焦点も合わないため、状況によって判別できたりできなかったりする。このように、円筒部分にいる虫体は過大にも過小にも計数する場合があり、目視による判別の大きな障害となっている（図 1）。

（2）目視判別値と実数との回帰式において、決定係数が 0.95 を超えたのは、チャバネ、クサギ、ホソヘリ、イネでこれらの虫種は体形及び体色が特徴的で判別しやすいためと考えられる。半旬毎誘殺数では、これら 4 虫種はいずれも実数とほぼ同様に推移した（図 2、図 3）。

（3）ツヤアオは決定係数 0.9 を超えたが、背面の画像でないとミナミアオ及びアオクサと区別がやや難しく、回帰式の傾きが 1.2 と過小計数となった。ミナミアオも同様であった。クモヘリは特徴的な外観であるが、仰向けや横向きの体位では判別できない虫体があり、アオクサは誘殺数が少なく、判別精度を評価できなかった（図 2、図 3）。

（4）以上のことから、スマート害虫モニタリングシステムにおいて、大型カメムシ類の撮影画像画像の目視による判別はチャバネ、クサギ、ホソヘリ、イネで精度が高い。しかし、円筒部分にいる虫体が判別精度向上の妨げになっているため、改善策が必要である。



図1 捕獲用円盤に吸引された昆虫



図2 目視による判別を行ったカメムシ類

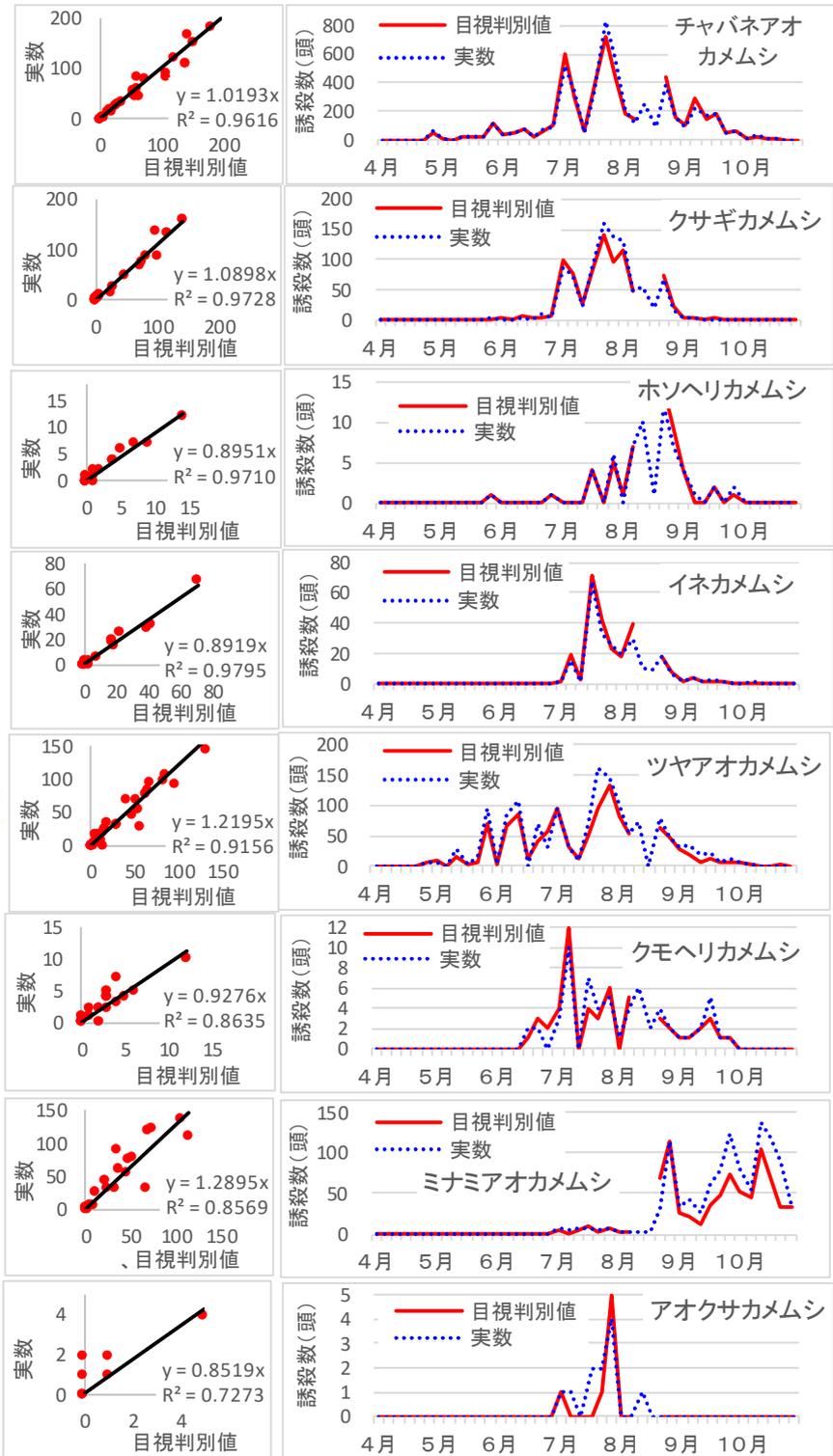


図3 目視による判別値と実数との関係及び半月別誘殺数の推移

4 結果の要約

スマート害虫モニタリングシステムによる8種の大型カメムシ類の撮影画像画像の目視による判別はチャバネ、クサギ、ホソヘリ、イネで精度が高い。しかし、円筒部分にいる虫体が判別精度向上の妨げになっているため、改善策が必要である。

[キーワード] スマート害虫モニタリングシステム、カメムシ、判別、目視

5 今後の問題点と次年度以降の計画

なし

6 結果の発表、活用等

なし

課 題 名：普通作物及び野菜有害動植物発生予察調査

(2) IoT 自動撮影カメラによるフェロモントラップ誘殺虫の遠隔計数の検討

①オオタバコガ及びシロイチモジヨトウの遠隔計数の検討

担当部署名：京都府農林水産技術センター・農林センター環境部

担当者名：浅井信一

協力分担：

予算(期間)：消費・安全対策交付金 (2024年)

1 目的

チョウ目害虫の発生状況を調べるフェロモントラップ調査では、虫数の計数調査を毎日ではなく数日毎で行う場合、半月毎の誘殺数は推定となる場合が多く、精度に課題がある。そこで屋根部分を透明資材にしたフェロモントラップに IoT 自動撮影カメラを装着し、毎日撮影して画像を目視により日毎の誘殺数を計数することで、半月毎誘殺数を精度高く把握する手法を検討する。

2 方法

(1) 使用装置

ア H社製 IoT 自動撮影カメラ (マクロタイプ焦点距離 20cm) (以下、IoT カメラ)

*標準のカメラレンズでは粘着板全体を撮影できないため、D社製スマートフォン用魚眼レンズをカメラのレンズ前に装着して画角を広げた (図1)。

イ トラップ：トラップ上部から撮影するためK社製SEトラップの屋根部分をくり抜き、厚さ1mmの透明アクリル板を装着し、SEトラップと同じ形状とした。トラップにはフェロモンルアーを中心に置いた粘着板を配置した (図2)。IoT カメラは鉄パイプで組上げたコの字型支柱の上部に装着し、レンズと粘着板との距離が30cmとなるように固定し、さらに白色資材で周囲を覆った (図3)。なお、粘着板は適宜交換し、ルアーは約1か月毎に交換した。

(2) 調査方法

ア IoT カメラトラップ設置場所：農林センター内ほ場 (亀岡市余部町)

イ 調査虫種：オオタバコガ、シロイチモジヨトウ

ウ 調査方法

(ア) 実数：粘着板に捕獲された調査虫種は、1週間に1回程度及び粘着板交換時に計数した。実数は、調査日の虫数から前調査日の虫数を引いた値とした。また、実数を前回調査日からの日数で割り、平均値をそれぞれの日に割り当てて半月毎の誘殺推定値を算出した。

(イ) 遠隔計数：IoT カメラで毎日の日中に粘着板を上部から自動撮影し、画像をSDカードに記録した。自動撮影画像及び別途、粘着板交換時にスマートフォンで撮影した鮮明な画像をパソコンにコピーして液晶ディスプレイに投影し、職員が目視により両画像を照らし合わせて、調査虫種日毎に計数した。

エ 調査期間

2024年4月1日～12月1日 (最終調査日は11月30日の夜間となる)

3 結果の概要

(1) 自動撮影では、アクリル板を通す事から画像はやや不鮮明になる。また、撮影時間帯によってはアクリル板が結露するため、1日に3回撮影し、最も鮮明な画像を遠隔計数に用いた (図4)。

(2) 調査虫種と似た蛾の混獲があり、オオタバコガではフタオビキヨトウ、ウラギンキヨトウ等、シロイチモジヨトウではハンノキリガ等であった。遠隔計数では自動撮影画像だけでそれら蛾と対象虫種との判別は困難で、粘着板交換時に鮮明な画像を撮影して判別する必要がある。

(3) 実数の調査回数は、オオタバコガは46回で5.3日毎、シロイチモジヨトウは48回で5.1日毎となった。

(4) 実数と遠隔計数における実数調査日の虫数から前調査日の虫数を引いた値との関係は、両虫種とも回帰式の傾きが1に近く、決定係数は0.99以上と、実数と遠隔計数の誘殺数はほぼ一致した (図5)。

(5) 半月毎の誘殺数推定値は、オオタバコガにおいて実数では5月1半月となるピークは遠隔計数では5月2半月で、10月6半月の最大ピーク時の虫数は実数より遠隔計数は8頭多かった。また、シロイチモジヨトウでは、9月5半月の最大ピーク時の虫数は実数より遠隔計数は32頭多かった (図6)。

(6) 以上のことから、IoT 自動撮影カメラによるオオタバコガ及びシロイチモジヨトウフェロモントラップ誘殺虫の遠隔計数は、魚眼レンズを装着し、SEトラップ屋根を透明にして上部から撮影し、画像を目視で計数する事で可能である。そして、毎日の誘殺数を推定できるため、約5日毎に調査する場合よりも半月毎の誘殺数を精度高く推定できる。



図1 IoTカメラ



図2 屋根を透明にしたSEトラップ



オオタバコガの例



シロイチモジヨトウの例

図4 IoTカメラで撮影した画像



図3 トラップ設置状況

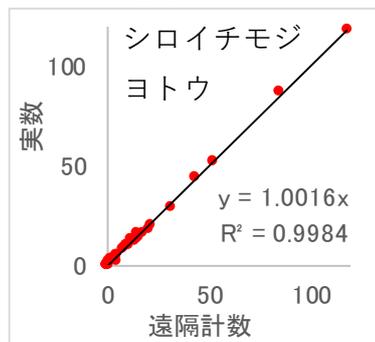
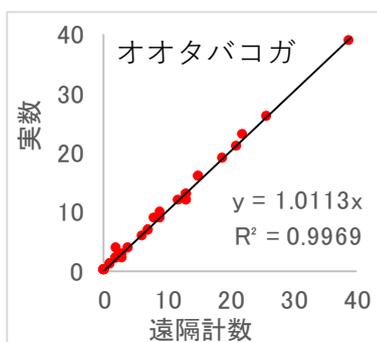


図5 実数とIoTカメラ撮影画像の目視による遠隔計数との誘殺数の関係

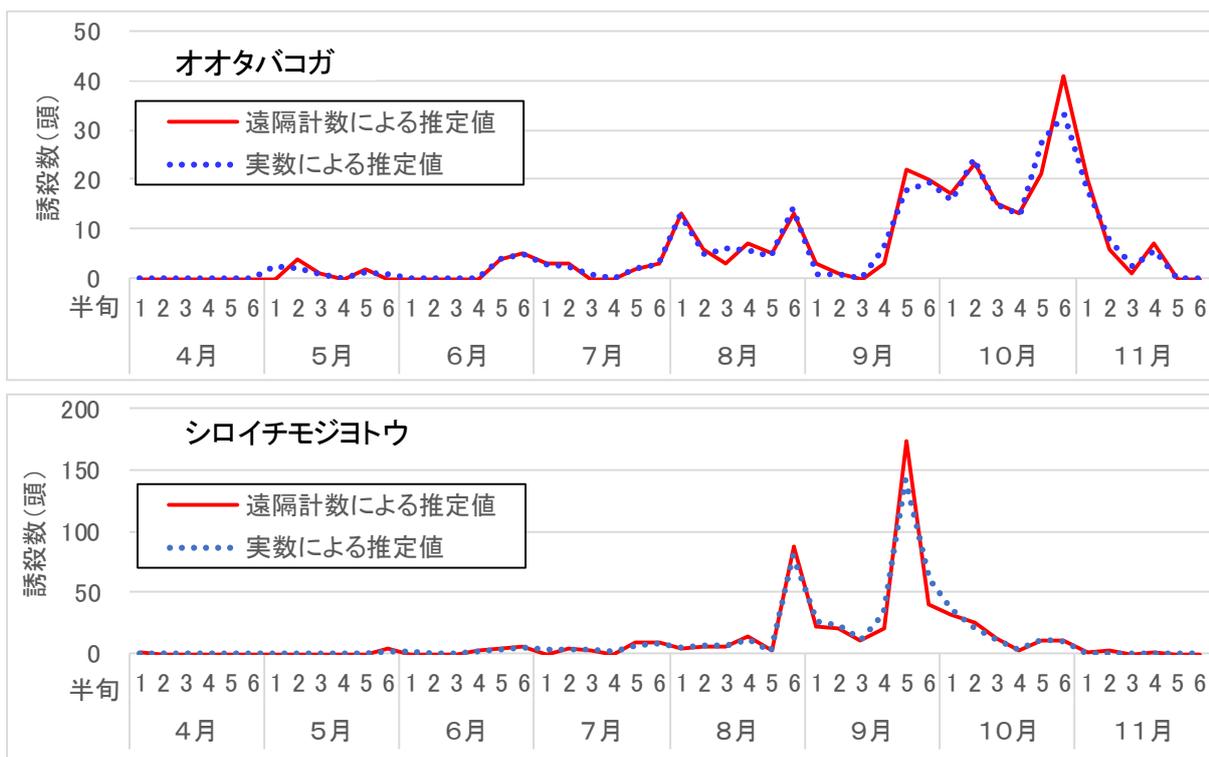


図6 誘殺数の実数とIoTカメラ撮影画像の目視による遠隔計数の半旬毎誘殺推定値の推移

4 結果の要約

IoT 自動撮影カメラによるオオタバコガ及びシロイチモジヨトウフェロモントラップ誘殺虫の遠隔計数は、魚眼レンズを装着し、トラップ屋根を透明にして撮影し、画像を目視で計数する事で可能で、毎日の誘殺数を推定でき、月半旬毎の誘殺数を精度高く推定できる。

[キーワード] IoT 自動撮影カメラ、フェロモントラップ、遠隔計数 SE トラップ

5 今後の問題点と次年度以降の計画

なし

6 結果の発表、活用等

なし

IV 緊急防除等に係る協力・指導の実施

- 1 国の行う緊急防除（法第17条）への協力 本年度該当なし
- 2 『防除計画』（法第24条）に基づき府が行う防除の指導 本年度該当なし
- 3 府の行う防除（法第29条）の指導等
令和7年1月8日に、植物防疫法第29条第1項に基づく措置（たけのこのシナチクノメイガに対する防除）を発表した。

V 情報提供サービスの実施

(I) 情報提供の概要

1 病害虫防除所ホームページ

- 1) 設置場所及びサービス開始時期
 - (1) 設置場所：京都府のホームページ
(アドレス <http://www.pref.kyoto.jp/byogai/>)
 - (2) サービス開始：平成10年4月
- 2) 情報の概要及び更新時期
 - (1) 内 容：① 病害虫発生予察情報
② 病害虫発生状況（フェロモントラップ誘殺数）
③ 巡回調査結果
④ 病害虫発生予察灯メールサービス
⑤ 水稲いもち病発生予察システム（BLASTAM）の結果
⑥ 防除所ってなに？
⑦ 病害虫ワクワクツアー
⑧ 家庭菜園で見られる病害虫（Web病害虫辞典）
 - (2) 更新時期：毎月月下旬及び必要に応じて随時更新

(Ⅱ) 情報の内容と利用状況

1 病害虫防除所ホームページ (アドレス <https://www.pref.kyoto.jp/byogai/>)

(1) 京都府ホームページの防除所ホームページ上に、以下のコーナーを運営している。掲載情報・掲載日等は表のとおり。

①病害虫発生予察コーナー

- ・公表した発生予察情報等をPDFファイルで掲載
- ・18年度以降に公表した情報も過去情報として掲載

②病害虫発生状況 (フェロモントラップ予察灯、誘殺数)

- ・宇治市、京田辺市、亀岡市、綾部市、京丹後市に設置しているフェロモントラップによる誘殺数 (グラフ) を更新
- ・京田辺市、亀岡市、京丹後市に設置している予察灯 (60W、BL) による誘殺数 (グラフ) を更新

③巡回調査結果

- ・巡回調査結果のうち水稻、黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、キュウリ、ネギ、ホウレンソウ、ダイコン、カブの調査結果をPDFファイルで掲載

④水稻いもち病発生予察システム (BLASTAM) の結果

- ・JPP-NET (日本植物防疫協会が運営する農作物の病害虫防除情報サービス) 内のデータベースを用いて、府内8箇所のアメダスデータからいもち病の発生を予測した結果を掲載

⑤病害虫防除に役立つ技術資料等

- ・各種病害虫防除対策技術マニュアルを掲載

⑥防除所ってナニ?

- ・防除所の業務内容や歴史などを常時紹介

⑦病害虫ワクワクツアー

- ・農作物の病害虫の生態や防除法などの写真等を常時掲載

⑧家庭菜園で見られる病害虫 (Web病害虫辞典)

- ・夏野菜に見られる病害虫の写真を常時掲載

(2) 利用者の利便性を図るため以下の取組を実施している。

①「新着情報」のコンテンツでは、最新の発生予察情報にリンク

②「各種データ (巡回調査結果、フェロモン誘殺数等)」のコンテンツでは、病害虫発生状況 (フェロモントラップ誘殺数)、巡回調査結果、水稻いもち病発生予察システム (BLASTAM) の結果の各データとリンク

③「お知らせ」のコンテンツでは最新情報、更新情報を掲載

【病害虫発生予察情報等】

種類	更新掲載情報	掲載年月日
予報	病害虫発生予報第1号	令和6年2月27日
	病害虫発生予報第2号	令和6年3月27日
	病害虫発生予報第3号	令和6年4月24日
	病害虫発生予報第4号	令和6年5月22日
	病害虫発生予報第5号	令和6年6月26日
	病害虫発生予報第6号	令和6年7月24日
	病害虫発生予報第7号	令和6年8月26日
	病害虫発生予報第8号	令和6年9月25日
	病害虫発生予報第9号	令和6年10月22日
注意報	発生予察注意報第1号：果樹カメムシ	令和6年5月2日
	発生予察注意報第2号：水稲（斑点米カメムシ）	令和6年7月24日
	発生予察注意報第3号：果樹カメムシ	令和6年7月24日
特殊報	発生予察特殊報第1号：キュウリ（CABYV）	令和6年2月1日
	発生予察特殊報第2号：キュウリ黄化病	令和6年4月24日
	発生予察特殊報第3号：サツマイモ基腐病	令和6年5月24日
	発生予察特殊報第4号：キュウリ黄化えそ病	令和6年9月4日
	発生予察特殊報第5号：タケ類（シナチクノメイガ）	令和6年10月1日
防除所ニュース	防除所ニュース第1号（タバコナジラミバイオタイプQ幼虫の殺虫剤感受性検定の結果について）	令和6年4月2日
	防除所ニュース第2号（トマトキバガに注意）	令和6年4月9日
	防除所ニュース第3号（ナシ二十世紀の黒斑病）	令和6年4月24日
	防除所ニュース第4号（水稲：いもち病）	令和6年7月4日
	防除所ニュース第5号（水稲：トビイロウンカ）	令和6年8月26日
	防除所ニュース第6号（豆類の吸実性カメムシ類）	令和6年8月26日
	防除所ニュース第7号（豆、野菜類：シロイチモジヨトウ）	令和6年10月22日

【巡回調査結果】

調査月及び掲載調査品目	掲載年月日
4月の巡回調査結果（茶、ネギ）	令和6年4月24日
5月の巡回調査結果（水稲、茶、ナシ、ナス、ネギ）	令和6年5月22日
6月の巡回調査結果（水稲、茶、ナシ、ナス、ネギ）	令和6年6月26日
7月の巡回調査結果（水稲、黒大豆、茶、ナシ、ナス、ネギ）	令和6年7月24日
8月の巡回調査結果（水稲、黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、ネギ）	令和6年8月26日
9月の巡回調査結果（水稲、黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、ネギ）	令和6年9月25日
10月の巡回調査結果（黒大豆、小豆、茶、ナシ、ナス、ネギ）	令和6年10月22日

【その他】

種類	更新月（更新回数）
チャノココクモンハマキ フェロモントラップ誘殺グラフ（宇治市、綾部市、京丹後市）	令和6年4月～10月 (7回)
チャノホソガ フェロモントラップ誘殺グラフ（宇治市、綾部市、京丹後市）	
コナガ フェロモントラップ誘殺グラフ（京田辺市、亀岡市、京丹後市）	令和6年5月～10月 (6回)
ハスモンヨトウ フェロモントラップ誘殺グラフ（京田辺市、亀岡市、京丹後市）	
オオタバコガ フェロモントラップ誘殺グラフ（京田辺市、亀岡市、京丹後市）	
アオクサカメムシ 予察灯（60W）誘殺グラフ（京田辺市、亀岡市、京丹後市）	
イチモンジカメムシ 予察灯（60W、BL）誘殺グラフ（京田辺市、亀岡市、京丹後市）	
ホソヘリカメムシ フェロモントラップ誘殺グラフ（京田辺市、亀岡市、京丹後市）	
チャバネアオカメムシ 予察灯（BL）誘殺グラフ（京田辺市、亀岡市、京丹後市）	
クサギアオカメムシ 予察灯（BL）誘殺グラフ（京田辺市、亀岡市、京丹後市）	
ツヤアオカメムシ 予察灯（BL）誘殺グラフ（京田辺市、亀岡市、京丹後市）	
コナガ 予察灯（60W）誘殺グラフ（京田辺市、亀岡市、京丹後市）	
シロイチモジヨトウ フェロモントラップ誘殺グラフ（京田辺市、亀岡市、京丹後市）	
タバコガ フェロモントラップ誘殺グラフ（京田辺市、亀岡市、京丹後市）	
カブラヤガ フェロモントラップ誘殺グラフ（亀岡市）	
シロオビノメイガ 予察灯（60W）誘殺グラフ（京田辺市、亀岡市、京丹後市）	
水稲いもち病発生予察システム（BLASTAM）の結果	

VI 病害虫調査協力員の活動状況

(I) 病害虫調査協力員の設置

平成18年3月31日に定めた京都府病害虫調査協力員設置要領によって、府内各農業協同組合から選任された、病害虫発生状況調査等に協力を願う病害虫調査協力員（以下「協力員」と言う）を21名設置した。

(II) 報告内容の活用

協力員から寄せられた情報は、結果をとりまとめて発生予察会議の資料として活用した。

表1 協力員による病害虫発生状況報告の概要

照会日	照 会 内 容	回答数
6月10日	① 水稲の生育状況 ② 育苗時の病害虫発生状況 ③ 葉いもちについて ④ その他作物の目立つ病害虫	15
7月12日	① 水稲の生育状況 ② 葉いもちについて ③ 斑点米カメムシ類について ④ その他作物の目立つ病害虫	13
8月9日	① 水稲の生育状況 ② いもち病、紋枯病について ③ 斑点米カメムシ類についての発生と防除状況 ④ その他作物のハスモンヨトウ、カメムシ類の発生 ⑤ その他作物の目立つ病害虫	15
9月11日	① 水稲の生育状況 ② 水稲の倒伏について ③ 穂いもちの発生状況 ④ トビイロウンカの発生状況 ⑤ 水稲で目立ったその他病害虫 ⑥ 豆類でのハスモンヨトウ、白変葉及び子実害虫の発生状況 ⑦ その他作物の目立つ病害虫	14
11月11日	① 水稲の生育状況（中晩稲） ② 水稲全体の作柄（収量、一等米比率） ③ その他作物の目立つ病害虫	18

(III) 協力員研修の概要

農作物病害虫防除セミナーへ参加願ひ、病害虫の発生状況等の研修を実施した。

- (1) 開催日 令和7年3月10日～23日（YouTubeによる動画配信）
- (2) 内 容 農作物病害虫防除セミナーのページ参照

Ⅶ 会議、打合せ・研修の実施等

1 植物防疫に関する会議等

会 議 名	開 催 日	開 催 場 所
植物防疫・農薬関係業務担当者会議	5月31日	近畿農政局
令和6年度第1回緑化技術研修会（クビアカツヤカミキリ関係）	6月5日	大阪府立環境農林水産総合研究所
海外飛来性害虫の対策会議	7月11日	リモート会議
スクリミングガイの被害防止に向けたオンラインセミナー	7月19日	オンライン
火傷病及び国産花粉の確保に関する府県担当者会議	11月7日	リモート会議
全国病害虫防除所長会議	9月29日	リモート会議
東海・近畿地区植物防疫事業検討会	11月20日 21日	AP名古屋
第4回殺虫剤抵抗性対策シンポジウム	12月17日	オンライン
第10回生態と防除研究会	12月19～ 20日	大分県水産会館
日本植物防疫協会シンポジウム「農家にとってのIPM実践の意義を考える」	1月16日	オンライン
近畿地区防除所長会議	3月4日	近畿農政局
かんしょ輸出産地を支えるサツマイモ基腐病総合的防除体系の開発研究成果発表会	3月4日	リモート会議
令和6年度カメムシ類等難防除害虫の発生状況と防除対策に関する検討会	3月13日～ 14日	リモート会議

2 植物防疫に関する講演・講義

講座・研修名及び講演タイトル	開 催 日
農業大学校1年生講義	5月8日、6月6日、7月4日 8月1日、10月4日、11月6日 12月3日
営農指導員認定研修会	8月8日
普及指導員等基礎研修（植物防疫）	9月30日
京都府農林センター試験研究成績報告会	1月29日
農薬管理指導士養成研修会	2月4日

農作物病害虫セミナー	3月10～23日
近畿中国四国病害虫推進部会問題別研究会	1月21～22日
第69回日本応用動物昆虫学会大会	3月20～22日

3 職員の研修、視察

月 日	研 修 名	主 催	開催場所
8月27日	人権教育指導者研修会	亀岡市教育委員会	ガレリア亀岡
9月27日	京都府職員3年目研修	京都府職員研修・研究支援センター	京都府職員研修・研究支援センター
9月30日	普及指導員基礎研修	農産課	農林センター講堂
11月7日	ミニ研修（生成AIについて）	農林水産技術センター 企画室	オンライン
7月25日 11月13日	新任主任研修	京都府職員研修・研究支援センター	京都府職員研修・研究支援センター
12月2日	植防疫近畿地区技術研修会	近畿農政局	神戸植物防疫所
12月17日 ～20日	病害虫防除所職員等中央研修	農林水産省	横浜市
2月7日	令和6年度管内人権問題職場研修（人権大学講座）	公益財団法人 世界人権問題研究センター	京都市立芸術大学
2月18日～ 21日	植物防疫技術研修会	日本植物防疫協会	宮崎県

Ⅸ 普及センター等との連携の推進

1 農作物病害虫セミナーの開催

本年度のセミナーは、次年度作に向けて特に注意が必要な病害虫について、注意喚起を図るとともに防除対策技術に関する情報を伝えるため、農家及び植物防疫に関連機関を対象に動画配信形式で開催した。

- ① 開催期間 令和7年3月10日（月）～3月23日（日）
- ② 申込数 48名
- ③ 視聴回数 延べ128回（3課題の視聴数合計）
- ④ 内 容

「令和6年度京都府の主な病害虫の発生状況について」

「近年発生が増加しているイネカメムシの被害と防除について」

「シロイチモジヨトウに対する殺虫剤の効果と殺虫剤使用回数の削減栽培の実証」

2 病害虫情報共有化シート

各農業改良普及センター、各研究所、農産課、及び防除所等が病害虫発生状況の情報を共有化するとともに、発生予察会議の資料として活用するために、行政支援システムの農林水産部本庁・地方機関共用フォルダーの防除所フォルダー内に病害虫情報共有化シートを設置した。令和6年度の書き込み件数は下表のとおりである。

月	農業改良普及センター							試験研究機関	計
	京都乙訓	山城北	山城南	南丹	中丹東	中丹西	丹後		
4月		1		3					4
5月									0
6月			1	6				3	10
7月	7	2		9		7		4	29
8月	1		1	3		8		1	14
9月		1		4				1	6
10月	1	1							2
11月				2					2
12～3月				3					3
計	9	5	2	30	0	15	0	9	70

参考資料 令和6(2024)年 半旬別気象表

ここに掲載している気象観測データは、京都府農林水産技術センター農林センター(亀岡市)が敷地内に設置した気象観測機器で観測しているもので、研究教育利用のためのデータです。
(観測データは、気象業務法に定められている気象観測の対象外の観測となりますので、ご注意ください。)

平 年 値	最高・最低気温、降水量 ……1991～2020年の平均値
	平均気温 ……1993～2020年の平均値
	日照時間 ……2005～2020年の平均値 (2015～2018は欠測)

京都府農林センター(亀岡市余部町)

月	半旬	最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)		平年比		平年比	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	降水量	日照時間	最高気温	最低気温
1	1	12.0	9.0	-0.3	-0.8	5.1	3.3	3.5	5.0	18.3	19.1	70%	96%	3.0	0.5
	2	9.4	8.7	-1.5	-0.7	3.6	3.2	0.5	7.9	15.4	18.0	6%	86%	0.7	-0.8
	3	10.4	8.3	-2.0	-1.1	3.9	3.0	1.0	8.9	20.3	19.8	11%	103%	2.1	-0.9
	4	9.9	8.6	1.3	-1.1	5.9	3.3	10.5	7.3	13.6	20.6	145%	66%	1.3	2.4
	5	9.6	7.5	1.0	-1.1	4.3	2.8	20.0	9.9	12.7	15.7	202%	81%	2.1	2.1
	6	9.9	8.2	-1.2	-1.5	3.5	2.7	4.5	11.3	18.1	23.5	40%	77%	1.7	0.3
	平均・計	10.2	8.4	-0.5	-1.1	4.4	3.0	40.0	50.3	98.4	116.7	80%	84%	1.8	0.6
2	1	8.8	8.1	1.5	-1.6	4.8	2.6	27.0	6.2	6.5	22.5	437%	29%	0.7	3.1
	2	9.6	8.5	-1.7	-1.4	3.0	3.0	0.5	8.6	17.7	19.2	6%	92%	1.1	-0.3
	3	15.2	9.3	0.0	-0.8	6.7	3.6	8.5	13.1	26.1	17.7	65%	148%	5.9	0.8
	4	16.1	9.0	4.8	-0.8	10.2	3.7	10.0	12.9	6.9	20.9	77%	33%	7.1	5.6
	5	8.5	10.5	3.9	-0.5	6.0	4.9	42.0	11.2	6.8	25.7	374%	26%	-2.0	4.4
	6	9.5	11.3	0.6	0.6	4.9	5.3	22.5	11.9	13.2	15.3	190%	86%	-1.8	0.0
	平均・計	11.4	9.3	1.6	-0.8	6.0	3.7	110.5	63.9	77.2	121.2	173%	64%	2.1	2.4
3	1	10.1	11.3	-0.4	0.7	4.5	5.7	19.0	17.3	23.6	21.5	110%	110%	-1.2	-1.1
	2	9.2	11.7	0.8	1.2	4.4	6.1	1.0	15.2	22.1	23.1	7%	96%	-2.5	-0.4
	3	14.1	12.4	0.0	0.6	6.4	6.2	22.0	15.5	25.4	28.8	142%	88%	1.7	-0.6
	4	13.8	14.2	0.3	2.0	7.1	7.9	9.0	15.4	19.4	27.2	59%	71%	-0.4	-1.7
	5	10.9	13.8	3.8	2.2	7.1	7.7	25.5	17.8	14.6	28.2	143%	52%	-2.9	1.6
	6	18.6	15.4	6.5	2.8	12.6	8.9	71.5	16.1	32.8	33.8	445%	97%	3.2	3.7
	平均・計	13.0	13.2	2.0	1.6	7.2	7.1	148.0	97.2	137.9	162.5	152%	85%	-0.2	0.4
4	1	18.6	16.8	7.4	3.6	13.1	9.9	25.5	14.8	23.7	32.5	173%	73%	1.8	3.8
	2	21.9	18.2	7.2	5.3	14.0	11.4	70.0	21.0	23.1	36.2	333%	64%	3.7	1.9
	3	25.0	18.5	7.0	5.7	15.7	11.9	0.0	18.1	44.3	29.3	0%	151%	6.5	1.3
	4	23.8	20.5	11.1	6.8	17.1	13.7	3.0	17.5	27.2	30.9	17%	88%	3.3	4.3
	5	21.2	20.4	14.2	8.0	17.0	14.3	28.5	17.6	7.3	30.4	162%	24%	0.8	6.2
	6	25.4	22.1	13.0	8.2	18.6	15.0	20.0	13.2	10.1	38.1	152%	26%	3.3	4.8
	平均・計	22.7	19.4	10.0	6.3	15.9	12.7	147.0	102.1	135.7	197.3	144%	69%	3.3	3.7
5	1	24.4	23.4	9.3	10.5	16.7	17.1	3.5	13.1	48.2	36.4	27%	132%	1.0	-1.2
	2	22.2	23.7	10.5	11.1	16.1	17.2	25.5	20.9	22.6	32.0	122%	71%	-1.5	-0.6
	3	23.7	23.5	11.4	11.1	18.0	17.4	37.0	33.0	25.2	37.4	112%	67%	0.2	0.3
	4	24.6	24.5	11.5	12.5	18.1	18.2	9.5	23.9	34.3	31.0	40%	111%	0.1	-1.0
	5	25.8	25.8	13.2	13.3	19.3	19.2	0.0	20.2	23.4	33.9	0%	69%	0.0	-0.1
	6	27.1	25.8	13.6	14.3	19.4	19.8	184.0	26.3	22.2	33.4	700%	66%	1.3	-0.7
	平均・計	24.7	24.5	11.6	12.2	18.0	18.2	259.5	137.4	175.9	204.1	189%	86%	0.2	-0.6
6	1	25.3	26.7	13.7	14.8	18.9	20.5	8.5	12.0	33.8	28.2	71%	120%	-1.4	-1.1
	2	27.9	26.7	16.0	16.3	21.6	21.1	10.5	21.3	22.0	26.8	49%	82%	1.2	-0.3
	3	33.0	26.9	17.8	17.4	24.7	21.7	17.5	22.9	41.6	25.7	76%	162%	6.1	0.4
	4	29.1	27.6	18.2	18.0	22.7	22.5	58.5	40.4	16.8	23.1	145%	73%	1.5	0.2
	5	29.4	27.5	20.6	19.0	24.5	22.9	57.5	34.6	7.8	22.3	166%	35%	1.9	1.6
	6	28.5	28.8	21.5	20.4	24.4	24.2	88.5	44.2	3.9	20.4	200%	19%	-0.3	1.1
	平均・計	28.9	27.4	18.0	17.7	22.8	22.2	241.0	175.4	125.9	146.4	137%	86%	1.5	0.3

日照時間は2005年4月以降太陽電池式で測定

平 年 値	最高・最低気温、降水量 ……1991～2020年の平均値
	平均気温 ……1993～2020年の平均値
	日照時間 ……2005～2020年の平均値 (2015～2018は欠測)

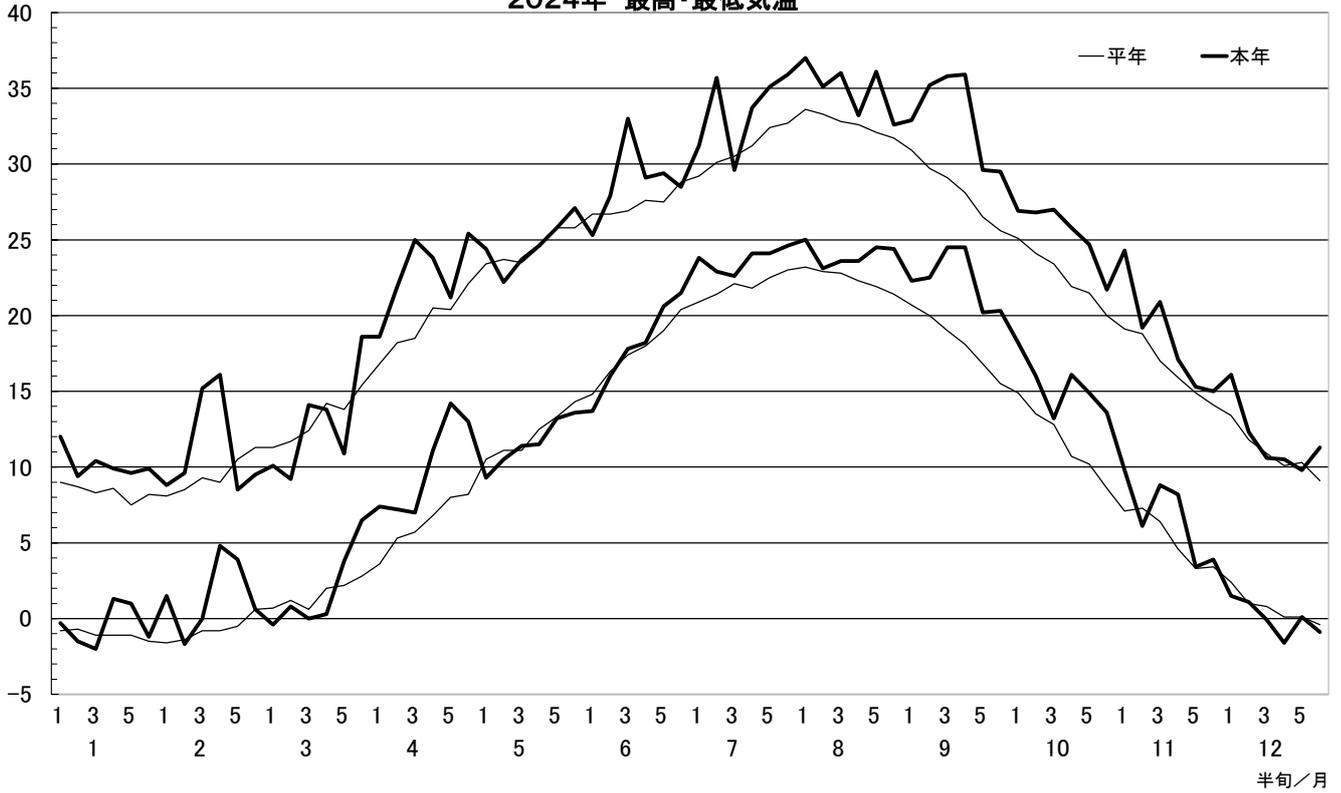
京都府農林センター（亀岡市余部町）

月	半旬	最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)		平年比		平年比	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	降水量	日照時間	最高気温	最低気温
7	1	31.2	29.2	23.8	20.9	27.2	24.7	41.0	44.3	15.6	16.2	93%	96%	2.0	2.9
	2	35.7	30.1	22.9	21.4	29.1	25.3	8.5	32.9	24.0	20.3	26%	118%	5.6	1.5
	3	29.6	30.5	22.6	22.1	25.4	25.9	68.0	38.7	1.0	19.2	176%	5%	-0.9	0.5
	4	33.7	31.2	24.1	21.8	28.3	26.0	2.0	45.6	20.1	27.5	4%	73%	2.5	2.3
	5	35.1	32.4	24.1	22.5	28.8	26.9	0.0	16.4	31.2	29.5	0%	106%	2.7	1.6
	6	35.9	32.7	24.6	23.0	29.9	27.1	0.0	23.4	53.6	36.0	0%	149%	3.2	1.6
	平均・計	33.6	31.1	23.7	22.0	28.2	26.0	119.5	201.3	145.5	148.7	59%	98%	2.5	1.7
8	1	37.0	33.6	25.0	23.2	30.0	27.9	1.5	16.2	34.0	39.4	9%	86%	3.4	1.8
	2	35.1	33.3	23.1	22.9	28.5	27.5	0.0	26.6	49.5	37.5	0%	132%	1.8	0.2
	3	36.0	32.8	23.6	22.8	28.9	27.2	0.0	26.5	43.6	33.2	0%	131%	3.2	0.8
	4	33.2	32.6	23.6	22.3	27.4	27.2	37.0	23.4	17.6	41.0	158%	43%	0.6	1.3
	5	36.1	32.1	24.5	21.9	29.2	26.3	10.5	24.0	42.4	32.7	44%	130%	4.0	2.6
	6	32.6	31.7	24.4	21.4	27.8	25.8	17.0	32.7	28.2	36.1	52%	78%	0.9	3.0
	平均・計	34.9	32.7	24.0	22.4	28.6	26.9	66.0	149.4	215.3	219.9	44%	98%	2.2	1.6
9	1	32.9	30.9	22.3	20.7	26.5	25.0	9.5	24.8	28.9	27.2	38%	106%	2.0	1.6
	2	35.2	29.7	22.5	20.0	27.9	24.2	0.0	35.9	45.2	32.8	0%	138%	5.5	2.5
	3	35.8	29.1	24.5	19.0	28.6	23.5	6.0	31.1	33.5	32.8	19%	102%	6.7	5.5
	4	35.9	28.1	24.5	18.1	29.3	22.6	0.0	34.2	40.2	30.3	0%	133%	7.8	6.4
	5	29.6	26.5	20.2	16.8	24.3	21.2	12.0	32.3	21.8	31.1	37%	70%	3.1	3.4
	6	29.5	25.6	20.3	15.5	24.3	20.1	0.0	32.7	17.1	29.6	0%	58%	3.9	4.8
	平均・計	33.2	28.3	22.4	18.4	26.8	22.8	27.5	191.0	186.7	183.9	14%	102%	4.9	4.0
10	1	26.9	25.1	18.2	14.9	21.8	19.7	62.0	22.6	17.5	24.5	275%	71%	1.8	3.3
	2	26.8	24.1	16.0	13.5	20.1	18.5	21.0	28.1	24.5	28.4	75%	86%	2.7	2.5
	3	27.0	23.4	13.2	12.8	19.3	17.7	0.0	19.0	34.0	27.1	0%	126%	3.6	0.4
	4	25.8	21.9	16.1	10.7	20.6	15.8	19.0	27.8	17.1	30.0	68%	57%	3.9	5.4
	5	24.7	21.5	14.9	10.2	19.7	15.3	3.5	25.1	23.2	22.1	14%	105%	3.2	4.7
	6	21.7	20.0	13.6	8.6	17.4	13.7	61.0	16.0	13.7	30.6	381%	45%	1.7	5.0
	平均・計	25.4	22.6	15.3	11.7	19.7	16.7	166.5	138.5	130.0	162.6	120%	80%	2.8	3.6
11	1	24.3	19.1	9.8	7.1	16.8	12.3	107.5	12.5	19.6	25.9	859%	76%	5.2	2.7
	2	19.2	18.8	6.1	7.3	11.7	12.3	0.0	9.5	29.6	24.6	0%	120%	0.4	-1.2
	3	20.9	17.0	8.8	6.4	14.4	11.2	0.5	16.3	26.3	22.8	3%	115%	3.9	2.4
	4	17.1	15.9	8.2	4.6	12.2	9.6	5.0	13.6	15.6	23.4	37%	67%	1.2	3.6
	5	15.3	14.9	3.4	3.3	8.5	8.3	0.5	7.8	24.5	19.8	6%	124%	0.4	0.1
	6	15.0	14.1	3.9	3.4	9.8	8.3	32.0	12.3	24.4	19.5	259%	125%	0.9	0.5
	平均・計	18.6	16.6	6.7	5.4	12.2	10.3	145.5	72.0	140.0	136.0	202%	103%	2.0	1.3
12	1	16.1	13.4	1.5	2.4	7.3	7.2	0.0	11.6	26.2	20.5	0%	128%	2.7	-0.9
	2	12.3	11.8	1.1	1.0	5.7	5.4	3.0	8.1	25.1	21.8	37%	115%	0.5	0.1
	3	10.6	10.9	-0.1	0.8	4.1	5.2	8.5	8.8	20.1	16.2	97%	124%	-0.3	-0.9
	4	10.5	10.1	-1.6	0.1	3.4	4.4	3.0	6.0	21.4	21.1	50%	101%	0.4	-1.7
	5	9.8	10.3	0.1	0.1	4.0	4.4	1.5	9.3	16.3	19.0	16%	86%	-0.5	0.0
	6	11.3	9.1	-0.9	-0.4	3.9	3.6	0.0	13.1	25.3	23.1	0%	110%	2.2	-0.5
	平均・計	11.8	10.9	0.0	0.6	4.7	5.0	16.0	56.9	134.4	121.6	28%	111%	0.9	-0.6
年平均・計	22.4	20.4	11.3	9.7	16.2	14.6	1487.0	1435.2	1702.9	1921.1	104%	89%	2.0	1.6	

(°C)

2024年 最高・最低気温

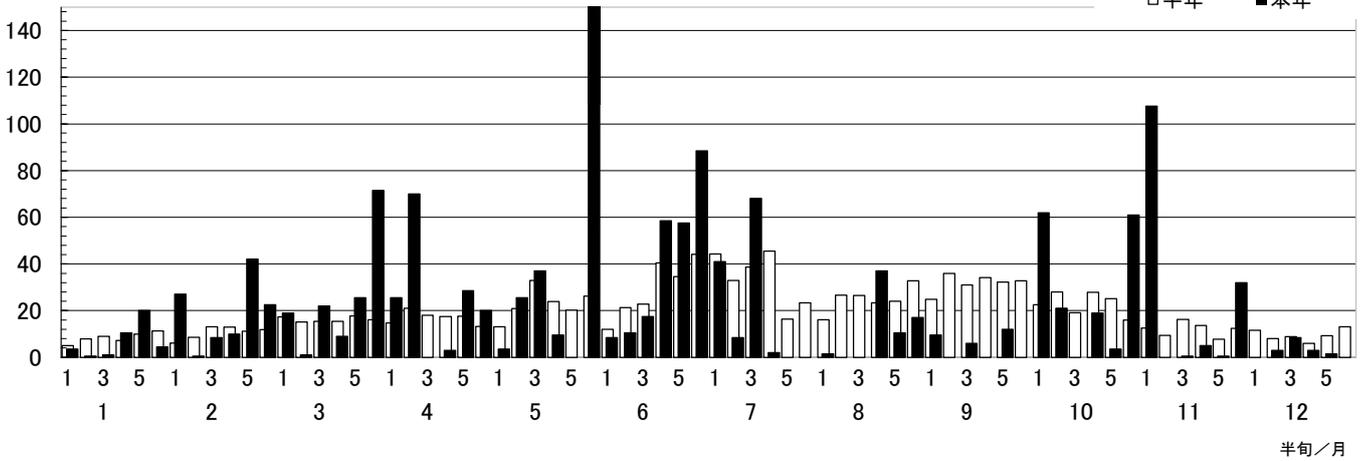
京都府農林センター(亀岡市余部町)



(mm)

2024年 降水量

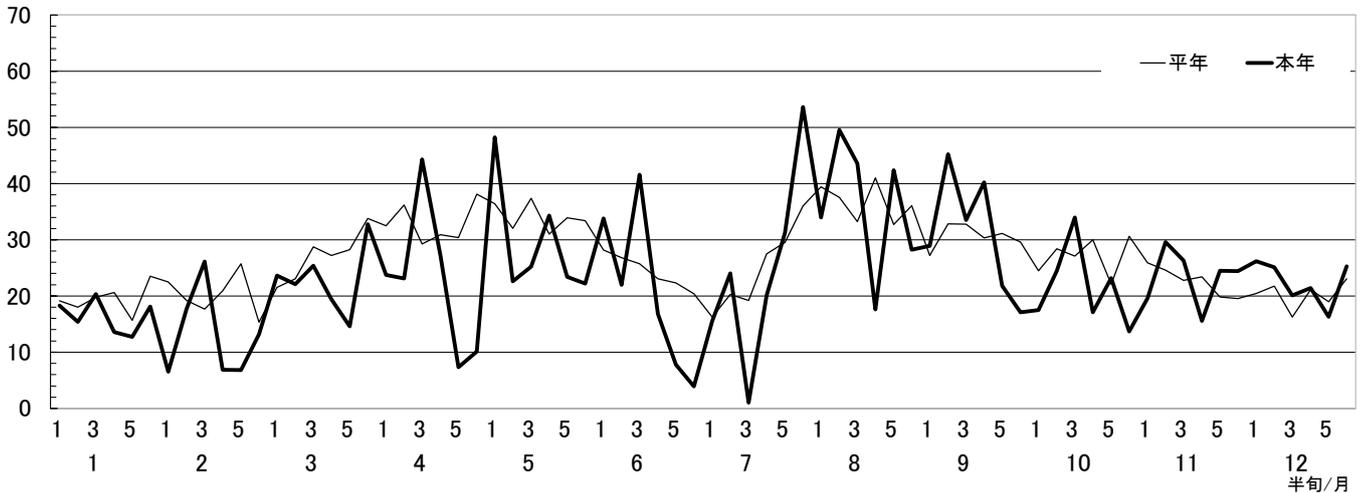
□平年 ■本年



(h)

2024年 日照時間

—平年 —本年



参考資料
令和6(2024)年半年別気象表

最高・最低気温、降水量 ……1991～2020年の平均値
平均気温 ……1991～2020年の平均値
日照時間 ……1991～2020年の平均値

京都府農林センター(京丹後市弥栄町)

月	半月	最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)		平年比		平年比	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	降水量	日照時間	最高気温	最低気温
1	1	12.0	8.3	0.7	0.6	6.4	4.5	20.0	29.8	19.7	8.8	67%	224%	3.6	0.1
	2	8.5	8.2	-0.3	0.3	4.1	4.3	37.5	38.4	5.1	7.7	98%	66%	0.3	-0.6
	3	9.6	7.3	0.1	0.0	4.8	3.6	40.5	43.2	14.1	6.9	94%	204%	2.3	0.1
	4	10.8	7.9	2.6	-0.1	6.7	3.9	29.0	31.9	9.1	9.4	91%	97%	2.9	2.7
	5	7.2	7.0	1.8	-0.5	4.5	3.2	47.5	34.4	9.5	7.5	138%	126%	0.2	2.3
	6	8.0	7.3	-1.0	-0.6	3.5	3.4	17.5	45.6	18.6	12.0	38%	156%	0.6	-0.4
	平均・計	9.3	7.6	0.6	-0.1	4.9	3.8	192.0	223.3	76.1	52.3	86%	145%	1.7	0.7
2	1	7.6	7.2	1.7	-0.9	4.7	3.1	34.0	25.2	2.1	10.6	135%	20%	0.5	2.6
	2	7.6	7.6	1.0	-1.1	4.3	3.3	30.5	22.4	2.6	12.2	136%	21%	0.1	2.1
	3	15.2	8.5	0.3	0.1	7.7	4.3	28.5	26.4	26.1	11.6	108%	224%	6.7	0.2
	4	14.5	8.1	4.8	-0.4	9.6	3.9	7.5	26.2	14.6	13.3	29%	110%	6.4	5.2
	5	7.6	9.2	3.7	0.0	5.6	4.6	52.5	20.8	0.2	17.3	252%	1%	-1.6	3.7
	6	8.5	10.4	1.0	0.3	4.7	5.4	19.0	14.8	5.9	11.6	129%	51%	-1.9	0.6
	平均・計	10.3	8.3	2.2	-0.4	6.2	4.0	172.0	135.9	51.5	76.6	127%	67%	2.0	2.6
3	1	8.4	10.2	-0.2	0.5	4.1	5.4	64.5	20.9	10.1	17.3	308%	58%	-1.8	-0.7
	2	8.0	10.8	0.8	1.2	4.4	6.0	9.5	23.0	11.4	15.4	41%	74%	-2.8	-0.4
	3	13.0	11.5	-0.1	0.6	6.5	6.1	23.0	17.7	32.7	21.9	130%	149%	1.5	-0.7
	4	12.7	13.4	0.3	2.0	6.5	7.7	27.0	19.5	20.5	21.3	138%	96%	-0.6	-1.6
	5	11.5	12.7	3.9	2.0	7.7	7.4	25.0	22.5	12.3	20.6	111%	60%	-1.2	1.9
	6	15.7	14.4	5.8	2.8	10.8	8.6	37.0	20.8	29.4	28.1	178%	105%	1.3	3.1
	平均・計	11.7	12.2	1.9	1.5	6.8	6.9	186.0	124.5	116.4	124.6	149%	93%	-0.5	0.4
4	1	16.7	15.5	5.6	3.4	11.1	9.5	35.0	17.0	25.4	27.4	206%	93%	1.2	2.2
	2	18.4	16.8	5.1	4.9	11.8	10.8	64.5	18.1	29.0	25.4	357%	114%	1.7	0.3
	3	23.1	16.9	6.4	5.0	14.7	10.9	0.0	20.4	47.5	26.3	0%	181%	6.1	1.4
	4	22.1	19.1	9.5	6.0	15.8	12.6	1.0	16.0	31.2	29.1	6%	107%	3.0	3.4
	5	19.6	19.3	12.7	7.4	16.2	13.3	17.5	19.6	11.1	26.6	89%	42%	0.3	5.3
	6	24.4	20.7	10.7	7.2	17.5	14.0	16.0	12.9	25.2	31.5	124%	80%	3.6	3.5
	平均・計	20.7	18.1	8.3	5.7	14.5	11.9	134.0	103.9	169.4	166.3	129%	102%	2.6	2.6
5	1	22.6	21.8	7.9	9.3	15.3	15.5	0.0	14.7	46.9	30.5	0%	154%	0.9	-1.4
	2	20.3	22.3	10.0	10.2	15.1	16.3	24.0	22.5	23.3	28.3	107%	82%	-2.0	-0.2
	3	22.7	21.9	10.8	10.3	16.8	16.1	46.5	30.3	31.4	27.4	154%	115%	0.8	0.5
	4	23.8	23.0	10.8	11.7	17.3	17.4	0.5	19.1	36.5	28.3	3%	129%	0.8	-0.9
	5	23.5	24.1	12.8	12.4	18.2	18.2	0.0	15.9	32.3	30.6	0%	106%	-0.6	0.5
	6	23.6	24.1	11.5	13.1	17.5	18.6	86.0	24.0	28.4	30.6	358%	93%	-0.5	-1.7
	平均・計	22.8	22.9	10.7	11.2	16.7	17.1	157.0	126.6	198.8	175.7	124%	113%	-0.1	-0.5
6	1	21.7	25.0	12.7	13.6	17.2	19.3	4.5	11.4	23.2	28.1	39%	83%	-3.3	-1.0
	2	26.9	25.1	15.5	15.3	21.2	20.2	3.5	13.6	30.0	21.7	26%	138%	1.8	0.2
	3	31.4	25.5	16.5	16.4	24.0	20.9	0.0	27.1	50.3	20.6	0%	244%	5.9	0.2
	4	29.0	26.1	16.7	17.0	22.8	21.5	9.0	24.9	25.9	20.3	36%	127%	2.8	-0.3
	5	29.0	26.3	19.9	17.8	24.4	22.0	123.0	32.8	11.2	16.3	375%	69%	2.7	2.1
	6	27.2	27.5	19.7	19.3	23.4	23.4	28.0	37.5	14.3	14.8	75%	97%	-0.3	0.4
	平均・計	27.5	25.9	16.8	16.6	22.2	21.2	168.0	147.3	154.9	121.8	114%	127%	1.6	0.2

日照時間は2005年4月以降太陽電池式で測定

平 年 値	最高・最低気温、降水量 ……1991～2020年の平均値
	平均気温 ……1991～2020年の平均値
	日照時間 ……1991～2020年の平均値

京都府農林センター（京丹後市弥栄町）

月	半旬	最高気温 (°C)		最低気温 (°C)		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (h)		平年比		平年比	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	降水量	日照時間	最高気温	最低気温
7	1	30.3	28.0	21.6	20.2	26.0	24.1	72.5	38.5	17.4	16.6	189%	105%	2.4	1.4
	2	32.4	28.9	22.6	20.5	27.5	24.7	42.5	39.2	19.3	19.7	108%	98%	3.5	2.1
	3	28.0	29.3	21.2	21.3	24.6	25.3	49.5	34.3	7.3	17.9	144%	41%	-1.3	-0.1
	4	32.2	29.8	22.9	21.0	27.5	25.4	30.0	34.4	27.1	25.2	87%	107%	2.4	1.9
	5	35.1	31.1	23.7	21.8	29.4	26.4	24.0	13.8	49.5	29.8	174%	166%	4.0	2.0
	6	33.6	31.2	24.5	22.5	29.1	26.8	0.0	21.1	61.4	33.7	0%	182%	2.4	2.1
	平均・計	32.0	29.8	22.8	21.3	27.4	25.5	218.5	181.2	182.0	142.8	121%	127%	2.2	1.5
8	1	33.3	32.2	23.9	22.6	28.6	27.4	0.0	16.5	44.5	37.7	0%	118%	1.1	1.3
	2	31.3	32.1	21.8	22.6	26.6	27.4	1.0	24.8	48.8	33.7	4%	145%	-0.8	-0.8
	3	31.8	31.4	22.6	22.4	27.2	26.9	0.5	22.5	38.9	29.5	2%	132%	0.4	0.2
	4	31.3	31.5	22.8	22.0	27.0	26.7	0.0	21.2	20.4	31.7	0%	64%	-0.2	0.8
	5	35.5	31.0	24.3	21.5	29.9	26.2	3.0	25.2	45.0	28.6	12%	157%	4.5	2.8
	6	33.1	30.2	23.8	20.7	28.4	25.4	62.0	29.3	28.1	33.2	211%	85%	2.9	3.1
	平均・計	32.7	31.4	23.2	21.9	28.0	26.6	66.5	139.6	225.7	194.5	48%	116%	1.3	1.3
9	1	30.5	29.3	21.6	20.1	26.1	24.7	0.5	38.1	31.4	27.3	1%	115%	1.2	1.5
	2	32.6	28.1	21.2	19.4	26.9	23.7	0.0	39.7	45.2	22.9	0%	197%	4.5	1.8
	3	34.2	27.8	23.5	18.5	28.9	23.1	0.0	35.7	42.0	23.5	0%	178%	6.4	5.0
	4	34.4	26.8	23.8	17.6	29.1	22.2	0.0	36.5	41.3	22.7	0%	182%	7.6	6.2
	5	28.5	25.4	18.8	16.2	23.6	20.8	16.5	39.3	19.3	19.6	42%	98%	3.1	2.6
	6	27.5	24.6	18.5	15.0	23.0	19.8	0.5	37.8	18.2	21.2	1%	86%	2.9	3.5
	平均・計	31.3	27.0	21.2	17.8	26.3	22.4	17.5	227.0	197.4	137.2	8%	144%	4.3	3.4
10	1	25.0	24.0	16.9	14.3	20.9	19.2	89.0	25.6	22.9	20.2	347%	113%	1.0	2.5
	2	23.7	23.2	15.4	13.1	19.6	18.1	51.5	27.3	20.1	21.2	189%	95%	0.6	2.3
	3	25.5	22.4	12.9	12.1	19.2	17.3	4.5	25.3	27.8	21.1	18%	131%	3.1	0.8
	4	24.6	21.3	14.5	10.2	19.6	15.7	45.0	31.4	13.8	24.4	143%	57%	3.3	4.3
	5	23.8	20.6	12.5	9.9	18.1	15.2	1.0	30.1	13.1	20.7	3%	63%	3.2	2.5
	6	21.0	19.3	12.4	8.6	16.7	14.0	57.0	25.5	11.6	23.9	224%	49%	1.7	3.8
	平均・計	23.8	21.7	14.0	11.3	18.9	16.5	248.0	165.2	109.3	131.6	150%	83%	2.1	2.7
11	1	21.4	18.6	11.3	7.3	16.3	13.0	96.5	26.0	7.7	20.4	371%	38%	2.8	3.9
	2	18.0	18.3	6.0	7.6	12.0	13.0	9.5	16.8	20.6	19.0	57%	108%	-0.3	-1.6
	3	20.1	16.7	8.5	6.7	14.3	11.7	0.0	29.9	23.8	15.1	0%	158%	3.4	1.9
	4	16.4	15.2	7.8	5.7	12.1	10.4	20.0	30.9	6.5	14.4	65%	45%	1.2	2.2
	5	14.7	14.7	4.5	4.1	9.6	9.4	19.5	27.2	12.3	15.1	72%	81%	-0.1	0.4
	6	14.5	13.9	3.0	4.6	8.8	9.2	33.5	34.4	14.9	11.4	97%	130%	0.6	-1.6
	平均・計	17.5	16.2	6.9	6.0	12.2	11.1	179.0	165.3	85.8	95.4	108%	90%	1.3	0.9
12	1	15.3	13.1	4.2	3.4	9.8	8.2	6.5	36.1	16.1	12.6	18%	127%	2.2	0.8
	2	10.6	11.5	3.5	2.5	7.1	7.0	48.5	40.6	6.9	11.4	119%	61%	-0.9	1.0
	3	9.6	10.4	1.0	2.0	5.3	6.2	74.0	47.2	8.0	9.3	157%	86%	-0.8	-1.0
	4	8.6	9.9	1.6	1.4	5.1	5.6	74.0	34.3	9.9	10.8	216%	92%	-1.3	0.2
	5	9.5	10.1	1.6	1.2	5.5	5.6	48.0	38.5	10.3	10.2	125%	101%	-0.6	0.4
	6	8.7	8.9	1.2	0.7	5.0	4.8	56.0	48.2	5.1	10.6	116%	48%	-0.2	0.6
	平均・計	10.3	10.6	2.2	1.8	6.2	6.2	307.0	244.9	56.3	64.9	125%	87%	-0.3	0.4
年平均・計	20.8	19.3	10.9	9.6	15.9	14.4	2045.5	1984.5	1623.6	1483.6	103%	109%	1.5	1.3	

